

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(7) N○. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等にN○. 3淡水タンクから使用済燃料ピット経由によりほう酸水を燃料取替用水ピットへ補給準備を指示する。</p> <p>② 運転員等は、現場でN○. 3淡水タンクから使用済燃料ピット経由による燃料取替用水ピットへの補給のための系統構成を実施する。</p> <p>③ 当直課長は、運転員等にN○. 3淡水タンクから使用済燃料ピット経由による燃料取替用水ピットへの補給開始を指示する。なお、補給開始は、1次系純水タンクからの補給中の場合、1次系純水タンクの水位異常低警報が発信するまでに実施する。</p> <p>④ 運転員等は、現場でN○. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を開始する。</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室で使用済燃料ピット水位及び燃料取替用水ピット水位により、燃料取替用水ピットへの補給に異常がないことを確認する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>① 発電所対策本部は、プラントの被災状況に応じて、化学消防自動車による耐震性防火水槽を水源とした補給及び接続口の場所を決定し、初期消火要員（消防車隊）に化学消防自動車による淡水の供給の準備開始を指示する。</p> <p>② 発電課長は、運転員（中央制御室）に耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）は化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給に必要な監視計器の電源が確保されていることを状態表示にて確認する。</p> <p>④ 初期消火要員（消防車隊）は、指示を受けた耐震性防火水槽へ化学消防自動車を移動及び設置し復水貯蔵タンクまでホースを敷設する。</p> <p>⑤ 初期消火要員（消防車隊）は、復水貯蔵タンク上部のマンホールを開放し、ホースの敷設及び固縛を実施する。</p> <p>⑥ 初期消火要員（消防車隊）は、耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給準備完了を発電所対策本部に報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑦ 発電課長は、発電所対策本部に耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給開始を依頼する。</p> <p>⑧ 発電課長は、運転員（中央制御室）に、復水貯蔵タンク水位の監視を指示する。</p> <p>⑨ 初期消火要員（消防車隊）は、現場にて化学消防自動車を起動し、耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給を開始し、発電所対策本部へ報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑩ 運転員（中央制御室）は、復水貯蔵タンクへの補給が開始されたことを復水貯蔵タンク水位により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑪ 発電課長は、復水貯蔵タンクの水位を維持できるよう、発電所対策本部へ化学消防自動車の間欠運転又は現場での流量調整を依頼する。</p>	<p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由したほう酸水の燃料取替用水ピットへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）A及び運転員（現場）Bは、中央制御室及び現場で2次系純水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給のための系統構成を実施し、2次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>③ 発電課長（当直）は、運転員に2次系純水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給開始を指示する。</p> <p>④ 運転員（現場）Bは、現場で2次系純水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を開始し、発電課長（当直）へ報告する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で燃料取替用水ピットへの補給が開始されたことを使用済燃料ピット水位及び燃料取替用水ピット水位により、燃料取替用水ピットへの補給に異常がないことを確認し、発電課長（当直）に報告する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・泊3号炉は本手順着事後、系統構成が完了次第、補給を開始するため補給開始時期については記載していない。 【女川】記載表現の相違（大飯と同様）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため 1.13.2.2(7) N○. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約50分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 (添付資料 1.13.8)</p> <p>【比較のため 1.13.2.3(6) N○. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>a. 手順着手の判断基準 格納容器スプレイ中の再循環運転不能時において、1次系純水タンク水位異常低警報等により燃料取替用水ピットへの補給機能喪失を判断した際に、N○. 3淡水タンク等の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>また、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給後、N○. 3淡水タンク等の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p>	<p>【比較のため 1.13.2.2(1) b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び初期消火要員（消防車隊）5名にて作業を実施し、作業開始を判断してから耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給開始まで65分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。化学消防自動車のホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。 構内のアクセスルートの状況を考慮して耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへホースを敷設し、送水ルートを確保する。 また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を用いることで、夜間における作業性についても確保している。 (添付資料 1.13.3)</p> <p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在 1.13.2.2(1) a. (c)より引用】</p> <p>(c) 淡水貯水池を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への補給（あらかじめ敷設してあるホースが使用できない場合）</p>	<p>(iii) 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名にて作業を実施し、作業開始を判断してから2次系純水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給開始まで65分以内で実施可能である。 円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転時と同程度である。 (添付資料 1.13.15)</p> <p>ii. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へスプレイ中の場合）</p> <p>(i) 手順着手の判断基準 原子炉格納容器内へのスプレイ中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合又は原子炉格納容器内へのスプレイ中の再循環運転不能時において、1次系純水タンク水位異常低警報等により燃料取替用水ピットへの補給機能喪失を判断した際に、2次系純水タンク等の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。 また、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給後、2次系純水タンク等の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【柏崎】設備名称及び記載表現の相違 【女川】記載内容の相違 ・泊は、原子炉容器への注水中と原子炉格納容器内へのスプレイ中で、手順着手の判断基準が異なるため、項目で分けて記載している。記載表現については柏崎6/7号炉の記載を参考とした。</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑧） 【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.3(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>b. 操作手順 1.13.2.2(7)と同様。</p> <p>【比較のため1.13.2.2(5)の記載より再掲】</p> <p>(5) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給 重大事故等の発生時において、早期に炉心損傷に至ると判断した場合は、炉心注水により炉心冷却を実施するが、炉心注水中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要な場合、1次系純水タンク水及びほう酸タンク水の混合によるほう酸水を燃料取替用水ピットへ補給する手順を整備する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1)b.の記載より再掲】</p> <p>b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給 復水貯蔵タンクを水源とした原子炉压力容器への注水等の対応を実施している場合に、復水貯蔵タンクへの補給手段がないと復水貯蔵タンク水位が低下し、水源が枯渇するため、化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給を実施する。 化学消防自動車の水源は、耐震性防火水槽を使用する。</p> <p>(a) 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在1.13.2.2(1)a. (b)より引用】</p> <p>(b) 淡水貯水池を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への補給（あらかじめ敷設してあるホースが使用できる場合）</p>	<p>(ii) 操作手順 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へスプレイ中の場合）手順については、「1.13.2.2(1)d. (a) i. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）」の操作手順と同様である。</p> <p>(iii) 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名にて作業を実施し、作業開始を判断してから2次系純水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給開始まで65分以内で実施可能である。 円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転時と同程度である。 （添付資料1.13.15）</p> <p>e. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水等の対応を実施している場合に、燃料取替用水ピットへの補給手段がないと燃料取替用水ピット水位が低下し、水源が枯渇するため、1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによるほう酸水の燃料取替用水ピットへの補給を実施する。</p> <p>(a) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>i. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【柏崎】設備名称及び記載表現の相違 【女川】記載内容の相違 ・泊は、原子炉容器への注水中と原子炉格納容器内へのスプレイ中で、手順着手の判断基準が異なるため、項目で分けて記載している。記載表現については</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(5) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損発生時減圧継続及び再循環運転による炉心注水不能時において、1次系純水タンク及びほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.16図に、タイムチャートを第1.13.17図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に1次系純水タンク水及びほう酸タンク水の混合によるほう酸水の燃料取替用水ピットへの補給を指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室及び現場で1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給ラインの系統構成を行い、1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプを起動し、1次系純水タンク水及びほう酸タンク水の混合によるほう酸水の燃料取替用水ピットへの補給を実施する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1)b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>耐震性防火水槽を水源とした復水貯蔵タンクへの補給手順の概要は以下のとおり。</p> <p>概要図を第1.13-24図に、タイムチャートを第1.13-25図に示す。</p> <p>①発電所対策本部は、プラントの被災状況に応じて、化学消防自動車による耐震性防火水槽を水源とした補給及び接続口の場所を決定し、初期消火要員（消防車隊）に化学消防自動車による淡水の供給の準備開始を指示する。</p> <p>②発電課長は、運転員（中央制御室）に耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>③運転員（中央制御室）は化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給に必要な監視計器の電源が確保されていることを状態表示にて確認する。</p> <p>④初期消火要員（消防車隊）は、指示を受けた耐震性防火水槽へ化学消防自動車を移動及び設置し復水貯蔵タンクまでホースを敷設する。</p> <p>⑤初期消火要員（消防車隊）は、復水貯蔵タンク上部のマンホールを開放し、ホースの敷設及び固縛を実施する。</p> <p>⑥初期消火要員（消防車隊）は、耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給準備完了を発電所対策本部に報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑦発電課長は、発電所対策本部に耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給開始を依頼する。</p> <p>⑧発電課長は、運転員（中央制御室）に、復水貯蔵タンク水位の監視を指示する。</p>	<p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉容器への注水中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合、1次冷却材喪失事象（大破断）が発生し安全注入及び蓄圧注入動作を確認した場合、インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損時又は再循環運転による炉心注水不能時において、1次系純水タンク及びほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした燃料取替用水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。</p> <p>概要図を第1.13.16図に、タイムチャートを第1.13.17図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによるほう酸水の燃料取替用水ピットへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）A及び運転員（現場）Bは、中央制御室及び現場で1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給ラインの系統構成を行い、1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>③ 発電課長（当直）は、運転員（中央制御室）に1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給開始を指示する。</p>	<p>相違理由</p> <p>柏崎6/7号炉の記載を参考とした。</p> <p>【大阪】運用の相違（相違理由⑦）</p> <p>【大阪】記載表現の相違 ・対応手段選択フローの相違に伴う相違。</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、補給開始手順を操作手順④に記載している。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため 1.13.2.2(5) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>③ 運転員等は、中央制御室で燃料取替用水ピット水位等により、燃料取替用水ピットへの補給が実施されていることを確認する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約30分と想定する。 円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 (添付資料 1.13.8)</p>	<p>【比較のため 1.13.2.2(1) b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑨初期消火要員（消防車隊）は、現場にて化学消防自動車を起動し、耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給を開始し、発電所対策本部へ報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑩運転員（中央制御室）は、復水貯蔵タンクへの補給が開始されたことを復水貯蔵タンク水位により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑪発電課長は、復水貯蔵タンクの水位を維持できるよう、発電所対策本部へ化学消防自動車の間欠運転又は現場での流量調整を依頼する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び初期消火要員（消防車隊）5名にて作業を実施し、作業開始を判断してから耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給開始まで65分以内で実施可能である。 円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。化学消防自動車のホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。 構内のアクセスルートの状況を考慮して耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへホースを敷設し、送水ルートを確保する。 また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を用いることで、夜間における作業性についても確保している。 (添付資料 1.13.3)</p> <p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在 1.13.2.2(1) a. (c)より引用】</p> <p>(c) 淡水貯水池を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への補給（あらかじめ敷設してあるホースが使用できない場合）</p>	<p>④ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給を開始し、発電課長（当直）へ報告する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で燃料取替用水ピットへの補給が開始されたことを燃料取替用水ピット水位等により確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>(iii) 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名にて作業を実施し、作業開始を判断してから1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給開始まで30分以内で実施可能である。 円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転時と同程度である。 (添付資料 1.13.12)</p> <p>ii. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレー中の場合）</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) 【女川】記載表現の相違（大飯と同様）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【柏崎】設備名称及び記載表現の相違 【女川】記載内容の相違 ・泊は、原子炉容器への注水中と原子炉格納容器内へのスプレー中で、手順着手の判断基準が異なるため、項目で分けて記載している。記載表現については柏崎6/7号炉の記載を参考とした。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.3(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>格納容器スプレイ中の再循環運転不能時において、1次系純水タンク及びほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>【比較のため1.13.2.3(4)の記載より再掲】</p> <p>b. 操作手順</p> <p>1.13.2.2(5)と同様。</p>		<p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>格納容器スプレイ中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合又は原子炉格納容器内へのスプレイ中の再循環運転不能時において、1次系純水タンク及びほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）手順については、「1.13.2.2(1) e. (a) i. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）」の操作手順と同様である。</p> <p>(iii) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名にて作業を実施し、作業開始を判断してから1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給開始まで30分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転時と同程度である。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料 1.13.12）</p>	<p>【大飯】運用の相違（相違理由⑧）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7)の記載より再掲】</p> <p>(7) 海水を用いた復水ビットへの補給 重大事故等の発生時において、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ビットの水位が低下し続け、補給が必要であることを確認した場合、海水を水源とした送水車による復水ビットに補給する手順を整備する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1)の記載より再掲】</p> <p>(1) 復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応手順 重大事故等が発生した場合において、淡水貯水槽 (No. 1)、淡水貯水槽 (No. 2)、淡水タンク、海又は耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへ水を補給する手順を整備する。</p> <p>a. 大容量送水ポンプ（タイプⅠ）による復水貯蔵タンクへの補給 復水貯蔵タンクを水源とした原子炉圧力容器への注水等の対応を実施している場合に、復水貯蔵タンクへの補給手段がないと復水貯蔵タンク水位が低下し、水源が枯渇するため、大容量送水ポンプ（タイプⅠ）による復水貯蔵タンクへの補給を実施する。 大容量送水ポンプ（タイプⅠ）の水源は、淡水貯水槽 (No. 1) 及び淡水貯水槽 (No. 2) を優先して使用する。淡水による復水貯蔵タンクへの補給が枯渇等により継続できない場合は、海水による淡水貯水槽 (No. 1) 及び淡水貯水槽 (No. 2) への補給に切り替えるが、淡水貯水槽 (No. 1) 及び淡水貯水槽 (No. 2) を経由して復水貯蔵タンクへ補給することにより、復水貯蔵タンクへの補給を継続しながら淡水から海水への切り替えが可能である。</p> <p>なお、淡水貯水槽への海水補給は、「1.13.2.2(2)a. 大容量送水ポンプ（タイプⅡ）による淡水貯水槽への補給」の手順にて実施する。</p>	<p>(2) 補助給水ビットへ水を補給するための対応手順 重大事故等が発生した場合において、代替給水ビット、原水槽、海又は2次系純水タンクから補助給水ビットへ水を補給する手順を整備する。</p> <p>a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給 補助給水ビットを水源とした蒸気発生器への注水等の対応を実施している場合に、補助給水ビットへの補給手段がないと補助給水ビット水位が低下し、水源が枯渇するため、可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給を実施する。 炉心損傷防止が図れる場合における可搬型大型送水ポンプ車の水源は、原水槽又は代替給水ビットを優先して使用する。淡水による補助給水ビットへの補給が枯渇等により継続できない場合、又は淡水を補給中に事象が進展し炉心損傷に至った場合は、海水による補助給水ビットへの補給に切り替えるが、淡水補給開始時点から海を水源とするための準備を開始しており、淡水による補助給水ビットへの補給により、補助給水ビットに十分な水量を確保することで淡水から海水への切り替えのための時間を確保することが可能である。 炉心損傷に至るおそれがある場合、又は炉心損傷に至った場合における可搬型大型送水ポンプ車の水源は、海を優先して使用する。 なお、原水槽への淡水補給は、「1.13.2.2(3)a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給」の手順にて実施する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 （女川審査実績の反映） 【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） 【女川】設備の相違（相違理由②、⑤） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 ・泊は、防火水槽を火災のみに使用する方針としている。（〇〇と同様）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【女川】運用の相違（相違理由①） 【大飯】運用の相違（相違理由⑥） 【女川】設備の相違（相違理由②、⑤） 【女川、柏崎】運用の相違（相違理由②）</p> <p>【女川】運用の相違（相違理由①） 【大飯】運用の相違（相違理由⑥）</p> <p>【女川】記載表現の相違（柏崎と同様） 【女川】設備の相違（相違理由②、⑤） ・泊は、燃料取替用水ビットへ海水を直接補給することが可能である。 ・海水を燃料取替用水ビットへ直接補給する対応手段を整備しているのは、柏崎6/7号炉、東海第二と同様である。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ピットの通常水位低警報が発信し、さらにNo. 3淡水タンクの水位低警報等により復水ピットへの補給ができない場合。 また、No. 3淡水タンクから復水ピットへの補給を開始した場合。</p> <p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ピットの通常水位低警報が発信し、さらにNo. 3淡水タンクの水位低警報等により復水ピットへの補給ができない場合。 また、No. 3淡水タンクから復水ピットへの補給を開始した場合。</p> <p>b. 操作手順 海水を用いた復水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.9図に、タイムチャートを第1.13.10図、ホース敷設ルートを第1.13.11図に示す。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a)の記載より再掲】</p> <p>(a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準 復水貯蔵タンクへ補給が必要な場合で、淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給が可能な場合。</p> <p>ii. 操作手順 淡水貯水槽を水源とした復水貯蔵タンクへの補給手順の概要（原子炉建屋東側に注水用ヘッダを設置する場合）は以下のとおり（原子炉建屋北側に注水用ヘッダを設置する場合の手順も同様）。概要図を第1.13-13図に、タイムチャートを第1.13-14図及び第1.13-15図に示す。 ①発電所対策本部は、プラントの被災状況に応じて、大容量送水ポンプ（タイプI）による淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）を水源とした補給及び接続口の場所を決定し、重大事故等対応要員に大容量送水ポンプ（タイプI）による淡水の供給の準備開始を指示する。</p>	<p>(a) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時に1次冷却材喪失事象が同時に発生していない場合若しくは1次冷却材喪失事象が同時に発生しても1次冷却材圧力が蓄圧タンク動作圧力まで急激に低下しない場合、又は炉心が損傷していない場合において、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）中に補助給水ピットの水位が低下し続け、補給が必要であることを確認した場合に、原水槽近傍へのアクセスに時間を要すると判断した場合又は海水の取水ができない場合で、かつ代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。 全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時に1次冷却材喪失事象が同時に発生し1次冷却材圧力が蓄圧タンク動作圧力まで急激に低下した場合、若しくは炉心が損傷した場合において、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）中に補助給水ピットの水位が低下し続け、補給が必要であることを確認した場合に、海水取水箇所へのアクセスに時間を要すると判断した場合又は原水槽が使用できない場合で、かつ代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。 <p>ii. 操作手順 代替給水ピットを水源とした補助給水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.18図に、タイムチャートを第1.13.19図に、ホース敷設ルート図を第1.13.39図に示す。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【女川】運用の相違（相違理由①） 【大飯】運用の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は、燃料取替用水ピットの「手順着手の判断基準」と同様であるため、記載表現を統一している。</p> <p>【女川】運用の相違（相違理由①） 【大飯】運用の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は、燃料取替用水ピットの「手順着手の判断基準」と同様であるため、記載表現を統一している。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） 【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） 【女川】記載方針の相違 ・泊の操作手順は2つあるホース敷設ルート共通の手順を記載している。（大飯と同様）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき発電所対策本部長へ海水を用いた復水ピットへの補給準備を指示する。</p> <p>② 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に、海水を用いた復水ピットへの補給準備を指示する。</p> <p>③ 緊急安全対策要員は、現場で送水車、可搬型ホース等を準備し、所定の位置に配置し敷設するとともに、可搬型ホース先端にストレーナを付け、水面より低く着底しない位置に設置する。</p> <p>④ 緊急安全対策要員は、現場で復水ピット入口扉まで可搬型ホースを敷設し、補給準備が完了したことを発電所対策本部長へ報告する。</p> <p>⑤ 当直課長は、復水ピットへの補給手段として淡水源が使用不可能なことを確認し、発電所対策本部長へ海水を用いた復水ピットへの補給開始を指示する。なお、補給開始は、No. 2淡水タンクからの補給中の場合、No. 2淡水タンクの水位低警報が発信し、さらに復水ピットの水位異常低警報が発信するまでに実施する。</p> <p>⑥ 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に、海水を用いた復水ピットへの補給開始を指示する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>② 発電課長は、運転員（中央制御室）に淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）は大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給に必要な監視計器の電源が確保されていることを状態表示にて確認する。</p> <p>④ 重大事故等対応要員は、指示を受けた淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）へ大容量送水ポンプ（タイプI）を移動及び設置する。</p> <p>⑤ 重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）の付属品を所定の場所に設置する。</p> <p>⑥ 重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）にホースを接続し、ミニマムフローラインを構成する。</p> <p>⑦ 重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）の付属水中ポンプにホースを接続し、付属水中ポンプを取水箇所へ設置する。</p> <p>⑧ 重大事故等対応要員は、ホース延長回収車で注水用ヘッダを運搬し、原子炉建屋付近に設置する。</p> <p>⑨ 重大事故等対応要員は、ホース延長回収車を使用し大容量送水ポンプ（タイプI）から注水用ヘッダまでのホースを敷設する。</p> <p>⑩a 復水貯蔵タンク接続口へ接続する場合 重大事故等対応要員は、復水貯蔵タンク接続口までホースを敷設、接続し、復水貯蔵タンク外部注水入口弁を全開する。</p> <p>⑩b 復水貯蔵タンク接続マンホールへ接続する場合 重大事故等対応要員は、復水貯蔵タンク上部のマンホールを開放し、ホース接続用継手の設置並びにホースの敷設及び接続を実施する。</p> <p>⑪ 重大事故等対応要員は、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給準備完了を発電所対策本部に報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑫ 発電課長は、発電所対策本部に淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給開始を依頼する。</p> <p>⑬ 発電課長は、運転員（中央制御室）に、復水貯蔵タンク水位の監視を指示する。</p>	<p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員及び災害対策要員に代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>② 災害対策要員は、現場で資機材の保管場所へ移動し、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型ホースを所定の位置に移動する。</p> <p>③ 災害対策要員は、現場で可搬型ホースを敷設し、非常用炉心冷却設備配管と接続する。</p> <p>④ 災害対策要員は、現場でホース延長・回収車（送水車用）にて可搬型ホースを敷設する。</p> <p>⑤ 災害対策要員は、現場で代替給水ピット近傍に可搬型大型送水ポンプ車を設置し、可搬型大型送水ポンプ車の吸管を代替給水ピットへ挿入する。</p> <p>⑥ 災害対策要員は、代替給水ピットから燃料取替用水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑦ 運転員（現場）Bは、現場で補助給水ピットへの補給のための系統構成を実施し、代替給水ピットから補助給水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑧ 発電課長（当直）は、運転員及び災害対策要員に代替給水ピットから補助給水ピットへの補給開始を指示する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） 【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） 【大飯】設備の相違（相違理由④） 【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） 【大飯】記載表現の相違 ・泊の他条文と記載表現を統一している。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） 【大飯】記載表現の相違 ・泊は、操作手順⑥にて補給準備完了を報告している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違 ・泊の他条文と記載表現を統一している。</p> <p>【大飯】記載方針の相違 （女川審査実績の反映） 【大飯】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） 【大飯】運用の相違（相違理由⑥） 【大飯】記載方針の相違 ・泊3号炉は本手順書後、系統構成が完了次第、補給を開始するため補給開始時期については記載していない。 【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑦ 緊急安全対策要員は、現場で送水車を起動し、海水を用いた復水ピットへの補給を開始する。</p> <p>⑧ 緊急安全対策要員は、現場で送水車の運転状態及び復水ピット水位を確認し、海水を用いた復水ピットへの補給を開始したことを発電所対策本部長へ報告する。</p> <p>⑨ 緊急安全対策要員は、現場で送水車の運転状態及び供給状態を継続して監視し、定格負荷運転時における給油間隔を目安に燃料の給油を実施する（燃料を給油しない場合、送水車は約5.4時間の運転が可能。）。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の対応は現場にて1ユニット当たり緊急安全対策要員5名により作業を実施し、所要時間は約3.4時間と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は外気温度と同程度である。</p> <p>また、復水ピットへの補給時に構内のアクセス状況を考慮して可搬型ホースを敷設し、移送ルートを確認する。</p> <p>海水取水時には、可搬型ホース先端を水面より低く着底しない位置に設置することにより異物の混入を低減する。さらに可搬型ホース先端にストレーナを付けることにより、メッシュより大きな異物の混入を防止する。また、ストレーナのメッシュより小さな異物は通過するが、復水ピットへの補給に影響はない。</p> <p>(添付資料1.13.4、1.13.5)</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1)a.(a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプI)による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑭ 重大事故等対応要員は、現場にて大容量送水ポンプ(タイプI)の起動及び復水貯蔵タンク補給弁の開操作を実施し、淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)から復水貯蔵タンクへの補給を開始し、発電所対策本部へ報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑮ 運転員(中央制御室)は、復水貯蔵タンクへの補給が開始されたことを復水貯蔵タンク水位により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑯ 発電課長は、復水貯蔵タンクの水位を維持できるよう、発電所対策本部へ大容量送水ポンプ(タイプI)の間欠運転又は現場での流量調整を依頼する。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、復水貯蔵タンク接続口へ接続時及び復水貯蔵タンク接続マンホールへ接続時は運転員(中央制御室)1名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施し、作業開始を判断してから淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)から復水貯蔵タンクへの補給開始まで380分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。大容量送水ポンプ(タイプI)からのホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。構内のアクセスルートの状況を考慮して淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)から復水貯蔵タンクへホースを敷設し、送水ルートを確認する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明(ヘッドライト及び懐中電灯)を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p>(添付資料1.13.3)</p>	<p>⑨ 災害対策要員は、現場で可搬型大型送水ポンプ車を起動し、代替給水ピットから補助給水ピットへの補給を開始するとともに、可搬型大型送水ポンプ車の運転状態に異常がないことを確認し、発電課長(当直)へ報告する。</p> <p>⑩ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で補助給水ピットへの補給が開始されたことを補助給水ピット水位により確認し、発電課長(当直)に報告する。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員(中央制御室)1名、運転員(現場)1名及び災害対策要員3名にて作業を実施し、作業開始を判断してから代替給水ピットから補助給水ピットへの補給開始まで180分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は外気温度と同程度である。速やかに作業を開始できるよう、使用する資機材は可搬型大型送水ポンプ車の保管場所及び作業場所近傍に配備する。可搬型大型送水ポンプ車からの可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。補助給水ピットへの供給時に構内のアクセス状況を考慮して可搬型ホースを敷設し、移送ルートを確認する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明(ヘッドライト及び懐中電灯)を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p>(添付資料1.13.9)</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は可搬型大型送水ポンプ車起動後の運転状態の確認手順を記載している。(大飯と同様) <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【大飯】設備の相違(相違理由④) <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炉型の相違による対応手段の相違 <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の「(c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給」の手順にて、比較している。 <p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の操作手順は2つあるホース敷設ルート共通の手順を記載している。(大飯と同様) <p>【女川】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、すべて屋外作業であるため、資機材の配備について記載していない。 <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、大飯の送水車を使用した手順と同様の記載としている。 <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の「(c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給」の手順にて、比較している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ピットの通常水位低警報が発信し、さらにNo. 3淡水タンクの水位低警報等により復水ピットへの補給ができない場合。 また、No. 3淡水タンクから復水ピットへの補給を開始した場合。</p> <p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ピットの通常水位低警報が発信し、さらにNo. 3淡水タンクの水位低警報等により復水ピットへの補給ができない場合。 また、No. 3淡水タンクから復水ピットへの補給を開始した場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>海水を用いた復水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.9図に、タイムチャートを第1.13.10図、ホース敷設ルートを第1.13.11図に示す。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a)の記載より再掲】</p> <p>(a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>復水貯蔵タンクへ補給が必要な場合で、淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給が可能な場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>淡水貯水槽を水源とした復水貯蔵タンクへの補給手順の概要（原子炉建屋東側に注水用ヘッダを設置する場合）は以下のとおり（原子炉建屋北側に注水用ヘッダを設置する場合の手順も同様）。概要図を第1.13-13図に、タイムチャートを第1.13-14図及び第1.13-15図に示す。</p> <p>①発電所対策本部は、プラントの被災状況に応じて、大容量送水ポンプ（タイプI）による淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）を水源とした補給及び接続口の場所を決定し、重大事故等対応要員に大容量送水ポンプ（タイプI）による淡水の供給の準備開始を指示する。</p>	<p>(b) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時に1次冷却材喪失事象が同時に発生していない場合若しくは1次冷却材喪失事象が同時に発生しても1次冷却材圧力が蓄圧タンク動作圧力まで急激に低下しない場合、又は炉心が損傷していない場合において、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）中に補助給水ピットの水位が低下し続け、補給が必要であることを確認した場合に、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。 全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時に1次冷却材喪失事象が同時に発生し1次冷却材圧力が蓄圧タンク動作圧力まで急激に低下した場合、若しくは炉心が損傷した場合において、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）中に補助給水ピットの水位が低下し続け、補給が必要であることを確認した場合に、海水の取水ができず、かつ原水槽の水位が確保され、使用できることを確認できた場合。 <p>ii. 操作手順</p> <p>原水槽を水源とした補助給水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.20図に、タイムチャートを第1.13.21図に、ホース敷設ルートを第1.13.40図に示す。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【女川】運用の相違（相違理由①） 【大飯】運用の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、燃料取替用水ピットの「手順着手の判断基準」と同様であるため、記載表現を統一している。</p> <p>【女川】運用の相違（相違理由①） 【大飯】運用の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、燃料取替用水ピットの「手順着手の判断基準」と同様であるため、記載表現を統一している。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） 【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) 【女川】記載方針の相違 ・泊の操作手順は2つあるホース敷設ルート共通の手順を記載している。(大飯と同様)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき発電所対策本部長へ海水を用いた復水ピットへの補給準備を指示する。</p> <p>② 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に、海水を用いた復水ピットへの補給準備を指示する。</p> <p>③ 緊急安全対策要員は、現場で送水車、可搬型ホース等を準備し、所定の位置に配置し敷設するとともに、可搬型ホース先端にストレーナを付け、水面より低く着底しない位置に設置する。</p> <p>④ 緊急安全対策要員は、現場で復水ピット入口扉まで可搬型ホースを敷設し、補給準備が完了したことを発電所対策本部長へ報告する。</p> <p>⑤ 当直課長は、復水ピットへの補給手段として淡水源が使用不可能なことを確認し、発電所対策本部長へ海水を用いた復水ピットへの補給開始を指示する。なお、補給開始は、No. 2淡水タンクからの補給中の場合、No. 2淡水タンクの水位低警報が発信し、さらに復水ピットの水位異常低警報が発信するまでに実施する。</p> <p>⑥ 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に、海水を用いた復水ピットへの補給開始を指示する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>② 発電課長は、運転員（中央制御室）に淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）は大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給に必要な監視計器の電源が確保されていることを状態表示にて確認する。</p> <p>④ 重大事故等対応要員は、指示を受けた淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）へ大容量送水ポンプ（タイプI）を移動及び設置する。</p> <p>⑤ 重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）の付属品を所定の場所に設置する。</p> <p>⑥ 重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）にホースを接続し、ミニマムフローラインを構成する。</p> <p>⑦ 重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）の付属水中ポンプにホースを接続し、付属水中ポンプを取水箇所へ設置する。</p> <p>⑧ 重大事故等対応要員は、ホース延長回収車で注水用ヘッダを運搬し、原子炉建屋付近に設置する。</p> <p>⑨ 重大事故等対応要員は、ホース延長回収車を使用し大容量送水ポンプ（タイプI）から注水用ヘッダまでのホースを敷設する。</p> <p>⑩a 復水貯蔵タンク接続口へ接続する場合 重大事故等対応要員は、復水貯蔵タンク接続口までホースを敷設、接続し、復水貯蔵タンク外部注水入口弁を全開する。</p> <p>⑩b 復水貯蔵タンク接続マンホールへ接続する場合 重大事故等対応要員は、復水貯蔵タンク上部のマンホールを開放し、ホース接続用継手の設置並びにホースの敷設及び接続を実施する。</p> <p>⑪ 重大事故等対応要員は、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給準備完了を発電所対策本部に報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑫ 発電課長は、発電所対策本部に淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給開始を依頼する。</p> <p>⑬ 発電課長は、運転員（中央制御室）に、復水貯蔵タンク水位の監視を指示する。</p>	<p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員及び災害対策要員に原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>② 災害対策要員は、現場で資機材の保管場所へ移動し、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型ホースを所定の位置に移動する。</p> <p>③ 災害対策要員は、現場で可搬型ホースを敷設し、非常用炉心冷却設備配管と接続する。</p> <p>④ 災害対策要員は、現場でホース延長・回収車にて可搬型ホースを敷設する。</p> <p>⑤ 災害対策要員は、現場で原水槽マンホール近傍に可搬型大型送水ポンプ車を設置し、可搬型大型送水ポンプ車の吸管を原水槽マンホールへ挿入する。</p> <p>⑥ 災害対策要員は、原水槽から燃料取替用水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑦ 運転員（現場）Bは、現場で補助給水ピットへの補給のための系統構成を実施し、原水槽から燃料取替用水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑧ 発電課長（当直）は、運転員及び災害対策要員に原水槽から補助給水ピットへの補給開始を指示する。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④） 【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） 【大飯】設備の相違（相違理由④） 【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） 【大飯】記載表現の相違 ・泊の他条文と記載表現を統一している。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） 【大飯】記載表現の相違 ・泊は、操作手順⑥にて補給準備完了を報告している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違 ・泊の他条文と記載表現を統一している。</p> <p>【大飯】記載方針の相違 （女川審査実績の反映） 【大飯】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） 【大飯】運用の相違（相違理由⑥） 【大飯】記載方針の相違 ・泊3号炉は本手順書後、系統構成が完了次第、補給を開始するため補給開始時期については記載していない。 【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑦ 緊急安全対策要員は、現場で送水車を起動し、海水を用いた復水ピットへの補給を開始する。</p> <p>⑧ 緊急安全対策要員は、現場で送水車の運転状態及び復水ピット水位を確認し、海水を用いた復水ピットへの補給を開始したことを発電所対策本部長へ報告する。</p> <p>⑨ 緊急安全対策要員は、現場で送水車の運転状態及び供給状態を継続して監視し、定格負荷運転時における給油間隔を目安に燃料の給油を実施する（燃料を給油しない場合、送水車は約5.4時間の運転が可能。）。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の対応は現場にて1ユニット当たり緊急安全対策要員5名により作業を実施し、所要時間は約3.4時間と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は外気温度と同程度である。</p> <p>また、復水ピットへの補給時に構内のアクセス状況を考慮して可搬型ホースを敷設し、移送ルートを確認する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(l)a.(a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプI)による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑭ 重大事故等対応要員は、現場にて大容量送水ポンプ(タイプI)の起動及び復水貯蔵タンク補給弁の開操作を実施し、淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)から復水貯蔵タンクへの補給を開始し、発電所対策本部へ報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑮ 運転員(中央制御室)は、復水貯蔵タンクへの補給が開始されたことを復水貯蔵タンク水位により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑯ 発電課長は、復水貯蔵タンクの水位を維持できるよう、発電所対策本部へ大容量送水ポンプ(タイプI)の間欠運転又は現場での流量調整を依頼する。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、復水貯蔵タンク接続口へ接続時及び復水貯蔵タンク接続マンホールへ接続時は運転員(中央制御室)1名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施し、作業開始を判断してから淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)から復水貯蔵タンクへの補給開始まで380分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。大容量送水ポンプ(タイプI)からのホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。構内のアクセスルートの状況を考慮して淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)から復水貯蔵タンクへホースを敷設し、送水ルートを確認する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明(ヘッドライト及び懐中電灯)を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p>(添付資料1.13.3)</p>	<p>⑨ 災害対策要員は、現場で可搬型大型送水ポンプ車を起動し、原水槽から補助給水ピットへの補給を開始するとともに、可搬型大型送水ポンプ車の運転状態に異常がないことを確認し、発電課長(当直)へ報告する。</p> <p>⑩ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で補助給水ピットへの補給が開始されたことを補助給水ピット水位により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑪ 発電課長(当直)は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給を発電所対策本部長に依頼する。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員(中央制御室)1名、運転員(現場)1名及び災害対策要員3名にて作業を実施し、作業開始を判断してから原水槽から補助給水ピットへの補給開始まで225分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。作業環境の周囲温度は外気温度と同程度である。速やかに作業を開始できるよう、使用する資機材は可搬型大型送水ポンプ車の保管場所及び作業場所近傍に配備する。可搬型大型送水ポンプ車からの可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。補助給水ピットへの供給時に構内のアクセス状況を考慮して可搬型ホースを敷設し、移送ルートを確認する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明(ヘッドライト及び懐中電灯)を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p>(添付資料1.13.8)</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は可搬型大型送水ポンプ車起動後の運転状態の確認手順を記載している。(大飯と同様) <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【大飯】設備の相違(相違理由④) <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炉型の相違による対応手段の相違 <p>【女川】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑤)</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の「(c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給」の手順にて、比較している。 <p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の操作手順は2つあるホース敷設ルート共通の手順を記載している。(大飯と同様) <p>【女川】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、すべて屋外作業であるため、資機材の配備について記載していない。 <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、大飯の送水車を使用した手順と同様の記載としている。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ビットへの補給の記載より再掲】</p> <p>海水取水時には、可搬型ホース先端を水面より低く着底しない位置に設置することにより異物の混入を低減する。さらに可搬型ホース先端にストレーナを付けることにより、メッシュより大きな異物の混入を防止する。また、ストレーナのメッシュより小さな異物は通過するが、復水ビットへの補給に影響はない。</p> <p>(添付資料 1.13.4、1.13.5)</p> <p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ビットへの補給の記載より再掲】</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ビットの通常水位低警報が発信し、さらにNo. 3淡水タンクの水位低警報等により復水ビットへの補給ができない場合。</p> <p>また、No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給を開始した場合。</p> <p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ビットへの補給の記載より再掲】</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ビットの通常水位低警報が発信し、さらにNo. 3淡水タンクの水位低警報等により復水ビットへの補給ができない場合。</p> <p>また、No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給を開始した場合。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a)の記載より再掲】</p> <p>(a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>復水貯蔵タンクへ補給が必要な場合で、淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給が可能な場合。</p>	<p>(c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時に1次冷却材喪失事象が同時に発生していない場合若しくは1次冷却材喪失事象が同時に発生しても1次冷却材圧力が蓄圧タンク動作圧力まで急激に低下しない場合、又は炉心が損傷していない場合において、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）中に補助給水ビットの水位が低下し続け、補給が必要であることを確認した場合に、原水槽から補助給水ビットへの補給を開始した場合、又は原水槽が使用できない場合。 全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時に1次冷却材喪失事象が同時に発生し1次冷却材圧力が蓄圧タンク動作圧力まで急激に低下した場合、若しくは炉心が損傷した場合において、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）中に補助給水ビットの水位が低下し続け、補給が必要であることを確認した場合。 	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊の「(c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給」の手順にて、比較している。 <p>【女川】記載内容の相違</p> <p>炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【女川】運用の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>(女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、燃料取替用水ビットの「手順着手の判断基準」と同様であるため、記載表現を統一している。 <p>【女川】運用の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>(女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、燃料取替用水ビットの「手順着手の判断基準」と同様であるため、記載表現を統一している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>b. 操作手順 海水を用いた復水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.9図に、タイムチャートを第1.13.10図、ホース敷設ルートを第1.13.11図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき発電所対策本部長へ海水を用いた復水ピットへの補給準備を指示する。</p> <p>② 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に、海水を用いた復水ピットへの補給準備を指示する。</p> <p>③ 緊急安全対策要員は、現場で送水車、可搬型ホース等を準備し、所定の位置に配置し敷設するとともに、可搬型ホース先端にストレーナを付け、水面より低く着底しない位置に設置する。</p> <p>④ 緊急安全対策要員は、現場で復水ピット入口扉まで可搬型ホースを敷設し、補給準備が完了したことを発電所対策本部長へ報告する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>ii. 操作手順 淡水貯水槽を水源とした復水貯蔵タンクへの補給手順の概要（原子炉建屋東側に注水用ヘッダを設置する場合）は以下のとおり（原子炉建屋北側に注水用ヘッダを設置する場合の手順も同様）。概要図を第1.13-13図に、タイムチャートを第1.13-14図及び第1.13-15図に示す。</p> <p>①発電所対策本部は、プラントの被災状況に応じて、大容量送水ポンプ（タイプI）による淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）を水源とした補給及び接続口の場所を決定し、重大事故等対応要員に大容量送水ポンプ（タイプI）による淡水の供給の準備開始を指示する。</p> <p>②発電課長は、運転員（中央制御室）に淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>③運転員（中央制御室）は大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給に必要な監視計器の電源が確保されていることを状態表示にて確認する。</p> <p>④重大事故等対応要員は、指示を受けた淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）へ大容量送水ポンプ（タイプI）を移動及び設置する。</p> <p>⑤重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）の付属品を所定の場所に設置する。</p> <p>⑥重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）にホースを接続し、ミニマムフローラインを構成する。</p> <p>⑦重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプI）の付属水中ポンプにホースを接続し、付属水中ポンプを取水箇所へ設置する。</p> <p>⑧重大事故等対応要員は、ホース延長回収車で注水用ヘッダを運搬し、原子炉建屋付近に設置する。</p> <p>⑨重大事故等対応要員は、ホース延長回収車を使用し大容量送水ポンプ（タイプI）から注水用ヘッダまでのホースを敷設する。</p> <p>⑩a 復水貯蔵タンク接続口へ接続する場合 重大事故等対応要員は、復水貯蔵タンク接続口までホースを敷設、接続し、復水貯蔵タンク外部注水入口弁を全開する。</p> <p>⑩b 復水貯蔵タンク接続マンホールへ接続する場合 重大事故等対応要員は、復水貯蔵タンク上部のマンホールを開放し、ホース接続用継手の設置並びにホースの敷設及び接続を実施する。</p>	<p>ii. 操作手順 海を水源とした補助給水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.22図に、タイムチャートを第1.13.23図に、ホース敷設ルートを第1.13.41図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、災害対策要員に海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給の準備開始を指示する。</p> <p>② 災害対策要員は、現場で資機材の保管場所へ移動し、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型ホースを所定の位置に移動する。</p> <p>③ 災害対策要員は、現場で可搬型ホースを敷設し非常用炉心冷却設備配管と接続する。</p> <p>④ 災害対策要員は、現場でホース延長・回収車にて可搬型ホースを敷設する。</p> <p>⑤ 災害対策要員は、現場で海水取水箇所近傍に可搬型大型送水ポンプ車を設置する。</p> <p>⑥ 災害対策要員は、現場で可搬型大型送水ポンプ車から水中ポンプを取り出し、可搬型ホースと接続後、海水取水箇所に水中ポンプを水面より低く、かつ着底しない位置に設置する。</p> <p>⑦ 災害対策要員は、海から補助給水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【女川】記載方針の相違 ・泊の操作手順は2つあるホース敷設ルート共通の手順を記載している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 ・泊の他条文と記載表現を統一している。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑩） 【大飯】記載表現の相違 ・泊は、操作手順⑩にて補給準備完了を報告している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違 ・泊の他条文と記載表現を統一している。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑤ 当直課長は、復水ピットへの補給手段として淡水源が使用不可能なことを確認し、発電所対策本部長へ海水を用いた復水ピットへの補給開始を指示する。なお、補給開始は、No. 2淡水タンクからの補給中の場合、No. 2淡水タンクの水位低警報が発信し、さらに復水ピットの水位異常低警報が発信するまでに実施する。</p> <p>⑥ 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に、海水を用いた復水ピットへの補給開始を指示する。</p> <p>⑦ 緊急安全対策要員は、現場で送水車を起動し、海水を用いた復水ピットへの補給を開始する。</p> <p>⑧ 緊急安全対策要員は、現場で送水車の運転状態及び復水ピット水位を確認し、海水を用いた復水ピットへの補給を開始したことを発電所対策本部長へ報告する。</p> <p>⑨ 緊急安全対策要員は、現場で送水車の運転状態及び供給状態を継続して監視し、定格負荷運転時における給油間隔を目安に燃料の給油を実施する（燃料を給油しない場合、送水車は約5.4時間の運転が可能。）。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(l) a. (a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑪ 重大事故等対応要員は、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給準備完了を発電所対策本部に報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑫ 発電課長は、発電所対策本部に淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給開始を依頼する。</p> <p>⑬ 発電課長は、運転員（中央制御室）に、復水貯蔵タンク水位の監視を指示する。</p> <p>⑭ 重大事故等対応要員は、現場にて大容量送水ポンプ（タイプI）の起動及び復水貯蔵タンク補給弁の開操作を実施し、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの補給を開始し、発電所対策本部へ報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑮ 運転員（中央制御室）は、復水貯蔵タンクへの補給が開始されたことを復水貯蔵タンク水位により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑯ 発電課長は、復水貯蔵タンクの水位を維持できるよう、発電所対策本部へ大容量送水ポンプ（タイプI）の間欠運転又は現場での流量調整を依頼する。</p>	<p>⑧ 運転員（現場）Bは、現場で補助給水ピットへの補給のための系統構成を実施し、海から補助給水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑨ 発電課長（当直）は、運転員及び災害対策要員に海から補助給水ピットへの補給開始を指示する。</p> <p>⑩ 災害対策要員は、現場で可搬型大型送水ポンプ車を起動し、海から補助給水ピットへの補給を開始するとともに、可搬型大型送水ポンプ車の運転状態に異常がないことを確認し、発電課長（当直）へ報告する。</p> <p>⑪ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で補助給水ピットへの補給が開始されたことを補助給水ピット水位により確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑫ 災害対策要員は、現場で可搬型大型送水ポンプ車の運転状態及び送水状態を継続して監視し、定格負荷運転時における給油間隔を目安に燃料の補給を実施する。（燃料を補給しない場合、可搬型大型送水ポンプ車は約5.5時間の運転が可能。）</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑥） 【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【大飯】記載方針の相違 ・泊3号炉は本手順着手後、系統構成が完了次第、補給を開始するため補給開始時期については記載していない。</p> <p>【女川】記載表現の相違 ・泊は可搬型大型送水ポンプ車起動後の運転状態の確認手順を記載している。（大飯と同様） 【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【大飯】設備の相違 ・燃費は相違するが、燃料が枯渇する前に継続して燃料補給を実施する方針は、大飯と同様である。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(7) 海水を用いた復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の対応は現場にて1ユニット当たり緊急安全対策要員5名により作業を実施し、所要時間は約3.4時間と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は外気温度と同程度である。</p> <p>また、復水ピットへの補給時に構内のアクセス状況を考慮して可搬型ホースを敷設し、移送ルートを確認する。</p> <p>海水取水時には、可搬型ホース先端を水面より低く着底しない位置に設置することにより異物の混入を低減する。さらに可搬型ホース先端にストレーナを付けることにより、メッシュより大きな異物の混入を防止する。また、ストレーナのメッシュより小さな異物は通過するが、復水ピットへの補給に影響はない。</p> <p>(添付資料 1.13.4、1.13.5)</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) a. (a) 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプI)による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、復水貯蔵タンク接続口へ接続時及び復水貯蔵タンク接続マンホールへ接続時は運転員(中央制御室)1名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施し、作業開始を判断してから淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)から復水貯蔵タンクへの補給開始まで380分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。大容量送水ポンプ(タイプI)からのホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。構内のアクセスルートの状況を考慮して淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)から復水貯蔵タンクへホースを敷設し、送水ルートを確認する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明(ヘッドライト及び懐中電灯)を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p>(添付資料 1.13.3)</p>	<p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員(中央制御室)1名、運転員(現場)1名及び災害対策要員3名にて作業を実施し、作業開始を判断してから海から補助給水ピットへの補給開始まで250分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は外気温度と同程度である。速やかに作業が開始できるよう、使用する資機材は可搬型大型送水ポンプ車の保管場所及び作業場所近傍に配備する。可搬型大型送水ポンプ車からの可搬型ホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。補助給水ピットへの供給時に構内のアクセス状況を考慮して可搬型ホースを敷設し、移送ルートを確認する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明(ヘッドライト及び懐中電灯)を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p>海水取水時には、可搬型ホース先端を水面より低く着底しない位置に設置することにより異物の混入を低減する。さらに可搬型ホース先端にストレーナを付けることにより、メッシュより大きな異物の混入を防止する。また、ストレーナのメッシュより小さな異物は通過するが、補助給水ピットへの補給に影響はない。</p> <p>(添付資料 1.13.5、1.13.10)</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の操作手順は2つあるホース敷設ルート共通の手順を記載している。(大飯と同様) <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炉型の相違による対応手段の相違 <p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> (女川審査実績の反映) <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、すべて屋外作業であるため、資機材の配備について記載していない。 <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、大飯の送水車を使用した手順と同様の記載としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(5)の記載より再掲】</p> <p>(5) N o. 3淡水タンクから復水ピットへの補給 重大事故等の発生時において、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ピットの水位が低下し、補給が必要な場合、N o. 3淡水タンクから復水ピットへ補給する手順を整備する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ピットの水位が低下し、通常水位低警報が発信した際に、N o. 3淡水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>b. 操作手順 N o. 3淡水タンクから復水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.4図に、タイムチャートを第1.13.5図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等にN o. 3淡水タンクから復水ピットへの補給を指示する。</p> <p>② 運転員等は、現場でN o. 3淡水タンクから復水ピットへの補給のための系統構成を行い、水頭圧を利用した重力注水によりN o. 3淡水タンクから復水ピットへの補給を実施する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1) b. の記載より再掲】</p> <p>b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給 復水貯蔵タンクを水源とした原子炉压力容器への注水等の対応を実施している場合に、復水貯蔵タンクへの補給手段がないと復水貯蔵タンク水位が低下し、水源が枯渇するため、化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給を実施する。 化学消防自動車の水源は、耐震性防火水槽を使用する。</p> <p>(a) 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>ii. 操作手順 耐震性防火水槽を水源とした復水貯蔵タンクへの補給手順の概要は以下のとおり。 概要図を第1.13-24図に、タイムチャートを第1.13-25図に示す。 ①発電所対策本部は、プラントの被災状況に応じて、化学消防自動車による耐震性防火水槽を水源とした補給及び接続口の場所を決定し、初期消火要員（消防車隊）に化学消防自動車による淡水の供給の準備開始を指示する。 ②発電課長は、運転員（中央制御室）に耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の準備開始を指示する。 ③運転員（中央制御室）は化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給に必要な監視計器の電源が確保されていることを状態表示にて確認する。 ④初期消火要員（消防車隊）は、指示を受けた耐震性防火水槽へ化学消防自動車を移動及び設置し復水貯蔵タンクまでホースを敷設する。 ⑤初期消火要員（消防車隊）は、復水貯蔵タンク上部のマンホールを開放し、ホースの敷設及び固縛を実施する。 ⑥初期消火要員（消防車隊）は、耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給準備完了を発電所対策本部に報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p>	<p>b. 2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給 補助給水ピットを水源とした蒸気発生器への注水等の対応を実施している場合に、補助給水ピットへの補給手段がないと補助給水ピット水位が低下し、水源が枯渇するため、可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施する。</p> <p>(a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）中に補助給水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合に、2次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 2次系純水タンクを水源とした補助給水ピットへの補給手順の概要は以下のとおり。 概要図を第1.13.24図に、タイムチャートを第1.13.25図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）A及び運転員（現場）Bは、中央制御室及び現場で2次系純水タンクから補助給水ピットへの補給のための系統構成を実施し、2次系純水タンクから補助給水ピットへの補給準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④） 【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、燃料取替用水ピットの「手順着手の判断基準」と同様であるため、記載表現を統一している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） 【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため 1.13.2.1(5) No. 3淡水タンクから復水ピットへの補給の記載より再掲】</p> <p>③ 運転員等は、中央制御室で復水ピット及びNo. 3淡水タンク水位により、復水ピットへの補給に異常がないことを確認する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約15分と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 (添付資料 1.13.5)</p>	<p>【比較のため 1.13.2.2(i) b. 化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給の記載より再掲】</p> <p>⑦発電課長は、発電所対策本部に耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給開始を依頼する。 ⑧発電課長は、運転員（中央制御室）に、復水貯蔵タンク水位の監視を指示する。 ⑨初期消火要員（消防車隊）は、現場にて化学消防自動車を起動し、耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給を開始し、発電所対策本部へ報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。 ⑩運転員（中央制御室）は、復水貯蔵タンク水位により確認し、発電課長に報告する。 ⑪発電課長は、復水貯蔵タンクの水位を維持できるよう、発電所対策本部へ化学消防自動車の間欠運転又は現場での流量調整を依頼する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び初期消火要員（消防車隊）5名にて作業を実施し、作業開始を判断してから耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給開始まで65分以内で実施可能である。 円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。化学消防自動車のホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。 構内のアクセスルートの状況を考慮して耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへホースを敷設し、送水ルートを確保する。 また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を用いることで、夜間における作業性についても確保している。 (添付資料 1.13.3)</p>	<p>③ 発電課長（当直）は、運転員に2次系純水タンクから補助給水ピットへの補給開始を指示する。</p> <p>④ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で2次系純水タンクから補助給水ピットへの補給を開始し、発電課長（当直）へ報告する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で補助給水ピットへの補給が開始されたことを補助給水ピット及び2次系純水タンク水位により確認し、発電課長（当直）へ報告する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名にて作業を実施し、作業開始を判断してから2次系純水タンクから補助給水ピットへの補給開始まで25分以内で実施可能である。 円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転時と同程度である。 (添付資料 1.13.7)</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) 【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在1.13.2.2(2)b.より引用】</p> <p>b. 淡水タンクから防火水槽への補給</p> <p>防火水槽を水源として可搬型代替注水ポンプ(A-1級又はA-2級)による原子炉圧力容器への注水等の各種注水を行う場合に防火水槽の水が枯渇する前に淡水タンク(純水タンク又はろ過水タンク)の水を防火水槽へ補給する。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>防火水槽を水源として可搬型代替注水ポンプ(A-1級又はA-2級)による原子炉圧力容器への注水等の各種注水を行う場合で、淡水貯水池の水が枯渇するおそれがある場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>淡水タンク(純水タンク又はろ過水タンク)から防火水槽への補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.22図に、タイムチャートを第1.13.23図に示す。</p> <p>① 緊急時対策本部は、手順着手の判断基準に基づき、緊急時対策要員に淡水タンク(純水タンク又はろ過水タンク)から防火水槽への補給を指示する。</p> <p>② 緊急時対策要員は、淡水貯水池からの淡水貯水池大誤側第一送水ライン供給止め弁を全閉する。</p>	<p>(2) 淡水貯水槽へ水を補給するための対応手順</p> <p>重大事故等が発生した場合において、海から淡水貯水槽へ水を補給する手順を整備する。</p> <p>a. 大容量送水ポンプ(タイプII)による淡水貯水槽への補給</p> <p>淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)を水源とした大容量送水ポンプ(タイプI)による原子炉圧力容器への注水等の対応を実施している場合に、淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)が枯渇するおそれがある場合、海を水源として、大容量送水ポンプ(タイプII)及びホースを用いて、淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)への補給を実施する。</p> <p>(a) 海を水源とした大容量送水ポンプ(タイプII)による淡水貯水槽への補給</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)を水源とした大容量送水ポンプ(タイプI)による原子炉圧力容器への注水等の各種注水/補給を実施している場合に、淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)が枯渇するおそれがある場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>海を水源とした大容量送水ポンプ(タイプII)による淡水貯水槽への補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13-26図に、タイムチャートを第1.13-27図及び第1.13-28図に、海から淡水貯水槽ルート図を第1.13-33図及び第1.13-34図に示す。</p> <p>① 発電所対策本部は、プラントの被災状況に応じて、大容量送水ポンプ(タイプII)による海を水源とした淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)への補給及び海水取水箇所を決定し、重大事故等対応要員に大容量送水ポンプ(タイプII)の海水の送水の準備開始を指示する。</p> <p>②a 取水口から海水を取水する場合</p> <p>重大事故等対応要員は、指示を受けた海水取水箇所付近へ大容量送水ポンプ(タイプII)を移動させる。</p> <p>②b 海水ポンプ室から海水を取水する場合</p> <p>重大事故等対応要員は、指示を受けた海水取水箇所付近へ大容量送水ポンプ(タイプII)を移動させ、防潮壁を開放し大容量送水ポンプ(タイプII)を防潮壁内へ移動させる。</p>	<p>(3) 原水槽へ水を補給するための対応手順</p> <p>重大事故等が発生した場合において、2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽へ水を補給する手順を整備する。</p> <p>a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給</p> <p>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水等の対応を実施している場合に、原水槽が枯渇するおそれがある場合、2次系純水タンクを水源として、可搬型ホースを用いて、原水槽への補給を実施する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水等の各種注水/補給を実施している場合に、原水槽が枯渇するおそれがある場合、かつ2次系純水タンクの水位又は火災が発生しておらず、ろ過水タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.26図に、タイムチャートを第1.13.27図に、ホース敷設ルート図を第1.13.42図に示す。</p> <p>① 発電課長(当直)は、手順着手の判断基準に基づき、発電所対策本部長に2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給を依頼する。</p> <p>② 発電所対策本部長は、災害対策要員に2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給の準備開始を指示する。</p>	<p>【女川】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑥)</p> <p>【女川】記載内容の相違 対応手段の相違</p> <p>【柏崎】設備名称の相違</p> <p>【柏崎】設備名称の相違</p> <p>【柏崎】設備表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【柏崎】設備名称の相違</p> <p>【女川】設備表現の相違 ・泊は、他の補給手順と同様に補給に使用する水源の水位が確保されていることを記載し、記載表現を統一している。</p> <p>【柏崎】設備名称の相違</p> <p>【柏崎】設備名称の相違</p> <p>【柏崎】設備表現の相違 ・柏崎は、淡水貯水池から補給中であるため、補給を停止する手順を記載している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在1.13.2.2(2)b. より引用】</p> <p>③ 緊急時対策要員は、指定された淡水タンク（純水タンク又はろ過水タンク）の送水ラインにホースを接続する。</p> <p>④ 緊急時対策要員は、No.4純水タンク工事用水用隔離弁及び淡水貯水池大湊側第一送水ラインNo.4 純水タンク供給弁、又はNo.3ろ過水タンク工事用水用隔離弁及び淡水貯水池大湊側第一送水ラインNo.3ろ過水タンク供給弁を開けて、送水ラインの水張りを開始する。</p> <p>⑤ 緊急時対策要員は、送水ラインに漏えい等の異常がないことを確認する。</p> <p>⑥ 緊急時対策要員は、指定された防火水槽への送水ラインにホースを接続する。</p> <p>⑦ 緊急時対策要員は、送水ライン水張り完了後、ホースの先を防火水槽マンホールへ入れ、淡水貯水池大湊側第一送水ライン防火水槽供給弁を開けて防火水槽へ淡水タンクの水を補給する。</p>	<p>③ 重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプⅡ）の付属品を所定の場所に設置する。</p> <p>④ 重大事故等対応要員は、大容量送水ポンプ（タイプⅡ）の付属水中ポンプにホースを接続し、付属水中ポンプを海水取水箇所へ設置する。</p> <p>⑤ 重大事故等対応要員は、ホース延長回収車を使用し大容量送水ポンプ（タイプⅡ）から淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）までのホースを敷設する。</p> <p>⑥ 重大事故等対応要員は、海から淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）への補給準備完了を発電所対策本部に報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p> <p>⑦ 発電所対策本部は、重大事故等対応要員に大容量送水ポンプ（タイプⅡ）による海水の送水開始を指示する。</p> <p>⑧ 重大事故等対応要員は、現場にて大容量送水ポンプ（タイプⅡ）を起動し、海から淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）への補給を開始し、発電所対策本部へ報告する。また、発電所対策本部は発電課長へ連絡する。</p>	<p>③ 災害対策要員は、現場で資機材の保管場所へ移動し、可搬型ホースを所定の位置に移動する。</p> <p>④ 災害対策要員は、現場で可搬型ホースを敷設し、指定された2次系純水タンク又はろ過水タンクの接続口と接続する。</p> <p>⑤ 災害対策要員は、現場で可搬型ホースを原水槽マンホールまで敷設する。</p> <p>⑥ 災害対策要員は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給準備完了を発電所対策本部長に報告する。また、発電所対策本部長は発電課長（当直）へ連絡する。</p> <p>⑦ 発電所対策本部長は、災害対策要員に2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給開始を指示する。</p> <p>⑧ 災害対策要員は、現場で2次系純水タンク又はろ過水タンク排水弁を開操作により、2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給を開始する。</p> <p>⑨ 災害対策要員は、現場で原水槽の水位により、原水槽への補給が開始されたことを確認し、発電所対策本部長へ報告する。また、発電所対策本部長は発電課長（当直）へ連絡する。</p>	<p>【柏崎】記載表現の相違 ・泊の他条文と記載表現を統一している。</p> <p>【柏崎】記載表現の相違 【柏崎】設備内容の相違 ・柏崎は、配管とホースを組み合わせた流路となっており、各タンクと送水ラインの配管を接続する手順としている。</p> <p>・泊は、流路が可搬型ホースとなっており、各タンクに可搬型ホースを接続し、原水槽まで敷設する手順としている。</p> <p>【女川】記載内容の相違 対応手段の相違 【柏崎】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【柏崎】設備内容の相違 ・柏崎は、淡水タンク→ホース→送水ラインの配管→ホース→防火水槽の流路となっており、送水ラインまでの水張り完了後に防火水槽への送水ラインにホースを接続する手順としている。</p> <p>【柏崎】設備内容の相違 ・泊は、操作手順④にて可搬型ホースを敷設している。</p> <p>【女川】記載内容の相違 対応手段の相違 【柏崎】設備表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【柏崎】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p>

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在1.13.2.2(2)b.より引用】</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の操作は、緊急時対策要員2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから防火水槽に水を補給するまで約70分で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。</p> <p>また、構内のアクセスルートの状況を考慮して淡水タンクから防火水槽へホースを敷設し、送水ルートを確認する。</p>	<p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、重大事故等対応要員9名にて作業を実施し、作業開始を判断してから大容量送水ポンプ(タイプII)による淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)への補給開始まで取水口取水の場合270分以内、海水ポンプ室取水の場合295分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。大容量送水ポンプ(タイプII)からのホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。</p> <p>構内のアクセスルートの状況を考慮して海から淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)へホースを敷設し、送水ルートを確認する。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明(ヘッドライト及び懐中電灯)を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p>(添付資料1.13.3)</p>	<p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、災害対策要員3名にて作業を実施し、作業開始を判断してから2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給開始まで180分以内で実施可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。作業環境の周囲温度は外気温度と同程度である。</p> <p>また、2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給時に構内のアクセス状況を考慮して2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽へ可搬型ホースを敷設し、移送ルートを確認する。</p> <p>(添付資料1.13.9)</p>	<p>相違理由</p> <p>【柏崎】設備名称の相違 【女川】記載内容の相違 対応手段の相違 【柏崎】設備表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【柏崎、女川】記載表現の相違 大飯と同様の記載</p> <p>【柏崎】設備名称の相違 【柏崎、女川】記載表現の相違 ・泊は、大飯の送水車を使用した手順と同様の記載としている。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(3)の記載より再掲】</p> <p>(3) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替</p> <p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在1.13.2.2(1) a. (b)より引用】</p> <p>(b) 淡水貯水池を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への補給（あらかじめ敷設してあるホースが使用できる場合）</p> <p>【比較のため1.13.2.2(3) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替の記載より再掲】</p> <p>重大事故等の発生時において、早期に炉心損傷に至ると判断した場合は、炉心注水により炉心冷却を実施するが、炉心注水中に燃料取替用水ピットが枯渇又は破損により供給が必要な場合、燃料取替用水ピットから復水ピットに水源切替を行う手順を整備する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 炉心注水中に燃料取替用水ピットの枯渇又は破損を水位異常低警報等により判断した際に、復水ピットの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>b. 操作手順 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替を行う手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.14図に、タイムチャートを第1.13.15図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき発電所対策本部長へ燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備を指示する。</p> <p>② 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備を指示する。</p> <p>③ 緊急安全対策要員は、現場で燃料取替用水ピットの通水用ディスタンスピースに取替え、水源切替準備が完了したことを発電所対策本部長へ報告する。</p> <p>④ 当直課長は、運転員等に燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備を指示する。</p>	<p>1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順</p> <p>(1) 高圧炉心スプレイ系の水源地の切替え</p> <p>a. 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源の切替え</p> <p>重大事故等の収束に必要な水の供給が中断することがないよう、高圧炉心スプレイ系の水源地をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替える。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 サブプレッションプール水温度が80℃に到達した場合。</p> <p>(b) 操作手順 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源の切替手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13-29図に、タイムチャートを第1.13-30図に示す。</p> <p>①発電課長は、運転員にサブプレッションプール水の温度が80℃に到達した場合、高圧炉心スプレイ系の水源地をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替え、その後の高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認するよう指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、高圧炉心スプレイ系の水源地切替スイッチを「CST」位置にすることで、HPCSポンプCST吸込弁が全開、その後、HPCSポンプS/C吸込弁が全閉し、水源がサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替わることを確認する。また、水源切替後における高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認する。</p>	<p>1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順</p> <p>(1) 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え</p> <p>a. 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え（原子炉容器への注水中の場合）</p> <p>重大事故等の収束に必要な水の供給が中断することがないよう、代替格納容器スプレイポンプの水源地を燃料取替用水ピットから補助給水ピットへ切り替える。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 原子炉容器への注水中に燃料取替用水ピットの枯渇又は破損を水位異常低警報等により判断した際に、補助給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え（原子炉容器への注水中の場合）手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.28図に、タイムチャートを第1.13.29図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員及び災害対策要員に燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替えの準備開始を指示する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由②） 【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 【柏崎】参考にした記載として引用</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映） ・泊の比較対象は操作手順①</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(3) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替の記載より再掲】</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室及び現場で燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替及び炉心注水のための系統構成を実施する。</p> <p>⑥ 当直課長は、No. 2淡水タンクの水位低警報発信等により、燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへの水源切替ができない場合、又はNo. 2淡水タンクを使用中に、No. 2淡水タンクの水位低警報が発信するまでに、復水ピットを蒸気発生器2次側による炉心冷却の水源として使用していないことを確認し、運転員等へ燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替開始を指示する。</p> <p>⑦ 運転員等は、現場で燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替を実施する。</p> <p>⑧ 運転員等は、中央制御室で復水ピット水位等により、水源切替え後に復水ピット等に異常がないことを確認する。</p> <p>⑨ 運転員等は、中央制御室又は現場で恒設代替低圧注水ポンプ又は充てんポンプを起動し、運転状態及び復水ピット水位により復水ピット等に異常がないことを確認する。恒設代替低圧注水ポンプを起動する場合には空冷式非常用発電装置が起動していることを確認し、起動していなければ、空冷式非常用発電装置を起動後に恒設代替低圧注水ポンプを起動する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等2名及び緊急安全対策要員3名により作業を実施し、所要時間は約110分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。</p>	<p>【比較のため、川内発電所1/2号炉 技術的能力1.8まとめ資料(1.8.2.1 (1)b. (a) ii)より引用】</p> <p>④ 運転員等は、非常用高圧母線による給電が必要な場合、現場でC又はD非常用母線の受電遮断器の投入操作を実施する。</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源をサブプレッショナルチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替えるまで4分以内で可能である。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。室温は通常運転時と同程度である。</p>	<p>② 運転員（中央制御室）A、運転員（現場）B及び災害対策要員は、中央制御室及び現場で燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え及び原子炉容器への注水のための系統構成を実施し、燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>③ 発電課長（当直）は、運転員に燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え開始を指示する。</p> <p>④ 運転員（現場）Bは、現場で代替格納容器スプレイポンプを起動し、運転状態及び補助給水ピット水位により補助給水ピット等に異常がないことを確認し、発電課長（当直）に報告する。 代替格納容器スプレイポンプを起動する場合には代替非常用発電機が起動していることを確認し、起動していなければ、代替非常用発電機を起動後に代替格納容器スプレイポンプを起動する。非常用高圧母線による給電が可能な場合は、現場でA又はB-非常用高圧母線の受電遮断器の投入操作を実施する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源を燃料取替用水ピットから補助給水ピットへ切り替えるまで35分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転時と同程度である。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・泊3号炉は本手順書後、系統構成が完了次第、注水を開始するため開始時期については記載していない。</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・泊は、水源切替えの準備ですべての系統構成が完了しているため、ポンプ起動により、水源切替え開始となる。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③） 【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) 【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】記載内容の相違 ・泊は、現場での切替え操作である。</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) 【女川】記載表現の相違 操作場所の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(3) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替の記載より再掲】</p> <p>ディスタンスピース取替え等については速やかに作業ができるよう作業場所近傍に使用工具を配備する。 (添付資料1.13.6、1.13.7)</p> <p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在1.13.2.2(1)a.(c)より引用】</p> <p>(c) 淡水貯水池を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への補給（あらかじめ敷設してあるホースが使用できない場合）</p> <p>【比較のため1.13.2.3(2) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替の記載より再掲】</p> <p>重大事故等の発生時において、早期に炉心損傷に至ると判断した場合は、格納容器スプレイを実施するが、格納容器スプレイ中に燃料取替用水ピットが枯渇又は破損により供給が必要な場合、燃料取替用水ピットから復水ピットに水源切替を行う手順を整備する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 格納容器スプレイ中に燃料取替用水ピットの枯渇又は破損を水位異常低警報等により判断した際に、復水ピットの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>b. 操作手順 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替を行う手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.30図に、タイムチャートを第1.13.31図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき発電所対策本部長へ燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備を指示する。</p> <p>② 発電所対策本部長は、緊急安全対策要員に燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備を指示する。</p> <p>③ 緊急安全対策要員は、現場で燃料取替用水ピットの通水用ディスタンスピースに取替え、水源切替え準備が完了したことを発電所対策本部長へ報告する。</p> <p>④ 当直課長は、運転員等に燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備を指示する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1)a.の記載より再掲】</p> <p>a. 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源の切替え</p> <p>重大事故等の収束に必要な水の供給が中断することがないように、高圧炉心スプレイ系の水源をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替える。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 サプレッションプール水温度が80℃に到達した場合。</p> <p>(b) 操作手順 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源の切替手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13-29図に、タイムチャートを第1.13-30図に示す。</p> <p>①発電課長は、運転員にサブプレッションプール水の温度が80℃に到達した場合、高圧炉心スプレイ系の水源をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替え、その後の高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認するよう指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、高圧炉心スプレイ系の水源切替スイッチを「CST」位置にすることで、HPCSポンプCST吸込弁が全開、その後、HPCSポンプS/C吸込弁が全閉し、水源がサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替わることを確認する。また、水源切替え後における高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認する。</p>	<p>(添付資料1.13.11)</p> <p>b. 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え（原子炉格納容器内へスプレイ中の場合）</p> <p>重大事故等の収束に必要な水の供給が中断することがないように、代替格納容器スプレイポンプの水源を燃料取替用水ピットから補助給水ピットへ切り替える。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 原子炉格納容器内へのスプレイ中に燃料取替用水ピットの枯渇又は破損を水位異常低警報等により判断した際に、補助給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え（原子炉格納容器内へスプレイ中の場合）手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.30図に、タイムチャートを第1.13.31図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき運転員及び災害対策要員に燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え準備を指示する。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 【柏崎】参考にした記載として引用</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) 【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) ・泊の比較対象は操作手順①</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.3(2) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替の記載より再掲】</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室及び現場で燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替及び格納容器スプレイのための系統構成を実施する。</p> <p>⑥ 当直課長は、No. 2淡水タンクの水位低警報発信等により、燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへの水源切替ができないことを確認し、運転員等へ燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替開始を指示する。なお、水源切替開始は、No. 2淡水タンク使用中の場合、No. 2淡水タンクの水位低警報が発信するまでに実施する。</p> <p>⑦ 運転員等は、現場で燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替を実施する。</p> <p>⑧ 運転員等は、中央制御室で復水ピット水位等により、水源切替後に復水ピット等に異常がないことを確認する。</p> <p>⑨ 運転員等は、現場で恒設代替低圧注水ポンプを起動し、運転状態及び復水ピット水位により復水ピット等に異常がないことを確認する。恒設代替低圧注水ポンプを起動する場合には空冷式非常用発電装置が起動していることを確認し、起動していなければ、空冷式非常用発電装置を起動後に恒設代替低圧注水ポンプを起動する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名及び緊急安全対策要員3名により作業を実施し、所要時間は約110分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。</p> <p>ディスタンスピース取替え等については速やかに作業ができるよう作業場所近傍に使用工具を配備する。 (添付資料1.13.6、1.13.7)</p>	<p>【比較のため、川内発電所1/2号炉 技術的能力1.8まとめ資料(1.8.2.1 (i)b. (a) ii)より引用】</p> <p>④ 運転員等は、非常用高圧母線による給電が必要な場合、現場でC又はD非常用母線の受電遮断器の投入操作を実施する。</p> <p>【比較のため1.13.2.2(1) a. 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源の切替の記載より再掲】</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源をサブプレッシャンチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替えるまで4分以内で可能である。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。室温は通常運転時と同程度である。</p>	<p>② 運転員（中央制御室）A、運転員（現場）B及び災害対策要員は、中央制御室及び現場で燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え及び原子炉格納容器内へのスプレイのための系統構成を実施し、燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>③ 発電課長（当直）は、運転員に燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え開始を指示する。</p> <p>④ 運転員（現場）Bは、現場で代替格納容器スプレイポンプを起動し、運転状態及び補助給水ピット水位により補助給水ピット等に異常がないことを確認し、発電課長（当直）に報告する。代替格納容器スプレイポンプを起動する場合には代替非常用発電機が起動していることを確認し、起動していなければ、代替非常用発電機を起動後に代替格納容器スプレイポンプを起動する。非常用高圧母線による給電が可能な場合は、現場でA又はB-非常用高圧母線の受電遮断器の投入操作を実施する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源を燃料取替用水ピットから補助給水ピットへ切り替えるまで30分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転時と同程度である。</p> <p>(添付資料1.13.11)</p>	<p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】記載方針の相違 ・泊3号炉は本手順着手後、系統構成が完了次第、注水を開始するため開始時期については記載していない。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 ・泊は、水源切替の準備ですべての系統構成が完了しているため、ポンプ起動により、水源切替開始となる。</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 ・泊は、現場での切替え操作である。</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】記載表現の相違 操作場所の相違</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2(1)の記載より再掲】</p> <p>(1) 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びびほう酸タンクへの水源切替</p> <p>重大事故等の発生時において、早期に炉心損傷に至ると判断した場合は炉心注水により炉心冷却を実施するが、炉心注水中に燃料取替用水ピットが枯渇又は破損により供給が必要な場合、燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びびほう酸タンクに水源切替を行う手順を整備する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 炉心注水中に燃料取替用水ピットの枯渇又は破損を水位異常低警報等により判断した際に、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>b. 操作手順 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びびほう酸タンクへの水源切替手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.13図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びびほう酸タンクへの水源切替を指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室で1次系純水タンク供給弁及びびほう酸タンク供給弁を開操作し、燃料取替用水ピット供給弁を閉操作することで、水源切替を実施する。</p> <p>③ 運転員等は、中央制御室で1次系純水タンク及びびほう酸タンク水位により、水源切替後に1次系純水タンク及びびほう酸タンクに異常がないことを確認する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約10分と想定する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1)の記載より再掲】</p> <p>(1) 高圧炉心スプレイ系の水源地の切替え</p> <p>a. 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源地の切替え 重大事故等の収束に必要な水の供給が中断することがないよう、高圧炉心スプレイ系の水源地をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替える。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 サブプレッションプール水温度が80℃に到達した場合。</p> <p>(b) 操作手順 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源地の切替手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13-29図に、タイムチャートを第1.13-30図に示す。</p> <p>① 発電課長は、運転員にサブプレッションプール水の温度が80℃に到達した場合、高圧炉心スプレイ系の水源地をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替え、その後の高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認するよう指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、高圧炉心スプレイ系の水源地切替スイッチを「CST」位置にすることで、HPCSポンプCST吸込弁が全開、その後、HPCSポンプS/C吸込弁が全閉し、水源地がサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替わることを確認する。また、水源切替後における高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認する。</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源地をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替えるまで4分以内で可能である。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。室温は通常運転時と同程度である。</p>	<p>(2) 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びびほう酸タンクへの切替え</p> <p>a. 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びびほう酸タンクへの切替え 重大事故等の収束に必要な水の供給が中断することがないよう、充てんポンプの水源地を燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びびほう酸タンクへ切り替える。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 原子炉容器への注水中に燃料取替用水ピットが枯渇又は破損を水位異常低警報等により判断した際に、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びびほう酸タンクへの切替え手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.32図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びびほう酸タンクへの切替を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次系純水タンク供給弁及びびほう酸タンク供給弁を開操作し、燃料取替用水ピット供給弁を閉操作することで、水源切替を実施する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次系純水タンク及びびほう酸タンク水位により、水源切替後に1次系純水タンク及びびほう酸タンクに異常がないことを確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源地を燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びびほう酸タンクへ切り替えるまで10分以内で可能である。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。室温は通常運転時と同程度である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 ・泊は、他手順と記載表現を統一した。</p> <p>【大飯】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1(1)の記載より再掲】</p> <p>(1) 復水ピットからNo. 3淡水タンクへの水源切替</p> <p>重大事故等の発生時において、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ピットが枯渇又は破損により機能喪失した場合、復水ピットからNo. 3淡水タンクへの水源切替を行う手順を整備する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水ピットの枯渇又は破損を水位異常低警報等により判断した際に、復水ピット水位計指示値が低下し補助給水ポンプ吸込管が露出する水位5.9%となるまでに、No. 3淡水タンクの水位が確保されており、使用できることを確認した場合。</p> <p>b. 操作手順 復水ピットからNo. 3淡水タンクへの水源切替手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.13.2図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に復水ピットからNo. 3淡水タンクへの水源切替を指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室でNo. 3淡水タンク供給弁を開操作し、復水ピット供給弁を閉操作することで、水源切替を実施する。</p> <p>③ 運転員等は、中央制御室でNo. 3淡水タンク水位等により、水源切替後にNo. 3淡水タンク等に異常がないことを確認する。</p>	<p>【比較のため1.13.2.2(1)の記載より再掲】</p> <p>(1) 高圧炉心スプレイ系の水源地の切替え</p> <p>a. 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源地の切替え 重大事故等の収束に必要な水の供給が中断することがないよう、高圧炉心スプレイ系の水源地をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替える。</p> <p>【記載表現の参考とした、高浜発電所 設置変更許可申請書（3，4号炉完本）令和3年5月現在1.13.2.1(1)a.より引用】</p> <p>a. 手順着手の判断基準 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に復水タンク水位計指示値が低下し補助給水ポンプ吸込管が露出する水位3.6%となるまでに、又は復水タンクが枯渇、破損等により機能喪失した場合に、2次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>【比較のため1.13.2.2(1)の記載より再掲】</p> <p>(b) 操作手順 高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水時の水源地の切替手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13-29図に、タイムチャートを第1.13-30図に示す。</p> <p>① 発電課長は、運転員にサブプレッションプール水の温度が80℃に到達した場合、高圧炉心スプレイ系の水源地をサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替え、その後の高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認するよう指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、高圧炉心スプレイ系の水源地切替スイッチを「CST」位置にすることで、HPCS ポンプ CST 吸込弁が全開、その後、HPCS ポンプ S/C 吸込弁が全閉し、水源がサブプレッションチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替わることを確認する。また、水源切替後における高圧炉心スプレイ系の運転状態に異常がないことを確認する。</p>	<p>(3) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプの水源地の切替え</p> <p>a. 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源地の切替え 重大事故等の収束に必要な水の供給が中断することがないよう、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプの水源地を補助給水ピットから2次系純水タンクへ切り替える。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）中に補助給水ピット水位が低下し補助給水ピット水位異常低警報設定値水位である3%となるおそれがある場合、又は補助給水ピットが枯渇又は破損により機能喪失した場合に、2次系純水タンクの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源地の切替え手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.13.33図に、タイムチャートを第1.13.34図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプの水源地の切替えを指示する。</p> <p>② 運転員（現場）Bは、現場で2次系純水タンク供給弁を開操作し、補助給水ピット供給弁を閉操作することで、水源切替を実施する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で2次系純水タンク水位等により、水源切替後に2次系純水タンク等に異常がないことを確認し、発電課長（当直）に報告する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑧）</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため 1.13.2.1(1) 復水ピットからNo. 3 淡水タンクへの水源切替の記載より再掲】</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約3分と想定する。</p>	<p>【比較のため 1.13.2.2(1) 高圧炉心スプレイ系の水源の切替の記載より再掲】</p> <p>(c) 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源をサブプレッショントンチェンバから復水貯蔵タンクへ切り替えるまで4分以内で可能である。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。室温は通常運転時と同程度である。</p> <p>(2) 淡水から海水への切替え a. 復水貯蔵タンクへ補給する水源の切替え 重大事故等の収束に必要な水の供給が中断することがないように、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）から復水貯蔵タンクへの淡水の供給が継続できない場合は淡水補給から海水補給へ切り替える。 復水貯蔵タンクへの淡水補給から海水補給への水源の切替えは、大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）への海水補給を行うことにより切替操作を行わず大容量送水ポンプ（タイプI）による淡水送水から海水送水へ切り替える。 大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）への海水補給は、「1.13.2.2(2)a. 大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給」の手順にて整備する。</p> <p>(3) 外部水源から内部水源への切替え 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に内部水源（サブプレッショントンチェンバ）を水源とした高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができない場合は、主蒸気逃がし安全弁による発電用原子炉の減圧を実施し、外部水源（復水貯蔵タンク）を水源とした低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への各種注水を行うが、その後、事故収束に必要な対応として、外部水源（復水貯蔵タンク）から内部水源（サブプレッショントンチェンバ）への切替えを行う。 a. 外部水源（復水貯蔵タンク）から内部水源（サブプレッショントンチェンバ）への切替え 有効性評価において想定する事故シナリオグループ</p>	<p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから水源を補助給水ピットから2次系純水タンクへ切り替えるまで40分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 （添付資料 1.13.6）</p>	<p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 ・泊は、現場での切替え操作である。 【女川】記載表現の相違 操作場所の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑨） ・泊3号炉の補助給水ピットから2次系純水タンクへの水源切替操作は現場作業を伴うため、作業の成立性について記載している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>等である格納容器破損モード「雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破損）」発生時の事故の収束に必要な対応として、外部水源（復水貯蔵タンク）から内部水源（サブプレッションチェンバ）へ水源を切り替える。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>炉心損傷時、外部水源（復水貯蔵タンク）を使用した低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水を実施している状態において代替循環冷却系が使用可能な場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>外部水源（復水貯蔵タンク）から内部水源（サブプレッションチェンバ）への切替手順の概要は以下のとおり。</p> <p>なお、内部水源（サブプレッションチェンバ）を使用した代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水及び原子炉格納容器内の除熱手順については、「1.4.2.1(3)a. (b) 代替循環冷却系による残存熔融炉心の冷却」、「1.7.2.1(1)a. 代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱」及び「1.8.2.2(1)c. 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水」にて整備する。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員（中央制御室）A に外部水源（復水貯蔵タンク）を使用した低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水手段から、内部水源（サブプレッションチェンバ）を使用した代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水及び原子炉格納容器内の除熱手段へ切り替えるため、代替循環冷却ポンプの起動を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）A は、内部水源（サブプレッションチェンバ）を使用した代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水及び原子炉格納容器内の除熱が開始されたこと及び復水移送ポンプを停止したことを発電課長に報告する。</p> <p>(c) 操作の成立性</p> <p>内部水源（サブプレッションチェンバ）を使用した代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水及び原子炉格納容器内の除熱操作の成立性については、「1.13.2.1(2)d. (a) サプレッションチェンバを水源とした代替循環冷却系による残存熔融炉心の冷却」、「1.13.2.1(2)d. (b) サプレッションチェンバを水源とした代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱」及び「1.13.2.1(2)d. (c) サプレッションチェンバを水源とした代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水」にて整備する。</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.13.2.4 その他の手順項目について考慮する手順 大容量送水ポンプ（タイプⅠ）による各接続口から注水等が必要な箇所までの手順については、「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」、「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」、「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」及び「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて、それぞれ整備する。</p> <p>海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプⅠ）又は大容量送水ポンプ（タイプⅡ）による各接続口等から水の供給が必要な設備までの手順については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」及び「1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」にて、それぞれ整備する。</p> <p>中央制御室監視計器類への電源供給手順並びに常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、大容量送水ポンプ（タイプⅠ）及び大容量送水ポンプ（タイプⅡ）への燃料補給に関する手順については、「1.14 電源確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>操作の判断、確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」にて整備する。</p> <p>1.13.2.5 重大事故等時の対応手段の選択 重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。 対応手段の選択フローチャートを第1.13-31 図及び第1.13-32 図に示す。</p>	<p>1.13.2.4 その他の手順項目について考慮する手順 大容量送水ポンプ（タイプⅠ）による各接続口から注水等が必要な箇所までの手順については、「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」、「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」、「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」、「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」及び「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて、それぞれ整備する。</p> <p>海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車又は可搬型大容量海水送水ポンプ車による水の供給が必要な設備までの手順については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」及び「1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」にて、それぞれ整備する。</p> <p>代替非常用発電機の代替電源に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「代替非常用発電機による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。</p> <p>代替非常用発電機、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「燃料の補給手順」にて整備する。</p> <p>操作の判断、確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>1.13.2.5 重大事故等時の対応手段の選択 重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。 対応手段の選択フローチャートを第1.13.43 図、第1.13.44 図及び第1.13.45 図に示す。</p>	<p>1.13.2.4 その他の手順項目について考慮する手順 可搬型大型送水ポンプ車による注水等が必要な箇所までの手順については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」、「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」、「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」、「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」及び「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて、それぞれ整備する。</p> <p>代替非常用発電機の代替電源に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「代替非常用発電機による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。</p> <p>代替非常用発電機、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給に関する手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「燃料の補給手順」にて整備する。</p> <p>操作の判断、確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>1.13.2.5 重大事故等時の対応手段の選択 重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。 対応手段の選択フローチャートを第1.13.43 図、第1.13.44 図及び第1.13.45 図に示す。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違 【女川】記載表現の相違 ・女川は、大容量送水ポンプ（タイプⅠ）又は大容量送水ポンプ（タイプⅡ）による対応手段のうち、屋外作業を「1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等」にて整備し、屋内作業については技術的能力の各条文中に整備している。 ・泊は、可搬型大型送水ポンプ車による対応手段のうち、水源へ水を補給するための対応手段を「1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等」にて整備し、水源の利用した対応手段については技術的能力の各条文中に整備している。</p> <p>【女川】 記載表現の相違（リンク先の明確化）</p> <p>【女川】 記載表現の相違（リンク先の明確化） 【大飯】記載方針の相違（相違理由①）</p> <p>【女川】 記載表現の相違（リンク先の明確化）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>(9) 優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給手段として、以上の手段を用いて、重大事故等の収束に必要な十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>復水ピットの枯渇又は破損が発生し水源として使用不可能な場合の供給については、短時間で復水ピットの代替水源として確保できることから、No.3淡水タンクを優先して使用することとし、No.3淡水タンクの水位が低下すれば、A、B2次系純水タンクを用いたNo.3淡水タンクへの補給を実施する。復水ピットからNo.3淡水タンクへ切り替える際には補助給水ポンプを停止することなく切替えを行う。</p> <p>次にNo.3淡水タンクが水源として使用不可能な場合については、脱気器タンクを水源とした蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中には、すべての水源が使用不可能で蒸気発生器水位が低下した場合には、1次冷却系のフィードアンドブリードを行う。</p>	<p>(1) 水源を利用した対応手段</p> <p>重大事故等時には、原子炉圧力容器への注水、原子炉格納容器内の冷却等の復水貯蔵タンク又はサブプレッションチェンバを水源とした対応手段を実施するため、必要となる十分な量の水を復水貯蔵タンク又はサブプレッションチェンバに確保する。</p> <p>復水貯蔵タンク又はサブプレッションチェンバを水源とした注水が実施できない場合は、ろ過水タンクを水源としてろ過水ポンプによる原子炉圧力容器等へ注水を実施する。</p> <p>ろ過水タンクを水源としてろ過水ポンプによる原子炉圧力容器等へ注水が実施できない場合は、淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による原子炉圧力容器等へ注水を実施する。</p> <p>淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による原子炉圧力容器等への注水が実施できない場合は、淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による原子炉圧力容器等へ注水を実施する。</p> <p>淡水タンクを水源とした注水が実施できない場合は、海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による原子炉圧力容器等へ注水を実施する。</p>	<p>(1) 水源を利用した対応手段</p> <p>a. 蒸気発生器への注水に利用する水源の優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）のための代替手段として、以上の手段を用いて、重大事故等の収束に必要な十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>補助給水ピットの枯渇又は破損が発生し水源として使用不可能な場合の供給については、中央制御室で操作可能な脱気器タンクを水源とした蒸気発生器への注水を行うとともに、現場にて容易に実施可能な補助給水ピットから2次系純水タンクへの水源切替の準備を開始する。2次系純水タンクへの水源切替の準備が完了すれば、脱気器タンクを水源とした蒸気発生器への注水を停止し、2次系純水タンクを水源とした蒸気発生器への注水を行う。補助給水ピットから2次系純水タンクへ切り替える際には補助給水ポンプを停止することなく切替えを行う。</p> <p>補助給水ピットから海、代替給水ピット又は原水槽への水源切替は、可搬型大型送水ポンプ車の使用準備に時間を要することから、補助給水ピットが水源として使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の水源切替の手段がなければ使用する。水源の切替による注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）中には、すべての水源が使用不可能で蒸気発生器水位が低下した場合には、1次冷却系のフィードアンドブリードを行う。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯、女川】記載表現の相違 ・泊は、蒸気発生器への注水時と原子炉容器への注水及び原子炉格納容器内へのスプレイ時で、使用する水源や優先順位が異なるため、島根2号炉及び東海第二の「1.13.2.5 重大事故等時の対応手段の選択」の記載を参考に、資料構成を見直し、記載している。以降、同様の相違理由の記載は省略する。</p> <p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】設備の相違 ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は複数の水源を選択できることから、可搬型大型送水ポンプ車を使用する場合の水源の優先順位を記載。</p> <p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>また、復水ピットが使用可能であり、枯渇するおそれがある場合については、短時間で復水ピットの代替給水として確保できることから、No. 3淡水タンクを優先して使用する。</p> <p>No. 3淡水タンクが使用不可能であれば、No. 2淡水タンクを水源とする消火設備から復水ピットへの補給を実施するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。</p> <p>これらのタンク等の水量は有限であるが、補給開始後、引き続き次の水源からの補給準備を開始することで、水源が枯渇しないようにし、最終的には海水に水源を切り替えることで水の供給が中断することなく、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を確保する。</p> <p>なお、海水を使用する際の取水箇所及び敷設ルートは、複数設定したルートのうち、現場の状況を確認し、アクセス性の良いルートを優先する。</p> <p>また、淡水又は海水を復水ピットへ補給することにより、継続的な蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）を成立させるため、復水ピットの保有水量を1,035m³以上に管理する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第1.13.12図に示す。</p>		<p>また、補助給水ピットが使用可能であり、枯渇するおそれがある場合については、短時間で補助給水ピットの代替水源として確保できることから、交流電源が健全である場合は2次系純水タンクを優先して使用する。</p> <p>なお、海水を使用する際の取水箇所及び敷設ルートは、複数設定したルートのうち、現場の状況を確認し、アクセス性の良いルートを優先する。</p> <p>また、淡水又は海水を補助給水ピットへ補給することにより、継続的な蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）を成立させるため、補助給水ピットの保有水量を570m³以上に管理する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第1.13.43図に示す。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料1.13.27)</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑩）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑩）</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・水源への補給に関する記載は、泊の記載箇所「(2) 水源へ水を補給するための対応手段」にて再掲し、比較している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑩）</p> <p>【大飯】設備の相違 ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は複数の水源を選択できることから、可搬型大型送水ポンプ車を使用する場合の水源選択に係る方針を当該添付資料に整理している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>(11) 優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給手段として、以上の手段を用いて、重大事故等の収束に必要な十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損が発生し水源として使用不可能な場合については、燃料取替用水ピットからの水源切替を実施し、ほう酸水であり、早期に燃料取替用水ピットの代替水源として使用可能であることから、1次系純水タンク及びほう酸タンクを優先して使用する。次にほう酸タンクの破損等によりほう酸補給系が使用不可能である場合は、燃料取替用水ピットからNo.2淡水タンクへ水源切替を実施するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。次に燃料取替用水ピットから復水ピットへ水源切替を実施する。</p> <p>なお、復水ピットを水源として使用すると判断した場合は、復水ピットへの補給準備を並行して実施する。</p>		<p>b. 原子炉容器への注水に利用する水源の優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、原子炉容器への注水のための代替手段として、以上の手段を用いて、重大事故等の収束に必要な十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損が発生し水源として使用不可能な場合については、燃料取替用水ピットからの水源切替を実施し、ほう酸水であり、早期に燃料取替用水ピットの代替水源として使用可能であることから、1次系純水タンク及びほう酸タンクを優先して使用する。次にほう酸タンクの破損等によりほう酸補給系が使用不可能である場合は、燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替を実施する。次に補助給水ピットの破損等により補助給水ピットへの水源切替が不可能な場合は、燃料取替用水ピットからる過水タンクへ水源切替を実施する。ただし、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>なお、燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替を実施する場合は、補助給水ピットへの補給準備を並行して実施する。</p> <p>海、代替給水ピット又は原水槽への水源切替は、準備に時間を要することから、補助給水ピットへの水源切替が不可能な場合に準備を開始し、準備が整った時点で他の水源切替の手段がなければ、海、代替給水ピット又は原水槽へ水源切替を実施する。水源の切替による注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。</p> <p>なお、海水を使用する際の取水箇所及び敷設ルートは、複数設定したルートのうち、現場の状況を確認し、アクセス性の良いルートを優先する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違</p> <p>・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は複数の水源を選択できることから、可搬型大型送水ポンプ車を使用する場合の水源の優先順位を記載。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>燃料取替用水ピットが水源として使用可能な場合については燃料取替用水ピットへの補給を実施し、ほう酸水であり、早期に燃料取替用水ピットの代替水源として使用可能であることから、1次系純水タンク及びほう酸タンクを優先して使用する。次にほう酸タンクの破損等によりほう酸補給系が使用不可能で1次系純水タンクが使用可能である場合は、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。次に1次系純水タンクが使用不可能であれば、No.3淡水タンクを使用済燃料ピットを経由させて燃料取替用水ピットへ補給する。次にNo.2淡水タンクを水源とする消火設備による補給を実施するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。次に復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。</p> <p>なお、復水ピットの水を燃料取替用水ピットへ供給すると判断した場合は、復水ピットへの補給準備を並行して実施する。</p> <p>これらのタンク等の水量は有限であるが、当初選択した水源からの供給準備が完了後、引き続き次の水源からの供給準備を開始することで、水源が枯渇しないように、最終的には海水から取水することで水の供給が中断することなく、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を確保する。</p> <p>また、淡水を燃料取替用水ピットへ補給すること及び可搬式代替低圧注水ポンプによる海水注水により、継続的な炉心注水及び代替炉心注水を成立させるため、燃料取替用水ピットの保有水量を1,860m³以上に管理する。</p> <p>以上の炉心注水時に使用する水源に係る手順のフローチャートを第1.13.29図に示す。</p>		<p>なお、海水を使用する際の取水箇所及び敷設ルートは、複数設定したルートのうち、現場の状況を確認し、アクセス性の良いルートを優先する。</p> <p>また、淡水又は海水を燃料取替用水ピットへ補給すること及び可搬式大型送水ポンプ車による淡水又は海水の注水により、継続的な炉心注水及び代替炉心注水を成立させるため、燃料取替用水ピットの保有水量を1,700m³以上に管理する。</p> <p>以上の原子炉容器への注水時に使用する水源に係る手順のフローチャートを第1.13.44図に示す。 (添付資料1.13.27)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水源へ水を補給するための対応手段の記載は、泊の記載箇所「(2) 水源へ水を補給するための対応手段」にて再掲し、比較している。 <p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑥)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉の代替給水ピットは、高台(T.P.約31m)に設置していることから、原水槽(T.P.約10m)へのアクセスに時間を要する場合に代替給水ピットを優先して使用する。 <p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑤)</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由④)</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉の可搬式大型送水ポンプ車は複数の水源を選択できることから、可搬式大型送水ポンプ車を使用する場合の水源選択に係る方針を当該添付資料に整理している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.3格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>(10) 優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給手段として、以上の手段を用いて、重大事故等の収束に必要な十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損が発生し水源として使用不可能な場合については、早期に燃料取替用水ピットの代替水源として使用可能であることから、燃料取替用水ピットからNo.2淡水タンクへの水源切替を優先するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。次に燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替を実施する。</p> <p>なお、復水ピットを水源として使用すると判断した場合は、復水ピットへの補給準備を並行して実施する。</p> <p>燃料取替用水ピットが水源として使用可能な場合については燃料取替用水ピットへの補給を実施し、ほう酸水であり、早期に燃料取替用水ピットの代替水源として使用可能であることから、1次系純水タンク及びほう酸タンクを優先して使用する。次にほう酸タンクの破損等によりほう酸補給系が使用不可能で1次系純水タンクが使用可能である場合は、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。1次系純水タンクが使用不可能であれば次にNo.3淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。次にNo.2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給を実施するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。次に復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。</p> <p>なお、復水ピットの水を燃料取替用水ピットへ供給すると判断した場合は、復水ピットへの補給準備を並行して実施する。</p>		<p>c. 原子炉格納容器内へのスプレイに利用する水源の優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、原子炉格納容器内へのスプレイのための代替手段として、以上の手段を用いて、重大事故等の収束に必要な十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損が発生し水源として使用できない場合については、燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替を実施する。次に補助給水ピットの破損等により補助給水ピットへの水源切替が不可能な場合は、燃料取替用水ピットからろ過水タンクへ水源切替を実施する。ただし、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>なお、燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替を実施する場合は、補助給水ピットへの補給準備を並行して実施する。</p> <p>海、代替給水ピット又は原水槽への水源切替は、準備に時間を要することから、補助給水ピットへの水源切替が不可能な場合に準備を開始し、準備が整った時点で他の水源切替の手段がなければ、海、代替給水ピット又は原水槽へ水源切替を実施する。水源の切替による注水の中絶が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間の最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大阪】運用の相違（相違理由④）</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】設備の相違 ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は複数の水源を選択できることから、可搬型大型送水ポンプ車を使用する場合の水源の優先順位を記載。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・大阪は、水源へ水を補給するための対応手段の記載が炉心注水中と同様であるため、泊の記載箇所「(2) 水源へ水を補給するための対応手段」にて1.13.2.2(11)優先順位を再掲し、比較している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>これらのタンク等の水量は有限であるが、当初選択した水源からの供給準備が完了後、引き続き次の水源からの供給準備を開始することで、水源が枯渇しないように、最終的には海水から取水することで水の供給が中断することなく、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を確保する。</p> <p>【比較のため1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>また、淡水を燃料取替用水ピットへ補給すること及び可搬式代替低圧注水ポンプによる海水注水により、継続的な格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイを成立させるため、燃料取替用水ピットの保有水量を1,860m³以上に管理する。</p> <p>以上の格納容器スプレイ時に使用する水源に係る手順のフローチャートを第1.13.32図に示す。</p> <p>【比較のため1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>(11) 優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給手段として、以上の手段を用いて、重大事故等の収束に必要な十分な量の水の確保を図る。</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>(2) 水源へ水を補給するための対応手段</p> <p>a. 復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>復水貯蔵タンクを水源として、原子炉圧力容器への注水等の各種注水時において、純水補給水系が使用可能な場合は、純水タンクを水源として純水移送ポンプにより復水貯蔵タンクへ補給する。</p> <p>純水補給水系が使用できない場合は、淡水貯水槽 (No. 1) 及び淡水貯水槽 (No. 2) を水源として、大容量送水ポンプ (タイプ I) により復水貯蔵タンクへ補給する。</p> <p>淡水貯水槽 (No. 1) 及び淡水貯水槽 (No. 2) が使用できない場合で淡水タンクが使用可能な場合は、淡水タンクを水源として、大容量送水ポンプ (タイプ I) により復水貯蔵タンクへ補給する。</p> <p>淡水タンクが使用できない場合は、海を水源として、大</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>なお、海水を使用する際の取水箇所及び敷設ルートは、複数設定したルートのうち、現場の状況を確認し、アクセス性の良いルートを優先する。</p> <p>また、淡水又は海水を燃料取替用水ピットへ補給すること及び可搬型大型送水ポンプ車による淡水又は海水の注水により、継続的な格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイを成立させるため、燃料取替用水ピットの保有水量を1,700m³以上に管理する。</p> <p>以上の原子炉格納容器内へのスプレイ時に使用する水源に係る手順のフローチャートを第1.13.45図に示す。 (添付資料 1.13.27)</p> <p>(2) 水源へ水を補給するための対応手段</p> <p>a. 燃料取替用水ピットへの補給に利用する水源の優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、燃料取替用水ピットへの供給手段として、以上の手段を用いて、重大事故等の収束に必要な十分な量の水の確保を図る。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>・大飯は、水源へ水を補給するための対応手段の記載が炉心注水中と同様であるため、泊の記載箇所「(2) 水源へ水を補給するための対応手段」にて1.13.2.2(11)優先順位を再掲し、比較している。</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑥)</p> <p>・泊3号炉の代替給水ピットは、高台 (T.P.約31m) に設置していることから、原水槽 (T.P.約10m) へのアクセスに時間を要する場合に代替給水ピットを優先して使用する。</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑥)</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑦)</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由④)</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違</p> <p>・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は複数の水源を選択できることから、可搬型大型送水ポンプ車を使用する場合の水源選択に係る方針を当該添付資料に整理している。</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損が発生し水源として使用不可能な場合については、燃料取替用水ピットからの水源切替えを実施し、ほう酸水であり、早期に燃料取替用水ピットの代替水源として使用可能であることから、1次系純水タンク及びほう酸タンクを優先して使用する。次にほう酸タンクの破損等によりほう酸補給系等が使用不可能である場合は、燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへ水源切替えを実施するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。次に燃料取替用水ピットから復水ピットへ水源切替えを実施する。</p> <p>なお、復水ピットを水源として使用すると判断した場合は、復水ピットへの補給準備を並行して実施する。</p> <p>燃料取替用水ピットが水源として使用可能な場合については燃料取替用水ピットへの補給を実施し、ほう酸水であり、早期に燃料取替用水ピットの代替水源として使用可能であることから、1次系純水タンク及びほう酸タンクを優先して使用する。次にほう酸タンクの破損等によりほう酸補給系が使用不可能で1次系純水タンクが使用可能である場合は、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。次に1次系純水タンクが使用不可能であれば、No. 3淡水タンクを使用済燃料ピットを経由させて燃料取替用水ピットへ補給する。次にNo. 2淡水タンクを水源とする消火設備による補給を実施するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。次に復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。</p> <p>なお、復水ピットの水を燃料取替用水ピットへ供給すると判断した場合は、復水ピットへの補給準備を並行して実施する。</p>	<p>容量送水ポンプ（タイプI）により復水貯蔵タンクへ補給する。</p> <p>大容量送水ポンプ（タイプI）が使用できない場合は、耐震性防火水槽を水源として、化学消防自動車により復水貯蔵タンクへ補給する。</p>	<p>燃料取替用水ピットが水源として使用可能な場合については燃料取替用水ピットへの補給を実施し、ほう酸水であり、早期に燃料取替用水ピットの代替水源として使用可能であることから、1次系純水タンク及びほう酸タンクを優先して使用する。次にほう酸タンクの破損等によりほう酸補給系が使用不可能で1次系純水タンクが使用可能である場合は、1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給を実施する。次に1次系純水タンクが使用不可能であれば、2次系純水タンクから使用済燃料ピットを経由させて燃料取替用水ピットへ補給する。次にろ過水タンクを水源とする消火設備による補給を実施する。ただし、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>炉心損傷防止が図れる場合において、燃料取替用水ピットへの補給に使用する可搬型大型送水ポンプ車は、有効性評価における必要注水流量を十分上回る送水能力を有しているため、燃料取替用水ピットに十分な水量を確保することで淡水から海水に水源を切り替えるための時間を確保することが可能であることから、淡水を優先して使用する。</p> <p>なお、淡水を補給中に事象が進展し炉心損傷に至った場合においても、淡水補給開始時点から海を水源とするための準備を開始していること、並びに淡水補給により燃料取替用水ピットに十分な水量を確保することで淡水から海水に水源を切替えるための時間を確保することが可能である。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>・水源を利用した対応手段の記載は、泊の記載箇所「(1) 水源を利用した対応手段」にて再掲し、比較している。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑥）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>これらのタンク等の水量は有限であるが、当初選択した水源からの供給準備が完了後、引き続き次の水源からの供給準備を開始することで、水源が枯渇しないように、最終的には海水から取水することで水の供給が中断することなく、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を確保する。</p> <p>また、淡水を燃料取替用水ピットへ補給すること及び可搬式代替低圧注水ポンプによる海水注水により、継続的な炉心注水及び代替炉心注水を成立させるため、燃料取替用水ピットの保有水量を1,860m³以上に管理する。</p> <p>以上の炉心注水時に使用する水源に係る手順のフローチャートを第1.13.29図に示す。</p>		<p>原水槽から燃料取替用水ピットへの補給は、準備に時間を要することから、燃料取替用水ピットへの補給が必要であると判断した場合に準備を開始する。保有水量が大きい原水槽を優先して使用するが、原水槽近傍へのアクセスに時間を要する場合は、代替給水ピットを優先して使用する。すべての淡水源が使用できない場合には海水を用いる。</p> <p>原水槽の水量は有限であるが、当初選択した水源からの送水準備が完了後、引き続き次の水源からの送水準備を開始することで、水源が枯渇しないように、最終的には海から取水することで水の供給が中断することなく、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を確保する。</p> <p>炉心損傷に至るおそれがある場合又は炉心が損傷した場合は、運転員及び災害対策要員の被ばく低減、作業時間の短縮等の観点から、淡水使用の可否を判断するための状況確認等を実施せずに最優先に海水を使用する。</p> <p>海水を用いた燃料取替用水ピットへの補給は、準備に時間を要することから、燃料取替用水ピットへの補給が必要であると判断した場合に準備を開始する。海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合は、準備時間が最も短い代替給水ピットを優先して使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。</p> <p>なお、海水を使用する際の取水箇所及び敷設ルートは、複数設定したルートのうち、現場の状況を確認し、アクセス性の良いルートを優先する。</p> <p>また、淡水又は海水を燃料取替用水ピットへ補給すること及び可搬型大型送水ポンプ車による淡水又は海水の注水により、継続的な炉心注水及び代替炉心注水を成立させるため、燃料取替用水ピットの保有水量を1,700m³以上に管理する。</p> <p>以上の使用する水源に係る手順のフローチャートを第1.13.44図及び第1.13.45図に示す。 (添付資料1.13.27)</p>	<p>【大飯】運用の相違（相違理由⑥） 【大飯】設備の相違（相違理由⑥） 【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥） 【大飯】設備の相違（相違理由⑤） 【大飯】記載表現の相違 【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川審査実績の反映) 【大飯】設備の相違 ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は複数の水源を選択できることから、可搬型大型送水ポンプ車を使用する場合の水源選択に係る方針を当該添付資料に整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>(9) 優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給手段として、以上の手段を用いて、重大事故等の収束に必要なとなる十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>復水ピットの枯渇又は破損が発生し水源として使用不可能な場合の供給については、短時間で復水ピットの代替水源として確保できることから、No. 3淡水タンクを優先して使用することとし、No. 3淡水タンクの水位が低下すれば、A、B2次系純水タンクを用いたNo. 3淡水タンクへの補給を実施する。復水ピットからNo. 3淡水タンクへ切り替える際には補助給水ポンプを停止することなく切替えを行う。</p> <p>次にNo. 3淡水タンクが水源として使用不可能な場合については、脱気器タンクを水源とした蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）中に、すべての水源が使用不可能で蒸気発生器水位が低下した場合には、1次冷却系のフィードアンドブリードを行う。</p> <p>また、復水ピットが使用可能であり、枯渇するおそれがある場合については、短時間で復水ピットの代替水源として確保できることから、No. 3淡水タンクを優先して使用する。</p> <p>No. 3淡水タンクが使用不可能であれば、No. 2淡水タンクを水源とする消火設備から復水ピットへの補給を実施するが、構内で火災が発生している場合において消火設備は、重大事故等時の対応よりも消火活動に優先して使用する。</p>	<p>b. 淡水貯水槽への補給</p> <p>淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による原子炉圧力容器への注水等において、淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）が枯渇しないように、大容量送水ポンプ（タイプII）により、海からの補給を実施する。</p> <p>海から淡水貯水槽（No. 1）及び淡水貯水槽（No. 2）への補給は、取水口からの取水を優先し、取水口が使用できない場合には、海水ポンプ室から取水する。</p>	<p>b. 補助給水ピットへの補給に利用する水源の優先順位</p> <p>重大事故等の発生において、補助給水ピットへの供給手段として、以上の手段を用いて、重大事故等の収束に必要なとなる十分な量の水源の確保を図る。</p> <p>炉心損傷防止が図れる場合において、補助給水ピットへの補給に使用する可搬型大型送水ポンプ車は、有効性評価における必要注水流量を十分上回る送水能力を有しているため、補助給水ピットに十分な水量を確保することで淡水から海水に水源を切替えるための時間を確保することが可能であることから、淡水を優先して使用する。</p> <p>なお、淡水を補給中に事象が進展し炉心損傷に至った場合においても、淡水補給開始時点から海を水源とするための準備を開始していること、並びに淡水補給により補助給水ピットに十分な水量を確保することで淡水から海水に水源を切替えるための時間を確保することが可能である。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・水源を利用した対応手段の記載は、泊の記載箇所「(1) 水源を利用した対応手段」にて再掲し、比較している。</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑥）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.13.2.1蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等の記載より再掲】</p> <p>これらのタンク等の水量は有限であるが、補給開始後、引き続き次の水源からの補給準備を開始することで、水源が枯渇しないようにし、最終的には海水に水源を切り替えることで水の供給が中断することなく、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を確保する。</p> <p>なお、海水を使用する際の取水箇所及び敷設ルートは、複数設定したルートのうち、現場の状況を確認し、アクセス性の良いルートを優先する。</p> <p>また、淡水又は海水を復水ピットへ補給することにより、継続的な蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）を成立させるため、復水ピットの保有水量を1,035m³以上に管理する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第1.13.12図に示す。</p>		<p>原水槽から補助給水ピットへの補給は、準備に時間を要することから、補助給水ピットへの補給が必要であると判断した場合に準備を開始する。保有水量が大きい原水槽を優先して使用するが、原水槽近傍へのアクセスに時間を要する場合は、準備時間が最も短い代替給水ピットを優先して使用する。すべての淡水源が使用できない場合には海水を用いる。</p> <p>原水槽の水量は有限であるが、水源の使用準備が完了した後、引き続き次の水源からの補給準備を開始することで水源が枯渇しないようにし、最終的には海に水源を切替えることで水の中断が発生することなく、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を確保する。</p> <p>炉心損傷に至るおそれのある場合又は炉心が損傷した場合は、運転員及び災害対策要員の被ばく低減、作業時間の短縮等の観点から、淡水使用の可否を判断するための状況確認等を実施せずに最優先に海水を使用する。</p> <p>海水を用いた補助給水ピットへの補給は、準備に時間を要することから、補助給水ピットへの補給が必要であると判断した場合に準備を開始する。海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合は、準備時間が最も短い代替給水ピットを優先して使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。</p> <p>なお、海水を使用する際の取水箇所及び敷設ルートは、複数設定したルートのうち、現場の状況を確認し、アクセス性の良いルートを優先する。</p> <p>また、淡水又は海水を補助給水ピットへ補給することにより、継続的な蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）を成立させるため、補助給水ピットの保有水量を570m³以上に管理する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第1.13.43図に示す。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料1.13.27）</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉の代替給水ピットは、高台（T.P.約31m）に設置していることから、海水取水箇所（T.P.約10m）又は原水槽（T.P.約10m）へのアクセスに時間を要する場合に代替給水ピットを優先して使用する。 <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉の代替給水ピットは、高台（T.P.約31m）に設置していることから、海水取水箇所（T.P.約10m）又は原水槽（T.P.約10m）へのアクセスに時間を要する場合に代替給水ピットを優先して使用する。 <p>【大飯】記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は複数の水源を選択できることから、可搬型大型送水ポンプ車を使用する場合の水源選択に係る方針を当該添付資料に整理している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.13.2.5 使用済燃料ピットへの水の供給時に係る手順等</p> <p>(1) No. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水 使用済燃料ピットへの水の供給が必要な場合に、No. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水の手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.1(2)「No. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水」にて整備する。</p> <p>(2) No. 2 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水 使用済燃料ピットへの水の供給が必要な場合に、No. 2 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水の手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.1(3)「No. 2 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋内消火栓）」及び1.11.2.1(4)「No. 2 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋外消火栓）」にて整備する。</p> <p>(3) ポンプ車によるNo. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水 使用済燃料ピットへの水の供給が必要な場合に、ポンプ車によるNo. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水の手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.1(5)「ポンプ車によるNo. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水」にて整備する。</p> <p>(4) ポンプ車によるNo. 2 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水 使用済燃料ピットへの水の供給が必要な場合に、ポンプ車によるNo. 2 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水の手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.1(6)「ポンプ車によるNo. 2 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水」にて整備する。</p> <p>(5) 1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水 使用済燃料ピットへの水の供給が必要な場合に、1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水の手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.1(7)「1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水」にて整備する。</p>		<p>c. 原水槽への補給に利用する水源の優先順位 原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。 以上の対応手順のフローチャートを第 1.13.43 図、第 1.13.44 図及び第 1.13.45 図に示す。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④） ・泊3号炉の代替給水ピットは、高台（T.P.約31m）に設置していることから、原水槽（T.P.約10m）へのアクセスに時間を要する場合に代替給水ピットを優先して使用する。 【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊との比較は、1.13.2.1(7) a. (a)にて大飯を再掲し比較する。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊との比較は、1.13.2.1(3) e. (a)にて大飯を再掲し比較する。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊との比較は、1.13.2.1(4) i. (a)にて大飯を再掲し比較する。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊との比較は、1.13.2.1(6) a. (a)にて大飯を再掲し比較する。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(6) 海水から使用済燃料ピットへの注水 使用済燃料ピットへの水の供給が必要な場合に、海水から使用済燃料ピットへの注水の手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.1(8)「海水から使用済燃料ピットへの注水」にて整備する。</p> <p>(7) その他の手順項目にて考慮する手順 送水車への燃料補給の手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。 操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>1.13.2.6 使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時の使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へのスプレー及び放水に係る手順等</p> <p>(1) 送水車による使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へのスプレー 使用済燃料ピットから大量の水の漏えいが発生した場合に、送水車及びスプレーヘッドにより海水を使用済燃料ピットへスプレーする手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.2(1)「送水車による使用済燃料ピットへのスプレー」にて整備する。また、貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷のおそれがある場合に、送水車及びスプレーヘッドにより海水を原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）に放水する手順は「1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」のうち、1.12.2.2(1) a.「送水車及びスプレーヘッドによる大気への拡散抑制」にて整備する。</p> <p>(2) 大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水 使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい等が発生した場合において、大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲により海水を原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へ放水を行う手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.2(2)「大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水」にて整備する。また、貯蔵槽内燃料体等が著しい損傷に至るおそれがある場合に、大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲により原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へ海水を放水する手順は「1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」のうち、1.12.2.2(1) b.「大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制」にて整備する。</p>			<p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊との比較は、1.13.2.1(9) i. (a)にて大阪を再掲し比較する。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、女川の審査実績反映に伴い、「1.13.2.4 その他の手順項目にて考慮する手順」にまとめて記載している。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊との比較は、1.13.2.1(9) i. (b)にて大阪を再掲し比較する。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊との比較は、1.13.2.1(9) i. (b)にて大阪を再掲し比較する。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) その他の手順項目にて考慮する手順 送水車への燃料補給の手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。 大容量ポンプ（放水砲用）への燃料補給の手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」にて整備する。 操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>1.13.2.7 炉心の著しい損傷及び格納容器の破損時の格納容器及びアニュラス部への放水に係る手順等</p> <p>(1) 大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による格納容器及びアニュラス部への放水 重大事故等の発生により、大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲により海水を格納容器及びアニュラス部へ放水を行う手順は「1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」のうち、1.12.2.1(1) a.「大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制」にて整備する。</p> <p>(2) その他の手順項目にて考慮する手順 大容量ポンプ（放水砲用）への燃料補給の手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」にて整備する。 操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、女川の審査実績反映に伴い、「1.13.2.4 その他の手順項目にて考慮する手順」にまとめて記載している。</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊との比較は、1.13.2.1(9) 1. (b)にて大飯を再掲し比較する。</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、女川の審査実績反映に伴い、「1.13.2.4 その他の手順項目にて考慮する手順」にまとめて記載している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由			
<p>第1.13.2表 重大事故等における対応手段と整備する手順 (炉心注水のための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給、格納容器スプレいのための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給) (2/2)</p>													
分類	機能喪失を想定する設計基準事象及び対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ¹⁾	整備する手順書	手順の分類							
炉心注水のための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給	燃料取扱用海水ピット (格納) (a)	No. 3 淡水タンクから抽出した燃料取扱用海水ピットへの供給	No. 3 淡水タンク	a	原子炉圧力容器への注水のための水源を確保するための手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書							
			使用済燃料ピットポンプ ²⁾				No. 2 淡水タンクから燃料取扱用海水ピットへの供給のための手順	S/A所定 ³⁾					
		淡水ピットから燃料取扱用海水ピットへの供給	淡水ピット	a	原子炉圧力容器への注水のための水源を確保するための手順 淡水ピット出口配管接続の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書 S/A所定 ³⁾							
格納容器スプレいのための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給	燃料取扱用海水ピット (格納又は貯蔵)	燃料取扱用海水ピットから、No. 2 淡水タンクへの水源引替 ⁴⁾	No. 2 淡水タンク	a	格納容器注水のための水源を確保する手順	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する運転手順書							
			電動排水ポンプ				格納容器注水のための水源を確保する手順	淡水ピット出口配管接続の手順 空弁式非常用発電機置燃料補給の手順					
		燃料取扱用海水ピットから、淡水ピットへの水源引替	淡水ピット	a	格納容器注水のための水源を確保する手順	淡水ピット出口配管接続の手順 空弁式非常用発電機置燃料補給の手順							
			物設代替格納器注水ポンプ				S/A所定 ³⁾						
		燃料取扱用海水ピットから、海水への水源引替 ⁵⁾	空弁式非常用発電機置 ⁶⁾	a,b	格納容器注水のための水源を確保する手順	可搬式代替格納器注水ポンプによる格納容器スプレいの手順							
			重油タンク ⁷⁾				S/A所定 ³⁾						
		燃料取扱用海水ピット (格納)	燃料取扱用海水ピットから、海水への水源引替 ⁵⁾	タンクローリー ⁸⁾	a,b	格納容器注水のための水源を確保する手順		可搬式代替格納器注水ポンプによる格納容器スプレいの手順					
				可搬式代替格納器注水ポンプ			S/A所定 ³⁾						
				電源車 (可搬式代替格納器注水ポンプ用)					S/A所定 ³⁾				
				空設既立式水櫃						S/A所定 ³⁾			
送水車	S/A所定 ³⁾												
燃料取扱用タンク ⁹⁾				S/A所定 ³⁾									
重油タンク ⁷⁾		S/A所定 ³⁾											
タンクローリー ⁸⁾			S/A所定 ³⁾										
軽油ドラム缶 ¹⁰⁾					S/A所定 ³⁾								
燃料取扱用海水ピット (格納)						炉心注水のための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給の燃料取扱用海水ピットの格納時に対応する手段に関する設備と手順							

注1：大飯発電所「重大事故等発生時に取る原子炉冷却の保全のための活動」に関する所定
 注2：ディーゼル発電機により駆動する
 注3：手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 注4：空弁式非常用発電機からの電源手段及び燃料補給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 注5：電源車（可搬式代替格納器注水ポンプ用）の燃料補給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 注6：送水車の燃料補給に使用する貯蔵用のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 注7：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該水質に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大飯】
泊の比較箇所を再掲して比較する。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由							
第113.3表 重大事故等における対応手段と整備する手順 (格納容器再循環システムを水源とした再循環運転)																												
分類	機能喪失を想定する 燃料基準事故対称設備	対応手段	対応設備	設備 分類 ^①	整備する手順書	手順の分類																						
格納 容器 再 循環 シ ステム を 水 源 と し た 再 循 環 運 転	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去内蔵機	再循環 運転	格納容器再循環システム	重大 事故 等 対 称 設 備	ab	高圧注入ポンプを用 いた再循環運転により 原子炉を冷却する 手順	炉心の著しい損傷 及び格納容器破損を 防止する運転手順書															【大飯】 泊の比較箇所に再 掲して比較する。						
			格納容器再循環システム スクリーン																									
			高圧注入ポンプ ^②																									
	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去内蔵機 及び 高圧注入ポンプ	代替再循環 運転 ^③	格納容器再循環システム	重大 事故 等 対 称 設 備	ab	A格納容器スプレイ ポンプを用いた代替 再循環運転により 原子炉を冷却する 手順	炉心の著しい損傷 及び格納容器破損を 防止する運転手順書																					
			格納容器再循環システム スクリーン																									
			A格納容器スプレイポンプ (RHRSCSS連絡ライ ン使用) ^④																									
			A格納容器スプレイ冷却機																									
			格納容器再循環システム																									
			格納容器再循環システム スクリーン																									
	全交流動力電源 又は 原子炉循環冷却水系	空冷式非常用発電機 ^⑤	格納容器再循環システム	重大 事故 等 対 称 設 備	ab	B高圧注入ポンプ (海水冷却)を用い た代替再循環運転に より原子炉を冷却す る手順	炉心の著しい損傷 及び格納容器破損を 防止する運転手順書																					
			格納容器再循環システム																									
			高圧注入ポンプ (海水冷却)																									
空冷式非常用発電機 ^⑥																												
大容量ポンプ																												
燃料油貯蔵タンク ^⑦																												
全交流動力電源 又は 原子炉循環冷却水系	空冷式非常用発電機 ^⑤	燃料油貯蔵タンク ^⑦	重大 事故 等 対 称 設 備	ab	大容量ポンプによる 原子炉冷却機給水 送水の手順 空冷式非常用発電機 燃料供給の手順	炉心の著しい損傷 及び格納容器破損を 防止する運転手順書																						
		重油タンク ^⑧																										
		タンクローリー ^⑨																										
		格納容器再循環システム																										
		格納容器再循環システム スクリーン																										
		A余熱除去ポンプ (空調用冷却)																										
^① ：大飯発電所、重大事故等発生時に用いる原子炉冷却の保全のための措置に関する措置 ^② ：ディーゼル発電機等により駆動する。 ^③ ：手順は「14. 原子炉冷却圧力バウンズリミット時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。 ^④ ：空冷式非常用発電機からの給電時及び燃料供給手順については、「14. 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ^⑤ ：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順は「14. 原子炉冷却機給水のための手順等」にて整備する。 ^⑥ ：重大事故等対策において用いる設備の分類 ^⑦ ：当該施設に適合する重大事故等対称設備 b：37条に適合する重大事故等対称設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対称設備																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

第1.13.1表より抜粋して掲載

1次冷却系の フイード アンド ブリード ^{※2}	燃料貯蔵用水ピット	重大事故等 対応設備	ab
高圧注入ポンプ ^{※4}	加圧設備がし弁		

※1：「大飯発電所 重大事故等収束手順」における原子炉施設の保全のための活動に関する所産
 ※2：フイードから発電機等により循環する。
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：送水車の燃料補給に使用する設備の1つである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故等対応策において用いる設備の名称
 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：条文中に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

第1.13-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
対応手段、対処設備及び手順書一覧(1/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等
サブプレッションシステム	燃料貯蔵用水ピット	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉格納容器への注水	復元的減タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の冷却炉心を冷却するための手順等」にて整備する。
			復元的減タンク 原子炉格納容器冷却系（原子炉格納容器冷却系ポンプ） 高圧炉心スプレー系（高圧炉心スプレー系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
			復元的減タンク 制御棒駆動水圧系（制御棒駆動水ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の冷却炉心を冷却するための手順等」にて整備する。
			復元的減タンク 低圧代替注水系（空設）（後水移送ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の冷却炉心を冷却するための手順等」にて整備する。
			復元的減タンク 高圧代替注水系（空設）（高圧駆動低圧注水系ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
			復元的減タンク 低圧代替注水系（空設）（高圧駆動低圧注水系ポンプ）	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の冷却炉心を冷却するための手順等」にて整備する。
原子炉格納容器	原子炉格納容器代替スプレー冷却系（空設） （後水移送ポンプ）	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。		

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：本条文中【緑字】は項を満足するための代替注水原（措置）

泊発電所3号炉

【大飯との比較対象箇所を青枠で示す。】

第1.13.1表 重大事故等における対応手段と整備する手順

対応手段、対処設備、手順書一覧 (1/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順の分類	整備する手順書	手順の相違
燃料貯蔵用水ピット	燃料貯蔵用水ピット	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉格納容器への注水	燃料貯蔵用水ピット 高圧注入ポンプ	a	手順は「1.10 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映） ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設 備を整理。 ・泊は重大事故等 対処設備（設計 基準拡張）による 対応手段を整理。
			燃料貯蔵用水ピット 高圧注入ポンプ	a	手順は「1.10 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	
			燃料貯蔵用水ピット 高圧注入ポンプ	a	手順は「1.10 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	
			燃料貯蔵用水ピット 高圧注入ポンプ	a	手順は「1.10 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	
			燃料貯蔵用水ピット 高圧注入ポンプ	a	手順は「1.10 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	
			燃料貯蔵用水ピット 高圧注入ポンプ	a	手順は「1.10 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	

※1：重大事故等対応策において用いる設備の分類
 ※2：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 a：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																		
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備及び手順書一覧(2/11)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準等並に対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">機内貯蔵タンクの本拠した対応</td> <td rowspan="2">-</td> <td>原子炉格納容器下部注水系統(常設) 注水系統下部への注水</td> <td>機内貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系統(常設) 注水系統下部への注水</td> <td>重大事故等対処設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の隔離防止の確保」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉の注水</td> <td>機内貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系統(常設) 燃料プールの注水ポンプ</td> <td>自主対応設備 手順は「1.10 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">サブメトリックタンクの本拠した対応</td> <td rowspan="6">機内貯蔵タンク</td> <td>原子炉格納容器圧力上昇時の注水</td> <td>サブレーションチャンバ 高圧炉心スプレー系(高圧炉心スプレーポンプ)</td> <td>重大事故等対処設備 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力の上昇時の注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器圧力上昇時の注水</td> <td>サブレーションチャンバ 残留熱除去系(残留熱除去ポンプ) 高圧炉心スプレー系(高圧炉心スプレーポンプ)</td> <td>重大事故等対処設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力の上昇時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器圧力上昇時の注水</td> <td>サブレーションチャンバ 代替蓄積冷却系(代替蓄積冷却ポンプ)</td> <td>重大事故等対処設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力の上昇時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離防止の確保」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器圧力上昇時の注水</td> <td>サブレーションチャンバ 代替蓄積冷却系(代替蓄積冷却ポンプ)</td> <td>自主対応設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力の上昇時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>サブレーションチャンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ)</td> <td>重大事故等対処設備 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>サブレーションチャンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ)</td> <td>重大事故等対処設備 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：本条項【脚註】10項を満足するための代替注水系統(積置)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準等並に対処設備	対応手段	対処設備	手順等	機内貯蔵タンクの本拠した対応	-	原子炉格納容器下部注水系統(常設) 注水系統下部への注水	機内貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系統(常設) 注水系統下部への注水	重大事故等対処設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の隔離防止の確保」にて整備する。	原子炉の注水	機内貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系統(常設) 燃料プールの注水ポンプ	自主対応設備 手順は「1.10 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	サブメトリックタンクの本拠した対応	機内貯蔵タンク	原子炉格納容器圧力上昇時の注水	サブレーションチャンバ 高圧炉心スプレー系(高圧炉心スプレーポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力の上昇時の注水」にて整備する。	原子炉格納容器圧力上昇時の注水	サブレーションチャンバ 残留熱除去系(残留熱除去ポンプ) 高圧炉心スプレー系(高圧炉心スプレーポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力の上昇時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器圧力上昇時の注水	サブレーションチャンバ 代替蓄積冷却系(代替蓄積冷却ポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力の上昇時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離防止の確保」にて整備する。	原子炉格納容器圧力上昇時の注水	サブレーションチャンバ 代替蓄積冷却系(代替蓄積冷却ポンプ)	自主対応設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力の上昇時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器内の冷却	サブレーションチャンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器内の冷却	サブレーションチャンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備、手順書一覧(2/17)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準等並に対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備の相違</th> <th>整備する手順等</th> <th>手順の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">機内貯蔵タンクの本拠した対応</td> <td rowspan="10">-</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>燃料格納容器水ドット 代替格納容器スプレーポンプ</td> <td>重大事故等対処設備</td> <td rowspan="2">手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ</td> <td>重大事故等対処設備</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ</td> <td>自主対応設備</td> <td rowspan="2">手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧運動を防止するための手順等」にて整備する。</td> <td rowspan="2">a, b</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ</td> <td>自主対応設備</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ</td> <td>重大事故等対処設備</td> <td rowspan="2">手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧運動を防止するための手順等」にて整備する。</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ</td> <td>自主対応設備</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ</td> <td>自主対応設備</td> <td rowspan="2">手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧運動を防止するための手順等」にて整備する。</td> <td rowspan="2">a, b</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ</td> <td>自主対応設備</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ</td> <td>自主対応設備</td> <td rowspan="2">手順は「1.11 使用済燃料建屋の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ</td> <td>自主対応設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：重大事故等対策において用いる設備の分類 a：設備名に適合する重大事故等対処設備 b：設備名に適合する重大事故等対処設備 c：自主対応として整備する重大事故等対処設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準等並に対処設備	対応手段	対処設備	設備の相違	整備する手順等	手順の分類	機内貯蔵タンクの本拠した対応	-	原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 代替格納容器スプレーポンプ	重大事故等対処設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	a	原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	重大事故等対処設備	原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	自主対応設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧運動を防止するための手順等」にて整備する。	a, b	原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	自主対応設備	原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	重大事故等対処設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧運動を防止するための手順等」にて整備する。	a	原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	自主対応設備	原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	自主対応設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧運動を防止するための手順等」にて整備する。	a, b	原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	自主対応設備	原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	自主対応設備	手順は「1.11 使用済燃料建屋の冷却等のための手順等」にて整備する。	a	原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	自主対応設備	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。 ・泊は重大事故等 対処設備(設計基準拡張)による 対応手段を整理。</p>
	分類	機能喪失を想定する設計基準等並に対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																																																																
機内貯蔵タンクの本拠した対応	-	原子炉格納容器下部注水系統(常設) 注水系統下部への注水	機内貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系統(常設) 注水系統下部への注水	重大事故等対処設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の隔離防止の確保」にて整備する。																																																																																	
		原子炉の注水	機内貯蔵タンク 原子炉格納容器下部注水系統(常設) 燃料プールの注水ポンプ	自主対応設備 手順は「1.10 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。																																																																																	
サブメトリックタンクの本拠した対応	機内貯蔵タンク	原子炉格納容器圧力上昇時の注水	サブレーションチャンバ 高圧炉心スプレー系(高圧炉心スプレーポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力の上昇時の注水」にて整備する。																																																																																	
		原子炉格納容器圧力上昇時の注水	サブレーションチャンバ 残留熱除去系(残留熱除去ポンプ) 高圧炉心スプレー系(高圧炉心スプレーポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力の上昇時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																																	
		原子炉格納容器圧力上昇時の注水	サブレーションチャンバ 代替蓄積冷却系(代替蓄積冷却ポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力の上昇時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離防止の確保」にて整備する。																																																																																	
		原子炉格納容器圧力上昇時の注水	サブレーションチャンバ 代替蓄積冷却系(代替蓄積冷却ポンプ)	自主対応設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力の上昇時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																																	
		原子炉格納容器内の冷却	サブレーションチャンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																																	
		原子炉格納容器内の冷却	サブレーションチャンバ 残留熱除去系(残留熱除去系ポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																																	
分類	機能喪失を想定する設計基準等並に対処設備	対応手段	対処設備	設備の相違	整備する手順等	手順の分類																																																																															
機内貯蔵タンクの本拠した対応	-	原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 代替格納容器スプレーポンプ	重大事故等対処設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	a																																																																															
		原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	重大事故等対処設備																																																																																	
		原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	自主対応設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧運動を防止するための手順等」にて整備する。	a, b																																																																															
		原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	自主対応設備																																																																																	
		原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	重大事故等対処設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧運動を防止するための手順等」にて整備する。	a																																																																															
		原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	自主対応設備																																																																																	
		原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	自主対応設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧運動を防止するための手順等」にて整備する。	a, b																																																																															
		原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	自主対応設備																																																																																	
		原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	自主対応設備	手順は「1.11 使用済燃料建屋の冷却等のための手順等」にて整備する。	a																																																																															
		原子炉格納容器内の冷却	燃料格納容器水ドット 格納容器スプレーポンプ	自主対応設備																																																																																	

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">【比較のため1.13-1表（1/11）を再掲】</p> <p style="text-align: center;">第1.13-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 対応手段、対処設備及び手順書一覧(1/11)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">サブプレッションシステム</td> <td rowspan="3">原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td rowspan="3">原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等</td> <td>復元貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水系ポンプ）</td> <td>手順は1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等^{※1}、及び1.8 原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等^{※2}にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復元貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧抑心スプレイス（高圧抑心スプレイスポンプ）</td> <td>手順は1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等^{※1}にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復元貯蔵タンク 新制種駆動水圧系（新制種駆動水ポンプ）</td> <td>手順は1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等^{※1}にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td rowspan="3">原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等</td> <td>復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（低圧代替注ポンプ）</td> <td>手順は1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等^{※1}、及び1.8 原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等^{※2}にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（減速駆動低圧注水系ポンプ）</td> <td>手順は1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等^{※1}にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（減速駆動低圧注水系ポンプ）</td> <td>手順は1.9 原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等^{※2}にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水</td> <td>原子炉格納容器内への注水</td> <td>手順は1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等^{※2}にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は1.14 電源の確保に関する手順等^{※2}にて整備する。 ※2：本条文中【解釈】1)項を満足するための代替注水（常設）</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	サブプレッションシステム	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等	復元貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水系ポンプ）	手順は1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} 、及び1.8 原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等 ^{※2} にて整備する。	復元貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧抑心スプレイス（高圧抑心スプレイスポンプ）	手順は1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} にて整備する。	復元貯蔵タンク 新制種駆動水圧系（新制種駆動水ポンプ）	手順は1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} にて整備する。	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等	復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（低圧代替注ポンプ）	手順は1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} 、及び1.8 原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等 ^{※2} にて整備する。	復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（減速駆動低圧注水系ポンプ）	手順は1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} にて整備する。	復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（減速駆動低圧注水系ポンプ）	手順は1.9 原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等 ^{※2} にて整備する。	原子炉格納容器内への注水	原子炉格納容器内への注水	手順は1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 ^{※2} にて整備する。	<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備、手順書一覧（3/17）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</td> <td rowspan="2">原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等</td> <td>復元貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水系ポンプ）</td> <td rowspan="2">a</td> <td rowspan="2">手順は1.1 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等^{※1}にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復元貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧抑心スプレイス（高圧抑心スプレイスポンプ）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等</td> <td>復元貯蔵タンク 新制種駆動水圧系（新制種駆動水ポンプ）</td> <td rowspan="2">a</td> <td rowspan="2">手順は1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等^{※1}にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復元貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧抑心スプレイス（高圧抑心スプレイスポンプ）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等</td> <td>復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（低圧代替注ポンプ）</td> <td rowspan="2">a</td> <td rowspan="2">手順は1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等^{※1}、及び1.8 原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等^{※2}にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（減速駆動低圧注水系ポンプ）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等</td> <td>復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（減速駆動低圧注水系ポンプ）</td> <td rowspan="2">a</td> <td rowspan="2">手順は1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等^{※1}にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（減速駆動低圧注水系ポンプ）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内への注水</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内への注水</td> <td>原子炉格納容器内への注水</td> <td rowspan="2">a</td> <td rowspan="2">手順は1.6 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等^{※1}、及び1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等^{※2}にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：重大事故等発生時に適用する設備/手順 ※2：対応に適合する重大事故等対応設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順の分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等	復元貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水系ポンプ）	a	手順は1.1 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} にて整備する。	復元貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧抑心スプレイス（高圧抑心スプレイスポンプ）	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等	復元貯蔵タンク 新制種駆動水圧系（新制種駆動水ポンプ）	a	手順は1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} にて整備する。	復元貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧抑心スプレイス（高圧抑心スプレイスポンプ）	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等	復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（低圧代替注ポンプ）	a	手順は1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} 、及び1.8 原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等 ^{※2} にて整備する。	復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（減速駆動低圧注水系ポンプ）	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等	復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（減速駆動低圧注水系ポンプ）	a	手順は1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} にて整備する。	復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（減速駆動低圧注水系ポンプ）	原子炉格納容器内への注水	原子炉格納容器内への注水	原子炉格納容器内への注水	a	手順は1.6 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} 、及び1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※2} にて整備する。	原子炉格納容器内への注水	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、水源ごとに対応手段及び設備を整理。 ・泊は重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手段を整理。
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																																													
サブプレッションシステム	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等	復元貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水系ポンプ）	手順は1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} 、及び1.8 原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等 ^{※2} にて整備する。																																																													
			復元貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧抑心スプレイス（高圧抑心スプレイスポンプ）	手順は1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} にて整備する。																																																													
			復元貯蔵タンク 新制種駆動水圧系（新制種駆動水ポンプ）	手順は1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} にて整備する。																																																													
	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等	復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（低圧代替注ポンプ）	手順は1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} 、及び1.8 原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等 ^{※2} にて整備する。																																																													
			復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（減速駆動低圧注水系ポンプ）	手順は1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} にて整備する。																																																													
			復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（減速駆動低圧注水系ポンプ）	手順は1.9 原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等 ^{※2} にて整備する。																																																													
原子炉格納容器内への注水	原子炉格納容器内への注水	手順は1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 ^{※2} にて整備する。																																																															
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順の分類																																																												
機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等	復元貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水系ポンプ）	a	手順は1.1 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} にて整備する。																																																												
			復元貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧抑心スプレイス（高圧抑心スプレイスポンプ）																																																														
	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等	復元貯蔵タンク 新制種駆動水圧系（新制種駆動水ポンプ）	a	手順は1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} にて整備する。																																																												
			復元貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧抑心スプレイス（高圧抑心スプレイスポンプ）																																																														
	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等	復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（低圧代替注ポンプ）	a	手順は1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} 、及び1.8 原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等 ^{※2} にて整備する。																																																												
			復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（減速駆動低圧注水系ポンプ）																																																														
	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	原子炉格納容器下部の隔離弁を冷却するための手順等	復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（減速駆動低圧注水系ポンプ）	a	手順は1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} にて整備する。																																																												
			復元貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（減速駆動低圧注水系ポンプ）																																																														
	原子炉格納容器内への注水	原子炉格納容器内への注水	原子炉格納容器内への注水	a	手順は1.6 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※1} 、及び1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 ^{※2} にて整備する。																																																												
			原子炉格納容器内への注水																																																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

第 1.13.2 表(1/2)より抜粋して掲載

燃料取扱用水 ポンプの No. 2 排水タンクへの 水供給ポンプ	No. 2排水タンク 電動内圧ポンプ ディーゼルポンプ
--	-----------------------------------

- ※1：「大飯発電所」重大事故等収束手順における原子炉施設保全のための活動に関する所通。
 ※2：ディーゼル発電機等により駆動する。
 ※3：手順は「1.4 原子炉格納炉圧力バウンダリ破砕時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：空冷式の冷却設備から供給する低圧の冷却水供給に関する。【1.4 電源の確保に関する手順等】にて整備する。
 ※5：電源車（可動式発電機と圧力ポンプ）の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納炉内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※6：空冷式燃料供給に使用する冷却用の水である。手順は「1.6 原子炉格納炉内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故等対策において用いる設備の分類。
 a：当該条項に適合する重大事故等対応設備 b：27条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

分類	機能喪失を想定する設計基準事故時対応設備	対応手段	対応設備	手順等
サプレッションチャンベラを水漏れした状態	原子炉格納炉内圧力調整装置の排水ポンプ	サプレッションチャンベラ 代替循環冷却系（代替循環冷却ポンプ）	重大事故等対応設備	手順は「1.7 原子炉格納炉内の過圧状態を防止するための手順等」にて整備する。
				サプレッションチャンベラ 代替循環冷却系（代替循環冷却ポンプ） 原子炉格納炉下部排水系（空設）（代替循環冷却ポンプ）
排水貯蔵タンク	原子炉格納炉内圧力調整装置の排水ポンプ	ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）	自主的対策設備	手順は「1.4 原子炉格納炉圧力バウンダリ破砕時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納炉下部の冷却ポンプを冷却するための手順等」にて整備する。
				ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）
排水貯蔵タンク サプレッションチャンベラ	原子炉格納炉内圧力調整装置の排水ポンプ	ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）	自主的対策設備	手順は「1.4 原子炉格納炉圧力バウンダリ破砕時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納炉下部の冷却ポンプを冷却するための手順等」にて整備する。
				ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）
排水貯蔵タンク	原子炉格納炉内圧力調整装置の排水ポンプ	ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）	自主的対策設備	手順は「1.8 原子炉格納炉下部の冷却ポンプを冷却するための手順等」にて整備する。
				ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：本文【解釈】16項を満足するための代替排水系（設置）

泊発電所3号炉

分類	機能喪失を想定する設計基準事故時対応設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順等	手順の分類
燃料取扱用水ポンプ	原子炉格納炉内圧力調整装置の排水ポンプ	ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）	自主的対策設備	自主的対策設備	手順は「1.4 原子炉格納炉内圧力バウンダリ破砕時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備
					ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ） ディーゼル駆動ポンプ	
ろ過水タンク	原子炉格納炉内圧力調整装置の排水ポンプ	ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）	自主的対策設備	自主的対策設備	手順は「1.4 原子炉格納炉内圧力バウンダリ破砕時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.7 原子炉格納炉下部の冷却ポンプを冷却するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備
					ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ） ディーゼル駆動ポンプ	
ろ過水タンク	原子炉格納炉内圧力調整装置の排水ポンプ	ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）	自主的対策設備	自主的対策設備	手順は「1.4 原子炉格納炉内圧力バウンダリ破砕時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備
					ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ） ディーゼル駆動ポンプ	

※1：重大事故等対策において用いる設備の分類
 ※2：当該条項に適合する重大事故等対応設備 ※3：27条に適合する重大事故等対応設備 ※4：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

相違理由
 【大飯】
 記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）
 ・泊は、水源ごとに
 対応手段及び設備を整理。

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																										
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備及び手順書一覧(4/11)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">洪水貯水槽</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>手順は「1.15 最終セーティング熱を輸送するための手順等」及び「1.17 原子炉格納容器の過圧損を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器サブプレッションチャンバ</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蓄熱が心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器圧力バウンダリ破綻時の注水</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>手順は「1.15 最終セーティング熱を輸送するための手順等」及び「1.17 原子炉格納容器の過圧損を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の冷却</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蓄熱が心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器圧力バウンダリ破綻時の注水</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：本表文【解釈】1b)項を満足するための代替洪水槽（槽体）</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	洪水貯水槽	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。	手順は「1.15 最終セーティング熱を輸送するための手順等」及び「1.17 原子炉格納容器の過圧損を防止するための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器サブプレッションチャンバ	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蓄熱が心を冷却するための手順等」にて整備する。	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器圧力バウンダリ破綻時の注水	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。	手順は「1.15 最終セーティング熱を輸送するための手順等」及び「1.17 原子炉格納容器の過圧損を防止するための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器内の冷却	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蓄熱が心を冷却するための手順等」にて整備する。	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器圧力バウンダリ破綻時の注水	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備、手順書一覧(5/17)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>自主対策設備</th> <th>整備する手順等</th> <th>手順の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">燃料給水ピット</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料給水ピット</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料給水ピット</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料給水ピット</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：本表文【解釈】1b)項を満足するための代替洪水槽（槽体） ※3：当該事故に適合する重大事故等対処設備 ※4：当該事故に適合する重大事故等対処設備 ※5：自主的対策として整備する重大事故等対処設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故設備	対応手段	対処設備	自主対策設備	整備する手順等	手順の分類	燃料給水ピット	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料給水ピット	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料給水ピット	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料給水ピット	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。</p>
	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																																																								
洪水貯水槽	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。																																																																									
				手順は「1.15 最終セーティング熱を輸送するための手順等」及び「1.17 原子炉格納容器の過圧損を防止するための手順等」にて整備する。																																																																									
原子炉格納容器サブプレッションチャンバ	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蓄熱が心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																									
				手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																									
原子炉格納容器圧力バウンダリ破綻時の注水	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。																																																																									
				手順は「1.15 最終セーティング熱を輸送するための手順等」及び「1.17 原子炉格納容器の過圧損を防止するための手順等」にて整備する。																																																																									
原子炉格納容器内の冷却	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の蓄熱が心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																									
				手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																									
原子炉格納容器圧力バウンダリ破綻時の注水	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																									
				手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																									
分類	機能喪失を想定する設計基準事故設備	対応手段	対処設備	自主対策設備	整備する手順等	手順の分類																																																																							
燃料給水ピット	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																							
							手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																						
燃料給水ピット	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																							
							手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																						
燃料給水ピット	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																							
							手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																						
燃料給水ピット	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																							
							手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ破綻時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

第 1.13.4 表より抜粋して掲載

使用済燃料ピット	ポンプによる No. 3 洗水タンクから、使用済燃料ピットへの注水*	No. 3 洗水タンク	ポンプ車	ポンプ車による No. 3 洗水タンクからの使用済燃料ピットへの注水*
----------	------------------------------------	-------------	------	-------------------------------------

※1：大飯発電所 重大事故等収束時ににおける原子炉施設等の保全のための活動に関する所産。
 ※2：プルーベール等電機等により駆動する。
 ※3：手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※4：送水車の燃料供給に使用する貯蔵用のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故等対策において用いている設備の分類
 a：当該条項に適合する重大事故等対応設備 b：訂正に適合する重大事故等対応設備 e：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

対応手段、対処設備及び手順書一覧(5/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順等
復水貯蔵タンク	原子炉格納容器下部注水系(可搬型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等) 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	原子炉格納容器下部への注水	重大事故等対応設備	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心冷却するための手順等」にて整備する。
			自主的対策設備	
洪水貯水槽を水源とした対応	原子炉格納容器下部注水系(可搬型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	原子炉格納容器下部への注水	自主的対策設備	手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。
			自主的対策設備	
-	燃料プール代替注水系(常設配管) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等) 燃料プール代替注水系(可搬型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等) 燃料プールスプレイ系(常設配管) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレインゾル等) 燃料プールスプレイ系(可搬型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレインゾル等)	使用済燃料プールへの注水/スプレイ	重大事故等対応設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。
			自主的対策設備	

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：本条項【解説】1a)項を満足するための代替注水車(積載)

泊発電所3号炉

【大飯との比較対象箇所を青枠で示す。】

対応手段、対処設備、手順書一覧(6/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備の分類	整備する手順書	手順の分類
燃料貯蔵用ピット	原子炉格納容器下部注水系(可搬型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等) 燃料補給設備*1	原子炉格納容器下部への注水	自主的対策設備	自主的対策設備	手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	自主的対策設備
			自主的対策設備			
-	燃料貯蔵用ピットを水源とした対応	原子炉格納容器下部への注水	自主的対策設備	自主的対策設備	手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備
			自主的対策設備			
-	燃料貯蔵用ピット	使用済燃料貯蔵庫への注水	自主的対策設備	自主的対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。	自主的対策設備
			自主的対策設備			

*1：手順は「1.11 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *2：重大事故等対策において用いている設備の分類
 a：当該条項に適合する重大事故等対応設備 b：訂正に適合する重大事故等対応設備 e：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

相違理由

【大飯】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は、水源ごとに
 対応手段及び設備を整理。

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備及び手順書一覧(6/11)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">淡水タンクを参照した対応</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">-</td> <td>大飯基準に適合する設備による送水</td> <td>淡水タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッド・接続口 ろ過水分配管・弁 給排水処理設備配管・弁 燃料補給設備 忠1</td> <td>自主対応設備 「大容量送水ポンプによる送水」</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水(可搬型)「大容量送水ポンプ(タイプ1)」、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等</td> <td>自主対応設備</td> <td>手順は「L14 原子炉格納容器下部注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器代替スプレッド冷却系(可搬型)「大容量送水ポンプ(タイプ1)」、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等</td> <td>自主対応設備</td> <td>手順は「L16 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水(可搬型)「大容量送水ポンプ(タイプ1)」、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口 ろ過水分配管・弁 給排水処理設備配管・弁 燃料補給設備 忠1</td> <td>自主対応設備</td> <td>手順は「L15 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」及び「L17 原子炉格納容器の過圧制限を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水(可搬型)「大容量送水ポンプ(タイプ1)」、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等</td> <td>自主対応設備</td> <td>手順は「L16 原子炉格納容器下部の遮蔽炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">-</td> <td>原子炉格納容器下部注水(可搬型)「大容量送水ポンプ(タイプ1)」、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等</td> <td>自主対応設備</td> <td>手順は「L16 水漏れ等による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>忠1：手順は「L14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 忠2：本条文【解説】10)項を満足するための代替送水源（構築）</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順等	淡水タンクを参照した対応	-	大飯基準に適合する設備による送水	淡水タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッド・接続口 ろ過水分配管・弁 給排水処理設備配管・弁 燃料補給設備 忠1	自主対応設備 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉格納容器下部注水(可搬型)「大容量送水ポンプ(タイプ1)」、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等	自主対応設備	手順は「L14 原子炉格納容器下部注水」にて整備する。	原子炉格納容器代替スプレッド冷却系(可搬型)「大容量送水ポンプ(タイプ1)」、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等	自主対応設備	手順は「L16 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器下部注水(可搬型)「大容量送水ポンプ(タイプ1)」、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口 ろ過水分配管・弁 給排水処理設備配管・弁 燃料補給設備 忠1	自主対応設備	手順は「L15 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」及び「L17 原子炉格納容器の過圧制限を防止するための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器下部注水(可搬型)「大容量送水ポンプ(タイプ1)」、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等	自主対応設備	手順は「L16 原子炉格納容器下部の遮蔽炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	-	原子炉格納容器下部注水(可搬型)「大容量送水ポンプ(タイプ1)」、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等	自主対応設備	手順は「L16 水漏れ等による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備、手順書一覧(7/17)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備分類</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">淡水タンクを参照した対応</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">-</td> <td>自主対応設備</td> <td>自主対応設備</td> <td>自主対応設備</td> <td>手順は「L12原子炉格納容器下方バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">自主対応設備</td> </tr> <tr> <td>自主対応設備</td> <td>自主対応設備</td> <td>自主対応設備</td> <td>手順は「L12原子炉格納容器下方バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「L13原子炉格納容器下方バウンダリを減圧するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>自主対応設備</td> <td>自主対応設備</td> <td>自主対応設備</td> <td>手順は「L14原子炉格納容器下方バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>自主対応設備</td> <td>自主対応設備</td> <td>自主対応設備</td> <td>手順は「L12原子炉格納容器下方バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「L15最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>自主対応設備</td> <td>自主対応設備</td> <td>自主対応設備</td> <td>手順は「L12原子炉格納容器下方バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「L15最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">-</td> <td>自主対応設備</td> <td>自主対応設備</td> <td>自主対応設備</td> <td>自主対応設備</td> <td>手順は「L14電源の確保に関する手順等」にて整備する。</td> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">自主対応設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「L14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：重大事故等収束において用いる設備の分類 a：対応に適合する重大事故等対応設備 b：対応に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対応として整備する重大事故等対応設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順の分類	淡水タンクを参照した対応	-	自主対応設備	自主対応設備	自主対応設備	手順は「L12原子炉格納容器下方バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	自主対応設備	自主対応設備	自主対応設備	自主対応設備	手順は「L12原子炉格納容器下方バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「L13原子炉格納容器下方バウンダリを減圧するための手順等」にて整備する。	自主対応設備	自主対応設備	自主対応設備	手順は「L14原子炉格納容器下方バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	自主対応設備	自主対応設備	自主対応設備	手順は「L12原子炉格納容器下方バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「L15最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。	自主対応設備	自主対応設備	自主対応設備	手順は「L12原子炉格納容器下方バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「L15最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。	-	自主対応設備	自主対応設備	自主対応設備	自主対応設備	手順は「L14電源の確保に関する手順等」にて整備する。	自主対応設備	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。</p>
	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順等																																																													
	淡水タンクを参照した対応	-	大飯基準に適合する設備による送水	淡水タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッド・接続口 ろ過水分配管・弁 給排水処理設備配管・弁 燃料補給設備 忠1	自主対応設備 「大容量送水ポンプによる送水」																																																													
			原子炉格納容器下部注水(可搬型)「大容量送水ポンプ(タイプ1)」、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等	自主対応設備	手順は「L14 原子炉格納容器下部注水」にて整備する。																																																													
			原子炉格納容器代替スプレッド冷却系(可搬型)「大容量送水ポンプ(タイプ1)」、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等	自主対応設備	手順は「L16 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																													
			原子炉格納容器下部注水(可搬型)「大容量送水ポンプ(タイプ1)」、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口 ろ過水分配管・弁 給排水処理設備配管・弁 燃料補給設備 忠1	自主対応設備	手順は「L15 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」及び「L17 原子炉格納容器の過圧制限を防止するための手順等」にて整備する。																																																													
原子炉格納容器下部注水(可搬型)「大容量送水ポンプ(タイプ1)」、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等			自主対応設備	手順は「L16 原子炉格納容器下部の遮蔽炉心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																														
-	原子炉格納容器下部注水(可搬型)「大容量送水ポンプ(タイプ1)」、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等	自主対応設備	手順は「L16 水漏れ等による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。																																																															
	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順の分類																																																											
	淡水タンクを参照した対応	-	自主対応設備	自主対応設備	自主対応設備	手順は「L12原子炉格納容器下方バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	自主対応設備																																																											
			自主対応設備	自主対応設備	自主対応設備	手順は「L12原子炉格納容器下方バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「L13原子炉格納容器下方バウンダリを減圧するための手順等」にて整備する。																																																												
			自主対応設備	自主対応設備	自主対応設備	手順は「L14原子炉格納容器下方バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																												
自主対応設備			自主対応設備	自主対応設備	手順は「L12原子炉格納容器下方バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「L15最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。																																																													
自主対応設備			自主対応設備	自主対応設備	手順は「L12原子炉格納容器下方バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「L15最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。																																																													
-	自主対応設備	自主対応設備	自主対応設備	自主対応設備	手順は「L14電源の確保に関する手順等」にて整備する。	自主対応設備																																																												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

第 1.13.4 表より抜粋して掲載



※1：「大飯発電所」重大事故等発生時に「1」号炉原子炉冷却の安全のための活動に関する作図。
※2：ディーゼル発電機等により駆動する。
※3：手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。
※4：送水車の燃料供給に使用される送水用のものである。手順は「1.14 原子炉貯蔵庫内の冷却等のための手順等」にて整備する。
※5：重大事故等対策において用いている設備の分類
a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37 条に適合する重大事故等対応設備 e：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

対応手段、対処設備及び手順書一覧(7/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故及び対処設備	対応手段	対処設備	手順等	
淡水タンクを水源とした対応	-	使用済燃料ピットへの注水	淡水タンク 燃料プール代替注水系（常設配管）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等） 燃料プール代替注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等） 燃料プールのスプレイ系（常設配管）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレインゾル等） 燃料プールのスプレイ系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレインゾル等）	自主的対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫内の冷却等のための手順等」にて整備する。
		使用済燃料ピットへの注水	淡水タンク 大型化学汚染放水車 化学消泡自動車 ホース・接続口 送水系統配管・弁 送水処理設備配管・弁 燃料プール冷却浄化系配管・弁 スプレインゾル 使用済燃料プール	自主的対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫内の冷却等のための手順等」にて整備する。
水を水源とした対応	-	大容量送水ポンプによる注水	大容量送水ポンプ（タイプ1） ホース延長回収車 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ室 ホース・注水用ヘッド・接続口 燃料補給設備 ①	重大事故等対応設備	重大事故等対応要綱書「大容量送水ポンプによる注水」
		大容量送水ポンプによる注水（各種供給）	大容量送水ポンプ（タイプ1） 大容量送水ポンプ（タイプ2） ホース延長回収車 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ室 ホース・接続口 燃料補給設備 ①	重大事故等対応設備	重大事故等対応要綱書「大容量送水ポンプによる注水」

※1：手順は「1.14 電熱の確保に関する手順等」にて整備する。
※2：本条文中【解釈】1b)項を満足するための代替淡水源（建設）

泊発電所3号炉

【大飯との比較対象箇所を青枠で示す。】

対応手段、対処設備、手順書一覧(8/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故等	対応手段	対処設備	設備の相違	整備する手順書	手順の分類
使用済燃料ピット	-	注水	淡水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備 ①	自主的対策設備	手順は「1.4 原子炉貯蔵庫内の冷却等のための手順等」にて整備する。	自主的対策設備
		注水	淡水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備 ①	自主的対策設備	手順は「1.4 原子炉貯蔵庫内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉貯蔵庫内の送水機器を冷却するための手順等」にて整備する。	
		注水	淡水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備 ①	自主的対策設備	手順は「1.4 原子炉貯蔵庫内の冷却等のための手順等」にて整備する。	
		注水	淡水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備 ①	自主的対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫内の冷却等のための手順等」にて整備する。	
淡水タンクを水源とした対応	-	注水	淡水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備 ①	自主的対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫内の冷却等のための手順等」にて整備する。	自主的対策設備
		注水	淡水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備 ①	自主的対策設備	手順は「1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑えるための手順等」にて整備する。	

※1：手順は「1.11 電熱の確保に関する手順等」にて整備する。
※2：重大事故等対策において用いている設備の分類
※3：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37 条に適合する重大事故等対応設備 e：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

相違理由

【大飯】
記載方針の相違
（女川審査実績の反映）
・泊は、水源ごとに
対応手段及び設備を整理。

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉 【大飯との比較対象箇所を青枠で示す。】	相違理由																																																																												
<p>第 1.13.4 表より抜粋して掲載</p> <table border="1"> <tr> <td>1次系給水タンクから使用済燃料ピットへの注水*</td> <td>1次系給水タンク 1次系補給水ポンプ*</td> <td>1次系給水タンクから使用済燃料ピットへの注水*</td> </tr> <tr> <td>N₀、3次水タンクから使用済燃料ピットへの注水*</td> <td>N₀、3次水タンク</td> <td>使用済燃料ピットの故障時の対応手順 高圧及び設計基準事故に対する運転手操作</td> </tr> </table> <p>※1：「大飯発電所」重大事故等発生時ににおける原子炉施設の保全のための活動に関する手順。 ※2：ディーゼル発電機等により給電する。 ※3：本欄は「1.12 使用済燃料貯蔵庫の冷却のための手順等」にて整備する。 ※4：送水車の燃料槽給油に使用する貯蔵用のものである。本欄は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。 ※5：重大事故等対策において用いる設備の分類 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	1次系給水タンクから使用済燃料ピットへの注水*	1次系給水タンク 1次系補給水ポンプ*	1次系給水タンクから使用済燃料ピットへの注水*	N ₀ 、3次水タンクから使用済燃料ピットへの注水*	N ₀ 、3次水タンク	使用済燃料ピットの故障時の対応手順 高圧及び設計基準事故に対する運転手操作	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>泊発電所3号炉 【大飯との比較対象箇所を青枠で示す。】</p> <p>対応手段、対処設備、手順書一覧（9/17）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機器喪失を想定する際の基準対象機器</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備の名称</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次系給水タンクから使用済燃料ピットへの注水</td> <td>-</td> <td>使用済燃料ピットへの注水</td> <td>1次系給水タンク 1次系補給水ポンプ</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2次系給水タンクから使用済燃料ピットへの注水</td> <td>-</td> <td>使用済燃料ピットへの注水</td> <td>2次系給水タンク 2次系補給水ポンプ</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内の冷却</td> <td>格納容器内の冷却</td> <td>格納容器内の冷却</td> <td>格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：重大事故等発生において用いる設備の分類 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	分類	機器喪失を想定する際の基準対象機器	対応手段	対処設備	設備の名称	整備する手順書	手順の分類	1次系給水タンクから使用済燃料ピットへの注水	-	使用済燃料ピットへの注水	1次系給水タンク 1次系補給水ポンプ	自主対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却のための手順等」にて整備する。		2次系給水タンクから使用済燃料ピットへの注水	-	使用済燃料ピットへの注水	2次系給水タンク 2次系補給水ポンプ	自主対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却のための手順等」にて整備する。		格納容器内の冷却	格納容器内の冷却	格納容器内の冷却	格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。</p>
1次系給水タンクから使用済燃料ピットへの注水*	1次系給水タンク 1次系補給水ポンプ*	1次系給水タンクから使用済燃料ピットへの注水*																																																																													
N ₀ 、3次水タンクから使用済燃料ピットへの注水*	N ₀ 、3次水タンク	使用済燃料ピットの故障時の対応手順 高圧及び設計基準事故に対する運転手操作																																																																													
分類	機器喪失を想定する際の基準対象機器	対応手段	対処設備	設備の名称	整備する手順書	手順の分類																																																																									
1次系給水タンクから使用済燃料ピットへの注水	-	使用済燃料ピットへの注水	1次系給水タンク 1次系補給水ポンプ	自主対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
2次系給水タンクから使用済燃料ピットへの注水	-	使用済燃料ピットへの注水	2次系給水タンク 2次系補給水ポンプ	自主対策設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
格納容器内の冷却	格納容器内の冷却	格納容器内の冷却	格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
<p>第 1.13.1 表より抜粋して掲載</p> <table border="1"> <tr> <td>格納容器内の冷却</td> <td>格納容器内の冷却</td> <td>格納容器内の冷却</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> </tr> </table> <p>※1：「大飯発電所」重大事故等発生時ににおける原子炉施設の保全のための活動に関する手順。 ※2：ディーゼル発電機等により給電する。 ※3：本欄は「1.2 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。 ※4：送水車の燃料槽給油に使用する貯蔵用のものである。本欄は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。 ※5：重大事故等対策において用いる設備の分類 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	格納容器内の冷却	格納容器内の冷却	格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>泊発電所3号炉 【大飯との比較対象箇所を青枠で示す。】</p> <p>対応手段、対処設備、手順書一覧（9/17）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機器喪失を想定する際の基準対象機器</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備の名称</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器内の冷却</td> <td>格納容器内の冷却</td> <td>格納容器内の冷却</td> <td>格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：重大事故等発生において用いる設備の分類 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	分類	機器喪失を想定する際の基準対象機器	対応手段	対処設備	設備の名称	整備する手順書	手順の分類	格納容器内の冷却	格納容器内の冷却	格納容器内の冷却	格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。		<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。</p>
格納容器内の冷却	格納容器内の冷却	格納容器内の冷却																																																																													
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却																																																																													
分類	機器喪失を想定する際の基準対象機器	対応手段	対処設備	設備の名称	整備する手順書	手順の分類																																																																									
格納容器内の冷却	格納容器内の冷却	格納容器内の冷却	格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										
原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器内の冷却	自主対策設備	手順は「1.20 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																										

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
<p>第1.13.2表(1/2)より抜粋して掲載</p> <p>第1.13.2表(1/2)より抜粋して掲載</p> <p>可搬式代替注水ポンプ 電達車（可搬式代替注水ポンプ用） 送水車 燃料油貯蔵タンク等 重油タンク等 タンクローリー等 軽油ドラム缶等</p> <p>原子炉出力降格への対応 原子炉出力降格への対応 可搬式代替注水ポンプを用いた代替注水による注水</p> <p>注1：「大飯発電所」重大事故等発生時に必要となる原子炉施設の稼働のための改修に関する事項 注2：「ディーゼル発電機等」より記載する。 注3：手順は「1.4 原子炉冷却材圧力ハンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。 注4：空分式酸素発生装置からの酸素供給及び燃料供給手順については、「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。 注5：電達車（可搬式代替注水ポンプ用）の燃料供給に使用する。手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。 注6：送水車の燃料供給に使用する貯蔵用のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却するための手順等」にて整備する。 注7：重大事故等対策において用いる設備の分類 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：当該表に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	<p>対応手段、対処設備及び手順書一覧(8/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設備/基準事故等対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">注水貯蔵タンク スプレインジョンシステム</td> <td>原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>手順は「1.4 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水</td> <td>原子炉格納容器内への注水</td> <td>原子炉格納容器内への注水</td> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">注水貯蔵タンク</td> <td>原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉出力降格への注水</td> <td>原子炉出力降格への注水</td> <td>原子炉出力降格への注水</td> <td>手順は「1.10 水蒸気発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">-</td> <td>燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレインジョン等）</td> <td>燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレインジョン等）</td> <td>燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレインジョン等）</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却のための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：手順は「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。 注2：本表【備考】161項を満足するための代替注水車。（借置）</p>	分類	機能喪失を想定する設備/基準事故等対応設備	対応手段	対処設備	手順等	注水貯蔵タンク スプレインジョンシステム	原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	手順は「1.4 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器内への注水	原子炉格納容器内への注水	原子炉格納容器内への注水	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	注水貯蔵タンク	原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉出力降格への注水	原子炉出力降格への注水	原子炉出力降格への注水	手順は「1.10 水蒸気発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	-	燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却のための手順等」にて整備する。	燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレインジョン等）	燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレインジョン等）	燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレインジョン等）	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却のための手順等」にて整備する。	<p>【大飯との比較対象箇所を青枠で示す。】</p> <p>対応手段、対処設備、手順書一覧（10/17）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設備/基準事故等対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備の分類</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>自主的対策設備</td> <td>手順は「1.25 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td>自主的対策設備</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>自主的対策設備</td> <td>手順は「1.25 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力ハンダリを満足するための手順等」にて整備する。</td> <td>自主的対策設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>自主的対策設備</td> <td>手順は「1.4 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td>自主的対策設備</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>自主的対策設備</td> <td>手順は「1.25 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.4 原子炉冷却材圧力ハンダリを満足するための手順等」にて整備する。</td> <td>自主的対策設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>自主的対策設備</td> <td>手順は「1.25 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td>自主的対策設備</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>自主的対策設備</td> <td>手順は「1.25 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.5 最終冷却タンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。</td> <td>自主的対策設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：手順は「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。 注2：重大事故等対策において用いる設備の分類 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：37表に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	分類	機能喪失を想定する設備/基準事故等対応設備	対応手段	対処設備	設備の分類	整備する手順書	手順の分類	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	自主的対策設備	手順は「1.25 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	自主的対策設備	手順は「1.25 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力ハンダリを満足するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	自主的対策設備	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	自主的対策設備	手順は「1.25 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.4 原子炉冷却材圧力ハンダリを満足するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	自主的対策設備	手順は「1.25 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	自主的対策設備	手順は「1.25 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.5 最終冷却タンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。 ・泊は、流路及び給電に使用する設備を記載。</p>
分類	機能喪失を想定する設備/基準事故等対応設備	対応手段	対処設備	手順等																																																																													
注水貯蔵タンク スプレインジョンシステム	原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	手順は「1.4 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																													
	原子炉格納容器内への注水	原子炉格納容器内への注水	原子炉格納容器内への注水	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																													
注水貯蔵タンク	原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	原子炉格納容器下部注水ポンプ（可搬式）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																													
	原子炉出力降格への注水	原子炉出力降格への注水	原子炉出力降格への注水	手順は「1.10 水蒸気発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。																																																																													
-	燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																													
	燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレインジョン等）	燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレインジョン等）	燃料プールの代替注水（常設設備）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレインジョン等）	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																													
分類	機能喪失を想定する設備/基準事故等対応設備	対応手段	対処設備	設備の分類	整備する手順書	手順の分類																																																																											
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	自主的対策設備	手順は「1.25 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備																																																																											
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	自主的対策設備	手順は「1.25 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力ハンダリを満足するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備																																																																											
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	自主的対策設備	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備																																																																											
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	自主的対策設備	手順は「1.25 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.4 原子炉冷却材圧力ハンダリを満足するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備																																																																											
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	自主的対策設備	手順は「1.25 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備																																																																											
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	自主的対策設備	手順は「1.25 原子炉冷却材圧力ハンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.5 最終冷却タンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。	自主的対策設備																																																																											

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																				
<p>第1.13.2表(2/2)より抜粋して掲載</p> <p>【比較のため、1.13-1表(8/11)を再掲】</p> <p>対応手段、対処設備及び手順書一覧(8/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉冷却システム</td> <td>原子炉冷却システム</td> <td>原子炉冷却システム</td> <td>原子炉冷却システム</td> <td>手順書「1.4 原子炉冷却システム」</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却システム</td> <td>原子炉冷却システム</td> <td>原子炉冷却システム</td> <td>手順書「1.4 原子炉冷却システム」</td> </tr> </tbody> </table>		分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	手順書「1.4 原子炉冷却システム」	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	手順書「1.4 原子炉冷却システム」	<p>第1.13.4表より抜粋して掲載</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却システム</td> <td>原子炉冷却システム</td> <td>原子炉冷却システム</td> <td>手順書「1.4 原子炉冷却システム」</td> </tr> </tbody> </table>		機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	手順書「1.4 原子炉冷却システム」	<p>【大飯との比較対象箇所を青枠で示す。】</p> <p>対応手段、対処設備、手順書一覧(11/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉冷却システム</td> <td>原子炉冷却システム</td> <td>原子炉冷却システム</td> <td>原子炉冷却システム</td> <td>手順書「1.4 原子炉冷却システム」</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却システム</td> <td>原子炉冷却システム</td> <td>原子炉冷却システム</td> <td>手順書「1.4 原子炉冷却システム」</td> </tr> </tbody> </table>		分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	手順書「1.4 原子炉冷却システム」	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	手順書「1.4 原子炉冷却システム」	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。 ・泊は流路使用する設備を記載。</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書																																						
原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	手順書「1.4 原子炉冷却システム」																																						
	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	手順書「1.4 原子炉冷却システム」																																						
機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書																																							
原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	手順書「1.4 原子炉冷却システム」																																							
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書																																						
原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	手順書「1.4 原子炉冷却システム」																																						
	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	原子炉冷却システム	手順書「1.4 原子炉冷却システム」																																						

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

第1.13.5表及び6表を再掲

第1.13.5表 重大事故等における対応手段と整備する手順
(使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時の使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋(貯蔵槽内燃料容器等)へのスプレイ及び取水)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類
緑字	使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時のスプレイ及び取水	送水車による使用済燃料ピット又は原子炉周辺の建屋(貯蔵槽内燃料容器等)へのスプレイ**)	送水車	重大事故等対応設備	送水車を用いた使用済燃料ピットへのスプレイのための手順	SA所定†)
		スプレイヘッド				
		軽油ポンプ**)				
		大容量ポンプ(取水用)†)				
青字	大容量ポンプ(取水用)及び取水船による原子炉周辺建屋(貯蔵槽内燃料容器等)への取水**)	取水船	取水船	a	原子炉周辺建屋への取水船・シールドフェンスによる放射性物質の拡散抑制手順	SA所定†)
		燃料油貯蔵タンク**)				
		重油タンク**)				
		タンクローリー**)				

※1：「大飯発電所」重大事故等発生時に打てる原子炉施設の保全のための活動に関する手順
 ※2：手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.12 工場の内外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」にて整備する。
 ※4：大容量ポンプの燃料補給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※5：送水車の燃料補給に使用する貯蔵槽のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※6：重大事故等発生時に用いている設備の分類
 a：当該本文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第1.13.6表 重大事故等における対応手段と整備する手順
(格納容器及びアキュラス部への取水)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類
緑字	格納容器及びアキュラス部への取水	大容量ポンプ(取水用)	大容量ポンプ(取水用)	重大事故等対応設備	取水船・シールドフェンスによる放射性物質の拡散抑制手順	SA所定†)
		取水船				
		燃料油貯蔵タンク**)				
		重油タンク**)				
青字	格納容器及びアキュラス部への取水	タンクローリー**)		a		SA所定†)

※1：「大飯発電所」重大事故等発生時に打てる原子炉施設の保全のための活動に関する手順
 ※2：手順は「1.12 工場の内外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」にて整備する。
 ※3：大容量ポンプの燃料補給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※4：重大事故等発生時に用いている設備の分類
 a：当該本文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

対応手段、対応設備及び手順書一覧(9/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順等
灰色	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。) (原子炉格納容器冷却ポンプ及び原子炉格納容器冷却ポンプ)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	重大事故等対応設備 自主的対策設備
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	重大事故等対応設備 自主的対策設備
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	重大事故等対応設備 自主的対策設備
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	重大事故等対応設備 自主的対策設備
灰色	大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	重大事故等対応設備 自主的対策設備
		大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	重大事故等対応設備 自主的対策設備
		大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	重大事故等対応設備 自主的対策設備
		大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	重大事故等対応設備 自主的対策設備
灰色	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	重大事故等対応設備 自主的対策設備
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	重大事故等対応設備 自主的対策設備
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	重大事故等対応設備 自主的対策設備
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	重大事故等対応設備 自主的対策設備
灰色	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	重大事故等対応設備 自主的対策設備
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	重大事故等対応設備 自主的対策設備
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	重大事故等対応設備 自主的対策設備
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	重大事故等対応設備 自主的対策設備

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：本文【解釈】b)項を満足するための代替取水源(積氷)

泊発電所3号炉

【大飯との比較対象箇所を青枠で示す。】

対応手段、対応設備、手順書一覧(12/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類
灰色	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	重大事故等対応設備	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	手順は「1.13 最終冷却ポンプへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)		b	
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)			
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)			
灰色	大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	重大事故等対応設備	大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	手順は「1.12 発電所内への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」にて整備する。
		大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備		a	
		大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備			
		大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備	大容量ポンプ(タイプ1)の燃料補給設備			
灰色	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	重大事故等対応設備	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	手順は「1.12 発電所内への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」にて整備する。
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)		a	
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)			
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)			
灰色	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	重大事故等対応設備	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	手順は「1.13 最終冷却ポンプへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)		a	
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)			
		原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)	原子炉格納容器の冷却水(原子炉格納容器の冷却水を含む。)			

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：重大事故等発生時に用いている設備の分類
 a：当該本文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

相違理由

【大飯】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は、水源ごとに
 対応手段及び設備を整理。
 ・泊は流路使用する設備を記載。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

第1.13.3表を再掲

第1.13.3表 重大事故等における対応手段と整備する手順
(格納容器再循環システムを水源とした再循環運転)

分類	施設・設備等	対応手段	対応設備	整備する手順等	整備する手順等	手順の分類
格納容器再循環システムを水源とした再循環運転	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	再循環運転	格納容器内循環ポンプ	重大事故等対応設備	高圧注入ポンプを用いた再循環運転により原子炉を冷却する手順	a,b
			格納容器再循環ポンプスクリーン			
	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器 及び 高圧注入ポンプ	再循環運転	格納容器再循環ポンプ	重大事故等対応設備	A格納容器スプレイポンプを用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	a,b
			格納容器再循環ポンプスクリーン			
			A格納容器スプレイポンプ (RHR S-C S S 連絡ライン使用) *a			
			A格納容器スプレイ冷却器			
	全交流電力喪失 又は 原子炉補給冷却失効	代替再循環運転	格納容器再循環ポンプ	重大事故等対応設備	高圧注入ポンプ、高圧注入ポンプ、代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	a,b
			格納容器再循環ポンプスクリーン			
			高圧注入ポンプ			
			空冷式非常用発電機 *a			
			大容量ポンプ			
			燃料供給減タンク *a			
格納容器再循環システムを水源とした再循環運転	代替再循環運転	格納容器再循環ポンプ	格納容器再循環ポンプスクリーン	A余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	a	
		格納容器再循環ポンプスクリーン				
		A余熱除去ポンプ（空調用冷水）				
		燃料供給減タンク *a				
		重油タンク *a				
		タンクローリー *a				

*1：「大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する指針」
 *2：「プアール」発電機等により発電する。
 *3：手順は「1.4 原子炉冷却圧力低下（ワンダリ）防止に格納容器内ポンプを冷却するための手順等」にて整備する。
 *4：空冷式非常用発電機装置からの給電手順及び燃料供給手順については、「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *5：大容量ポンプの整備計画に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却剤等のための手順等」にて整備する。
 *6：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該施設に適合する重大事故等対応設備 b：ST条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

泊3号炉との比較対象なし

泊発電所3号炉

対応手段、対処設備、手順書一覧（13/17）

分類	施設・設備等	対応手段	対応設備	整備する手順等	整備する手順等	手順の分類
格納容器再循環システムを水源とした再循環運転	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	再循環運転	格納容器内循環ポンプ 余熱除去ポンプ	重大事故等対応設備	高圧注入ポンプを用いた再循環運転により原子炉を冷却する手順	a
			格納容器再循環ポンプスクリーン			
	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	再循環運転	格納容器再循環ポンプ 高圧注入ポンプ	重大事故等対応設備	高圧注入ポンプを用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	a
			格納容器再循環ポンプスクリーン			
	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器 及び 高圧注入ポンプ	再循環運転	格納容器再循環ポンプ 格納容器スプレイポンプ	重大事故等対応設備	高圧注入ポンプ、高圧注入ポンプ、代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	a
格納容器再循環ポンプスクリーン						
余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器 及び 高圧注入ポンプ	再循環運転	格納容器再循環ポンプ 格納容器スプレイポンプ	重大事故等対応設備	高圧注入ポンプ、高圧注入ポンプ、代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	a	
		格納容器再循環ポンプスクリーン				
全交流電力喪失 又は 原子炉補給冷却失効	代替再循環運転	格納容器再循環ポンプ 格納容器スプレイポンプ	重大事故等対応設備	高圧注入ポンプ、高圧注入ポンプ、代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	a	
		格納容器再循環ポンプスクリーン				

*1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *2：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該施設に適合する重大事故等対応設備 b：ST条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

相違理由
 【大飯】
 記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）
 ・泊は、水源ごとに
 対応手段及び設備を整理。

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

第1.13.3表を抜粋して再掲

燃料取替用水ビット (積載) (60)	No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	No. 2 淡水タンク	重大事故等対応設備	No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給のための手順	SA所産PI
復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	復水ビット		重大事故等対応設備	原子炉出力制御への注水のための注水を継続するための手順 復水ビット出口配管経路の手順	SA所産PI

81：「大飯発電所」重大事故等発生時に必要な原子炉施設の保全のための活動に関する事項
82：「アービット」発電機停止により補償する。
83：手順は「1.6 原子炉燃料管理設備の保守等のための手順等」にて整備する。
84：空冷式非常用発電機からの給排水配管及び燃料補給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
85：燃料棒「用注入管」から淡水タンクへ燃料補給に使用する。手順は「1.9 原子炉燃料管理設備の保守等のための手順等」にて整備する。
86：注水車の燃料補給に使用する貯蔵用のみである。手順は「1.6 原子炉燃料管理設備の保守等のための手順等」にて整備する。
87：重大事故等対応において用いる設備の分類
a：当該条項に適合する重大事故等対応設備 b：37 条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対象として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

対応手段、対処設備及び手順書一覧(10/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順等
復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応	燃料取替用水ビット (積載) (60)	注水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッド・接続口 補給水配管・弁 燃料補給設備 弁1	復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッド・接続口 補給水配管・弁 燃料補給設備 弁1	重大事故等対応設備 「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」
		注水貯蔵タンク (No. 1) 弁2 注水貯蔵タンク (No. 2) 弁2	注水貯蔵タンク (No. 1) 弁2 注水貯蔵タンク (No. 2) 弁2	自主的対応設備
		注水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッド・接続口 ろ過水タンク 復水タンク 補給水配管・弁 ろ過水配管・弁 給排水処理装置配管・弁 燃料補給設備 弁1	注水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッド・接続口 ろ過水タンク 復水タンク 補給水配管・弁 ろ過水配管・弁 給排水処理装置配管・弁 燃料補給設備 弁1	重大事故等対応設備 「淡水タンクから復水貯蔵タンクへの補給」
		注水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッド・接続口 補給水配管・弁 貯留車 取水口 取水ポンプ 海水ポンプ室 燃料補給設備 弁1	注水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッド・接続口 補給水配管・弁 貯留車 取水口 取水ポンプ 海水ポンプ室 燃料補給設備 弁1	重大事故等対応設備 「海から復水貯蔵タンクへの補給」
燃料取替用水ビットへの補給	燃料取替用水ビット (積載) (60)	注水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐震性防火水櫃	注水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐震性防火水櫃	重大事故等対応設備 「耐震性防火水櫃から復水貯蔵タンクへの補給」
		注水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐震性防火水櫃	注水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐震性防火水櫃	自主的対応設備

弁1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
弁2：本条項【解釈】1b)項を満足するための代替淡水 (積載)

泊発電所3号炉

【大飯との比較対象箇所を青枠で示す。】

対応手段、対処設備、手順書一覧 (14/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順の分類
燃料取替用水ビットへの補給	燃料取替用水ビット (積載) (60)	注水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッド・接続口 補給水配管・弁 燃料補給設備 弁1	注水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッド・接続口 補給水配管・弁 燃料補給設備 弁1	1 淡水貯蔵タンク事故発生時に再稼働運転が停止となった場合の対応手順等	高圧及び設計基準事故に相当する運転手順書
		注水貯蔵タンク (No. 1) 弁2 注水貯蔵タンク (No. 2) 弁2	注水貯蔵タンク (No. 1) 弁2 注水貯蔵タンク (No. 2) 弁2	1 淡水貯蔵タンク事故発生時に再稼働運転が停止となった場合の対応手順等	高圧及び設計基準事故に相当する運転手順書
		注水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッド・接続口 ろ過水タンク 復水タンク 補給水配管・弁 ろ過水配管・弁 給排水処理装置配管・弁 燃料補給設備 弁1	注水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッド・接続口 ろ過水タンク 復水タンク 補給水配管・弁 ろ過水配管・弁 給排水処理装置配管・弁 燃料補給設備 弁1	1 淡水貯蔵タンク事故発生時に再稼働運転が停止となった場合の対応手順等	高圧及び設計基準事故に相当する運転手順書
		注水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッド・接続口 補給水配管・弁 貯留車 取水口 取水ポンプ 海水ポンプ室 燃料補給設備 弁1	注水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッド・接続口 補給水配管・弁 貯留車 取水口 取水ポンプ 海水ポンプ室 燃料補給設備 弁1	1 淡水貯蔵タンク事故発生時に再稼働運転が停止となった場合の対応手順等	高圧及び設計基準事故に相当する運転手順書
燃料取替用水ビットへの補給	燃料取替用水ビット (積載) (60)	注水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐震性防火水櫃	注水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐震性防火水櫃	1 淡水貯蔵タンク事故発生時に再稼働運転が停止となった場合の対応手順等	高圧及び設計基準事故に相当する運転手順書
		注水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐震性防火水櫃	注水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐震性防火水櫃	1 淡水貯蔵タンク事故発生時に再稼働運転が停止となった場合の対応手順等	高圧及び設計基準事故に相当する運転手順書

弁1：重大事故等対応において用いる設備の分類
弁2：当該条項に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対象として整備する重大事故等対応設備

相違理由

【大飯】
記載方針の相違
(女川審査実績の反映)
・泊は、水源ごとに
対応手段及び設備を整理。
・泊は管路に使用する設備を記載。

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

第 1.13.2 表 (1/2) を抜粋して再掲

燃料取扱用ホット (熱源) (図)	1 次高純水タンク	燃料取扱用ホット ピットへの供給	炉子炉圧力容器 への注水のための 水壓を確保する ための手順	炉心の著しい損傷及び 格納容器破損を防止 する運転手順
	1 次高純水ポンプ 加圧設備及びタンク			
1 次高純水 タンクから 燃料取扱用ホ ットへの供給	1 次高純水ポンプ 格納容器冷却材ドレンポンプ			
	1 次高純水タンク			
	1 次高純水ポンプ			

※1：「大飯発電所」重大事故等発生時における炉子炉施設の保全のための活動に関する事項。
 ※2：「プーゼル」を意味するより総称する。
 ※3：「手順」は「1.4 炉子炉施設に力/ウツダリ低圧時に発電用炉子を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：「空冷式非常用発電機からの給電手順及び燃料供給手順」については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※5：「電源車（可能な代替注水ポンプ用）」の燃料供給に使用する。手順は「1.6 炉子炉施設内の冷却材の供給等」にて整備する。
 ※6：「注水車の燃料供給に使用する貯蔵用のものである。手順は「1.6 炉子炉施設内の冷却材の供給等」にて整備する。
 ※7：「重大事故等対策において用いる設備の分類」
 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：07 条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第 1.13.2 表 (2/2) を抜粋して再掲

伊吹原子力 発電所	No. 3 取水タンク から使用済 燃料ピットを流 出した燃料取扱 用ホットへの 供給	多 量 注 水	炉子炉圧力容器への 注水のための水壓を 確保するための手順	炉心の著しい損傷及び 格納容器破損を防止 する運転手順
	No. 0 取水タンク 使用済燃料ピットポンプ			

※1：「大飯発電所」重大事故等発生時における炉子炉施設の保全のための活動に関する事項。
 ※2：「プーゼル」を意味するより総称する。
 ※3：「手順」は「1.4 炉子炉施設に力/ウツダリ低圧時に発電用炉子を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：「空冷式非常用発電機からの給電手順及び燃料供給手順」については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※5：「電源車（可能な代替注水ポンプ用）」の燃料供給に使用する。手順は「1.6 炉子炉施設内の冷却材の供給等」にて整備する。
 ※6：「注水車の燃料供給に使用する貯蔵用のものである。手順は「1.6 炉子炉施設内の冷却材の供給等」にて整備する。
 ※7：「重大事故等対策において用いる設備の分類」
 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：07 条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第 1.13.2 表 (1/2) を抜粋して再掲

1 次高純水 タンク及びほう 燃料取扱用ホ ットへの供給	1 次高純水タンク	ほう 燃料取扱用ホ ットへの供給	ほう 燃料取扱用ホ ットへの供給	ほう 燃料取扱用ホ ットへの供給
	1 次高純水ポンプ			
	ほう 燃料取扱用ホ ットへの供給			
	ほう 燃料取扱用ホ ットへの供給			

※1：「大飯発電所」重大事故等発生時における炉子炉施設の保全のための活動に関する事項。
 ※2：「プーゼル」を意味するより総称する。
 ※3：「手順」は「1.4 炉子炉施設に力/ウツダリ低圧時に発電用炉子を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：「空冷式非常用発電機からの給電手順及び燃料供給手順」については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※5：「電源車（可能な代替注水ポンプ用）」の燃料供給に使用する。手順は「1.6 炉子炉施設内の冷却材の供給等」にて整備する。
 ※6：「注水車の燃料供給に使用する貯蔵用のものである。手順は「1.6 炉子炉施設内の冷却材の供給等」にて整備する。
 ※7：「重大事故等対策において用いる設備の分類」
 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：07 条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

分類	機能喪失を想定する 事故基準事故対応設備	対応 手段	対応設備	手順等
水素 貯蔵 タンク へ水 を供給 するための 対応	-	-	大容量送水ポンプ (タイプII) ボース延長回収車 ホース 貯留機 取水口 取水路 海水ポンプ室 燃料供給設備 0-1	重大事故等 対応設備 「海から淡水貯水 への供給」
			海水貯水機 (No. 1) 0-2 淡水貯水機 (No. 2) 0-2	自 設 上 記 取 組
			海水貯蔵タンク 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポン プ)	重大事故等 対応設備 「高圧炉心スプレイ系 ポンプ」
			サブプレッションシステム 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポン プ)	非常時操作手順書 【設備ベース】 【水位確保】等 非常時操作手順書 【設備別】 「高圧炉心スプレイ系ポン プによる炉子炉圧水」
水素 貯蔵 タンク へ水 を供給 するための 対応	-	-	大容量送水ポンプ (タイプII) ボース延長回収車 ホース 貯留機 取水口 取水路 海水ポンプ室 燃料供給設備 0-1	重大事故等 対応設備 「海から淡水貯水 への供給」
			海水貯水機 (No. 1) 0-2 淡水貯水機 (No. 2) 0-2	自 設 上 記 取 組
			海水貯蔵タンク サブプレッションシステム 高圧代替注水系 (常設) (海水移送ポンプ) 代替燃料供給系 (代替燃料供給ポンプ)	手順は「1.4 炉子炉施設 に力/ウツダリ低圧時に 発電用炉子を冷却する ための手順等」、「1.7 炉子炉施設内の冷却材 供給を防止するための手 続等」及び「1.6 炉子炉 施設内の冷却材供給 に関する手順等」にて 整備する。
				重大事故等 対応設備

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：本文【解説】13.3項を満足するための代替淡水源 (措置)

泊発電所3号炉

分類	機能喪失を想定する 事故基準事故対応設備	対応 手段	対応設備	手順等
燃料取扱用 ホット へ水 を供給 するための 対応	-	-	1 次高純水タンク 燃料取扱用ホット 1 次高純水ポンプ 加圧設備及びタンク 燃料取扱用ホットドレンポンプ 1 次高純水ポンプ 化学汚染制御設備 配管・弁 格納容器冷却材ドレンポンプ 燃料取扱設備 配管・弁 燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	重大事故等 対応設備 「海から淡水貯水 への供給」
			海水貯水機 (No. 1) 0-2 淡水貯水機 (No. 2) 0-2	自 設 上 記 取 組
			燃料取扱用ホット 1 次高純水タンク 燃料取扱用ホット 1 次高純水ポンプ 加圧設備及びタンク 燃料取扱用ホットドレンポンプ 1 次高純水ポンプ 化学汚染制御設備 配管・弁 格納容器冷却材ドレンポンプ 燃料取扱設備 配管・弁 燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	1 次高純水ポンプ 加圧設備及びタンク 燃料取扱用ホットドレン ポンプ 燃料取扱設備 配管・弁 燃料取扱設備及び貯蔵設 備 配管・弁
			1 次高純水タンク ほう 燃料取扱用ホ ットへの供給	1 次高純水ポンプ 加圧設備及びタンク 燃料取扱用ホットドレン ポンプ 燃料取扱設備 配管・弁 燃料取扱設備及び貯蔵設 備 配管・弁
燃料取扱用 ホット へ水 を供給 するための 対応	-	-	1 次高純水タンク ほう 燃料取扱用ホ ットへの供給	1 次高純水ポンプ 加圧設備及びタンク 燃料取扱用ホットドレン ポンプ 燃料取扱設備 配管・弁 燃料取扱設備及び貯蔵設 備 配管・弁
			1 次高純水タンク ほう 燃料取扱用ホ ットへの供給	1 次高純水ポンプ 加圧設備及びタンク 燃料取扱用ホットドレン ポンプ 燃料取扱設備 配管・弁 燃料取扱設備及び貯蔵設 備 配管・弁
			1 次高純水タンク ほう 燃料取扱用ホ ットへの供給	1 次高純水ポンプ 加圧設備及びタンク 燃料取扱用ホットドレン ポンプ 燃料取扱設備 配管・弁 燃料取扱設備及び貯蔵設 備 配管・弁
			1 次高純水タンク ほう 燃料取扱用ホ ットへの供給	1 次高純水ポンプ 加圧設備及びタンク 燃料取扱用ホットドレン ポンプ 燃料取扱設備 配管・弁 燃料取扱設備及び貯蔵設 備 配管・弁

相違理由

【大飯】
記載方針の相違
(女川審査実績の
反映)
・泊は、水源ごとに
対応手段及び設
備を整理。
・泊は管路に使用
する設備を記載。

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">第1.13.1表を抜粋して再掲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">送水車</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">重大事故等 対応設備</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">a, b</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">送水を用いた放水ピットへの供給の手順</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">止する運転手順書 SA所定^{※1}</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">送水車を用いた放水ピットへの供給</td> <td style="text-align: center;">軽油ドラム缶^{※2}</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">N6、3号放水タンクからの放水ピットへの供給</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">N6、3号放水タンク</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">多量供給</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> </table> <p>※1：「大飯発電所 重大事故発生時における原子炉機能が健全のための活動に関する手順」 ※2：「フェーズII発電機等により給電する」 ※3：「手順は「1.2 原子炉冷却系圧力降下防止高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。 ※4：送水車の燃料供給に使用する貯蔵用のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の油層等のための手順等」にて整備する。 ※5：重大事故等対策において用いる設備の分類 a：当該本文に適合する重大事故等対応設備 b：当該本文に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>		送水車	重大事故等 対応設備	a, b	送水を用いた放水ピットへの供給の手順	止する運転手順書 SA所定 ^{※1}	送水車を用いた放水ピットへの供給	軽油ドラム缶 ^{※2}						N6、3号放水タンクからの放水ピットへの供給	N6、3号放水タンク	多量供給			<p style="font-size: 2em; border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center; color: blue;">【大飯との比較対象箇所を青枠で示す。】</p> <p>対応手段、対処設備、手順書一覧（16/17）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機殻内外を想定する 送水車等対応設備</th> <th>対応 手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備 分類</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">機殻内外を想定する 送水車等対応設備</td> <td rowspan="2">機殻内外を想定する 送水車等対応設備</td> <td>可 機殻内外を想定する 送水車等対応設備</td> <td>代替給水ピット 補助給水ピット 可搬型大型送水ポンプ車 可搬型コース・接続口 コース延長・回収車（送水車用） 非常用給水設備 燃料補給設備※1</td> <td>自主的対策設備</td> <td>非常用原子炉の冷却を維持する手順等</td> <td>機殻及び設計基準事故に 対応する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>可 機殻内外を想定する 送水車等対応設備</td> <td>放水車 2号送水タンク 補助給水ピット 可搬型大型送水ポンプ車 可搬型コース・接続口 コース延長・回収車（送水車用） 非常用給水設備 燃料補給設備※1</td> <td>自主的対策設備</td> <td>非常用原子炉の冷却を維持する手順等</td> <td>機殻及び設計基準事故に 対応する運転手順書</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機殻内外を想定する 送水車等対応設備</td> <td>可 機殻内外を想定する 送水車等対応設備</td> <td>代替給水ピット 補助給水ピット 可搬型大型送水ポンプ車 可搬型コース・接続口 コース延長・回収車（送水車用） 非常用給水設備 燃料補給設備※1</td> <td>自主的対策設備</td> <td>非常用原子炉の冷却を維持する手順等</td> <td>機殻及び設計基準事故に 対応する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>可 機殻内外を想定する 送水車等対応設備</td> <td>放水車 2号送水タンク 補助給水ピット 可搬型大型送水ポンプ車 可搬型コース・接続口 コース延長・回収車（送水車用） 非常用給水設備 燃料補給設備※1</td> <td>自主的対策設備</td> <td>非常用原子炉の冷却を維持する手順等</td> <td>機殻及び設計基準事故に 対応する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>自主的対策</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電廠の維持に関する手順等」にて整備する。 ※2：重大事故等対策において用いる設備の分類 a：当該本文に適合する重大事故等対応設備 b：当該本文に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	分類	機殻内外を想定する 送水車等対応設備	対応 手段	対処設備	設備 分類	整備する手順書	手順の分類	機殻内外を想定する 送水車等対応設備	機殻内外を想定する 送水車等対応設備	可 機殻内外を想定する 送水車等対応設備	代替給水ピット 補助給水ピット 可搬型大型送水ポンプ車 可搬型コース・接続口 コース延長・回収車（送水車用） 非常用給水設備 燃料補給設備※1	自主的対策設備	非常用原子炉の冷却を維持する手順等	機殻及び設計基準事故に 対応する運転手順書	可 機殻内外を想定する 送水車等対応設備	放水車 2号送水タンク 補助給水ピット 可搬型大型送水ポンプ車 可搬型コース・接続口 コース延長・回収車（送水車用） 非常用給水設備 燃料補給設備※1	自主的対策設備	非常用原子炉の冷却を維持する手順等	機殻及び設計基準事故に 対応する運転手順書	機殻内外を想定する 送水車等対応設備	可 機殻内外を想定する 送水車等対応設備	代替給水ピット 補助給水ピット 可搬型大型送水ポンプ車 可搬型コース・接続口 コース延長・回収車（送水車用） 非常用給水設備 燃料補給設備※1	自主的対策設備	非常用原子炉の冷却を維持する手順等	機殻及び設計基準事故に 対応する運転手順書	可 機殻内外を想定する 送水車等対応設備	放水車 2号送水タンク 補助給水ピット 可搬型大型送水ポンプ車 可搬型コース・接続口 コース延長・回収車（送水車用） 非常用給水設備 燃料補給設備※1	自主的対策設備	非常用原子炉の冷却を維持する手順等	機殻及び設計基準事故に 対応する運転手順書	自主的対策							<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設 備を整理。 ・泊は流路に使用 する設備を記 載。
	送水車	重大事故等 対応設備	a, b	送水を用いた放水ピットへの供給の手順	止する運転手順書 SA所定 ^{※1}																																																					
送水車を用いた放水ピットへの供給	軽油ドラム缶 ^{※2}																																																									
	N6、3号放水タンクからの放水ピットへの供給	N6、3号放水タンク	多量供給																																																							
分類	機殻内外を想定する 送水車等対応設備	対応 手段	対処設備	設備 分類	整備する手順書	手順の分類																																																				
機殻内外を想定する 送水車等対応設備	機殻内外を想定する 送水車等対応設備	可 機殻内外を想定する 送水車等対応設備	代替給水ピット 補助給水ピット 可搬型大型送水ポンプ車 可搬型コース・接続口 コース延長・回収車（送水車用） 非常用給水設備 燃料補給設備※1	自主的対策設備	非常用原子炉の冷却を維持する手順等	機殻及び設計基準事故に 対応する運転手順書																																																				
		可 機殻内外を想定する 送水車等対応設備	放水車 2号送水タンク 補助給水ピット 可搬型大型送水ポンプ車 可搬型コース・接続口 コース延長・回収車（送水車用） 非常用給水設備 燃料補給設備※1	自主的対策設備	非常用原子炉の冷却を維持する手順等	機殻及び設計基準事故に 対応する運転手順書																																																				
	機殻内外を想定する 送水車等対応設備	可 機殻内外を想定する 送水車等対応設備	代替給水ピット 補助給水ピット 可搬型大型送水ポンプ車 可搬型コース・接続口 コース延長・回収車（送水車用） 非常用給水設備 燃料補給設備※1	自主的対策設備	非常用原子炉の冷却を維持する手順等	機殻及び設計基準事故に 対応する運転手順書																																																				
		可 機殻内外を想定する 送水車等対応設備	放水車 2号送水タンク 補助給水ピット 可搬型大型送水ポンプ車 可搬型コース・接続口 コース延長・回収車（送水車用） 非常用給水設備 燃料補給設備※1	自主的対策設備	非常用原子炉の冷却を維持する手順等	機殻及び設計基準事故に 対応する運転手順書																																																				
自主的対策																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
<p>第1.13.7表 重大事故等対処に係る監視計器</p> <p>1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等</p> <p>監視計器一覧（1/14）</p> <table border="1" data-bbox="100 255 707 1109"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の 対応に必要な 監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(1) 復水ビットからNo. 3淡水タンクへの水源切替</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) A、B2次系純水タンクからNo. 3淡水タンクへの補給</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(3) 復水ビットから脱気器タンクへの水源切替</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT） ・脱気器タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・No. 3淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a.「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の 対応に必要な 監視項目	監視計器	1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給に係る手順等			(1) 復水ビットからNo. 3淡水タンクへの水源切替	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）	操作	水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）	水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）	(2) A、B2次系純水タンクからNo. 3淡水タンクへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）	操作	水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）	水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）	(3) 復水ビットから脱気器タンクへの水源切替	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT） ・脱気器タンク水位計（CRT）	水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計（CRT）	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a.「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。			<p>【大飯】</p> <p>泊の比較箇所に掲載して比較する。</p>
対応手段	重大事故等の 対応に必要な 監視項目	監視計器																																							
1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給に係る手順等																																									
(1) 復水ビットからNo. 3淡水タンクへの水源切替	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計																																						
		水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）																																						
	操作	水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）																																						
		水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）																																						
(2) A、B2次系純水タンクからNo. 3淡水タンクへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計																																						
		水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）																																						
	操作	水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）																																						
		水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）																																						
(3) 復水ビットから脱気器タンクへの水源切替	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計																																						
		水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT） ・脱気器タンク水位計（CRT）																																						
			水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計（CRT）																																					
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a.「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																																							

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
監視計器一覧（2/14）						
対応手段	重大事故等の 対応に必要な 監視項目	監視計器				
1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給に係る手順等						
(4) 1次冷却系のフィードアンドブリード	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器補助給水流量計		【大飯】 泊の比較箇所に掲載して比較する。	
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・脱気器タンク水位計（CRT）			
	操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(1)「1次冷却系のフィードアンドブリード」にて整備する。			
	判断基準		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計		
		水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）			
(5) No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給	操作		・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）			
	(6) No. 2淡水タンクから復水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計		
水源の確保			・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・No. 2淡水タンク水位計（CRT）			
		操作	水源の確保	・復水ビット水位計 ・No. 2淡水タンク水位計（CRT） ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）		
			判断基準	最終ヒートシンクの確保		・蒸気発生器補助給水流量計
(7) 海水を用いた復水ビットへの補給		水源の確保		・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT） ・No. 2淡水タンク水位計（CRT）		

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧（3/14）					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(1) 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計		
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)		
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)		
(2) 燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計		
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・No. 2淡水タンク水位計(CRT)		
	操作	水源の確保	・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)		
			「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1)b.(c)「電動消防ポンプ又はディーゼル消防ポンプによる代替炉心注水」にて整備する。		
(3) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計		
		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器水位計(狭域) ・蒸気発生器補助給水流量計		
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計		
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2淡水タンク水位計(CRT)		
(4) 燃料取替用水ピットから海水への水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計		
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計		
	操作	水源の確保	・復水ピット水位計		
			「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1)b.(d)「可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水」にて整備する。		
【大飯】 泊の比較箇所に掲載して比較する。					

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
監視計器一覧(4/14)					
対応手段	重大事故等の 対応に必要な 監視項目	監視計器			
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(5) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計		
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注流入量計 ・余熱除去流量計		
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)		
		格納容器バイパスの監視	原子炉周辺建屋サンプタンク水位計(CRT)		
			・排気筒ガスモニタ		
			・復水器空気抽出器ガスモニタ		
			・蒸気発生器ブローダウン水モニタ		
	・高感度型主蒸気管モニタ				
	原子炉格納容器内の放射線量率	・主蒸気圧力計			
		・余熱除去ポンプ吐出圧力計			
		・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)			
		・格納容器エアロック区域エリアモニタ			
		・炉内計装区域エリアモニタ			
	水源の確保	・格納容器じんあいモニタ			
		・燃料取替用水ピット水位計			
		・ほう酸タンク水位計			
	操作	信号	・安全注入作動警報		
水源の確保		・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)			

【大飯】
泊の比較箇所
に再掲して比較する。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧(5/14)				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等				
(6) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注流入量計 ・余熱除去流量計	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	
		格納容器バイパスの監視	・原子炉周辺検量サンプタンク水位計(CRT)	
			・排気筒ガスモニタ	
			・復水器空気抽出器ガスモニタ	
			・蒸気発生器ブローダウン水モニタ	
	・高感度型主蒸気管モニタ			
	原子炉格納容器内の放射線量率	・主蒸気圧力計		
		・余熱除去ポンプ吐出圧力計		
		・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		
		・格納容器エアロック区域エリアモニタ		
		・炉内計装区域エリアモニタ		
	水源の確保	・格納容器じんあいモニタ		
		・燃料取替用水ピット水位計		
		・ほう酸タンク水位計		
		・1次系純水タンク水位計(CRT)		
信号	・加圧器逃がしタンク水位計			
	・安全注入作動警報			
操作	・燃料取替用水ピット水位計			
	・ほう酸タンク水位計			
	・1次系純水タンク水位計(CRT)			
		・加圧器逃がしタンク水位計		

【大飯】
泊の比較箇所を再掲して比較する。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧(6/14)				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等				
(7) No. 3淡水タンクから使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注流量計 ・余熱除去流量計	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	
		格納容器バイパスの監視	原子炉周辺建屋サンプタンク水位計(CRT)	
			・排気筒ガスモニタ	
			・復水器空気抽出器ガスモニタ	
			・蒸気発生器ブローダウン水モニタ	
	・高感度型主蒸気管モニタ			
	原子炉格納容器内の放射線量率	・主蒸気圧力計		
		・余熱除去ポンプ吐出圧力計		
		・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		
		・格納容器エアロック区域エリアモニタ		
		・炉内計装区域エリアモニタ		
	水源の確保	・格納容器じんあいモニタ		
		・格納容器ガスモニタ		
		・燃料取替用水ビット水位計		
	信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)		
		・No. 3淡水タンク水位計(CRT)		
	操作	・使用済燃料ビット水位計(CRT)		
		・安全注入作動警報		
・燃料取替用水ビット水位計				
・No. 3淡水タンク水位計(CRT)				
		・使用済燃料ビット水位計(CRT)		
		・1次系純水タンク水位計(CRT)		
				【大飯】 泊の比較箇所に掲載して比較する。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧（7/14）				
対応手段	重大事故等の 対応に必要な 監視項目	監視計器		
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等				
(8) No. 2淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	
		格納容器バイパスの監視	・原子炉周辺建屋サンプタンク水位計（CRT）	
			・排気筒ガスモニタ	
			・復水器空気抽出器ガスモニタ	
			・蒸気発生器ブローダウン水モニタ	
	・高感度型主蒸気管モニタ			
	原子炉格納容器内の放射線量率	・主蒸気圧力計		
		・余熱除去ポンプ吐出圧力計		
		・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）		
		・格納容器エアロック区域エリアモニタ		
		・炉内計装区域エリアモニタ		
	水源の確保	・格納容器じんあいモニタ		
		・格納容器ガスモニタ		
		・燃料取替用水ビット水位計		
	信号	・No. 2淡水タンク水位計（CRT）		
・No. 3淡水タンク水位計（CRT）				
操作	・安全注入作動警報			
	・燃料取替用水ビット水位計			
	・No. 2淡水タンク水位計（CRT） ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）			

【大飯】
泊の比較箇所
に再掲して比較する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧(8/14)				
対応手段	重大事故等の 対応に必要な 監視項目	監視計器		
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等				
(9) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注流入量計 ・余熱除去流量計	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	
		格納容器バイパスの監視	・原子炉周辺建屋サンプタンク水位計(CRT)	
			・排気筒ガスモニタ	
			・復水器空気抽出器ガスモニタ	
			・蒸気発生器ブローダウン水モニタ	
			・高感度型主蒸気管モニタ	
		最終ヒートシンクの確保	・主蒸気圧力計	
			・余熱除去ポンプ吐出圧力計	
			・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器補給水流量計	
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ	
			・炉内計装区域エリアモニタ	
			・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	
			・ほう酸タンク水位計	
・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)				
信号	・安全注入作動警報			
				【大飯】 泊の比較箇所に掲載して比較する。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧（9/14）					【大飯】 泊の比較箇所に掲載して比較する。
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等					
(9) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	操作 水源の確保	・復水ビット水位計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・No.2脱気タンク水位計(CRT)			
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等					
(1) 燃料取替用水ビットからNo.2脱気タンクへの水源切替	判断基準 原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計			
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・No.2脱気タンク水位計(CRT)			
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.6)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。			
(2) 燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替	判断基準 原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計			
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計			
	操作	水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No.2脱気タンク水位計(CRT)			
(3) 燃料取替用水ビットから海水への水源切替	判断基準 原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計			
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計			
	操作	水源の確保 「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.6)「可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。			
監視計器一覧（10/14）					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等					
(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計		
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)		
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計		
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ		
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)		
		信号	・安全注入作動警報		
		操作	1.13.2.2(5)と同様。		

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
監視計器一覧（11/14）						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.13.2.3	格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(5) 1次系統水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	監視基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計			
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計			
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計			
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計			
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）			
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計			
		放射線量	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ		
			水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計		
				・ほう酸タンク水位計		
				・1次系統水タンク水位計（CRT） ・加圧器過給タンク水位計		
	操作	信号	・安全注入作動警報			
		加圧器過給タンク経由の補給は1.13.2.2(6)aと同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)bと同様。				
	監視計器一覧（12/14）					
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.3	格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(6) No. 3脱水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給	監視基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計			
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計			
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計			
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計			
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）			
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計			
		放射線量	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ		
			水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計		
				・1次系統水タンク水位計（CRT） ・No. 3脱水タンク水位計（CRT）		
				・使用済燃料ピット水位計（CRT）		
	操作	信号	・安全注入作動警報			
		1.13.2.2(7)と同様。				

【大飯】
 泊の比較箇所を再掲して比較する。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
監視計器一覧（13/14）									【大飯】 泊の比較箇所に掲げて比較する。
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器							
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等									
(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計						
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計						
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計						
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計						
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）						
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計						
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）						
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ						
			・炉内計装区域エリアモニタ						
			・格納容器じんあいモニタ						
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計						
			・No. 3 淡水タンク水位計（CRT）						
			・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）						
信号	・安全注入作動警報								
操作	1.13.2.2 (8)と同様。								
監視計器一覧（14/14）									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器							
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等									
(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計						
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計						
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計						
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計						
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）						
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計						
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）						
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ						
			・炉内計装区域エリアモニタ						
			・格納容器じんあいモニタ						
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計						
			・ほう酸タンク水位計						
			・復水ビット水位計						
信号	・安全注入作動警報								
操作	・燃料取替用水ビット水位計								
	・復水ビット水位計								
			・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<p>監視計器一覧(2/14)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧(2/14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等</td> <td>最終ヒートシンクの確保 水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器水位計(広域) 蒸気発生器補助給水流量計 燃料取替用水ピット水位計 復水ピット水位計 N o. 3 淡水タンク水位計(CRT) 脱気器タンク水位計(CRT) </td> </tr> <tr> <td>(4) 1次冷却系のフィードアンドブリード</td> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(1)「1次冷却系のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等	最終ヒートシンクの確保 水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器水位計(広域) 蒸気発生器補助給水流量計 燃料取替用水ピット水位計 復水ピット水位計 N o. 3 淡水タンク水位計(CRT) 脱気器タンク水位計(CRT) 	(4) 1次冷却系のフィードアンドブリード	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(1)「1次冷却系のフィードアンドブリード」にて整備する。	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.2表 重大事故等対処に係る監視計器</p> <p>監視計器一覧(1/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.1 水海を利用した対応手順 (1) 燃料取替用水ピットを水源とした対応手順 a. 燃料取替用水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水</td> <td>最終ヒートシンクの確保 水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器水位(広域) 補助給水流量 燃料取替用水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td>(a) 燃料取替用水ピットを水源とした1次冷却系のフィードアンドブリード</td> <td>操作</td> <td>燃料取替用水ピットを水源とした1次冷却系のフィードアンドブリード手順については、「1.2.2.1(1)1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>(3) ろ過水タンクを水源とした対応手順 a. ろ過水タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内への注水量 低圧注入流量 高圧注入流量 燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位 ろ過水タンク水位 </td> </tr> <tr> <td>(a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td>操作</td> <td>ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替炉心注水手順については、「1.4.2.1(1)b.(c)電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>b. ろ過水タンクを水源とした原子炉格納容器内の冷却</td> <td>判断基準</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内への注水量 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AW用) 燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位 ろ過水タンク水位 </td> </tr> <tr> <td>(a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ</td> <td>操作</td> <td>ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ手順については、「1.6.2.1(1)b.(b)電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1)b.(b)電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水海を利用した対応手順 (1) 燃料取替用水ピットを水源とした対応手順 a. 燃料取替用水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水	最終ヒートシンクの確保 水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器水位(広域) 補助給水流量 燃料取替用水ピット水位 	(a) 燃料取替用水ピットを水源とした1次冷却系のフィードアンドブリード	操作	燃料取替用水ピットを水源とした1次冷却系のフィードアンドブリード手順については、「1.2.2.1(1)1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却」にて整備する。	(3) ろ過水タンクを水源とした対応手順 a. ろ過水タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内への注水量 低圧注入流量 高圧注入流量 燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位 ろ過水タンク水位 	(a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	操作	ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替炉心注水手順については、「1.4.2.1(1)b.(c)電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」にて整備する。	b. ろ過水タンクを水源とした原子炉格納容器内の冷却	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内への注水量 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AW用) 燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位 ろ過水タンク水位 	(a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ手順については、「1.6.2.1(1)b.(b)電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1)b.(b)電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映) 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																															
1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等	最終ヒートシンクの確保 水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器水位計(広域) 蒸気発生器補助給水流量計 燃料取替用水ピット水位計 復水ピット水位計 N o. 3 淡水タンク水位計(CRT) 脱気器タンク水位計(CRT) 																															
(4) 1次冷却系のフィードアンドブリード	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(1)「1次冷却系のフィードアンドブリード」にて整備する。																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																															
1.13.2.1 水海を利用した対応手順 (1) 燃料取替用水ピットを水源とした対応手順 a. 燃料取替用水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水	最終ヒートシンクの確保 水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器水位(広域) 補助給水流量 燃料取替用水ピット水位 																															
(a) 燃料取替用水ピットを水源とした1次冷却系のフィードアンドブリード	操作	燃料取替用水ピットを水源とした1次冷却系のフィードアンドブリード手順については、「1.2.2.1(1)1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却」にて整備する。																															
(3) ろ過水タンクを水源とした対応手順 a. ろ過水タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内への注水量 低圧注入流量 高圧注入流量 燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位 ろ過水タンク水位 																															
(a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	操作	ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替炉心注水手順については、「1.4.2.1(1)b.(c)電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」にて整備する。																															
b. ろ過水タンクを水源とした原子炉格納容器内の冷却	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内への注水量 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AW用) 燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位 ろ過水タンク水位 																															
(a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ手順については、「1.6.2.1(1)b.(b)電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1)b.(b)電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。																															
<p>監視計器一覧(3/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>判断基準</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(2) 燃料取替用水ピットからN o. 2 淡水タンクへの水源切替</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内への注水量 余熱除去流量計 高圧注入流量計 燃料取替用水ピット水位計 ほう酸タンク水位計 1次系純水タンク水位計(CRT) N o. 2 淡水タンク水位計(CRT) ほう酸タンク水位計 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 1次系純水タンク水位計(CRT) </td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1)b.(c)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	判断基準	監視計器	(2) 燃料取替用水ピットからN o. 2 淡水タンクへの水源切替	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内への注水量 余熱除去流量計 高圧注入流量計 燃料取替用水ピット水位計 ほう酸タンク水位計 1次系純水タンク水位計(CRT) N o. 2 淡水タンク水位計(CRT) ほう酸タンク水位計 		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> 1次系純水タンク水位計(CRT) 		操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1)b.(c)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水」にて整備する。																					
対応手段	判断基準	監視計器																															
(2) 燃料取替用水ピットからN o. 2 淡水タンクへの水源切替	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内への注水量 余熱除去流量計 高圧注入流量計 燃料取替用水ピット水位計 ほう酸タンク水位計 1次系純水タンク水位計(CRT) N o. 2 淡水タンク水位計(CRT) ほう酸タンク水位計 																															
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> 1次系純水タンク水位計(CRT) 																															
	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1)b.(c)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水」にて整備する。																															
<p>監視計器一覧(9/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>判断基準</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 燃料取替用水ピットからN o. 2 淡水タンクへの水源切替</td> <td>原子炉格納容器内への注水量 水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 格納容器スプレイ流量計 燃料取替用水ピット水位計 N o. 2 淡水タンク水位計(CRT) </td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.(b)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	判断基準	監視計器	(1) 燃料取替用水ピットからN o. 2 淡水タンクへの水源切替	原子炉格納容器内への注水量 水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> 格納容器スプレイ流量計 燃料取替用水ピット水位計 N o. 2 淡水タンク水位計(CRT) 		操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.(b)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。																								
対応手段	判断基準	監視計器																															
(1) 燃料取替用水ピットからN o. 2 淡水タンクへの水源切替	原子炉格納容器内への注水量 水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> 格納容器スプレイ流量計 燃料取替用水ピット水位計 N o. 2 淡水タンク水位計(CRT) 																															
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.(b)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center; color: blue;">監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="3" style="font-size: small;">1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 洪水貯水槽を水源とした対応手順 a. 洪水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水</td> </tr> <tr> <td style="width: 30%; font-size: x-small;">重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td style="width: 30%; font-size: x-small;">切断基準 水源の確認</td> <td style="width: 40%; font-size: x-small;">復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="font-size: x-small;">操作 水源の確認</td> <td style="font-size: x-small;">洪水貯水槽（No. 1） 洪水貯水槽（No. 2）</td> </tr> </table>	1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 洪水貯水槽を水源とした対応手順 a. 洪水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水			重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」	切断基準 水源の確認	復水貯蔵タンク水位		操作 水源の確認	洪水貯水槽（No. 1） 洪水貯水槽（No. 2）	<p style="text-align: center;">監視計器一覧（2/32）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="font-size: x-small;">1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 代替給水ビットを水源とした対応手順 a. 代替給水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="font-size: x-small;">(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="font-size: x-small;">判断基準</td> <td style="font-size: x-small;">原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">最終ヒートシンク ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: x-small;">操作</td> <td style="font-size: x-small;">水源の確認 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="font-size: x-small;">b. 代替給水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="font-size: x-small;">(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="font-size: x-small;">判断基準</td> <td style="font-size: x-small;">原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">最終ヒートシンク ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: x-small;">操作</td> <td style="font-size: x-small;">水源の確認 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="font-size: x-small;">c. 代替給水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="font-size: x-small;">(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2" style="font-size: x-small;">判断基準</td> <td style="font-size: x-small;">原子炉圧力容器内への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">水源の確認 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: x-small;">操作</td> <td style="font-size: x-small;">代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.4.2.1(1) b. (e) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 代替給水ビットを水源とした対応手順 a. 代替給水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水			(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	最終ヒートシンク ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）	操作	水源の確認 ・ 補助給水ビット水位	代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	b. 代替給水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水			(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	最終ヒートシンク ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）	操作	水源の確認 ・ 補助給水ビット水位	代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	c. 代替給水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水			(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量	水源の確認 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	操作	代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.4.2.1(1) b. (e) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。		<p style="color: red;">【大飯】設備の相違(相違理由②)</p> <p style="color: red;">【大飯】設備の相違(相違理由②)</p> <p style="color: red;">【大飯】設備の相違(相違理由②)</p>
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 洪水貯水槽を水源とした対応手順 a. 洪水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水																																													
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」	切断基準 水源の確認	復水貯蔵タンク水位																																											
	操作 水源の確認	洪水貯水槽（No. 1） 洪水貯水槽（No. 2）																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																											
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 代替給水ビットを水源とした対応手順 a. 代替給水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																																													
(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																																											
		最終ヒートシンク ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）																																											
	操作	水源の確認 ・ 補助給水ビット水位																																											
		代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																											
b. 代替給水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水																																													
(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																																											
		最終ヒートシンク ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）																																											
	操作	水源の確認 ・ 補助給水ビット水位																																											
		代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																											
c. 代替給水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水																																													
(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量																																											
		水源の確認 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																											
	操作	代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.4.2.1(1) b. (e) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。																																											

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																				
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="763 699 1330 743" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</div> <table border="1" data-bbox="757 756 1339 890" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td colspan="4">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要綱書 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </table>	1.13.2.1 水源を利用した対応手順				(4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順				a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水				重大事故等対応要綱書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	淡水貯水タンク水位	操作	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧 (3/32)</p> <table border="1" data-bbox="1377 295 1993 1069"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(4) 代替給水ビッドを水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替給水ビッドを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンク</td> <td>・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビッド水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替給水注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 代替給水ビッドを水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンク</td> <td>・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビッド水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">f. 代替給水ビッドを水源とした原子炉格納容器内の冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビッド水位 ・ 補助給水ビッド水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1) b. (d)代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1) b. (d)代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(4) 代替給水ビッドを水源とした対応手順			d. 代替給水ビッドを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水			(a) 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	最終ヒートシンク	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域)	水源の確保	・ 補助給水ビッド水位	操作	代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替給水注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。		e. 代替給水ビッドを水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水			(a) 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	最終ヒートシンク	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域)	水源の確保	・ 補助給水ビッド水位	操作	代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。		f. 代替給水ビッドを水源とした原子炉格納容器内の冷却			(a) 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ビッド水位 ・ 補助給水ビッド水位	操作	代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1) b. (d)代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1) b. (d)代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。		<p>【大飯】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由②)</p>
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																							
(4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順																																																																							
a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水																																																																							
重大事故等対応要綱書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	淡水貯水タンク水位																																																																				
	操作	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																							
(4) 代替給水ビッドを水源とした対応手順																																																																							
d. 代替給水ビッドを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水																																																																							
(a) 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																				
		最終ヒートシンク	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																																				
		水源の確保	・ 補助給水ビッド水位																																																																				
	操作	代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替給水注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																					
e. 代替給水ビッドを水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水																																																																							
(a) 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																				
		最終ヒートシンク	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																																				
		水源の確保	・ 補助給水ビッド水位																																																																				
	操作	代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																					
f. 代替給水ビッドを水源とした原子炉格納容器内の冷却																																																																							
(a) 代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																				
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビッド水位 ・ 補助給水ビッド水位																																																																				
		操作	代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1) b. (d)代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1) b. (d)代替給水ビッドを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。																																																																				

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(5) 淡水タンクを水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">判断基準</td> <td>水源の確保 淡水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">重大事故等対応要綱書 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>ろ過水タンク水位 減水タンク水位 取水タンク水位</td> </tr> </table>	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(5) 淡水タンクを水源とした対応手順			a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水				判断基準	水源の確保 淡水貯蔵タンク水位	重大事故等対応要綱書 「大容量送水ポンプによる送水」	操作	ろ過水タンク水位 減水タンク水位 取水タンク水位	<p>監視計器一覧（4/32）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(5) 原水槽を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top; text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">b. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top; text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">e. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top; text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.3.2.1(1) b. (f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(5) 原水槽を水源とした対応手順			a. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	操作		原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	b. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	操作		原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	e. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位	操作		原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.3.2.1(1) b. (f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。	<p style="color: red;">【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p style="color: red;">【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p style="color: red;">【大飯】設備の相違（相違理由②）</p>
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																			
(5) 淡水タンクを水源とした対応手順																																																																			
a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水																																																																			
	判断基準	水源の確保 淡水貯蔵タンク水位																																																																	
重大事故等対応要綱書 「大容量送水ポンプによる送水」	操作	ろ過水タンク水位 減水タンク水位 取水タンク水位																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																	
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																			
(5) 原水槽を水源とした対応手順																																																																			
a. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																																																																			
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																																																																
		最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																
		水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																																																
		操作		原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																															
		b. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水																																																																	
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																																																																
		最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																
		水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																																																
		操作		原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																															
		e. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水																																																																	
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量																																																																
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位																																																																
		操作		原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.3.2.1(1) b. (f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。																																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</p> <table border="1" data-bbox="757 746 1339 890" style="margin: auto;"> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(5) 淡水タンクを水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">重大事故等対応要綱書 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>水源の確保 淡水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保 ろ過水タンク水位 減水タンク水位 取水タンク水位</td> </tr> </table>	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(5) 淡水タンクを水源とした対応手順			a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水			重大事故等対応要綱書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保 淡水貯蔵タンク水位	操作	水源の確保 ろ過水タンク水位 減水タンク水位 取水タンク水位	<p>監視計器一覧 (5/32)</p> <table border="1" data-bbox="1377 226 1998 1018" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(5) 原水槽を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 原水槽を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1. 原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量 ・ 日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">水源の確保</td> <td>・ 燃料取扱用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1) b. (e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1) b. (e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(5) 原水槽を水源とした対応手順			d. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	操作	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。		e. 原水槽を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	操作	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。		1. 原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器スプレイ流量 ・ 日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	水源の確保	・ 燃料取扱用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位	操作	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1) b. (e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1) b. (e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。		<p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p>
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																		
(5) 淡水タンクを水源とした対応手順																																																																		
a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水																																																																		
重大事故等対応要綱書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保 淡水貯蔵タンク水位																																																																
	操作	水源の確保 ろ過水タンク水位 減水タンク水位 取水タンク水位																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																		
(5) 原水槽を水源とした対応手順																																																																		
d. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水																																																																		
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																																																															
		最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																															
			水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																																														
		操作	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																															
e. 原水槽を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水																																																																		
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																																																															
		最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																															
			水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																																														
		操作	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																															
1. 原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却																																																																		
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器スプレイ流量 ・ 日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																															
		水源の確保	・ 燃料取扱用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位																																																															
			操作	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1) b. (e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1) b. (e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。																																																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(1/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">(3) 復水ビットから脱気器タンクへの水源切替</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器補助給水流量計 ・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT) ・A、B2次系純水タンク水位計 (CRT) ・脱気器タンク水位計 (CRT) </td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT) <p>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a.「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(3) 復水ビットから脱気器タンクへの水源切替	判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器補助給水流量計 ・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT) ・A、B2次系純水タンク水位計 (CRT) ・脱気器タンク水位計 (CRT) 		水源の確保		操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT) <p>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a.「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</p>	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(6) 海を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">水源の確保</td> <td style="width: 65%;">復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>操作</td> <td>海を利用</td> </tr> </table>	1.13.2.1 水源を利用した対応手順				(6) 海を水源とした対応手順				a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）				重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位			操作	海を利用	<p style="text-align: center;">監視計器一覧 (6/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 25%;">対応手段</th> <th style="width: 15%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(8) 脱気器タンクを水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位 ・脱気器タンク水位 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)a. 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(9) 海を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)e. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)e. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・低圧注流入量 ・高圧注流入量 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料取扱用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 <p>海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.4.2.1(1)b. (d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。</p> </td> </tr> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(8) 脱気器タンクを水源とした対応手順			a. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水			判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位 ・脱気器タンク水位 	操作	水源の確保	脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)a. 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。	(9) 海を水源とした対応手順			a. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水			判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位 	操作	水源の確保	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)e. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	b. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水			判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位 	操作	水源の確保	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)e. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	c. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・低圧注流入量 ・高圧注流入量 	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料取扱用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 <p>海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.4.2.1(1)b. (d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p>
(3) 復水ビットから脱気器タンクへの水源切替		判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器補助給水流量計 ・復水ビット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT) ・A、B2次系純水タンク水位計 (CRT) ・脱気器タンク水位計 (CRT) 																																																																													
			水源の確保																																																																														
	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・No. 3淡水タンク水位計 (CRT) <p>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a.「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</p>																																																																														
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																																	
(6) 海を水源とした対応手順																																																																																	
a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）																																																																																	
重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																														
		操作	海を利用																																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																																	
(8) 脱気器タンクを水源とした対応手順																																																																																	
a. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																																																																																	
判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位 ・脱気器タンク水位 																																																																															
操作	水源の確保	脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)a. 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																															
(9) 海を水源とした対応手順																																																																																	
a. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																																																																																	
判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位 																																																																															
操作	水源の確保	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)e. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																															
b. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水																																																																																	
判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・補助給水流量 ・補助給水ビット水位 																																																																															
操作	水源の確保	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)e. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																															
c. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水																																																																																	
判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・低圧注流入量 ・高圧注流入量 																																																																															
操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料取扱用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 <p>海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.4.2.1(1)b. (d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。</p>																																																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																				
<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">監視計器一覧(9/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1" data-bbox="112 981 705 1181"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">(3) 燃料取替用水ビットから海水への水源切替</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.(c)「可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。</td> </tr> </table>	(3) 燃料取替用水ビットから海水への水源切替	判断基準	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計	操作	水源の確保	・復水ビット水位計	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.(c)「可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。		<p style="text-align: center;">監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</p> <table border="1" data-bbox="750 758 1332 885"> <tr> <td colspan="4">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(6) 海を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">a. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプによる注水（蒸気発生器）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる注水」</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>海を利用</td> </tr> </table>	1.13.2.1 水源を利用した対応手順				(6) 海を水源とした対応手順				a. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプによる注水（蒸気発生器）				重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる注水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	海を利用	<p>監視計器一覧 (7/32)</p> <table border="1" data-bbox="1377 518 1993 1109"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(9) 海を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 海を水源とした原子炉格納容器圧力バウンダリ低下時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保 水源の確保</td> <td>・ 補助給水流量計 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)c. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保 水源の確保</td> <td>・ 補助給水流量計 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)c. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">f. 海を水源とした原子炉格納容器内の冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量計 ・ H-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1)b.(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1)b.(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(9) 海を水源とした対応手順			d. 海を水源とした原子炉格納容器圧力バウンダリ低下時の蒸気発生器への注水			(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保 水源の確保	・ 補助給水流量計 ・ 補助給水ビット水位	操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)c. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	e. 海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水			(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保 水源の確保	・ 補助給水流量計 ・ 補助給水ビット水位	操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)c. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	f. 海を水源とした原子炉格納容器内の冷却			(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計 ・ H-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1)b.(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1)b.(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。		<p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑤)</p>
(3) 燃料取替用水ビットから海水への水源切替			判断基準	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																		
		水源の確保		・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計																																																																			
	操作	水源の確保	・復水ビット水位計																																																																				
「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.(c)「可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。																																																																							
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																							
(6) 海を水源とした対応手順																																																																							
a. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプによる注水（蒸気発生器）																																																																							
重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる注水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																				
		操作	海を利用																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																							
(9) 海を水源とした対応手順																																																																							
d. 海を水源とした原子炉格納容器圧力バウンダリ低下時の蒸気発生器への注水																																																																							
(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保 水源の確保	・ 補助給水流量計 ・ 補助給水ビット水位																																																																				
		操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)c. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																				
e. 海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水																																																																							
(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保 水源の確保	・ 補助給水流量計 ・ 補助給水ビット水位																																																																				
		操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)c. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																				
f. 海を水源とした原子炉格納容器内の冷却																																																																							
(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計 ・ H-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																				
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																				
操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1)b.(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1)b.(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。																																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">操作</td> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	操作	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	操作	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2淡水タンク水位計(CRT)	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">判断基準</th> <th style="width: 10%;">水源の確保</th> <th style="width: 80%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書「復水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	判断基準	水源の確保	監視計器	重大事故等対応要領書「復水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	操作	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧(8/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="25" style="vertical-align: top;">(8) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)</td> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>・ 補助循環サンプタンク水位 ・ 排気筒ガスモニタ ・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) ・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ) ・ 復水器排気ガスモニタ ・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ ・ 高感度型主蒸気管モニタ ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 主蒸気ライン圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去冷却器入口温度 ・ 余熱除去冷却器出口温度 ・ 加圧器過しがタンク水位 ・ 加圧器過しがタンク圧力 ・ 加圧器過しがタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			(8) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	信号	・ ECCS作動	原子炉圧力容器内の温度	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)	操作	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	燃料取替用水ビット水位	・ 補助循環サンプタンク水位 ・ 排気筒ガスモニタ ・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) ・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ) ・ 復水器排気ガスモニタ ・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ ・ 高感度型主蒸気管モニタ ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 主蒸気ライン圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去冷却器入口温度 ・ 余熱除去冷却器出口温度 ・ 加圧器過しがタンク水位 ・ 加圧器過しがタンク圧力 ・ 加圧器過しがタンク温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由①)</p> <p>【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																	
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																			
(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																
	操作	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																															
			水源の確保	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																														
				信号	・安全注入作動警報																																																																														
			操作	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2淡水タンク水位計(CRT)																																																																													
	判断基準	水源の確保			監視計器																																																																														
	重大事故等対応要領書「復水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																
		操作	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																
	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																		
(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順																																																																																			
a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																			
(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																			
(8) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	信号	・ ECCS作動																																																																																
		原子炉圧力容器内の温度	・ 炉心出口温度																																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																																
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																																
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																
		操作	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域)																																																																															
			水源の確保	燃料取替用水ビット水位	・ 補助循環サンプタンク水位 ・ 排気筒ガスモニタ ・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) ・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ) ・ 復水器排気ガスモニタ ・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ ・ 高感度型主蒸気管モニタ ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 主蒸気ライン圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去冷却器入口温度 ・ 余熱除去冷却器出口温度 ・ 加圧器過しがタンク水位 ・ 加圧器過しがタンク圧力 ・ 加圧器過しがタンク温度																																																																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																				
<p>監視計器一覧(14/14)を再掲</p>	<p>監視計器一覧(2/3)を再掲</p>	<p>監視計器一覧(9/32)</p>																																																																					
<p>監視計器一覧(14/14)</p>	<p>監視計器一覧(2/3)</p>	<p>監視計器一覧(9/32)</p>																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	水源の確保	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	機作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>水源の確保</th> <th>復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽(Sa.1) 淡水貯水槽(Sa.2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽(Sa.1) 淡水貯水槽(Sa.2)</td> </tr> <tr> <td>機作</td> <td>復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽(Sa.1) 淡水貯水槽(Sa.2)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽(Sa.1) 淡水貯水槽(Sa.2)	重大事故等対応要領書「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽(Sa.1) 淡水貯水槽(Sa.2)	機作	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽(Sa.1) 淡水貯水槽(Sa.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 a) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・泊幹線1L, 2L電圧 ・後志幹線1L, 2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ii. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器へのスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>機作</td> <td>水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">信号</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ECCS作動 ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・高圧注入流量 ・低圧注入流量 ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 a) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	電源	・泊幹線1L, 2L電圧 ・後志幹線1L, 2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A, B, C1, C2, D母線電圧	ii. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器へのスプレイ中の場合)	判断基準	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)	機作	水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位	信号	原子炉圧力容器内の温度	・ECCS作動 ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量 ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由①) 【大飯】運用の相違(相違理由⑤)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																							
(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																				
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																				
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																				
	水源の確保	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																				
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																				
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																				
			・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																				
		・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																					
信号	・安全注入作動警報																																																																						
機作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT)																																																																					
		判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽(Sa.1) 淡水貯水槽(Sa.2)																																																																			
重大事故等対応要領書「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽(Sa.1) 淡水貯水槽(Sa.2)																																																																					
	機作	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽(Sa.1) 淡水貯水槽(Sa.2)																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 a) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																							
i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																				
		電源	・泊幹線1L, 2L電圧 ・後志幹線1L, 2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A, B, C1, C2, D母線電圧																																																																				
ii. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器へのスプレイ中の場合)	判断基準	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)																																																																				
		機作	水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位																																																																				
信号	原子炉圧力容器内の温度	・ECCS作動 ・炉心出口温度																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																					
	原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量 ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																					
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ) ・格納容器内低レンジエアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>格納容器エアロック区域エアモニタ</td> <td>・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">機作</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	水源の確保	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ) ・格納容器内低レンジエアモニタ(低レンジ)	格納容器エアロック区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	燃料取替用水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	機作	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2淡水タンク水位計(CRT)	<p style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 24px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(10/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">相違基準</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計 ・B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位 ・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ) ・格納容器内低レンジエアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">電源</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>エアロックエアモニタ</td> <td>・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>母線電圧</td> <td>・母線電圧1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・B-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.13.2.2(1)a. (a)1. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			a. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			相違基準	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計 ・B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ) ・格納容器内低レンジエアモニタ(低レンジ)	電源	原子炉格納容器内の放射線量率	エアロックエアモニタ	・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	母線電圧	・母線電圧1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・B-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)	操作	1.13.2.2(1)a. (a)1. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)の操作手順と同様である。	<p>【女川】運用の相違(相違理由①)</p> <p>【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																											
(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																								
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																								
	水源の確保	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																								
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ) ・格納容器内低レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																							
			格納容器エアロック区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																							
			燃料取替用水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																							
		信号	・安全注入作動警報																																																																								
機作	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2淡水タンク水位計(CRT)																																																																								
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																											
(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順																																																																											
a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																											
a. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																											
相違基準	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)																																																																								
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計 ・B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																								
		最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																								
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ) ・格納容器内低レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																								
	電源	原子炉格納容器内の放射線量率	エアロックエアモニタ	・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																							
			母線電圧	・母線電圧1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・B-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																							
			補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)																																																																						
				操作	1.13.2.2(1)a. (a)1. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)の操作手順と同様である。																																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																							
<p>監視計器一覧(14/14)を再掲</p>	<p>監視計器一覧(2/3)を再掲</p>	<p>監視計器一覧(11/32)</p>																																																																																								
<p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの供給</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top; text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">機作</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・No.2淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計	・1次系純水タンク水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	機作	・燃料取替用水ビット水位計	・復水ビット水位計	・No.2淡水タンク水位計(CRT)	<p>重大事故等対応要綱書「海から復水貯蔵タンクへの供給」</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">判断基準</th> <th style="width: 40%;">水源の確保</th> <th style="width: 50%;">復水貯蔵タンク水位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">機作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	機作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧(11/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの供給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの供給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(1) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの供給 (原子炉容器への注水の場合)</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top; text-align: center;">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・高圧注入流量 ・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンク</td> <td>・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">格納容器バイパスの監視</td> <td>・補助送給サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>・高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>・主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>・加圧器遠がしタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・加圧器遠がしタンク圧力</td> </tr> <tr> <td>・加圧器遠がしタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの供給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの供給			(1) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの供給 (原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号	・ECCS作動	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	最終ヒートシンク	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位	格納容器バイパスの監視	・補助送給サンプタンク水位	・排気筒ガスモニタ	・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	・復水器排気ガスモニタ	・蒸気発生器ブローダウン水モニタ	・高感度型主蒸気管モニタ	・蒸気発生器水位(狭域)	・主蒸気ライン圧力	・余熱除去ポンプ出口圧力	・余熱除去冷却器入口温度	・余熱除去冷却器出口温度	・加圧器遠がしタンク水位	・加圧器遠がしタンク圧力	・加圧器遠がしタンク温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由①) 【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																										
(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																							
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																							
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																							
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																							
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																							
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																							
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																							
			・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																							
水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																									
	・ほう酸タンク水位計																																																																																									
	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																									
信号	・安全注入作動警報																																																																																									
	機作	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																								
・復水ビット水位計																																																																																										
・No.2淡水タンク水位計(CRT)																																																																																										
判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																								
機作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																								
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの供給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの供給																																																																																										
(1) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの供給 (原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号	・ECCS作動																																																																																							
		原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度																																																																																							
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																							
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量																																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																																							
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																							
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)																																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																							
		最終ヒートシンク	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																																							
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位																																																																																							
格納容器バイパスの監視	・補助送給サンプタンク水位																																																																																									
	・排気筒ガスモニタ																																																																																									
	・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)																																																																																									
	・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)																																																																																									
	・復水器排気ガスモニタ																																																																																									
	・蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																									
	・高感度型主蒸気管モニタ																																																																																									
	・蒸気発生器水位(狭域)																																																																																									
	・主蒸気ライン圧力																																																																																									
	・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																									
・余熱除去冷却器入口温度																																																																																										
・余熱除去冷却器出口温度																																																																																										
・加圧器遠がしタンク水位																																																																																										
・加圧器遠がしタンク圧力																																																																																										
・加圧器遠がしタンク温度																																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	操作	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2淡水タンク水位計(CRT)	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 10%;">判断基準</th> <th style="width: 30%;">水源の確保</th> <th style="width: 40%;">復水貯蔵タンク水位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重大事故等対応要領書「南から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	重大事故等対応要領書「南から復水貯蔵タンクへの補給」	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧(12/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> <td>(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内低レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・泊特線1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ECCS作動 ・原子炉圧力容器内の温度 ・原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・加圧器水位 ・1次冷却材圧力(広域) ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給		i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内低レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	電源	・泊特線1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位	判断基準	信号	・ECCS作動 ・原子炉圧力容器内の温度 ・原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の圧力	・加圧器水位 ・1次冷却材圧力(広域) ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由①) 【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																	
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																			
(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																
	操作	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																
			・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																
信号	・安全注入作動警報																																																																		
操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2淡水タンク水位計(CRT)																																																																	
		判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																															
重大事故等対応要領書「南から復水貯蔵タンクへの補給」	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																	
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																		
i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内低レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																
		電源	・泊特線1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																
			補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)																																																															
		操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・2次系純水タンク水位 ・ろ過水タンク水位																																																															
			判断基準	信号	・ECCS作動 ・原子炉圧力容器内の温度 ・原子炉圧力容器内の圧力																																																														
	原子炉圧力容器内の圧力			・加圧器水位 ・1次冷却材圧力(広域) ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																															
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																			
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: top;">(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle; text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">信号</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">泊3号炉との比較対象なし</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	信号	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計	・復水ビット水位計	操作	水源の確保	・1次系純水タンク水位計(CRT)	・安全注入作動警報	泊3号炉との比較対象なし			<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(13/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: top;">(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle; text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内低レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">信号</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「1.13.2.2(1) a. (b) i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内への注水中の場合)」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			(b) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位	電源	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)	・格納容器内低レンジエリアモニタ(低レンジ)	・エアロックエリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	信号	電源	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ	・燃料取替用水ビット水位計	操作	補機監視機能	・ほう酸タンク水位計	・復水ビット水位計	「1.13.2.2(1) a. (b) i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内への注水中の場合)」の操作手順と同様である。			<p>【女川】運用の相違(相違理由①) 【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																				
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																						
(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																			
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																			
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																			
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																			
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																			
	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																			
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																			
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																			
			・格納容器じんあいモニタ																																																																																			
	信号	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																			
			・ほう酸タンク水位計																																																																																			
			・復水ビット水位計																																																																																			
	操作	水源の確保	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																			
・安全注入作動警報																																																																																						
泊3号炉との比較対象なし																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																				
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																						
(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順																																																																																						
a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																						
(b) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																						
(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)																																																																																			
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																																			
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																			
		最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																																			
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位																																																																																			
		電源	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)																																																																																		
	・格納容器内低レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																					
	・エアロックエリアモニタ																																																																																					
	・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																					
	信号	電源	・格納容器じんあいモニタ																																																																																			
			・格納容器ガスモニタ																																																																																			
			・燃料取替用水ビット水位計																																																																																			
	操作	補機監視機能	・ほう酸タンク水位計																																																																																			
			・復水ビット水位計																																																																																			
「1.13.2.2(1) a. (b) i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内への注水中の場合)」の操作手順と同様である。																																																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																												
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">信号</td> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">機作</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・No.2淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	水源の確保	・格納容器ガスモニタ	・燃料取替用水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計	信号	・復水ビット水位計	・1次系純水タンク水位計(CRT)	機作	水源の確保	・安全注入作動警報	・燃料取替用水ビット水位計	・復水ビット水位計			・No.2淡水タンク水位計(CRT)	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(1/3)を再掲</p> <p>1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (6) 海を水源とした対応手順 a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水(各種注水)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>重大事故等対応要綱書「大容量送水ポンプによる送水」</th> <th>判断基準</th> <th>機作</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td></td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>機作</td> <td>水源の確保</td> <td>海を利用</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対応要綱書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	機作	監視計器		水源の確保		復水貯蔵タンク水位		機作	水源の確保	海を利用	<p>監視計器一覧(14/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 c. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">i. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>最終セードシシク</td> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">格納容器バイパスの監視</td> <td>・ 補助建屋サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・ 復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器ブローダウンホモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去冷却器入口温度 ・ 余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器達がシタンク水位 ・ 加圧器達がシタンク圧力 ・ 加圧器達がシタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 c. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			i. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号	・ ECCS作動	原子炉压力容器内の温度	・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)	最終セードシシク	・ 補助給水流量	水源の確保	・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 燃料取替用水ビット水位	格納容器バイパスの監視	・ 補助建屋サンプタンク水位	・ 排気筒ガスモニタ	・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	・ 復水器排気ガスモニタ	・ 蒸気発生器ブローダウンホモニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ	・ 主蒸気ライン圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去冷却器入口温度 ・ 余熱除去冷却器出口温度	・ 加圧器達がシタンク水位 ・ 加圧器達がシタンク圧力 ・ 加圧器達がシタンク温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由①)</p> <p>【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																													
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																															
(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																												
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																												
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																												
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																												
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																												
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																												
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																																												
			・格納容器エアロック区域エアモニタ																																																																																												
			・炉内計装区域エアモニタ																																																																																												
			・格納容器じんあいモニタ																																																																																												
水源の確保	・格納容器ガスモニタ																																																																																														
	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																														
	・ほう酸タンク水位計																																																																																														
信号	・復水ビット水位計																																																																																														
	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																														
機作	水源の確保	・安全注入作動警報																																																																																													
		・燃料取替用水ビット水位計																																																																																													
		・復水ビット水位計																																																																																													
		・No.2淡水タンク水位計(CRT)																																																																																													
重大事故等対応要綱書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	機作	監視計器																																																																																												
	水源の確保		復水貯蔵タンク水位																																																																																												
	機作	水源の確保	海を利用																																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																													
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 c. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																															
i. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号	・ ECCS作動																																																																																												
		原子炉压力容器内の温度	・ 炉心出口温度																																																																																												
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																												
		原子炉压力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																																												
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																																												
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																																												
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)																																																																																												
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																												
		最終セードシシク	・ 補助給水流量																																																																																												
		水源の確保	・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																												
格納容器バイパスの監視	・ 補助建屋サンプタンク水位																																																																																														
	・ 排気筒ガスモニタ																																																																																														
	・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)																																																																																														
	・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)																																																																																														
	・ 復水器排気ガスモニタ																																																																																														
	・ 蒸気発生器ブローダウンホモニタ																																																																																														
	・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																																														
	・ 主蒸気ライン圧力																																																																																														
	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																														
	・ 余熱除去冷却器入口温度 ・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																																														
・ 加圧器達がシタンク水位 ・ 加圧器達がシタンク圧力 ・ 加圧器達がシタンク温度																																																																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																															
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">機作</td> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">機作</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・N o. 2淡水タンク水位計(CRT)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	機作	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	・ほう酸タンク水位計	・復水ピット水位計	信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)	機作	水源の確保	・安全注入作動警報	・燃料取替用水ピット水位計	・復水ピット水位計	・N o. 2淡水タンク水位計(CRT)		<p style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 24px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(16/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(8) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量 ・B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位 ・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">機作</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・直降線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・後志幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・B-8、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">機作</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			e. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			(8) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	機作	補機監視機能	原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	電源	・直降線1L、2L電圧	・後志幹線1L、2L電圧	・甲母線電圧、乙母線電圧	・B-8、B、C1、C2、D母線電圧	機作	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)	<p>【女川】運用の相違(相違理由①)</p> <p>【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																		
(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																															
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																															
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																															
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																															
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																															
	機作	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																															
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																															
			・格納容器エアロック区域エアモニタ																																																																															
			・炉内計装区域エアモニタ																																																																															
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																															
・ほう酸タンク水位計																																																																																		
・復水ピット水位計																																																																																		
信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																	
機作	水源の確保	・安全注入作動警報																																																																																
		・燃料取替用水ピット水位計																																																																																
		・復水ピット水位計																																																																																
・N o. 2淡水タンク水位計(CRT)																																																																																		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																		
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																		
a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																																		
e. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																																		
(8) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)																																																																															
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																															
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																															
		最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																															
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																															
	機作	補機監視機能	原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																														
			電源	・直降線1L、2L電圧																																																																														
				・後志幹線1L、2L電圧																																																																														
				・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																														
			・B-8、B、C1、C2、D母線電圧																																																																															
機作	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																
		・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)																																																																																
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)																																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																											
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(13/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(13/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの供給</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・No. 3 淡水タンク水位計(CRT)</td> <td>・No. 2 淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>・安全注入作動警報</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.13.2.2 (8)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの供給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ		・燃料取替用水ビット水位計		水源の確保	・No. 3 淡水タンク水位計(CRT)	・No. 2 淡水タンク水位計(CRT)	・安全注入作動警報		操作	1.13.2.2 (8)と同様。		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>泊3号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>監視計器一覧(17/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ビットへ水を供給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの供給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの供給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(1) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの供給(原子炉容器への注水中の場合)</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">格納容器バイパスの監視</td> <td>・ 補助凝縮サンプタンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 復水器排気ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位(狭域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去冷却器入口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去冷却器出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器過熱シタンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器過熱シタンク圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器過熱シタンク温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ エアロックエリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 炉内計装区域エリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ビットへ水を供給するための対応手順			b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの供給			(a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの供給			(1) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの供給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	信号	・ ECCS作動	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)	格納容器バイパスの監視	・ 補助凝縮サンプタンク水位		・ 排気筒ガスモニタ		・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)		・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)		・ 復水器排気ガスモニタ		・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ		・ 高感度型主蒸気管モニタ		・ 蒸気発生器水位(狭域)		・ 主蒸気ライン圧力		・ 余熱除去ポンプ出口圧力		・ 余熱除去冷却器入口温度		・ 余熱除去冷却器出口温度		・ 加圧器過熱シタンク水位		・ 加圧器過熱シタンク圧力		・ 加圧器過熱シタンク温度		原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		・ エアロックエリアモニタ		・ 炉内計装区域エリアモニタ		・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ		<p>【大飯】運用の相違(相違理由⑦)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																												
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																																														
(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの供給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																												
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																												
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																												
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																																												
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																																												
	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																												
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																																											
		・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ																																																																																																											
		・格納容器ガスモニタ																																																																																																												
		・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																												
水源の確保	・No. 3 淡水タンク水位計(CRT)	・No. 2 淡水タンク水位計(CRT)																																																																																																												
	・安全注入作動警報																																																																																																													
操作	1.13.2.2 (8)と同様。																																																																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																												
1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順																																																																																																														
(1) 燃料取替用水ビットへ水を供給するための対応手順																																																																																																														
b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの供給																																																																																																														
(a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの供給																																																																																																														
(1) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの供給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	信号	・ ECCS作動																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																											
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																																																											
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																																																											
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)																																																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																																											
		格納容器バイパスの監視	・ 補助凝縮サンプタンク水位																																																																																																											
			・ 排気筒ガスモニタ																																																																																																											
			・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)																																																																																																											
・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)																																																																																																														
・ 復水器排気ガスモニタ																																																																																																														
・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																																														
・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																																																														
・ 蒸気発生器水位(狭域)																																																																																																														
・ 主蒸気ライン圧力																																																																																																														
・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																														
・ 余熱除去冷却器入口温度																																																																																																														
・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																																																														
・ 加圧器過熱シタンク水位																																																																																																														
・ 加圧器過熱シタンク圧力																																																																																																														
・ 加圧器過熱シタンク温度																																																																																																														
原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																													
	・ エアロックエリアモニタ																																																																																																													
	・ 炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																													
	・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ																																																																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																					
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(13/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(13/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取扱替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(7) No. 2 淡水タンクから燃料取扱替用水ビットへの供給</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計(広域) ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">操作</td> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取扱替用水ビット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計(CRT) ・ No. 2 淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・ 安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 (8)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取扱替用水ビットへの供給に係る手順等			(7) No. 2 淡水タンクから燃料取扱替用水ビットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計(広域) ・ AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計(広域)	操作	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・ 格納容器エアロック区域エリアモニタ	・ 格納容器じんあいモニタ	・ 格納容器ガスモニタ	水源の確保	・ 燃料取扱替用水ビット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計(CRT) ・ No. 2 淡水タンク水位計(CRT)	信号	・ 安全注入作動警報	1.13.2.2 (8)と同様。			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>泊3号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>監視計器一覧(18/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取扱替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給 b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給 (a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">i. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)</td> <td>判断基準</td> <td>水源の確保 ・ 燃料取扱替用水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ビット水位 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・ 燃料取扱替用水ビット水位 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">ii. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・ エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉格納容器内への注水量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取扱替用水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「1.13.2.2(1) b. (a) i. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取扱替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給 b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給 (a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給			i. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	水源の確保 ・ 燃料取扱替用水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ビット水位 ・ ろ過水タンク水位	操作	水源の確保 ・ 燃料取扱替用水ビット水位 ・ ろ過水タンク水位	ii. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・ ECCS作動	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)	原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・ エアロックエリアモニタ	・ 原子炉格納容器内への注水量	水源の確保	・ 燃料取扱替用水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位	「1.13.2.2(1) b. (a) i. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																						
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取扱替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																								
(7) No. 2 淡水タンクから燃料取扱替用水ビットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																					
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計																																																																					
		原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計(広域) ・ AM用格納容器圧力計																																																																					
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																					
	操作	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計																																																																					
		原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																					
			・ 格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																					
			・ 格納容器じんあいモニタ																																																																					
		・ 格納容器ガスモニタ																																																																						
水源の確保	・ 燃料取扱替用水ビット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計(CRT) ・ No. 2 淡水タンク水位計(CRT)																																																																							
信号	・ 安全注入作動警報																																																																							
1.13.2.2 (8)と同様。																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																						
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取扱替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給 b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給 (a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給																																																																								
i. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	水源の確保 ・ 燃料取扱替用水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ビット水位 ・ ろ過水タンク水位																																																																						
	操作	水源の確保 ・ 燃料取扱替用水ビット水位 ・ ろ過水タンク水位																																																																						
ii. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・ ECCS作動																																																																					
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																					
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																					
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)																																																																					
		原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																					
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																					
		原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																					
			・ エアロックエリアモニタ																																																																					
			・ 原子炉格納容器内への注水量																																																																					
水源の確保	・ 燃料取扱替用水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位																																																																							
「1.13.2.2(1) b. (a) i. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取扱替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。																																																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																											
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(11/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(11/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">(6) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">信号</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・加圧器速がしタンク水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">加圧器速がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(6) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	操作	信号	・燃料取替用水ピット水位計	・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・加圧器速がしタンク水位計	加圧器速がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。			<p style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 24px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(19/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">(6) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">格納容器再循環サンプ水位</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 補助建屋サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">格納容器パイパスの監視</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">排気筒ガスモニタ</td> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・ 復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">操作</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">高気発生器水位</td> <td>・ 高気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">操作</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">加圧器速がしタンク</td> <td>・ 加圧器速がしタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器速がしタンク圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器速がしタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			c. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			(a) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給			(6) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	信号	・ ECCS作動	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の注水量	・ 高圧注入流量	原子炉圧力容器内の注水量	・ 低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)	水源の確保	格納容器再循環サンプ水位	・ 燃料取替用水ピット水位	・ 1次系純水タンク水位	・ ほう酸タンク水位	・ 補助建屋サンプタンク水位	・ 排気筒ガスモニタ	格納容器パイパスの監視	排気筒ガスモニタ	・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	・ 復水器排気ガスモニタ	・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ	操作	高気発生器水位	・ 高気発生器水位(狭域)	・ 主蒸気ライン圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去冷却器入口温度	・ 余熱除去冷却器出口温度	操作	加圧器速がしタンク	・ 加圧器速がしタンク水位	・ 加圧器速がしタンク圧力	・ 加圧器速がしタンク温度	<p>【大飯】運用の相違(相違理由⑦)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																												
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																														
(6) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																											
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																											
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																											
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																											
	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																											
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																											
			・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																											
	操作	信号	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																											
			・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・加圧器速がしタンク水位計																																																																																											
	加圧器速がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。																																																																																													
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																											
	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																													
	(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																													
c. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																														
(a) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																																														
(6) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	信号	・ ECCS作動																																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																											
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 高圧注入流量																																																																																											
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 低圧注入流量																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																																											
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																																											
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)																																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																											
		水源の確保	格納容器再循環サンプ水位	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																										
				・ 1次系純水タンク水位																																																																																										
	・ ほう酸タンク水位																																																																																													
	・ 補助建屋サンプタンク水位																																																																																													
	・ 排気筒ガスモニタ																																																																																													
	格納容器パイパスの監視	排気筒ガスモニタ	・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)																																																																																											
			・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)																																																																																											
・ 復水器排気ガスモニタ																																																																																														
・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																														
・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																																														
操作	高気発生器水位	・ 高気発生器水位(狭域)																																																																																												
		・ 主蒸気ライン圧力																																																																																												
		・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																												
		・ 余熱除去冷却器入口温度																																																																																												
		・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																																												
操作	加圧器速がしタンク	・ 加圧器速がしタンク水位																																																																																												
		・ 加圧器速がしタンク圧力																																																																																												
		・ 加圧器速がしタンク温度																																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(11/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(11/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">(6) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの供給</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内蒸騰サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">燃料取替用水ビット水位</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・加圧器連がしタンク水位計</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>加圧器連がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)aと同様。使用済燃料ビット脱炭塔経由の補給は1.13.2.2(6)bと同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(6) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内蒸騰サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・加圧器連がしタンク水位計	信号	・安全注入作動警報	操作	加圧器連がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)aと同様。使用済燃料ビット脱炭塔経由の補給は1.13.2.2(6)bと同様。	<p style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 24px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(20/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 (i) 燃料取替用水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 e. 1次系補給水ポンプによる使用済燃料ビット浄化ラインを (a) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ビット浄化ラインを経由した燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">操作</td> <td>信号</td> <td>・ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内蒸騰サンプ水位(広域) ・格納容器内蒸騰サンプ水位(広域)</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 (i) 燃料取替用水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 e. 1次系補給水ポンプによる使用済燃料ビット浄化ラインを (a) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ビット浄化ラインを経由した燃料取替用水ビットへの補給			判断基準	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位	判断基準	操作	信号	・ECCS作動	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内蒸騰サンプ水位(広域) ・格納容器内蒸騰サンプ水位(広域)	燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位	ほう酸タンク水位	・ほう酸タンク水位	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	<p>【大飯】運用の相違(相違理由⑧)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																		
(6) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																															
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																															
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																															
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																															
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内蒸騰サンプ水位計(広域)																																																															
	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																
	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																															
		燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・加圧器連がしタンク水位計																																																															
			信号	・安全注入作動警報																																																														
			操作	加圧器連がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)aと同様。使用済燃料ビット脱炭塔経由の補給は1.13.2.2(6)bと同様。																																																														
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 (i) 燃料取替用水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 e. 1次系補給水ポンプによる使用済燃料ビット浄化ラインを (a) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ビット浄化ラインを経由した燃料取替用水ビットへの補給																																																																	
	判断基準	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																														
			水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位																																																														
	判断基準	操作	信号	・ECCS作動																																																														
原子炉圧力容器内の水位			・加圧器水位																																																															
原子炉圧力容器内の圧力			・1次冷却材圧力(広域)																																																															
原子炉格納容器内の温度			・格納容器内温度																																																															
原子炉格納容器内の圧力			・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)																																																															
原子炉格納容器内の注水量			・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																															
原子炉格納容器内の水位			・格納容器内蒸騰サンプ水位(広域) ・格納容器内蒸騰サンプ水位(広域)																																																															
燃料取替用水ビット水位			・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位																																																															
ほう酸タンク水位			・ほう酸タンク水位																																																															
原子炉格納容器内の放射線量率			・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(11/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(11/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・加圧器逃がしタンク水位計</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ビット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・加圧器逃がしタンク水位計	信号	・安全注入作動警報	加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ビット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。				<p style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 24px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(21/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水取へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 c. 1次系補給ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td rowspan="5">水源の確保</td> <td>信号</td> <td>・ ECSS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">格納容器パイパスの監視</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>補助凝縮サンプタンク水位</td> <td>・ 補助凝縮サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td>排気筒ガスモニタ</td> <td>・ 排気筒ガスモニタ ・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) ・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ) ・ 復水器排気ガスモニタ ・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>高感度型主蒸気管モニタ</td> <td>・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位(狭域)</td> <td>・ 蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器入口温度</td> <td>・ 余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器出口温度</td> <td>・ 余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がしタンク水位</td> <td>・ 加圧器逃がしタンク水位</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がしタンク圧力</td> <td>・ 加圧器逃がしタンク圧力</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がしタンク温度</td> <td>・ 加圧器逃がしタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水取へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 c. 1次系補給ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給			判断基準	水源の確保	信号	・ ECSS作動	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	格納容器パイパスの監視	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)	燃料取替用水ビット水位	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位	補助凝縮サンプタンク水位	・ 補助凝縮サンプタンク水位	排気筒ガスモニタ	・ 排気筒ガスモニタ ・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) ・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ) ・ 復水器排気ガスモニタ ・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ	高感度型主蒸気管モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ	蒸気発生器水位(狭域)	・ 蒸気発生器水位(狭域)	主蒸気ライン圧力	・ 主蒸気ライン圧力	余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	余熱除去冷却器入口温度	・ 余熱除去冷却器入口温度	余熱除去冷却器出口温度	・ 余熱除去冷却器出口温度	加圧器逃がしタンク水位	・ 加圧器逃がしタンク水位	加圧器逃がしタンク圧力	・ 加圧器逃がしタンク圧力	加圧器逃がしタンク温度	・ 加圧器逃がしタンク温度	<p>【大飯】運用の相違(相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																	
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																														
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																														
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																														
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																														
	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																															
	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																														
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・加圧器逃がしタンク水位計																																																																														
		信号	・安全注入作動警報																																																																														
		加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ビット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.13.2.2 水取へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 c. 1次系補給ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給																																																																																	
判断基準	水源の確保	信号	・ ECSS作動																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																														
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																														
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																														
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																														
	格納容器パイパスの監視	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																														
		燃料取替用水ビット水位	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位																																																																														
		補助凝縮サンプタンク水位	・ 補助凝縮サンプタンク水位																																																																														
		排気筒ガスモニタ	・ 排気筒ガスモニタ ・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) ・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ) ・ 復水器排気ガスモニタ ・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																														
高感度型主蒸気管モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																																
蒸気発生器水位(狭域)	・ 蒸気発生器水位(狭域)																																																																																
主蒸気ライン圧力	・ 主蒸気ライン圧力																																																																																
余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																
余熱除去冷却器入口温度	・ 余熱除去冷却器入口温度																																																																																
余熱除去冷却器出口温度	・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																																
加圧器逃がしタンク水位	・ 加圧器逃がしタンク水位																																																																																
加圧器逃がしタンク圧力	・ 加圧器逃がしタンク圧力																																																																																
加圧器逃がしタンク温度	・ 加圧器逃がしタンク温度																																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
<p>監視計器一覧(11/14)を再掲</p>		<p>監視計器一覧(22/32)</p>																																																																										
<p>監視計器一覧(11/14)</p> <table border="1" data-bbox="112 383 705 1181"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がしタンク水位</td> <td>・加圧器逃がしタンク水位計</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ビット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位計	ほう酸タンク水位	・ほう酸タンク水位計	1次系純水タンク水位計(CRT)	・1次系純水タンク水位計(CRT)	加圧器逃がしタンク水位	・加圧器逃がしタンク水位計	信号	・安全注入作動警報	操作	加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ビット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。		<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1377 414 1993 1204"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 c. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 d. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">i. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">ii. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量 ・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.13.2.2(i) c. (b) i. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 c. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 d. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給			i. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	操作	水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位	ii. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・ECCS作動	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)	水源の確保	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位	ほう酸タンク水位	・ほう酸タンク水位	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	操作	1.13.2.2(i) c. (b) i. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)の操作手順と同様である。		<p>【大飯】運用の相違(相違理由⑦)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																										
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																												
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																									
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																									
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																									
	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																										
	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																									
		燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位計																																																																									
		ほう酸タンク水位	・ほう酸タンク水位計																																																																									
		1次系純水タンク水位計(CRT)	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																									
加圧器逃がしタンク水位		・加圧器逃がしタンク水位計																																																																										
信号	・安全注入作動警報																																																																											
操作	加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ビット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																										
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 c. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 d. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給																																																																												
i. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																										
	操作	水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位																																																																										
ii. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・ECCS作動																																																																									
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																									
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)																																																																									
	水源の確保	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																									
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																									
		燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位																																																																									
		ほう酸タンク水位	・ほう酸タンク水位																																																																									
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																									
操作	1.13.2.2(i) c. (b) i. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)の操作手順と同様である。																																																																											

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																			
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(12/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(12/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>格納容器じんあいモニタ</td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット水位計</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・No. 3淡水タンク水位計(CRT) ・使用済燃料ピット水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.13.2.2(7)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ	燃料取替用水ピット水位計	・1次系純水タンク水位計(CRT)	水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計(CRT) ・使用済燃料ピット水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	操作	1.13.2.2(7)と同様。		<p style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 24px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(23/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を供給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">1. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)</td> <td rowspan="10">格納容器の監視</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器内循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ピット水位</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補助建屋サンプタンク水位</td> <td>・ 補助建屋サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td>排気筒ガスモニタ</td> <td>・ 排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)</td> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>復水器排気ガスモニタ</td> <td>・ 復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">格納容器バイパスの監視</td> <td>蒸気発生器プロダクションモニタ</td> <td>・ 蒸気発生器プロダクションモニタ</td> </tr> <tr> <td>高感度型主蒸気管モニタ</td> <td>・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位(狭域)</td> <td>・ 蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器入口温度</td> <td>・ 余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器出口温度</td> <td>・ 余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>加圧器過熱タンク水位</td> <td>・ 加圧器過熱タンク水位 ・ 加圧器過熱タンク圧力 ・ 加圧器過熱タンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を供給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給			1. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	格納容器の監視	信号	・ ECCS作動	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器内循環サンプ水位(狭域)	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ピット水位	補助建屋サンプタンク水位	・ 補助建屋サンプタンク水位	排気筒ガスモニタ	・ 排気筒ガスモニタ	排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	復水器排気ガスモニタ	・ 復水器排気ガスモニタ	格納容器バイパスの監視	蒸気発生器プロダクションモニタ	・ 蒸気発生器プロダクションモニタ	高感度型主蒸気管モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ	蒸気発生器水位(狭域)	・ 蒸気発生器水位(狭域)	主蒸気ライン圧力	・ 主蒸気ライン圧力	余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	余熱除去冷却器入口温度	・ 余熱除去冷却器入口温度	余熱除去冷却器出口温度	・ 余熱除去冷却器出口温度	加圧器過熱タンク水位	・ 加圧器過熱タンク水位 ・ 加圧器過熱タンク圧力 ・ 加圧器過熱タンク温度	<p>【大飯】運用の相違(相違理由⑦)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																				
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																						
(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																				
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																				
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																				
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																				
	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																				
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																			
		格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ																																																																																			
		燃料取替用水ピット水位計	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																			
		水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計(CRT) ・使用済燃料ピット水位計(CRT)																																																																																			
	信号	・安全注入作動警報																																																																																				
	操作	1.13.2.2(7)と同様。																																																																																				
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																			
	1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を供給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																																					
	1. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	格納容器の監視	信号	・ ECCS作動																																																																																		
原子炉圧力容器内の水位			・ 加圧器水位																																																																																			
原子炉圧力容器内への注水量			・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																																			
原子炉圧力容器内の圧力			・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																																			
原子炉格納容器内の温度			・ 格納容器内温度																																																																																			
原子炉格納容器内の圧力			・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)																																																																																			
原子炉格納容器内の水位			・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器内循環サンプ水位(狭域)																																																																																			
水源の確保			燃料取替用水ピット水位	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ピット水位																																																																																		
			補助建屋サンプタンク水位	・ 補助建屋サンプタンク水位																																																																																		
			排気筒ガスモニタ	・ 排気筒ガスモニタ																																																																																		
		排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)																																																																																			
		復水器排気ガスモニタ	・ 復水器排気ガスモニタ																																																																																			
格納容器バイパスの監視		蒸気発生器プロダクションモニタ	・ 蒸気発生器プロダクションモニタ																																																																																			
		高感度型主蒸気管モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																																			
		蒸気発生器水位(狭域)	・ 蒸気発生器水位(狭域)																																																																																			
	主蒸気ライン圧力	・ 主蒸気ライン圧力																																																																																				
	余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																				
	余熱除去冷却器入口温度	・ 余熱除去冷却器入口温度																																																																																				
	余熱除去冷却器出口温度	・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																																				
	加圧器過熱タンク水位	・ 加圧器過熱タンク水位 ・ 加圧器過熱タンク圧力 ・ 加圧器過熱タンク温度																																																																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																											
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(12/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧 (12 / 14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの供給</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器圧力計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>・使用済燃料ビット水位計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td colspan="2">1.13.2.2(7)と同様。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの供給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器圧力計 (広域)	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	・1次系純水タンク水位計 (CRT)	・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)	・使用済燃料ビット水位計 (CRT)		信号	・安全注入作動警報	・安全注入作動警報	判断基準	1.13.2.2(7)と同様。		操作			<p style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 24px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (24/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">i. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉容器への注水中の場合)</td> <td style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ・ エアロックエリアモニタ ・ 炉内計装区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">操作</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ビット水位 </td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">ii. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)</td> <td style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信号 ・ 加圧器水位 ・ 原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域) ・ 原子炉格納容器内の温度 ・ 格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用) ・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">操作</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ・ エアロックエリアモニタ ・ 炉内計装区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">信号</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ EDCS作動 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給			i. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ・ エアロックエリアモニタ ・ 炉内計装区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ 	操作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ビット水位 	ii. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信号 ・ 加圧器水位 ・ 原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域) ・ 原子炉格納容器内の温度 ・ 格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用) ・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 	操作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ・ エアロックエリアモニタ ・ 炉内計装区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 	信号	<ul style="list-style-type: none"> ・ EDCS作動 	<p>【大飯】運用の相違 (相違理由⑧)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																												
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																														
(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの供給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																											
			・格納容器内温度計																																																											
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器圧力計 (広域)																																																											
			・AM用格納容器圧力計																																																											
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																												
		・格納容器スプレイ流量計																																																												
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)																																																												
		・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																												
		・炉内計装区域エリアモニタ																																																												
・格納容器じんあいモニタ																																																														
・格納容器ガスモニタ																																																														
水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																													
	・1次系純水タンク水位計 (CRT)																																																													
	・No. 3淡水タンク水位計 (CRT)																																																													
・使用済燃料ビット水位計 (CRT)																																																														
信号	・安全注入作動警報																																																													
	・安全注入作動警報																																																													
判断基準	1.13.2.2(7)と同様。																																																													
操作																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																												
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給																																																														
i. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ・ エアロックエリアモニタ ・ 炉内計装区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ 																																																												
	操作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ビット水位 																																																												
ii. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給 (原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信号 ・ 加圧器水位 ・ 原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域) ・ 原子炉格納容器内の温度 ・ 格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用) ・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 																																																												
	操作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ・ エアロックエリアモニタ ・ 炉内計装区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ 																																																												
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 																																																												
	信号	<ul style="list-style-type: none"> ・ EDCS作動 																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																								
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(10/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(10/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの供給</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>炉内計装区域エリアモニタ</td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>格納容器ガスモニタ</td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.13.2.2(5)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの供給	原子炉格納容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉格納容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	格納容器ガスモニタ	・格納容器ガスモニタ	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計	水源の確保	・ほう酸タンク水位計	・1次系純水タンク水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報		操作	1.13.2.2(5)と同様。		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">重大事故等対応要領書「耐震性防水水槽から復水貯蔵タンクへの供給」</th> <th style="width: 10%;">判断基準</th> <th style="width: 20%;">水源の確保</th> <th style="width: 55%;">復水貯蔵タンク水位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対応要領書「耐震性防水水槽から復水貯蔵タンクへの供給」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位		操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧(25/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水側へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を供給するための対応手順 c. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 ca. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">格納容器バイパスの監視</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>・ 補助建屋サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・ 復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器ローダウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>・ 余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器速がシタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器速がシタンク圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器速がシタンク温度</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・ エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器ガスモニタ</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水側へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を供給するための対応手順 c. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 ca. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給			1. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号	・ ECCS作動	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内の温度	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)	水源の確保	判断基準	・ 燃料取替用水ビット水位	・ 1次系純水タンク水位	・ ほう酸タンク水位	格納容器バイパスの監視	判断基準	・ 補助建屋サンプタンク水位	・ 排気筒ガスモニタ	・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	・ 復水器排気ガスモニタ	・ 蒸気発生器ローダウン水モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ	・ 蒸気発生器水位(狭域)	・ 主蒸気ライン圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	原子炉格納容器内の放射線量率	判断基準	・ 余熱除去冷却器入口温度	・ 余熱除去冷却器出口温度	・ 加圧器速がシタンク水位	・ 加圧器速がシタンク圧力	・ 加圧器速がシタンク温度	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・ エアロックエリアモニタ	・ 炉内計装区域エリアモニタ	・ 格納容器じんあいモニタ	・ 格納容器ガスモニタ	<p>【大飯】運用の相違(相違理由⑦)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																																											
(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの供給	原子炉格納容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																									
	原子炉格納容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																									
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																									
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																																									
	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																																									
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																																									
	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																									
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																																								
		炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ																																																																																																								
		格納容器ガスモニタ	・格納容器ガスモニタ																																																																																																								
燃料取替用水ビット水位計		・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																									
水源の確保	・ほう酸タンク水位計	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																																									
信号	・安全注入作動警報																																																																																																										
操作	1.13.2.2(5)と同様。																																																																																																										
重大事故等対応要領書「耐震性防水水槽から復水貯蔵タンクへの供給」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																								
	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.13.2.2 水側へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を供給するための対応手順 c. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 ca. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																											
1. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号	・ ECCS作動																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																								
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 低圧注入流量																																																																																																								
		原子炉格納容器内の温度	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器内温度																																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力																																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力(AM用)																																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域)																																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																																								
水源の確保	判断基準	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																									
		・ 1次系純水タンク水位																																																																																																									
		・ ほう酸タンク水位																																																																																																									
格納容器バイパスの監視	判断基準	・ 補助建屋サンプタンク水位																																																																																																									
		・ 排気筒ガスモニタ																																																																																																									
		・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)																																																																																																									
		・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)																																																																																																									
		・ 復水器排気ガスモニタ																																																																																																									
		・ 蒸気発生器ローダウン水モニタ																																																																																																									
		・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																																																									
		・ 蒸気発生器水位(狭域)																																																																																																									
		・ 主蒸気ライン圧力																																																																																																									
		・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																									
原子炉格納容器内の放射線量率	判断基準	・ 余熱除去冷却器入口温度																																																																																																									
		・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																																																									
		・ 加圧器速がシタンク水位																																																																																																									
		・ 加圧器速がシタンク圧力																																																																																																									
		・ 加圧器速がシタンク温度																																																																																																									
		・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																									
		・ エアロックエリアモニタ																																																																																																									
		・ 炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																									
		・ 格納容器じんあいモニタ																																																																																																									
		・ 格納容器ガスモニタ																																																																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																											
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(10/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(10/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.13.2.2(5)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	格納容器エアロック区域エリアモニタ	・燃料取替用水ビット水位計	・炉内計装区域エリアモニタ	・ほう酸タンク水位計	・格納容器じんあいモニタ	・1次系純水タンク水位計(CRT)	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	操作	1.13.2.2(5)と同様。	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">重大事故等対応要項書「耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給」</th> <th style="width: 10%;">判断基準</th> <th style="width: 30%;">水源の確保</th> <th style="width: 30%;">復水貯蔵タンク水位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対応要項書「耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位		判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧(26/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 e. 1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (a) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">i. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)</td> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・ほう酸タンク水位 ・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>信号 ・ECCS作動 原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力(広域) 原子炉格納容器内の温度 ・格納容器内温度 原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用) 原子炉格納容器内への注水量 ・格納容器スプレイ流量 ・另一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用) 原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域) ・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位 ・ほう酸タンク水位 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) 原子炉格納容器内の放射線量率 ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>ii. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)</td> <td>操作</td> <td>「1.13.2.2(1)e.(a)」. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 e. 1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (a) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給			i. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	操作	水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・ほう酸タンク水位 ・1次系純水タンク水位	判断基準	信号 ・ECCS作動 原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力(広域) 原子炉格納容器内の温度 ・格納容器内温度 原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用) 原子炉格納容器内への注水量 ・格納容器スプレイ流量 ・另一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用) 原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域) ・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位 ・ほう酸タンク水位 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) 原子炉格納容器内の放射線量率 ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	ii. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	操作	「1.13.2.2(1)e.(a)」. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。	<p>【大飯】運用の相違(相違理由⑧)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																												
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																														
(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																												
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																												
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																												
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																												
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																												
	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																												
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																											
		格納容器エアロック区域エリアモニタ	・燃料取替用水ビット水位計																																																											
		・炉内計装区域エリアモニタ	・ほう酸タンク水位計																																																											
		・格納容器じんあいモニタ	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																											
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																												
	信号	・安全注入作動警報																																																												
	操作	1.13.2.2(5)と同様。																																																												
	重大事故等対応要項書「耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																										
	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																											
	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																												
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 e. 1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (a) 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																														
i. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	操作	水源の確保 ・燃料取替用水ビット水位 ・ほう酸タンク水位 ・1次系純水タンク水位																																																												
	判断基準	信号 ・ECCS作動 原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力(広域) 原子炉格納容器内の温度 ・格納容器内温度 原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用) 原子炉格納容器内への注水量 ・格納容器スプレイ流量 ・另一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用) 原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域) ・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位 ・ほう酸タンク水位 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) 原子炉格納容器内の放射線量率 ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																												
ii. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	操作	「1.13.2.2(1)e.(a)」. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(2/14)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">(7) 海水を用いた復水ピットへの補給</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・ 復水ピット水位計 (CRT) ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・ A、B 2 次系純水タンク水位計 (CRT) ・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT) </td> </tr> </table>	(7) 海水を用いた復水ピットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器補助給水流量計 	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・ 復水ピット水位計 (CRT) ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・ A、B 2 次系純水タンク水位計 (CRT) ・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT) 	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(1/3)を再掲</p> <p style="text-align: center;">第 1.13-2 表 重大事故等対処に係る監視計器 監視計器一覧 (1/3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視パラメータ (計測)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>水源の確保 復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計測)	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順			a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水			重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保 復水貯蔵タンク水位	操作	水源の確保 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧 (27/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: middle;">(a) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</td> <td rowspan="15" style="vertical-align: middle; text-align: center;">判断基準</td> <td>信号</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ ECCS作動 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注流量 ・ 低圧注流量 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用) </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td rowspan="3"></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) ・ 格納容器内低レンジエアモニタ (低レンジ) </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ エアロクニリアモニタ </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 炉内核計装区域エアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td rowspan="4"></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自給線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給			(a) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	判断基準	信号	<ul style="list-style-type: none"> ・ ECCS作動 	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心出口温度 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注流量 ・ 低圧注流量 	原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) 	原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度 	原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用) 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 	原子炉格納容器内の放射線量率		<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) ・ 格納容器内低レンジエアモニタ (低レンジ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアロクニリアモニタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炉内核計装区域エアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ 	電源		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自給線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) 	操作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 	<p>【女川】運用の相違 (相違理由①)</p> <p>【大飯】運用の相違 (相違理由⑥)</p>
(7) 海水を用いた復水ピットへの補給		判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器補助給水流量計 																																																																							
	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・ 復水ピット水位計 (CRT) ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・ A、B 2 次系純水タンク水位計 (CRT) ・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT) 																																																																								
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計測)																																																																									
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																											
(4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順																																																																											
a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水																																																																											
重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保 復水貯蔵タンク水位																																																																									
	操作	水源の確保 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																											
(2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																											
a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給																																																																											
(a) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	判断基準	信号	<ul style="list-style-type: none"> ・ ECCS作動 																																																																								
		原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心出口温度 																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 																																																																								
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注流量 ・ 低圧注流量 																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) 																																																																								
		原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度 																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用) 																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 																																																																								
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) 																																																																								
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 																																																																								
		原子炉格納容器内の放射線量率		<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) ・ 格納容器内低レンジエアモニタ (低レンジ) 																																																																							
				<ul style="list-style-type: none"> ・ エアロクニリアモニタ 																																																																							
				<ul style="list-style-type: none"> ・ 炉内核計装区域エアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ 																																																																							
		電源		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自給線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 																																																																							
				補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) 																																																																						
操作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 																																																																										
	水源の確保				<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 																																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/14)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">(7) 海水を用いた復水ピットへの補給</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器補助給水流量計 ・ 復水ピット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・ A、B 2次系純水タンク水位計 (CRT) ・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT) </td> </tr> </table>	(7) 海水を用いた復水ピットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器補助給水流量計 ・ 復水ピット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) 	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・ A、B 2次系純水タンク水位計 (CRT) ・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT) 	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(1/3)を再掲</p> <p style="text-align: center;">第 1.13-2 表 重大事故等対処に係る監視計器 監視計器一覧 (1/3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順 a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ1) による送水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応手順書 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>水源の確保 復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順 a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ1) による送水			重大事故等対応手順書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保 復水貯蔵タンク水位	操作	水源の確保 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧 (28/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="26" style="vertical-align: top;">(b) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</td> <td rowspan="26" style="vertical-align: top; text-align: center;">判断基準</td> <td>信号</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ EDCS作動 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用) </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンブ水位 (広域) ・ 格納容器再循環サンブ水位 (狭域) </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水位 (広域) </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) ・ 格納容器内低レンジエリアモニタ (低レンジ) ・ エアロックエリアモニタ ・ 炉心核計装区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 </td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) </td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) </td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給			(b) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	判断基準	信号	<ul style="list-style-type: none"> ・ EDCS作動 	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心出口温度 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量 	原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) 	原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度 	原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用) 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンブ水位 (広域) ・ 格納容器再循環サンブ水位 (狭域) 	最終ヒートシンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水位 (広域) 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 	原子炉格納容器内の放射線量率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) ・ 格納容器内低レンジエリアモニタ (低レンジ) ・ エアロックエリアモニタ ・ 炉心核計装区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ 	電源		<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 	原子炉補機冷却水供給母管流量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) 	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) 	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) 	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位 	<p>【女川】運用の相違 (相違理由①)</p> <p>【大飯】運用の相違 (相違理由⑥)</p>
(7) 海水を用いた復水ピットへの補給		判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器補助給水流量計 ・ 復水ピット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) 																																																													
	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・ A、B 2次系純水タンク水位計 (CRT) ・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT) 																																																														
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																															
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順 a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ1) による送水																																																																	
重大事故等対応手順書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保 復水貯蔵タンク水位																																																															
	操作	水源の確保 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給																																																																	
(b) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	判断基準	信号	<ul style="list-style-type: none"> ・ EDCS作動 																																																														
		原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心出口温度 																																																														
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 																																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量 																																																														
		原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) 																																																														
		原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度 																																																														
		原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用) 																																																														
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンブ水位 (広域) ・ 格納容器再循環サンブ水位 (狭域) 																																																														
		最終ヒートシンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水位 (広域) 																																																													
			水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 																																																													
			原子炉格納容器内の放射線量率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) ・ 格納容器内低レンジエリアモニタ (低レンジ) ・ エアロックエリアモニタ ・ 炉心核計装区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ 																																																													
		電源		<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 																																																													
			原子炉補機冷却水供給母管流量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) 																																																													
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) 																																																													
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) 																																																													
		操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 																																																													
				<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位 																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																									
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/14)より抜粋して再掲</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%;">(7) 海水を用いた復水ピットへの補給</td> <td style="width: 10%;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器補助給水流量計 ・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計(CRT) </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計(CRT) ・A、B2次系純水タンク水位計(CRT) ・No. 2淡水タンク水位計(CRT) </td> </tr> </table>	(7) 海水を用いた復水ピットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器補助給水流量計 ・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計(CRT) 	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計(CRT) ・A、B2次系純水タンク水位計(CRT) ・No. 2淡水タンク水位計(CRT) 	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(1/3)を再掲</p> <p style="text-align: center;">第1.13-2表 重大事故等対処に係る監視計器 監視計器一覧(1/3)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ(計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順 a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>判断基準</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ(計器)	1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順 a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水			重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	復水貯蔵タンク水位	操作	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧(29/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">(c) 海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</td> <td rowspan="15">判断基準</td> <td>信号</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ ECCS作動 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力(広域) </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用) </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域) </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td rowspan="3"></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ エアロクツエリアモニタ ・ 炉心核計装区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスマニタ </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消静電1L、2L電圧 ・ 後志静電1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用) </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給			(c) 海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	判断基準	信号	<ul style="list-style-type: none"> ・ ECCS作動 	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心出口温度 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量 	原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力(広域) 	原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度 	原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用) 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域) 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 	原子炉格納容器内の放射線量率		<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアロクツエリアモニタ ・ 炉心核計装区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスマニタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消静電1L、2L電圧 ・ 後志静電1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 	電源		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用) 	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 	<p>【女川】運用の相違(相違理由①)</p> <p>【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
(7) 海水を用いた復水ピットへの補給		判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器補助給水流量計 ・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計(CRT) 																																																								
	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計(CRT) ・A、B2次系純水タンク水位計(CRT) ・No. 2淡水タンク水位計(CRT) 																																																									
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ(計器)																																																										
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順 a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水																																																												
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	復水貯蔵タンク水位																																																										
	操作	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																										
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給																																																												
(c) 海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	判断基準	信号	<ul style="list-style-type: none"> ・ ECCS作動 																																																									
		原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心出口温度 																																																									
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 																																																									
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量 																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力(広域) 																																																									
		原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度 																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用) 																																																									
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域) 																																																									
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) 																																																									
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 																																																									
		原子炉格納容器内の放射線量率		<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) 																																																								
				<ul style="list-style-type: none"> ・ エアロクツエリアモニタ ・ 炉心核計装区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスマニタ 																																																								
				<ul style="list-style-type: none"> ・ 消静電1L、2L電圧 ・ 後志静電1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 																																																								
		電源		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用) 																																																								
		操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ピット水位 																																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(2/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%;">(5) No. 3 淡水タンクから復水ピットへの補給</td> <td rowspan="2" style="width: 5%;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 65%;">・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ピット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ピット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(5) No. 3 淡水タンクから復水ピットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	・ 復水ピット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)	操作	水源の確保	・ 復水ピット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)			<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (30/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順 b. 2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給</td> <td>判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保 ・ 補助給水流量計 ・ 補助給水ピット水位計 ・ 2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・ 補助給水ピット水位計 ・ 2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(3) 原水槽へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給</td> <td>判断基準</td> <td>水源の確保 ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順 b. 2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給			(a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・ 補助給水流量計 ・ 補助給水ピット水位計 ・ 2次系純水タンク水位	操作	水源の確保 ・ 補助給水ピット水位計 ・ 2次系純水タンク水位	(3) 原水槽へ水を補給するための対応手順			a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	判断基準	水源の確保 ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位	操作	水源の確保 ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位	<p>【大飯】設備の相違（相違理由①） 【女川】記載内容の相違 炉型の相違による対応手段の相違</p>																																
(5) No. 3 淡水タンクから復水ピットへの補給			判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																												
		水源の確保		・ 復水ピット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)																																																													
		操作	水源の確保	・ 復水ピット水位計 ・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順 b. 2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給																																																																	
(a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・ 補助給水流量計 ・ 補助給水ピット水位計 ・ 2次系純水タンク水位																																																															
	操作	水源の確保 ・ 補助給水ピット水位計 ・ 2次系純水タンク水位																																																															
(3) 原水槽へ水を補給するための対応手順																																																																	
a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	判断基準	水源の確保 ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位																																																															
	操作	水源の確保 ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位																																																															
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(3/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%;">(3) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替</td> <td rowspan="2" style="width: 5%;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td style="width: 65%;">・ 余熱除去流量計 ・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計 ・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </table> <p>監視計器一覧 (3/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(1) 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量 ・ 余熱除去流量計 ・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計 (CRT) ・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	(3) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計 ・ 高圧注入流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計 ・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(1) 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 余熱除去流量計 ・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位計	操作	水源の確保 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計 (CRT) ・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(3/3)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="4">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧炉心スプレイ系の水源の切替え</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉格納容器内の温度</td> <td style="width: 65%;">サブプレッションプール水温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器の温度</td> <td>サブプレッションプール水温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉格納容器の水位</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </table>	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧炉心スプレイ系の水源の切替え				非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度	原子炉格納容器の温度	サブプレッションプール水温度	非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の水位	圧力抑制室水位	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧 (31/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a. 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉格納容器への注水の場合)</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量 ・ 低圧注入流量計 ・ 高圧注入流量計 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・ 補助給水ピット水位 ・ 6-1A、B母線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">b. 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉格納容器内へスプレイ中の場合)</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉格納容器内への注水量 ・ 格納容器スプレイ流量計 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源 ・ 補助給水ピット水位 ・ 6-1A、B母線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a. 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量 ・ 低圧注入流量計 ・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え			a. 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉格納容器への注水の場合)	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 低圧注入流量計 ・ 高圧注入流量計 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位	操作	水源の確保 ・ 補助給水ピット水位 ・ 6-1A、B母線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数	b. 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉格納容器内へスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内への注水量 ・ 格納容器スプレイ流量計 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位	操作	水源 ・ 補助給水ピット水位 ・ 6-1A、B母線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数	(2) 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え			a. 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 低圧注入流量計 ・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位	操作	水源の確保 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p>
(3) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替			判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計 ・ 高圧注入流量計																																																												
		最終ヒートシンクの確保		・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																													
		操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計																																																													
	水源の確保		・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計 ・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																	
(1) 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 余熱除去流量計 ・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位計																																																															
	操作	水源の確保 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計 (CRT) ・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)																																																															
1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧炉心スプレイ系の水源の切替え																																																																	
非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度																																																														
		原子炉格納容器の温度	サブプレッションプール水温度																																																														
非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の水位	圧力抑制室水位																																																														
		水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え																																																																	
a. 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉格納容器への注水の場合)	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 低圧注入流量計 ・ 高圧注入流量計 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位																																																															
	操作	水源の確保 ・ 補助給水ピット水位 ・ 6-1A、B母線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数																																																															
b. 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉格納容器内へスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内への注水量 ・ 格納容器スプレイ流量計 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位																																																															
	操作	水源 ・ 補助給水ピット水位 ・ 6-1A、B母線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数																																																															
(2) 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え																																																																	
a. 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 低圧注入流量計 ・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位																																																															
	操作	水源の確保 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位																																																															

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; color: blue; font-weight: bold;">監視計器一覧(1/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">(1) 復水ビットからNo. 3淡水タンクへの水源切替</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器補助給水流量計 ・ 復水ビット水位計 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ No. 3淡水タンク水位計 (CRT) ・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計 (CRT) </td> </tr> </table>	(1) 復水ビットからNo. 3淡水タンクへの水源切替	判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器補助給水流量計 ・ 復水ビット水位計 	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ No. 3淡水タンク水位計 (CRT) ・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計 (CRT) 	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; color: blue; font-weight: bold;">監視計器一覧(3/3)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧炉心スプレイスの水源の切替</td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;">非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 20%;">原子炉格納容器内の温度</td> <td style="width: 55%;">サブプレッションプール水温度</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (政操用) 「高圧炉心スプレイスポンプによる原子炉注水」</td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>原子炉格納容器の温度</td> <td>サブプレッションプール水温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉格納容器の水位</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </table>	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧炉心スプレイスの水源の切替				非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度	非常時操作手順書 (政操用) 「高圧炉心スプレイスポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の温度	サブプレッションプール水温度			原子炉格納容器の水位	圧力抑制室水位			水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p style="text-align: center;">監視計器一覧 (32/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 10%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (3) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプの水源の切替</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">a. 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保 水源の確保</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 補助給水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 補助給水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (3) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプの水源の切替			a. 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替	判断基準	最終ヒートシンクの確保 水源の確保	操作	水源の確保		<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 補助給水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 補助給水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位 	
(1) 復水ビットからNo. 3淡水タンクへの水源切替		判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器補助給水流量計 ・ 復水ビット水位計 																																							
	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ No. 3淡水タンク水位計 (CRT) ・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計 (CRT) 																																								
1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧炉心スプレイスの水源の切替																																											
非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度																																								
非常時操作手順書 (政操用) 「高圧炉心スプレイスポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の温度	サブプレッションプール水温度																																								
		原子炉格納容器の水位	圧力抑制室水位																																								
		水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																									
1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (3) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプの水源の切替																																											
a. 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替	判断基準	最終ヒートシンクの確保 水源の確保																																									
	操作	水源の確保																																									
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水流量 ・ 補助給水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 補助給水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位 																																									

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由	
第1.13.8表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備			第1.13-3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備			第1.13.3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備			【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映)	
対象条文	供給対象設備	給電元	対象条文	供給対象設備	供給元	対象条文	供給対象設備	給電元		
【1.13】 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	【1.13】 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等	計測用電源 (復水貯蔵タンク水位)	常設代替交流電源設備	常設代替交流電源設備 非常用低圧母線 MCC DC 系	【1.13】 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等	原子炉格納容器スプレイ設備等	常設代替交流電源設備	B20-原子炉コントロールセンサ
	A 高压注入ポンプ	4-3(4) A 非常用高压母線			可搬型代替交流電源設備				非常用低圧母線 MCC DC 系	常設代替交流電源設備
	B 高压注入ポンプ	4-3(4) B 非常用高压母線		非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	6-B 非常用高压母線				
	A 充てんポンプ	4-3(4) A 非常用高压母線				6-A 非常用高压母線				
	B 充てんポンプ	4-3(4) B 非常用高压母線		非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	6-B 非常用高压母線				
	C 充てんポンプ	3-3(4) A 2 非常用低圧母線				6-A 非常用高压母線				
	C 充てんポンプ	3-3(4) B 2 非常用低圧母線		3-3(4) A 2 非常用低圧母線	非常用交流電源設備 非常用交流電源設備 非常用交流電源設備	A 2-非常用交流分電盤				
						A 格納容器スプレイポンプ		4-3(4) A 非常用高压母線	B 2-非常用交流分電盤	
	A 加圧器逃がし弁	A 2 ソレノイド分電盤		非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	A-1 設備直式電圧分電盤				
	B 加圧器逃がし弁	B 2 ソレノイド分電盤				B-1 設備直式電圧分電盤				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.13.1.1図 機能喪失原因対策分析(2/5)</p> <p>第1. 燃料冷却器注水ポンプから、1次系補給水ポンプ及び2次系補給水ポンプへの水供給</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次系補給水ポンプ 2次系補給水ポンプ 燃料冷却器注水ポンプ <p>第2. 燃料冷却器注水ポンプから、No.1, 2系水タンクへの水供給</p> <ul style="list-style-type: none"> No.1, 2系水タンク 燃料冷却器注水ポンプ <p>第3. 燃料冷却器注水ポンプから、東水タンクへの水供給</p> <ul style="list-style-type: none"> 東水タンク 燃料冷却器注水ポンプ 	<p>第1.13.1.1図 機能喪失原因対策分析</p> <p>高圧注水機能喪失</p> <p>低圧注水機能喪失</p> <p>原子炉格納容器布設機能喪失</p> <p>使用済燃料プール冷却機能及び注水機能喪失</p> <p>AND条件 OR条件</p> <p>代替手段による相違</p>	<p>第1.13.1.1図 機能喪失原因対策分析(1/2)</p> <p>高圧注水機能喪失</p> <p>低圧注水機能喪失</p> <p>原子炉格納容器布設機能喪失</p> <p>使用済燃料プール冷却機能及び注水機能喪失</p> <p>AND条件 OR条件</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・対応手段を緑枠とした。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>第1.13.11図 機能喪失原因対策分析 (3/5)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>※1 1次冷却水タンク底ひょうろ破タンクから燃料貯留タンクへの供給</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次冷却水ポンプ 1次冷却水ポンプ 1次冷却水ポンプ 1次冷却水ポンプ <p>※2 1次冷却水タンクからの燃料貯留タンクへの供給</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次冷却水ポンプ 1次冷却水ポンプ 1次冷却水ポンプ 1次冷却水ポンプ <p>※3 1次冷却水タンクからの燃料貯留タンクへの供給</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次冷却水ポンプ 1次冷却水ポンプ 1次冷却水ポンプ 1次冷却水ポンプ <p>※4 No. 2冷却水タンクからの使用</p> <ul style="list-style-type: none"> No. 2冷却水ポンプ No. 2冷却水ポンプ No. 2冷却水ポンプ <p>※5 No. 3冷却水タンクからの使用</p> <ul style="list-style-type: none"> No. 3冷却水ポンプ No. 3冷却水ポンプ No. 3冷却水ポンプ <p>※6 No. 4冷却水タンクからの使用</p> <ul style="list-style-type: none"> No. 4冷却水ポンプ No. 4冷却水ポンプ No. 4冷却水ポンプ <p>※7 No. 5冷却水タンクからの使用</p> <ul style="list-style-type: none"> No. 5冷却水ポンプ No. 5冷却水ポンプ No. 5冷却水ポンプ <p>※8 No. 6冷却水タンクからの使用</p> <ul style="list-style-type: none"> No. 6冷却水ポンプ No. 6冷却水ポンプ No. 6冷却水ポンプ </div> </div>			<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、使用済燃料ピットへの注水機能、炉心注水機能、格納容器スプレイ機能のFT 図を 1.13.1 図 (1/2) に記載している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、掲載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.11図 機能喪失原因対策分析（5/5）</p>			<p>記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、使用済燃料ピットへの注水機能、炉心注水機能、格納容器スプレイ機能のFT図を1.13.1図（1/2）に記載している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、掲載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.1図 機能喪失原因対策分析（1/5）</p>		<p style="text-align: center;">第1.13.1図 機能喪失原因対策分析（2/2）</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績 の反映） ・対応手段を緑枠 とした。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

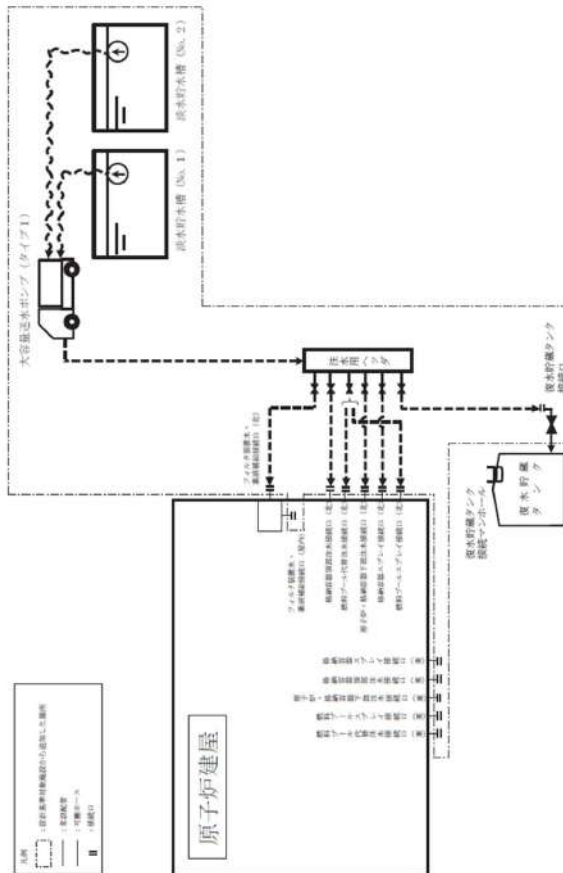
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.13.1図 機能喪失原因対策分析 (4/5)</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、蒸気発生器2次側による炉心冷却機能、再循環運転機能のFT図を1.13.1図(2/2)に記載している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.13-2図 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ1) による送水 (原子炉建屋北側接続の場合) 概要図</p>	<div data-bbox="1467 766 1915 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 (相違理由②)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>備考 ②、③、④ ⑤ ⑥ ⑦、⑧ ⑨</p> <p>380分 淡水貯水槽からの取水開始</p> <p>図 1.13-3 図 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水タイムチャート</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 (相違理由②)</p> <p>女川2号炉との比較対象なし</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
	<p>第1.13-4図 淡水タンクを水源とした大飯発電所ポンプ(タイプ1)による送水概要図 (原子炉建屋北側接続の場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">操作手順</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急時</td> <td>大飯発電所ポンプ(タイプ1)非稼働時(原子炉建屋送水ポンプ用)</td> </tr> <tr> <td>通常時</td> <td>大飯発電所ポンプ(タイプ1)稼働時(原子炉建屋送水ポンプ用)</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順		緊急時	大飯発電所ポンプ(タイプ1)非稼働時(原子炉建屋送水ポンプ用)	通常時	大飯発電所ポンプ(タイプ1)稼働時(原子炉建屋送水ポンプ用)	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 (相違理由②)</p>
操作手順									
緊急時	大飯発電所ポンプ(タイプ1)非稼働時(原子炉建屋送水ポンプ用)								
通常時	大飯発電所ポンプ(タイプ1)稼働時(原子炉建屋送水ポンプ用)								

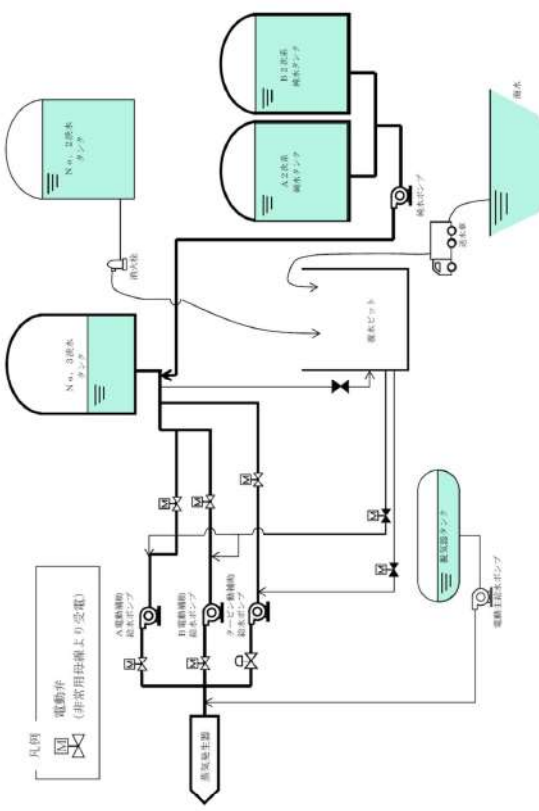
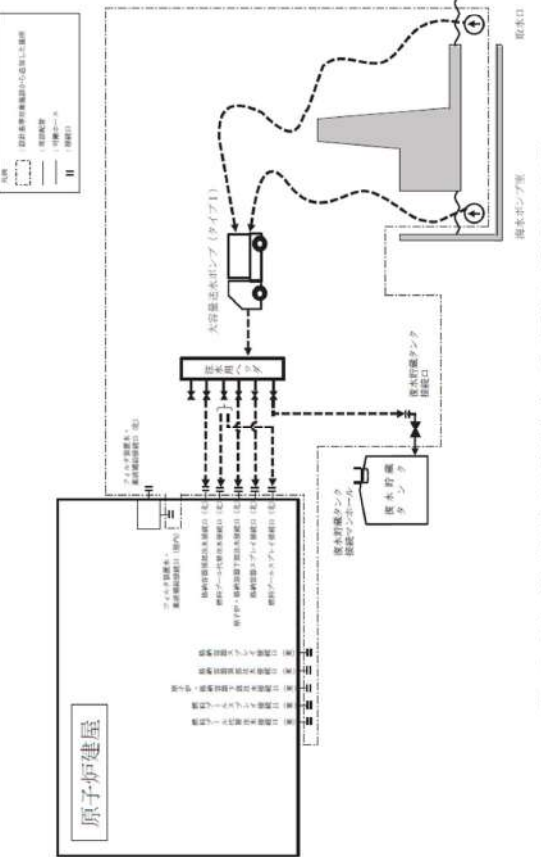
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">経過時間(時間)</p> <p style="text-align: center;">300分 淡水タンクからの淡水の送水開始</p> </div> <p style="text-align: center;">第1.13-5 図 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水</p> <p style="font-size: small;"> ※1：大容量送水ポンプ(タイプ1)及びホースの保管場所は緊急エリア、緊急保管エリア、緊急保管エリア及び第4保管エリア、ホース延長回収車及び注水用ヘッジの保管場所は緊急エリア、第3保管エリア及び第4保管エリア ※2：緊急時対策所から緊急保管エリアまでの移動を想定した移動時間 ※3：大容量送水ポンプ(タイプ1)の稼働時間として、緊急保管エリアから淡水タンクまでの移動を想定した移動時間及び大容量送水ポンプ(タイプ1)の稼働時間を考慮した作業時間 ※4：大容量送水ポンプ(タイプ1)の稼働時間を考慮した作業時間 ※5：注水用ヘッジの稼働時間を考慮した作業時間 ※6：注水用ヘッジの稼働時間を考慮した作業時間 </p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">女川2号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">【女川】 記載方針の相違 (相違理由②)</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.13.3図 A、B 2次系純水タンクからN.2、3次水タンクへの灌給 概略系統</p>	 <p>第1.13-6図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）概要図 （原子炉建屋北側接続の場合）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p> <p>【女川】 記載方針の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図1.13-7 図 海水を水源とした大容量淡水ポンプによる送水（各種注水）タイムチャート（1/2） （取水口から海水を取水する場合（山側ルート））</p>	<p>図1.13-8 図 海水ポンプ室から海水を取水する場合（各種注水）タイムチャート（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p> <p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第 1.13-9 図 海を水源とした大容量海水ポンプによる送水（各種供給）概要図（1/2） （取水口から海水を取水する場合）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1.13-10図 海を水源とした大容量海水ポンプによる送水（各種供給）概要図（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図1.13-11 図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）タイムチャート（1/2） （取水口から海水を取水する場合（山側ルート））</p> <p>①：大容量送水ポンプ（タイプ1）及びホースの搬設、設置 ②：緊急電源からの送水（各種供給） ③：緊急電源からの送水（各種供給） ④：緊急電源からの送水（各種供給） ⑤：緊急電源からの送水（各種供給） ⑥：緊急電源からの送水（各種供給） ⑦：緊急電源からの送水（各種供給） ⑧：緊急電源からの送水（各種供給） ⑨：緊急電源からの送水（各種供給） ⑩：緊急電源からの送水（各種供給）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図1.13-12 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）タイムチャート（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p> <p>※1：大容量送水ポンプ（タイプ1）及びホースの設置場所は第1保管エリア、熱交換器ユニットの保管場所は第1保管エリア、第2保管エリア及び 第3保管エリア ※2：緊急時前面から第3保管エリアまで、ホース延長回収車の保管場所は第2保管エリア、第3保管エリア及び第4保管エリア ※3：設計位置を考慮して想定した作業時間（タイプ1）の移動距離を考慮した作業時間（タイプ1）の設置距離を考慮した作業時間に見込んだ時間 ※4：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働距離を考慮した作業時間として、第1保管エリアから第3保管エリアまでの移動時間に見込んだ時間 ※5：ホースの敷設距離を考慮した作業時間として、第1保管エリアから第3保管エリアまでの移動時間に見込んだ時間 ※6：熱交換器ユニットの設計を考慮して想定した作業時間に見込んだ時間 ※7：熱交換器ユニットの設計を考慮して想定した作業時間に見込んだ時間 ※8：熱交換器ユニットの設計を考慮して想定した作業時間に見込んだ時間</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																						
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>凡例 ○ (斜線) 電動弁 (平常閉状態より受電)</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>第113.6図 No. 2取水タンクから復水ピットへの供給 軽油系統</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順の項目</th> <th>項目(注)</th> <th>経過時間(分)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1. 冷却水タンクから復水ピットへの供給</td> <td>冷却水タンク</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水ピット</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2. 冷却水タンクから復水ピットへの供給</td> <td>冷却水タンク</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水ピット</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">※ 既設稼働時間には対応済みの項目は省略した。</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 50%;"> <p>第113.7図 No. 2取水タンクから復水ピットへの供給 タイムチャート</p> </div> </div>	手順の項目	項目(注)	経過時間(分)	備考	1. 冷却水タンクから復水ピットへの供給	冷却水タンク	0		復水ピット	10		2. 冷却水タンクから復水ピットへの供給	冷却水タンク	0		復水ピット	10		※ 既設稼働時間には対応済みの項目は省略した。					<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>大飯3/4号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由③）</p>
手順の項目	項目(注)	経過時間(分)	備考																						
1. 冷却水タンクから復水ピットへの供給	冷却水タンク	0																							
	復水ピット	10																							
2. 冷却水タンクから復水ピットへの供給	冷却水タンク	0																							
	復水ピット	10																							
※ 既設稼働時間には対応済みの項目は省略した。																									

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 347 629 1225" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="645 359 674 917" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <div data-bbox="683 446 712 1141" style="text-align: center;"> 第1.13.8図 No. 2 淡水タンクから復水ピットへの補給 ホース敷設ルート </div>		<div data-bbox="1435 767 1944 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 大飯3/4号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="2018 751 2163 831" style="color: red;"> 【大飯】 設備の相違（相違理由③） </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

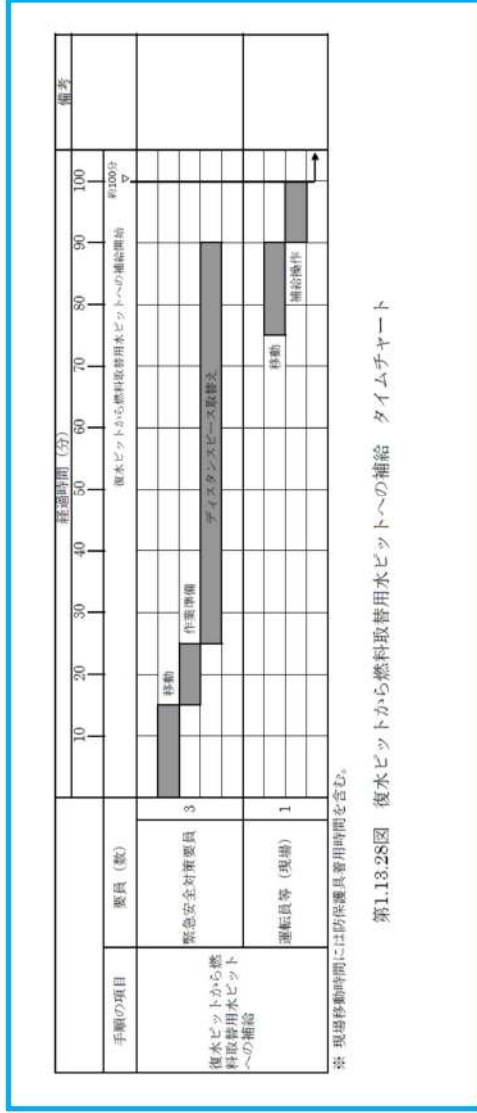
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																									
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.27図 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給 概略系統</p>	<p style="text-align: center;">第1.13-13図 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	<table border="1" data-bbox="1400 1013 1937 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>設備の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑫</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑬</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑭</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑮</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑯</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑰</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑱</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑲</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>⑳</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㉑</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㉒</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㉓</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㉔</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㉕</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㉖</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㉗</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㉘</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㉙</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㉚</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㉛</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㉜</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㉝</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㉞</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㉟</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㊱</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㊲</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㊳</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㊴</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㊵</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㊶</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㊷</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㊸</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㊹</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㊺</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㊻</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㊼</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㊽</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㊾</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> <tr> <td>㊿</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>燃料取替用水ビット</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第1.13.2図 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	設備の変化	①	可搬型大型送水ポンプ車	ホース接続	②	可搬型大型送水ポンプ車	ホース接続	③	可搬型大型送水ポンプ車	ホース接続	④	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑤	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑥	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑦	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑧	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑨	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑩	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑪	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑫	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑬	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑭	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑮	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑯	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑰	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑱	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑲	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	⑳	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㉑	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㉒	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㉓	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㉔	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㉕	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㉖	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㉗	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㉘	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㉙	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㉚	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㉛	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㉜	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㉝	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㉞	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㉟	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㊱	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㊲	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㊳	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㊴	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㊵	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㊶	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㊷	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㊸	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㊹	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㊺	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㊻	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㊼	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㊽	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㊾	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	㊿	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット	<p>【大飯】 設備の相違(相違理由③)</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ
操作手順	操作対象機器	設備の変化																																																																																																																																																										
①	可搬型大型送水ポンプ車	ホース接続																																																																																																																																																										
②	可搬型大型送水ポンプ車	ホース接続																																																																																																																																																										
③	可搬型大型送水ポンプ車	ホース接続																																																																																																																																																										
④	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑤	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑥	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑦	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑧	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑨	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑩	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑪	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑫	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑬	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑭	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑮	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑯	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑰	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑱	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑲	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
⑳	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㉑	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㉒	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㉓	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㉔	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㉕	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㉖	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㉗	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㉘	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㉙	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㉚	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㉛	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㉜	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㉝	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㉞	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㉟	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㊱	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㊲	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㊳	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㊴	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㊵	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㊶	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㊷	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㊸	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㊹	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㊺	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㊻	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㊼	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㊽	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㊾	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										
㊿	燃料取替用水ビット	燃料取替用水ビット																																																																																																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

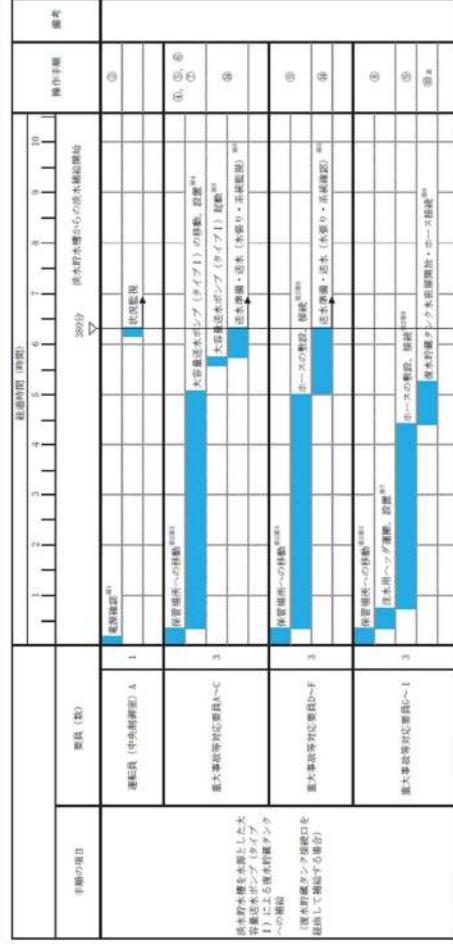
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

【比較のため、記載順序入替え】

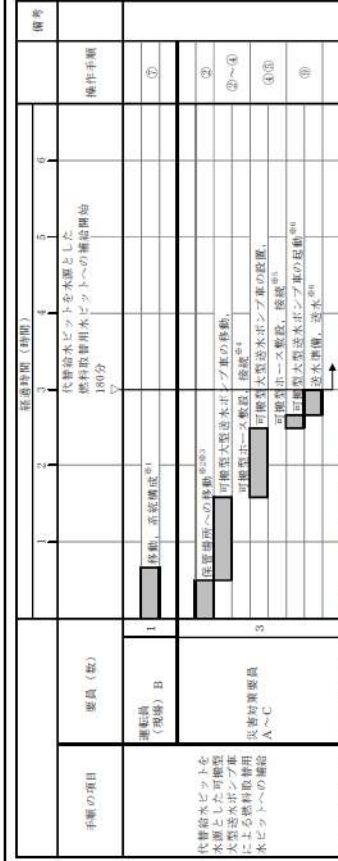


女川原子力発電所2号炉



第1.13-14図 汲水貯水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（1/2）

泊発電所3号炉



第1.13.3図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

相違理由

- 【大飯】設備の相違（相違理由③）
- 【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映）
- ・タイムチャートに操作手順番号を載づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

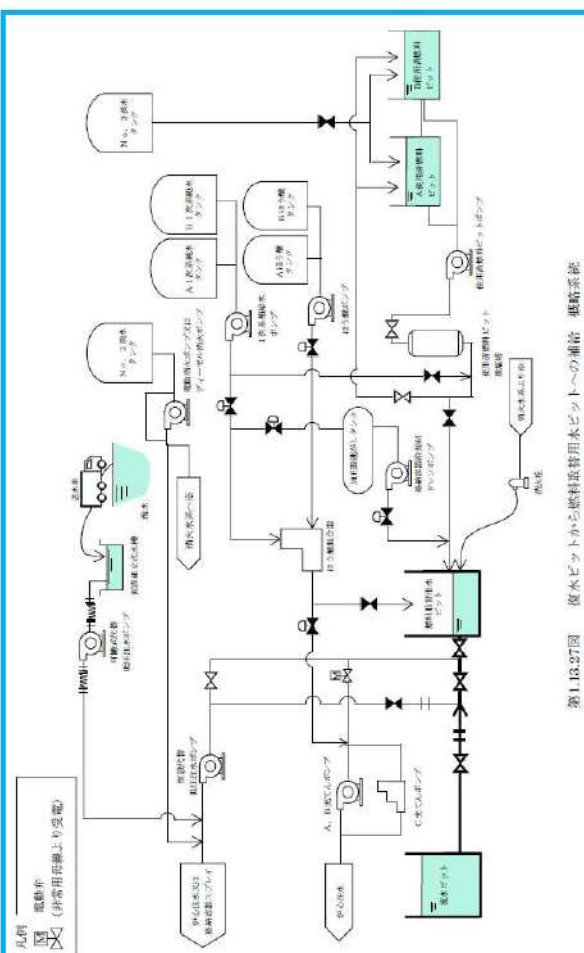
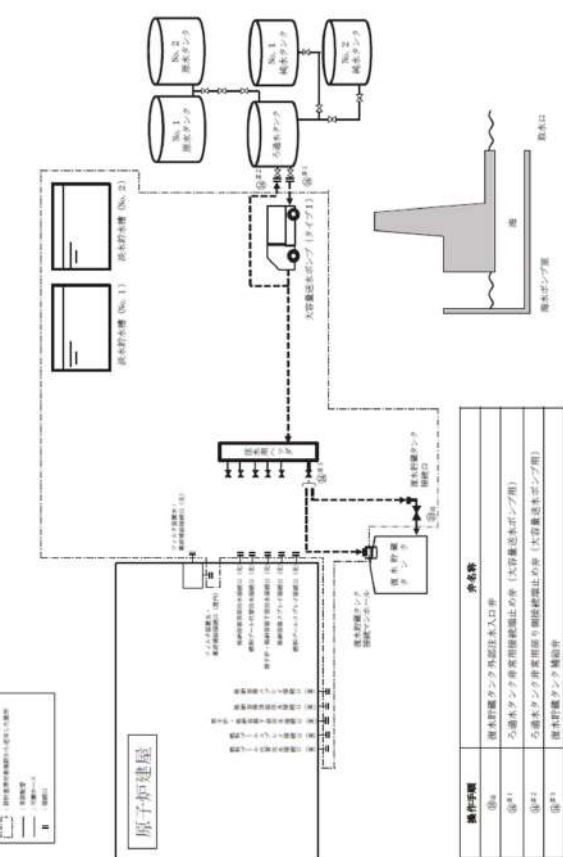
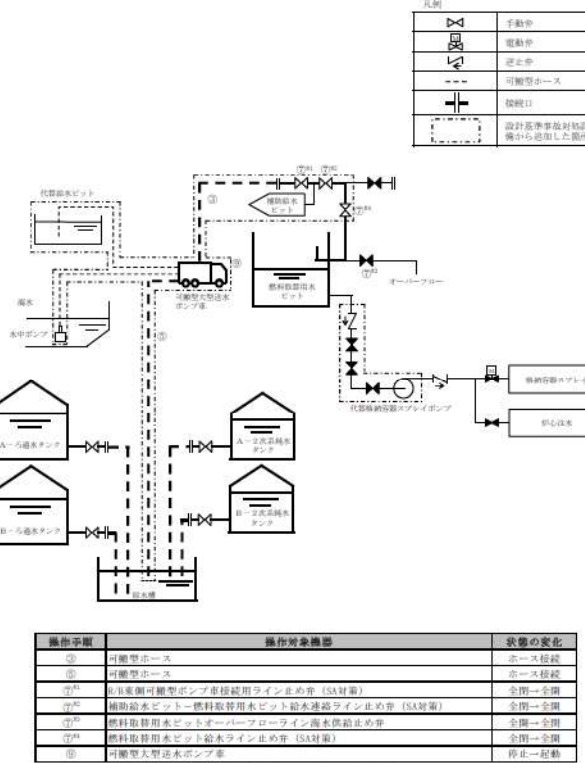
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図1.13-15 図 大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給手順等 （復水貯蔵タンク接続マンホールを理由して補給する場合）</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

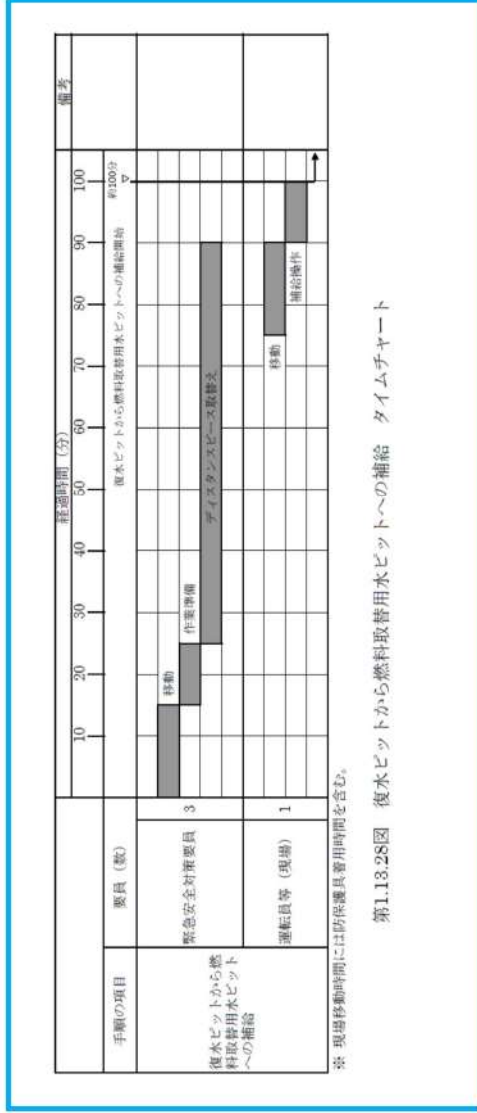
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p>【比較のため、再掲】</p>  <p>第1.13.27図 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給 概略系統</p>	 <p>第1.13-16図 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p> <table border="1" data-bbox="1209 750 1321 1212"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>5.1車庫可搬型ポンプ直結給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>燃料取替用水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ポンプ	ホース接続	②	可搬型ポンプ	ホース接続	③	5.1車庫可搬型ポンプ直結給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	④	補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	⑤	燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁	全閉→全開	⑥	燃料取替用水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	⑦	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	 <p>第1.13.4図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 1005 1948 1149"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>5.1車庫可搬型ポンプ直結給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>燃料取替用水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ポンプ	ホース接続	②	可搬型ポンプ	ホース接続	③	5.1車庫可搬型ポンプ直結給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	④	補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	⑤	燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁	全閉→全開	⑥	燃料取替用水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	⑦	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																	
①	可搬型ポンプ	ホース接続																																																	
②	可搬型ポンプ	ホース接続																																																	
③	5.1車庫可搬型ポンプ直結給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																																																	
④	補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																																																	
⑤	燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁	全閉→全開																																																	
⑥	燃料取替用水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																																																	
⑦	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																																																	
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																	
①	可搬型ポンプ	ホース接続																																																	
②	可搬型ポンプ	ホース接続																																																	
③	5.1車庫可搬型ポンプ直結給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																																																	
④	補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																																																	
⑤	燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁	全閉→全開																																																	
⑥	燃料取替用水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																																																	
⑦	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

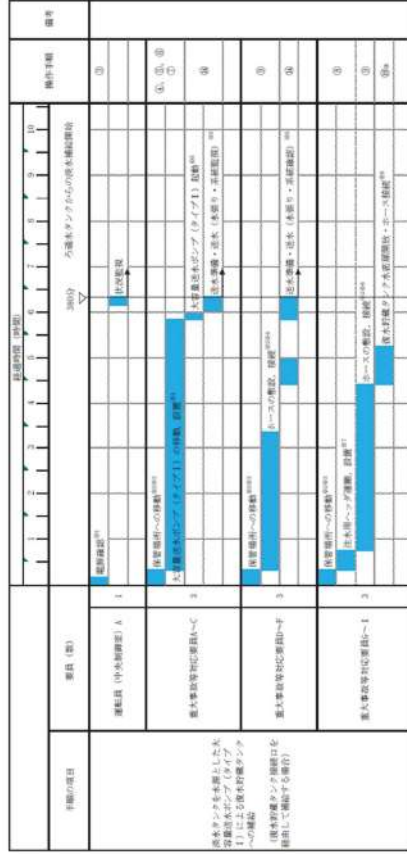
大飯発電所3/4号炉

【比較のため、再掲】



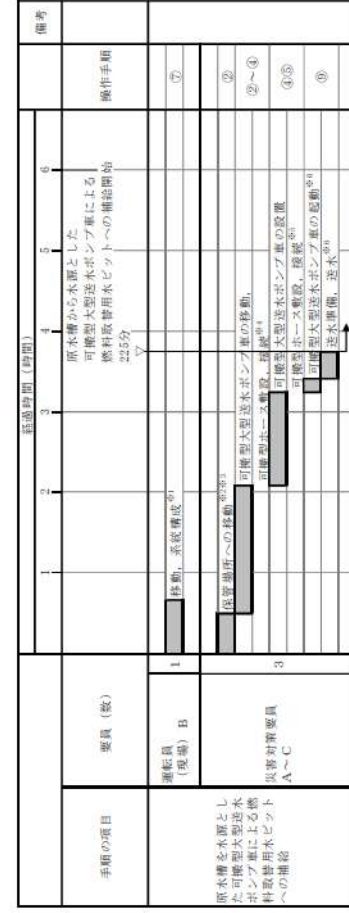
第1.13.28図 復水ピットから燃料取扱替用水ピットへの補給 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉



第 1.13-17図 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（1/2）
（復水貯蔵タンク接続口を經由して補給する場合）

泊発電所3号炉



第 1.13.5 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による
燃料取扱替用水ピットへの補給 タイムチャート

- 【大飯】
設備の相違（相違理由⑥）
- 【大飯】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
- ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ
 - ・補足の充実
 - ・備考欄の追加

相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1.13-18図 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（2/2） （復水貯蔵タンク接続マンホールを透過して補給する場合）</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

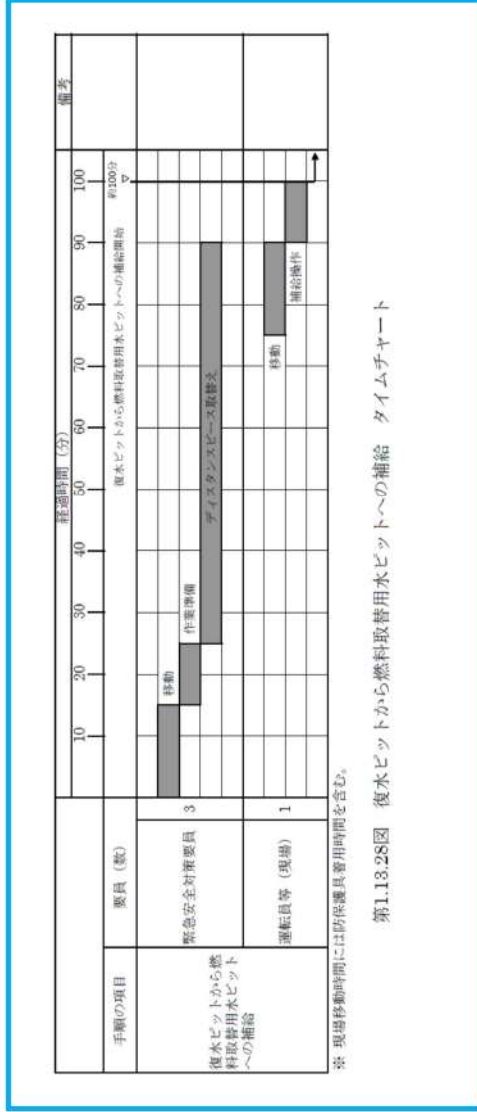
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>【比較のため、再掲】</p> <p>第1.13.27図 復水ピットから燃料取替水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>第1.13-19図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	<p>第1.13.6図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 989 1948 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>取付車可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>補助給水ピット→燃料取替水ピット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料取替水ピットオーバーフローライン海水供給止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>燃料取替水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③	取付車可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	④	補助給水ピット→燃料取替水ピット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	⑤	燃料取替水ピットオーバーフローライン海水供給止め弁	全開→全閉	⑥	燃料取替水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	⑦	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ
操作手順	操作対象機器	状態の変化																									
①	可搬型ホース	ホース接続																									
②	可搬型ホース	ホース接続																									
③	取付車可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																									
④	補助給水ピット→燃料取替水ピット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																									
⑤	燃料取替水ピットオーバーフローライン海水供給止め弁	全開→全閉																									
⑥	燃料取替水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																									
⑦	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

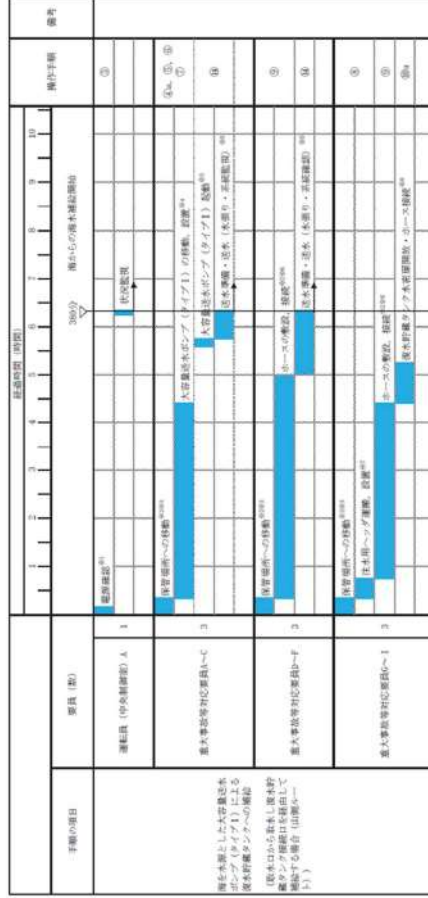
大飯発電所3/4号炉

【比較のため、再掲】



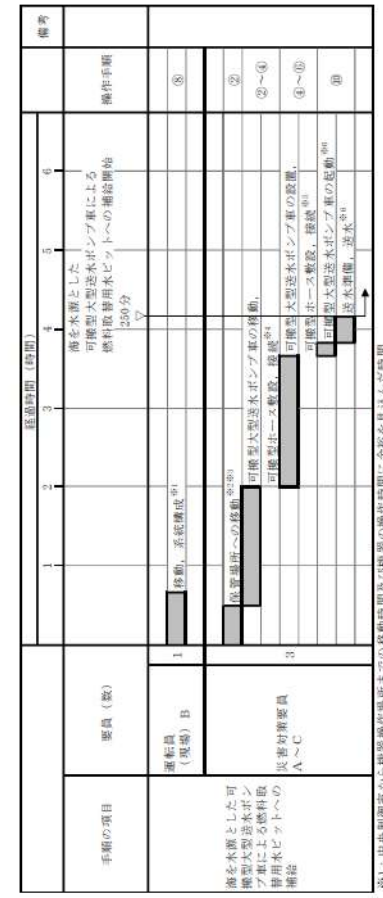
第1.13.28図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉



第 1.13-20 図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（1/4）
（取水口から取水し復水貯蔵タンク接続口を経由して補給する場合（山側ルート））

泊発電所3号炉





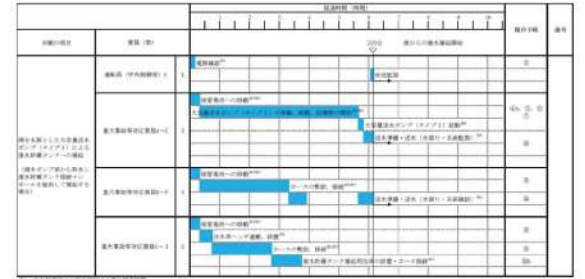
第 1.13.7 図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

相違理由

- 【大飯】
設備の相違（相違理由⑥）
- 【大飯】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
- ・タイムチャートと操作手順書とを紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第13-21図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（注4） （取水口から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合（山側ルート））</p>  <p>注1：予備電源及び非常電源の起動は要しない。 注2：大容量送水ポンプ（タイプ1）及びポンプの駆動電源は既設送水ポンプ、既設送水ポンプ及び既設送水ポンプ、ポンプ駆動電源及び既設ポンプの駆動電源は既設送水ポンプ、既設送水ポンプ及び既設送水ポンプ。 注3：既設送水ポンプの運転は、予備電源及び非常電源の起動後に実施する。 注4：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間として、既設送水ポンプから取水し復水貯蔵タンクへの送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクに水を供給するまでの時間を示している。 注5：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクへの送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクに水を供給するまでの時間を示している。 注6：ポンプの稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクへの送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクに水を供給するまでの時間を示している。 注7：送水ポンプの稼働時間として、既設送水ポンプから取水し復水貯蔵タンクへの送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクに水を供給するまでの時間を示している。 注8：送水貯蔵タンクに水を供給するまでの時間を示している。</p>	<p>第13-22図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（注4） （取水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合）</p>  <p>注1：予備電源及び非常電源の起動は要しない。 注2：大容量送水ポンプ（タイプ1）及びポンプの駆動電源は既設送水ポンプ、既設送水ポンプ及び既設送水ポンプ、ポンプ駆動電源及び既設ポンプの駆動電源は既設送水ポンプ、既設送水ポンプ及び既設送水ポンプ。 注3：既設送水ポンプの運転は、予備電源及び非常電源の起動後に実施する。 注4：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間として、既設送水ポンプから取水し復水貯蔵タンクへの送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクに水を供給するまでの時間を示している。 注5：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクへの送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクに水を供給するまでの時間を示している。 注6：ポンプの稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクへの送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクに水を供給するまでの時間を示している。 注7：送水ポンプの稼働時間として、既設送水ポンプから取水し復水貯蔵タンクへの送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクに水を供給するまでの時間を示している。 注8：送水貯蔵タンクに水を供給するまでの時間を示している。</p>	
	<p>第13-23図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（注4） （取水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合）</p>  <p>注1：予備電源及び非常電源の起動は要しない。 注2：大容量送水ポンプ（タイプ1）及びポンプの駆動電源は既設送水ポンプ、既設送水ポンプ及び既設送水ポンプ、ポンプ駆動電源及び既設ポンプの駆動電源は既設送水ポンプ、既設送水ポンプ及び既設送水ポンプ。 注3：既設送水ポンプの運転は、予備電源及び非常電源の起動後に実施する。 注4：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間として、既設送水ポンプから取水し復水貯蔵タンクへの送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクに水を供給するまでの時間を示している。 注5：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクへの送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクに水を供給するまでの時間を示している。 注6：ポンプの稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクへの送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクに水を供給するまでの時間を示している。 注7：送水ポンプの稼働時間として、既設送水ポンプから取水し復水貯蔵タンクへの送水ポンプ（タイプ1）の稼働時間を考慮し、送水貯蔵タンクに水を供給するまでの時間を示している。 注8：送水貯蔵タンクに水を供給するまでの時間を示している。</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="761 1013 918 1332" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ：設計基準対象施設から追加した箇所 ：管配 ：可搬ホース ：接続口 </div> <div data-bbox="963 223 1299 1340" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">第 1.13-24 図 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>		

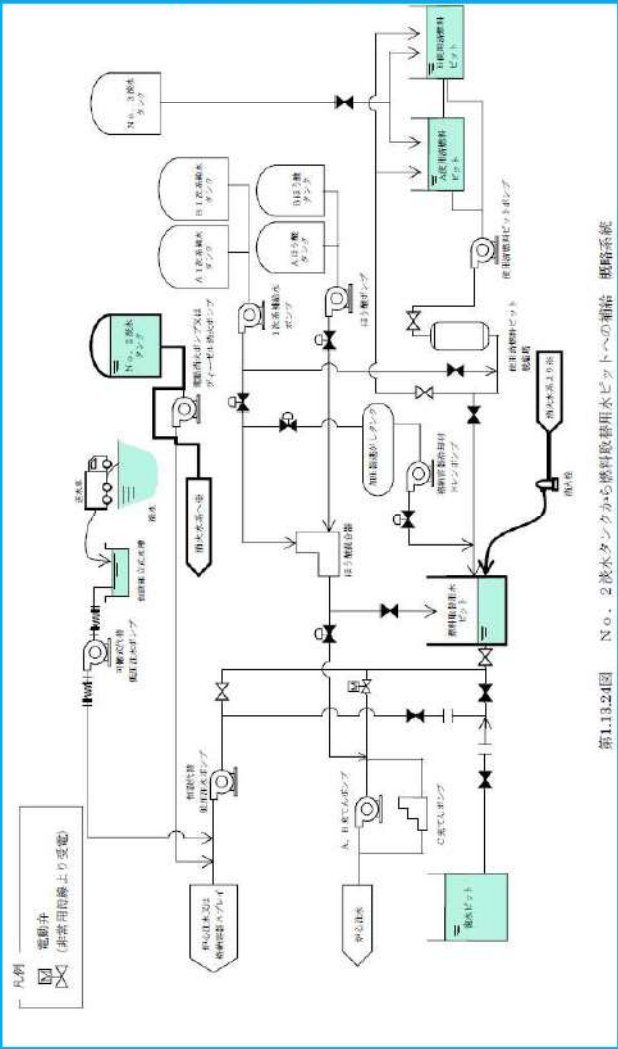
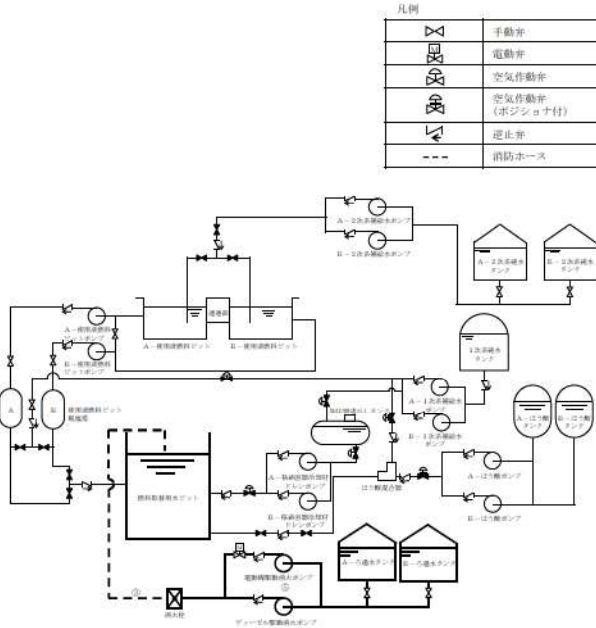
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>55分 耐震性防火水槽からの補給開始</p> <p>電停確認^{※1} 状況監視^{※2} 保管場所への移動^{※3} 化学消防自動車の移動・設置^{※4} コースの敷設・接続^{※5} 化学消防自動車の起動^{※6} 送水（水圧・流量調整）^{※6}</p> <p>要員（数） 運転員（中央制御室）A 1 初期消火要員（消防車隊）A→E 5</p> <p>手順の項目 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>備考 ③ ④、⑤ ⑥</p>	<p>女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 設備の相違（相違理由①）</p>
	<p>※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間 ※2：化学消防自動車の保管場所の保管エリア及び第4保管エリア ※3：化学消防自動車の保管場所から第1保管エリアまでの移動を想定した移動時間と化学消防自動車放水訓練の実績を考慮した作業時間に見込んだ時間 ※4：電源本館又は警務課本館から第1保管エリアまでの移動距離として、第1保管エリアから耐震性防火水槽までを想定した移動時間と化学消防自動車放水訓練の実績を考慮した作業時間に見込んだ時間 ※5：コース敷設訓練の実績を考慮した作業時間を考慮した作業時間に見込んだ時間 ※6：化学消防自動車放水訓練の実績を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>第1.13-25 図 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																							
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.24図 No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1769 391 1993 550"> <caption>凡例</caption> <tr><td></td><td>手動弁</td></tr> <tr><td></td><td>電動弁</td></tr> <tr><td></td><td>空気作動弁</td></tr> <tr><td></td><td>空気作動弁 (ボジショナ付)</td></tr> <tr><td></td><td>遮止弁</td></tr> <tr><td></td><td>消防ホース</td></tr> </table> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結び</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p> <table border="1" data-bbox="1411 1029 1948 1109"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③</td> <td>消防ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑤</td> <td>電動機駆動消火ポンプ*</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ*</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。 ※：どちらか一方を起動する。</p> <p>第1.13.8図 ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p>		手動弁		電動弁		空気作動弁		空気作動弁 (ボジショナ付)		遮止弁		消防ホース	操作手順	操作対象機器	状態の変化	③	消防ホース	ホース接続	⑤	電動機駆動消火ポンプ*	停止→起動	ディーゼル駆動消火ポンプ*	停止→起動	
	手動弁																									
	電動弁																									
	空気作動弁																									
	空気作動弁 (ボジショナ付)																									
	遮止弁																									
	消防ホース																									
操作手順	操作対象機器	状態の変化																								
③	消防ホース	ホース接続																								
⑤	電動機駆動消火ポンプ*	停止→起動																								
	ディーゼル駆動消火ポンプ*	停止→起動																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

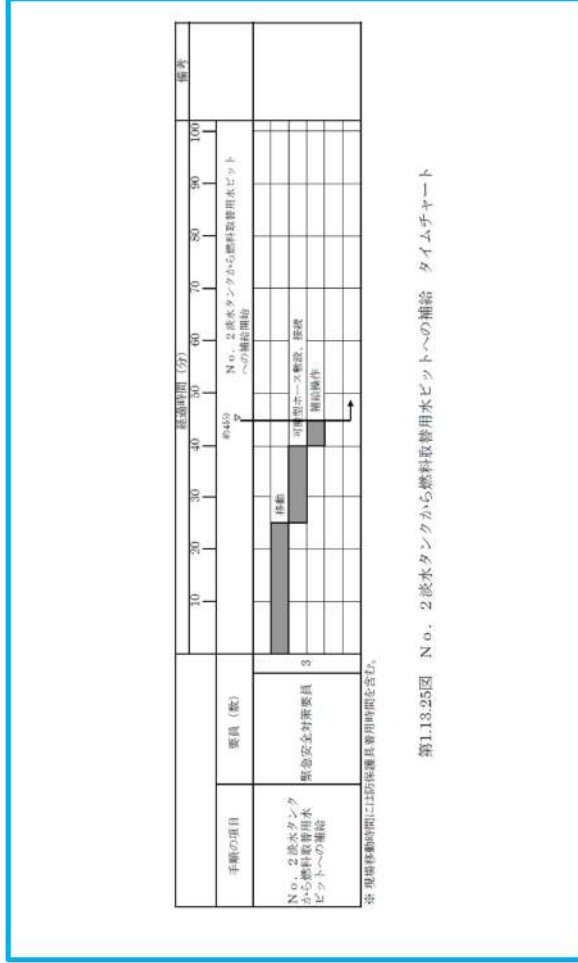
大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

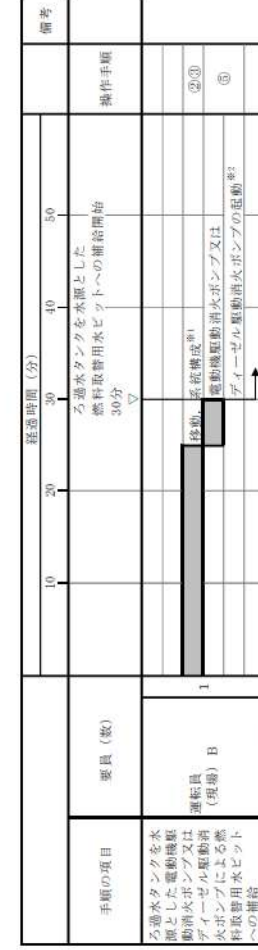
泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、記載順序入替え】



泊3号炉との比較対象なし

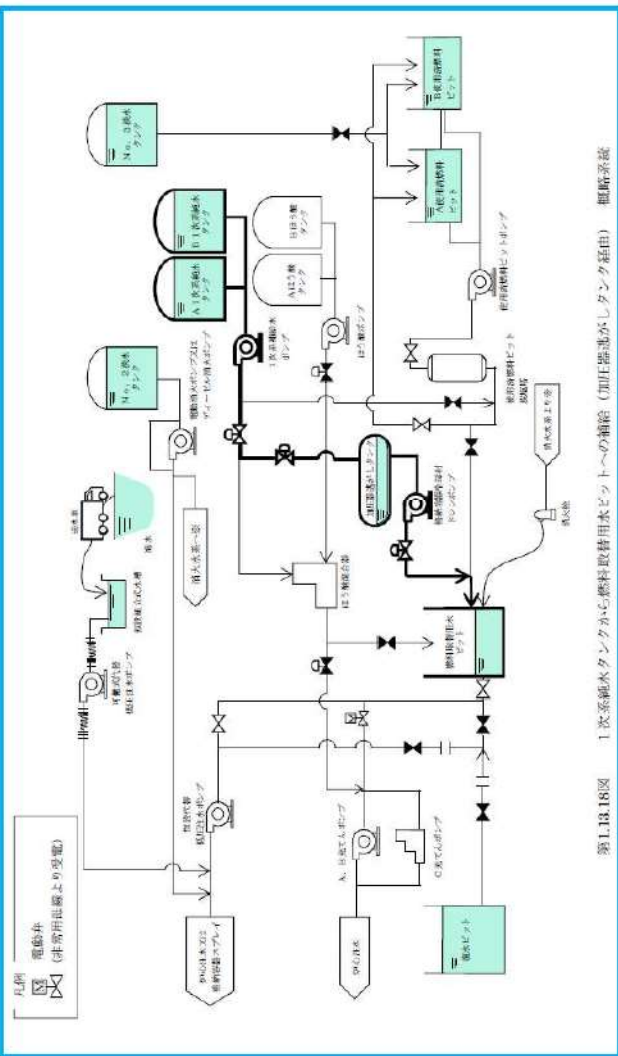
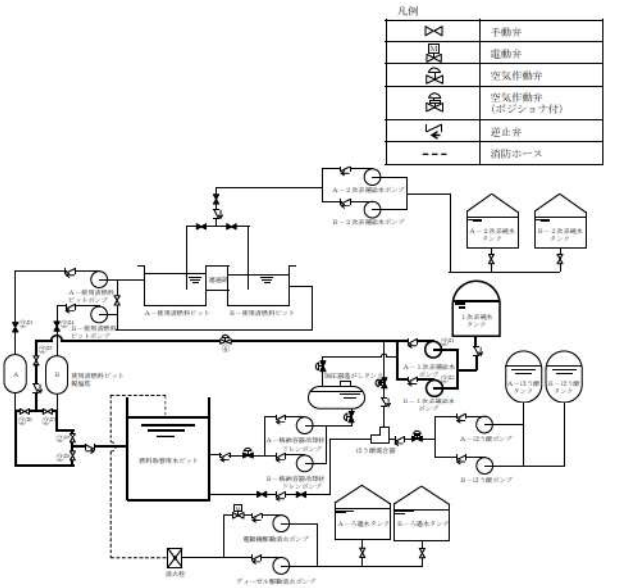


【大飯】
記載方針の相違
（女川審査実績の反映）
・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
・補足の充実
・備考欄の追加

【女川】記載内容の相違
・炉型の相違による対応手段の相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>【比較のため、記載順序入れ替え】</p>  <p>第1.13.18図 1次系純水タンクから燃料取替用水セットへの補給（加圧器過みしタンク経由） 概略図</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1411 949 1948 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②²⁸</td> <td>A-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②²⁹</td> <td>E-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②³⁰</td> <td>A-使用済燃料ピット搬場店入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②³¹</td> <td>E-使用済燃料ピット搬場店入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②³²</td> <td>使用済燃料ピット搬場店浄水戻り弁</td> <td>調整確認</td> </tr> <tr> <td>②³³</td> <td>A-使用済燃料ピット搬場店沖洗弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②³⁴</td> <td>E-使用済燃料ピット搬場店沖洗弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②³⁵</td> <td>A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化回りライン切替弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②³⁶</td> <td>E-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化回りライン切替弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>搬場店補給水止弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.13.10図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水セットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② ²⁸	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動	② ²⁹	E-1次系補給水ポンプ	停止→起動	② ³⁰	A-使用済燃料ピット搬場店入口弁	全閉→全開	② ³¹	E-使用済燃料ピット搬場店入口弁	全閉→全開	② ³²	使用済燃料ピット搬場店浄水戻り弁	調整確認	② ³³	A-使用済燃料ピット搬場店沖洗弁	全閉→全開	② ³⁴	E-使用済燃料ピット搬場店沖洗弁	全閉→全開	② ³⁵	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化回りライン切替弁	全閉→全開	② ³⁶	E-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化回りライン切替弁	全閉→全開	③	搬場店補給水止弁	全閉→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
② ²⁸	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動																																		
② ²⁹	E-1次系補給水ポンプ	停止→起動																																		
② ³⁰	A-使用済燃料ピット搬場店入口弁	全閉→全開																																		
② ³¹	E-使用済燃料ピット搬場店入口弁	全閉→全開																																		
② ³²	使用済燃料ピット搬場店浄水戻り弁	調整確認																																		
② ³³	A-使用済燃料ピット搬場店沖洗弁	全閉→全開																																		
② ³⁴	E-使用済燃料ピット搬場店沖洗弁	全閉→全開																																		
② ³⁵	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化回りライン切替弁	全閉→全開																																		
② ³⁶	E-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化回りライン切替弁	全閉→全開																																		
③	搬場店補給水止弁	全閉→全開																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

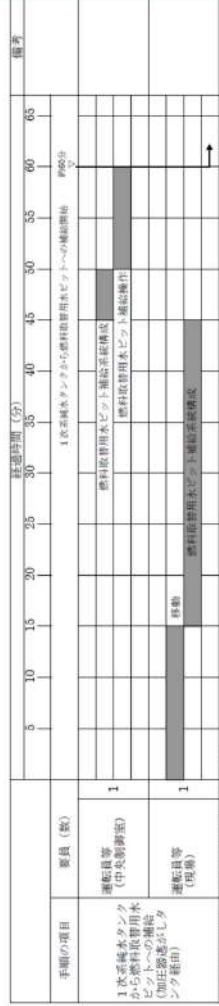
大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

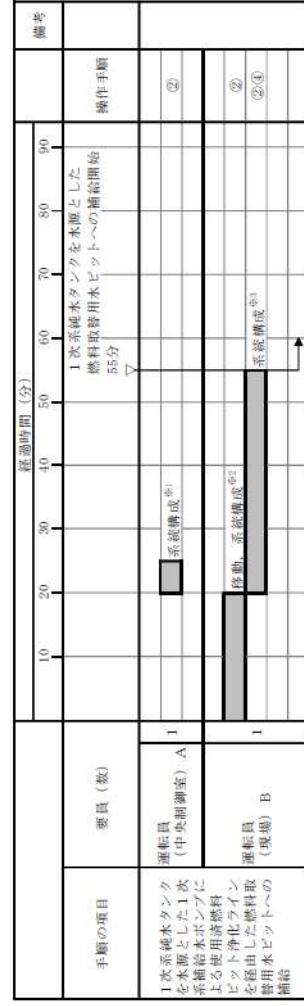
相違理由

【比較のため、記載順序入替え】



第1.13.19図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（加圧器がしタンク経由） タイムチャート

泊3号炉との比較対象なし



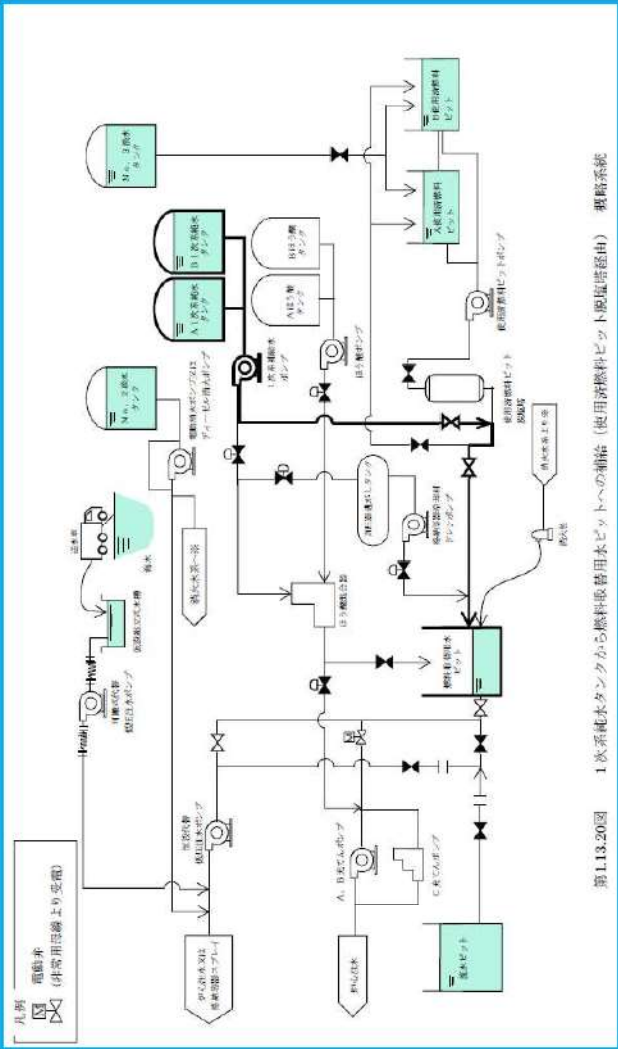
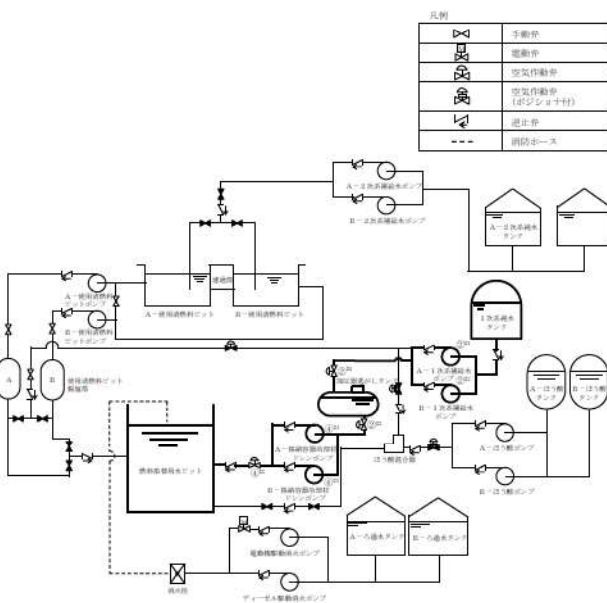
第1.13.11図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

【大飯】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
・補足の充実
・備考欄の追加

【女川】
記載内容の相違
・炉型の相違による対応手段の相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第L13.20図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット駆動系統） 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1411 965 1971 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①a</td> <td>A-1 1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>①b</td> <td>B-1 1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②a</td> <td>加圧器逃がしタンクドレン弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②b</td> <td>加圧器逃がしタンク補給水ライオン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③a</td> <td>A-1 熱交換器冷却材ドレンポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③b</td> <td>熱交換器冷却材ドレンポンプ出口右内側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④a</td> <td>B-1 熱交換器冷却材ドレンポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>④b</td> <td>B-1 熱交換器冷却材ドレンポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①a	A-1 1次系補給水ポンプ	停止→起動	①b	B-1 1次系補給水ポンプ	停止→起動	②a	加圧器逃がしタンクドレン弁	全閉→全開	②b	加圧器逃がしタンク補給水ライオン止め弁	全閉→全開	③a	A-1 熱交換器冷却材ドレンポンプ	停止→起動	③b	熱交換器冷却材ドレンポンプ出口右内側隔離弁	全閉→全開	④a	B-1 熱交換器冷却材ドレンポンプ	停止→起動	④b	B-1 熱交換器冷却材ドレンポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																												
①a	A-1 1次系補給水ポンプ	停止→起動																												
①b	B-1 1次系補給水ポンプ	停止→起動																												
②a	加圧器逃がしタンクドレン弁	全閉→全開																												
②b	加圧器逃がしタンク補給水ライオン止め弁	全閉→全開																												
③a	A-1 熱交換器冷却材ドレンポンプ	停止→起動																												
③b	熱交換器冷却材ドレンポンプ出口右内側隔離弁	全閉→全開																												
④a	B-1 熱交換器冷却材ドレンポンプ	停止→起動																												
④b	B-1 熱交換器冷却材ドレンポンプ	停止→起動																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.21図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由） タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防護用具着用時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.13図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる 加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・型式の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.22図 No. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.14図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1400 949 1982 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①A</td> <td>A-2次系補給水ポンプ^{※1}</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>①B</td> <td>B-2次系補給水ポンプ^{※1}</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>②A</td> <td>A-1次系補給水ポンプ^{※1}</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>②B</td> <td>B-1次系補給水ポンプ^{※1}</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>③A</td> <td>A-使用済燃料ピットから燃料取替用水ピットへ燃料取替用水を供給するポンプ^{※2}</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③B</td> <td>B-使用済燃料ピットから燃料取替用水ピットへ燃料取替用水を供給するポンプ^{※2}</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④A</td> <td>A-使用済燃料ピットへ燃料取替用水を供給するポンプ^{※2}</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④B</td> <td>B-使用済燃料ピットへ燃料取替用水を供給するポンプ^{※2}</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>使用済燃料ピットへ燃料取替用水を供給するポンプ^{※2}</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：同一操作手順書内に複数の操作又は確認を実施する機能があることを示す。 ※2：どちらか一方の起動を確認する。 ※3：どちらか一方を全開とする。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①A	A-2次系補給水ポンプ ^{※1}	起動確認	①B	B-2次系補給水ポンプ ^{※1}	起動確認	②A	A-1次系補給水ポンプ ^{※1}	起動確認	②B	B-1次系補給水ポンプ ^{※1}	起動確認	③A	A-使用済燃料ピットから燃料取替用水ピットへ燃料取替用水を供給するポンプ ^{※2}	全閉→全開	③B	B-使用済燃料ピットから燃料取替用水ピットへ燃料取替用水を供給するポンプ ^{※2}	全閉→全開	④A	A-使用済燃料ピットへ燃料取替用水を供給するポンプ ^{※2}	全開→全閉	④B	B-使用済燃料ピットへ燃料取替用水を供給するポンプ ^{※2}	全開→全閉	⑤	使用済燃料ピットへ燃料取替用水を供給するポンプ ^{※2}	全閉→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																															
①A	A-2次系補給水ポンプ ^{※1}	起動確認																															
①B	B-2次系補給水ポンプ ^{※1}	起動確認																															
②A	A-1次系補給水ポンプ ^{※1}	起動確認																															
②B	B-1次系補給水ポンプ ^{※1}	起動確認																															
③A	A-使用済燃料ピットから燃料取替用水ピットへ燃料取替用水を供給するポンプ ^{※2}	全閉→全開																															
③B	B-使用済燃料ピットから燃料取替用水ピットへ燃料取替用水を供給するポンプ ^{※2}	全閉→全開																															
④A	A-使用済燃料ピットへ燃料取替用水を供給するポンプ ^{※2}	全開→全閉																															
④B	B-使用済燃料ピットへ燃料取替用水を供給するポンプ ^{※2}	全開→全閉																															
⑤	使用済燃料ピットへ燃料取替用水を供給するポンプ ^{※2}	全閉→全開																															

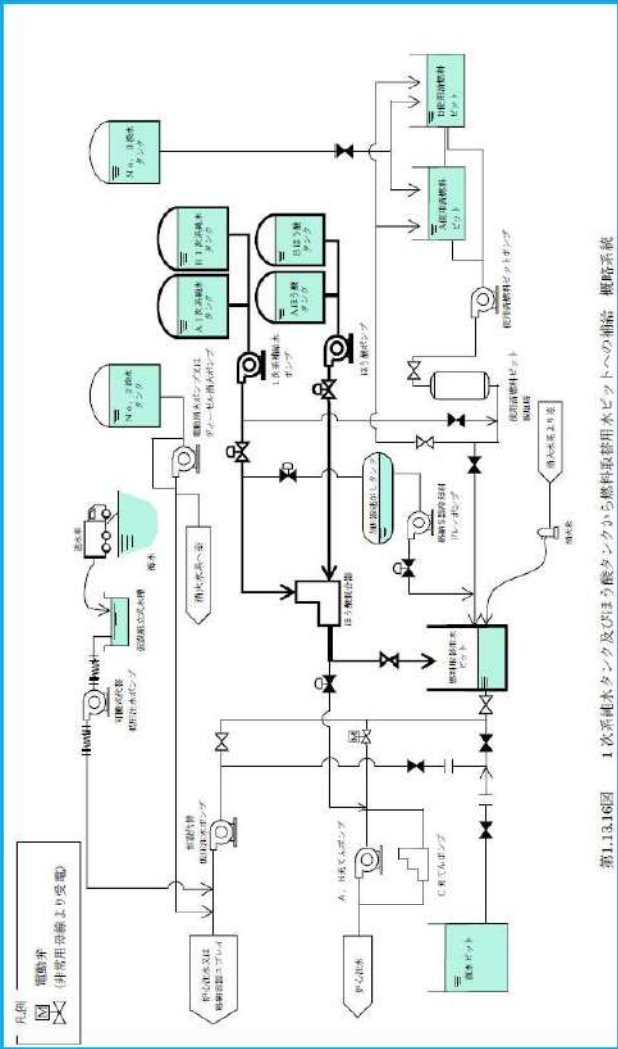
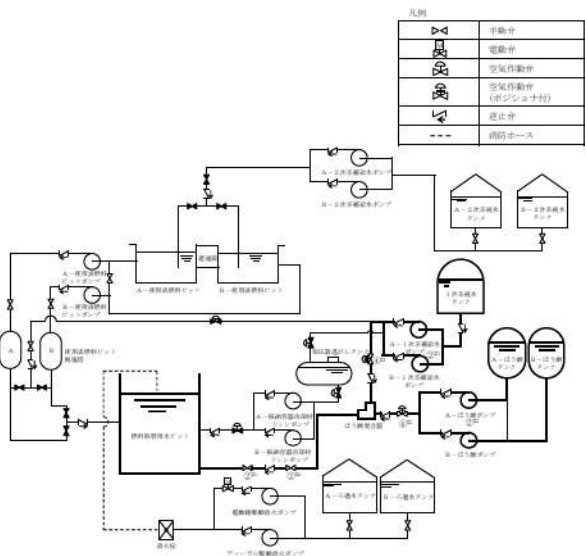
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.23図 No. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※：現場移動時間には防保護具着用時間を含む。</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第 1.13.15 図 2 次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間 ※3：機器の操作時間に見込んだ時間</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映） ・タイムチャート と操作手順番号 を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違によ る対応手段の相 違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
<p>【比較のため、記載順序入れ替え】</p>  <p>第1.13.16図 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1411 917 1937 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②[※]</td> <td>A-1次系補給水ポンプ[※]</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B-1次系補給水ポンプ[※]</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②[※]</td> <td>A-ほう酸ポンプ[※]</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②[※]</td> <td>B-ほう酸ポンプ[※]</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③[※]</td> <td>ほう酸混合器出口手動補給ラインほう酸補給止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③[※]</td> <td>ほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④[※]</td> <td>1次系純水補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> <tr> <td>④[※]</td> <td>ほう酸補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。 ※：どちらか一方を起動する。</p> <p>第1.13.16図 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② [※]	A-1次系補給水ポンプ [※]	停止→起動		B-1次系補給水ポンプ [※]	停止→起動	② [※]	A-ほう酸ポンプ [※]	停止→起動	② [※]	B-ほう酸ポンプ [※]	停止→起動	③ [※]	ほう酸混合器出口手動補給ラインほう酸補給止め弁	全開→全閉	③ [※]	ほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁	全開→全閉	④ [※]	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整開	④ [※]	ほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整開	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																												
② [※]	A-1次系補給水ポンプ [※]	停止→起動																												
	B-1次系補給水ポンプ [※]	停止→起動																												
② [※]	A-ほう酸ポンプ [※]	停止→起動																												
② [※]	B-ほう酸ポンプ [※]	停止→起動																												
③ [※]	ほう酸混合器出口手動補給ラインほう酸補給止め弁	全開→全閉																												
③ [※]	ほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁	全開→全閉																												
④ [※]	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整開																												
④ [※]	ほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整開																												

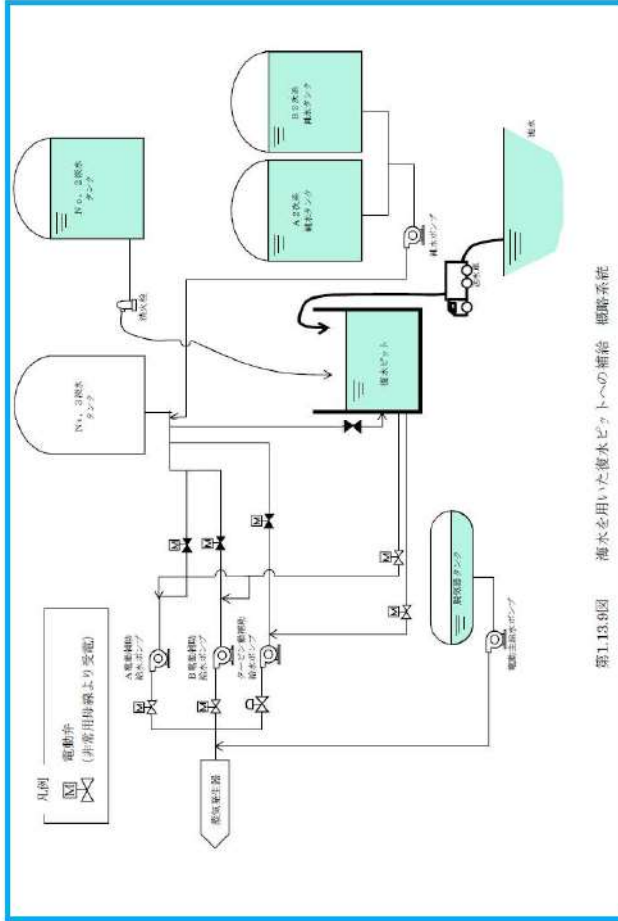
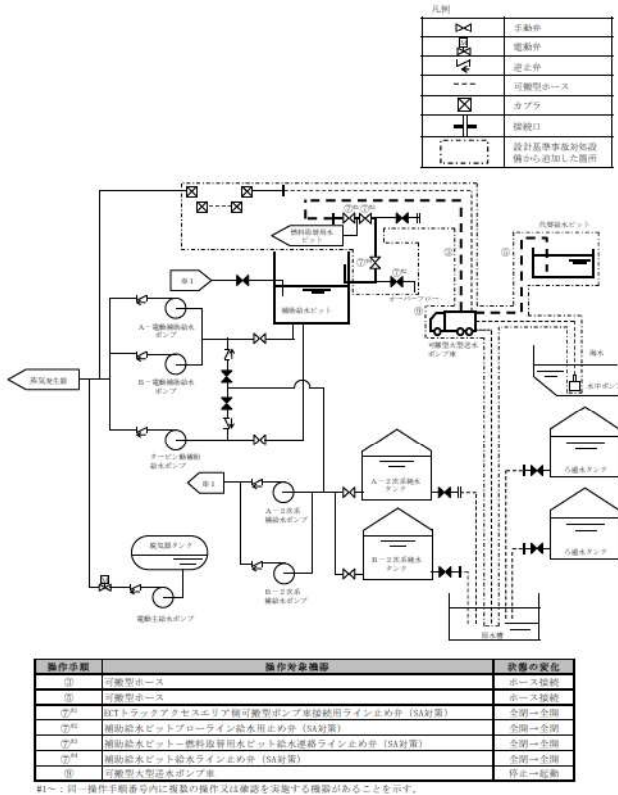
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.17図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防護器具着用時間を含む。</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第1.13.17図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びびほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込まれた時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.9図 海水を用いた復水ビットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p>第1.13.18図 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給 概要図</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		経過時間(時間)										備考
手順の項目	要員(数)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
海水を用いた復水ピットへの補給	緊急安全対策要員 5											
※ 現場移動時間には防保護員着脱時間を含む。 第1.13.10図 海水を用いた復水ピットへの補給 タイムチャート												

【比較のため、記載順序入替え】

女川原子力発電所2号炉		経過時間(時間)										備考
手順の項目	要員(数)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	緊急安全対策要員 A~C											
泊3号炉との比較対象なし												

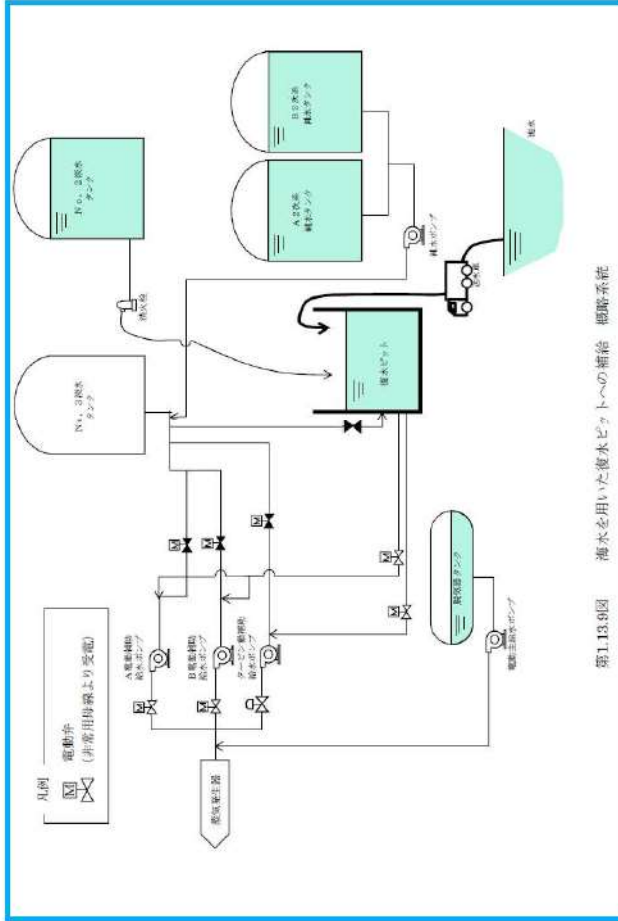
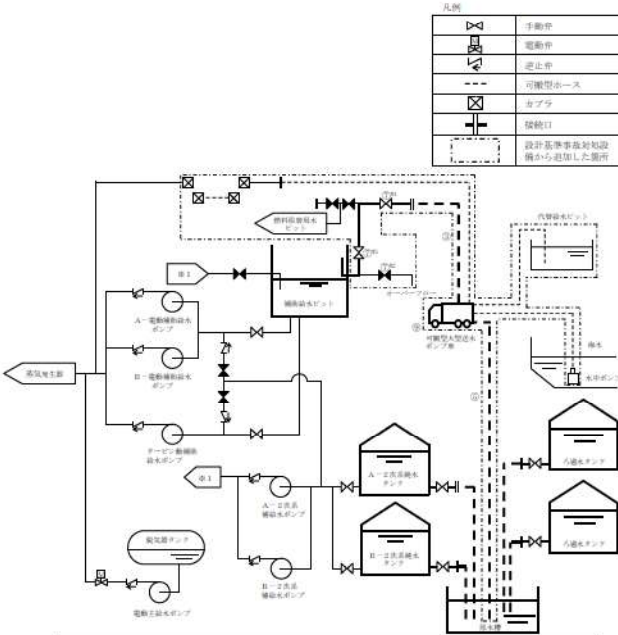
泊発電所3号炉		経過時間(時間)										備考
手順の項目	要員(数)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	運転員(現場) B 災害対策要員 A~C											
第1.13.19図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 タイムチャート												

相違理由

【大飯】
記載方針の相違
(女川審査実績の反映)
・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
・補足の充実
・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.19図 海水を用いた補水ピットへの補給 概要図</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1422 997 1960 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③[※]</td> <td>生体種可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④[※]</td> <td>補助給水ピットフローライン給水用止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤[※]</td> <td>補助給水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p style="text-align: center;">第 1.13.20 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による 補助給水ピットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③ [※]	生体種可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	④ [※]	補助給水ピットフローライン給水用止め弁 (SA対策)	全開→全閉	⑤ [※]	補助給水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映) ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	可搬型ホース	ホース接続																						
②	可搬型ホース	ホース接続																						
③ [※]	生体種可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																						
④ [※]	補助給水ピットフローライン給水用止め弁 (SA対策)	全開→全閉																						
⑤ [※]	補助給水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																						
⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		経過時間(時間)							備考
手順の項目	要員(数)	1	2	3	4	5	6	7	8
海水を用いた復水ピットへの補給	緊急安全対策要員 5				移動、車両配置 送水車廻り準備	可搬型ホース敷設	可搬型ホース監視		
※ 現場移動時間には防保護具着用時間を含む。									

【比較のため、再掲】

第1.13.10図 海水を用いた復水ピットへの補給 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉		経過時間(時間)							備考
		1	2	3	4	5	6	7	8

泊3号炉との比較対象なし

泊発電所3号炉		経過時間(時間)							備考
手順の項目	要員(数)	1	2	3	4	5	6	7	8
海水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給開始	運転員 (現員) B				移動、系統構成 ^{※1}				
海水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給開始	災害対策要員 A～C				可搬型大型送水ポンプ車の移動、 可搬型ホース敷設、接続 ^{※4}	可搬型大型送水ポンプ車の設置、 可搬型ホース敷設、接続 ^{※5}	可搬型大型送水ポンプ車の起動 ^{※6}		
※1：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に余裕を見込んだ時間 ※2：可搬型大型送水ポンプ車の保管場所は51号倉庫・車庫エリア、2号炉東側31aエリア(a)及び2号炉東側31aエリア(b)、ホース延長・回収車(送水用)の保管場所は51号倉庫・車庫エリア、2号炉東側31aエリア(a)及び2号炉東側31aエリア(b)、 可搬型大型送水ポンプ車の保管場所は51号倉庫・車庫エリア、2号炉東側31aエリア(a)、2号炉東側31aエリア(b)、 ※3：中央制御室から51号倉庫・車庫エリアまでの移動を想定した移動時間(余裕を見込んだ時間)は、2号炉東側31aエリア(a)、 ※4：可搬型大型送水ポンプ車の移動に余裕を見込んだ時間、2号炉東側31aエリア(b)、 ※5：可搬型大型送水ポンプ車の設置、接続に余裕を見込んだ時間、2号炉東側31aエリア(b)、 ※6：可搬型大型送水ポンプ車の起動に余裕を見込んだ時間									

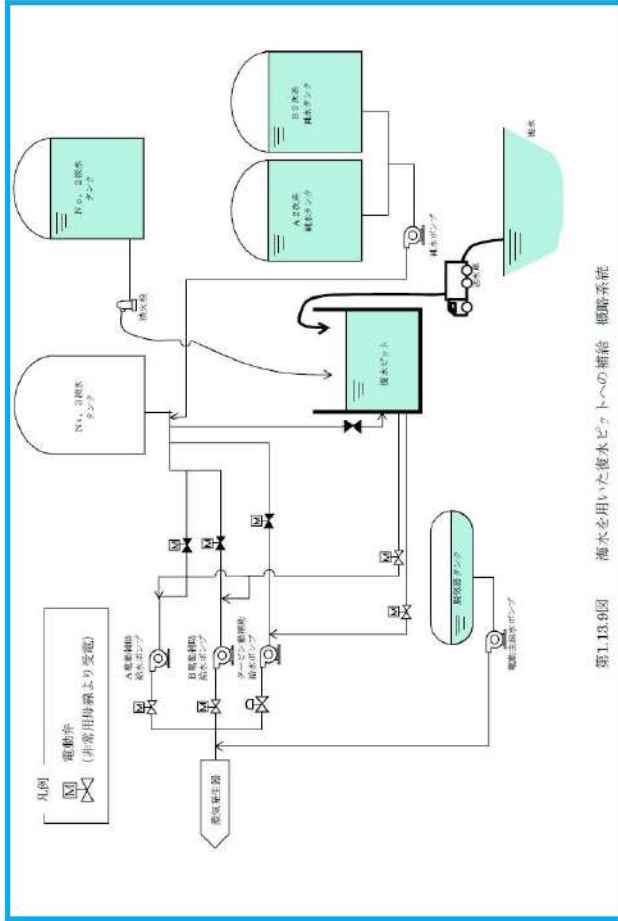
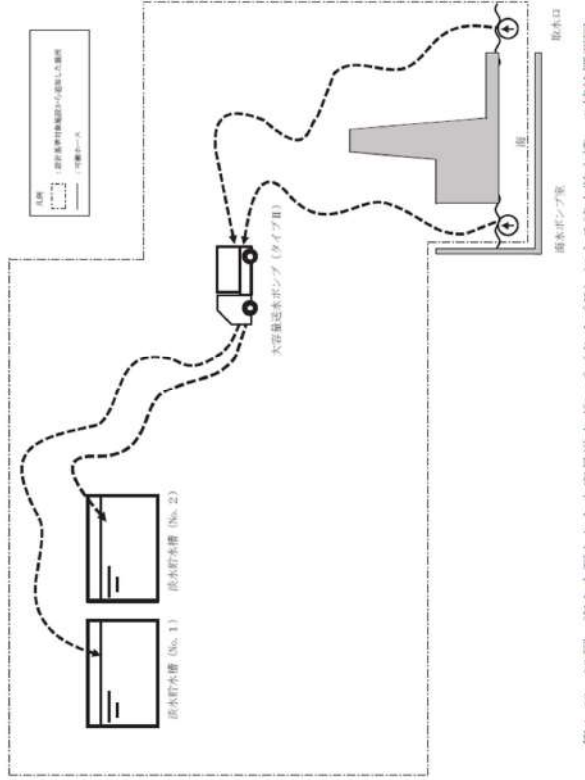
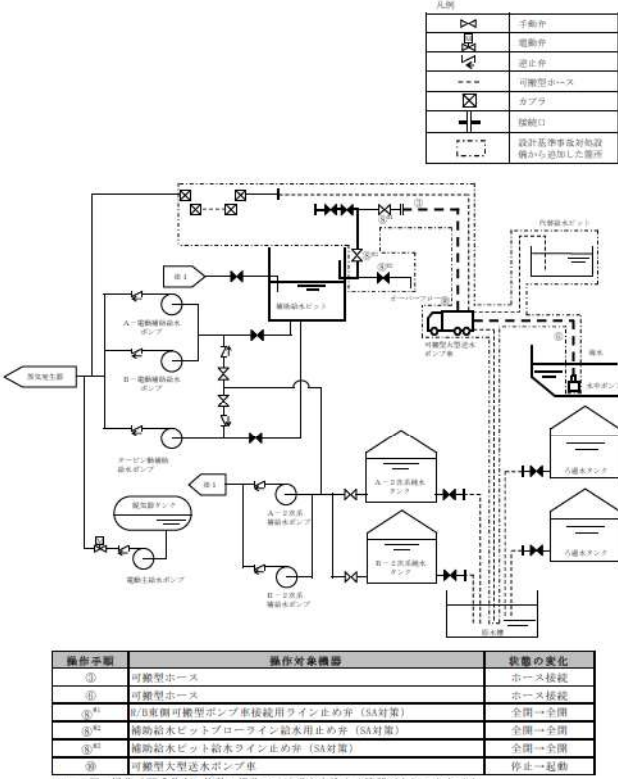
第1.13.21図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による

補助給水ピットへの補給 タイムチャート

相違理由	
【大飯】	記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ	
・補足の充実	
・備考欄の追加	

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.19図 海水を用いた復水ビットへの補給 概略系統</p>	 <p style="text-align: center;">第1.13-26図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給概要図</p>	 <table border="1" data-bbox="1422 1013 1960 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③[※]</td> <td>5t車輦可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁（SA対策）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④[※]</td> <td>補助給水ビットフローライン給水用止め弁（SA対策）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤[※]</td> <td>補助給水ビット給水ライン止め弁（SA対策）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③ [※]	5t車輦可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁（SA対策）	全開→全閉	④ [※]	補助給水ビットフローライン給水用止め弁（SA対策）	全開→全閉	⑤ [※]	補助給水ビット給水ライン止め弁（SA対策）	全開→全閉	⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映） ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	可搬型ホース	ホース接続																						
②	可搬型ホース	ホース接続																						
③ [※]	5t車輦可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁（SA対策）	全開→全閉																						
④ [※]	補助給水ビットフローライン給水用止め弁（SA対策）	全開→全閉																						
⑤ [※]	補助給水ビット給水ライン止め弁（SA対策）	全開→全閉																						
⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																						

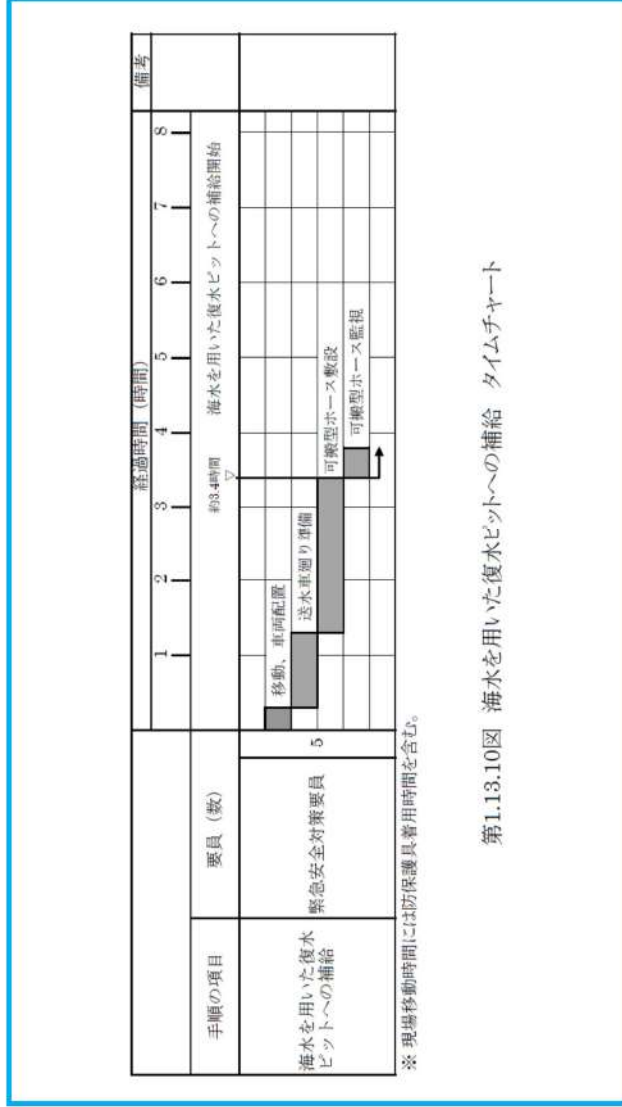
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

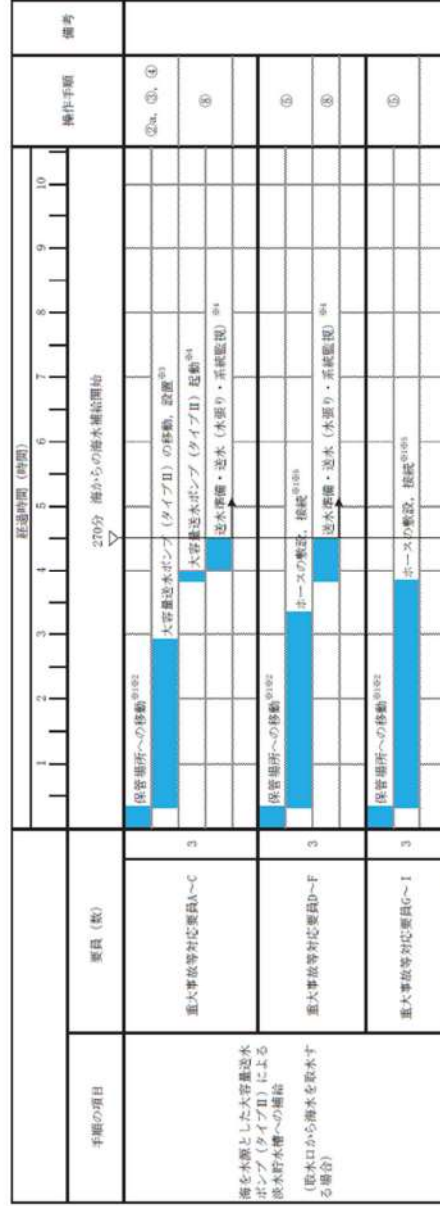
大飯発電所3/4号炉

【比較のため、再掲】



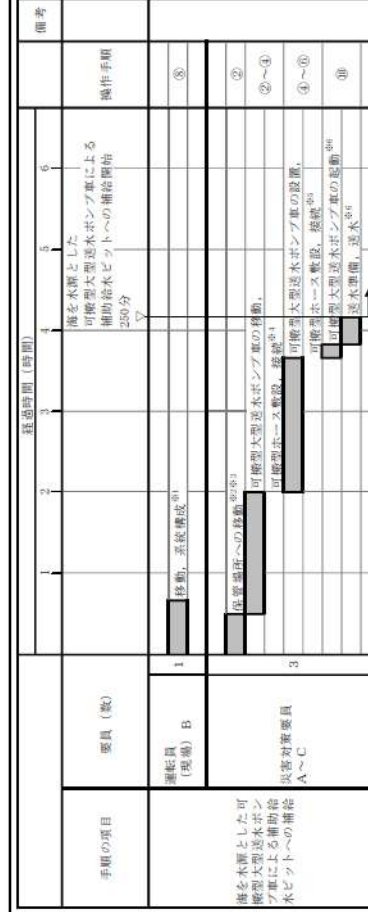
第1.13.10図 海水を用いた復水ピットへの補給 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉



第1.13-27図 海を水源とした大容量送水ポンプ (タイプII) による淡水貯水槽への補給タイムチャート (1/2) (取水口から海水を取水する場合)

泊発電所3号炉



第1.13.23図 海を水源とした可搬型大容量送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 タイムチャート

【大飯】
 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加

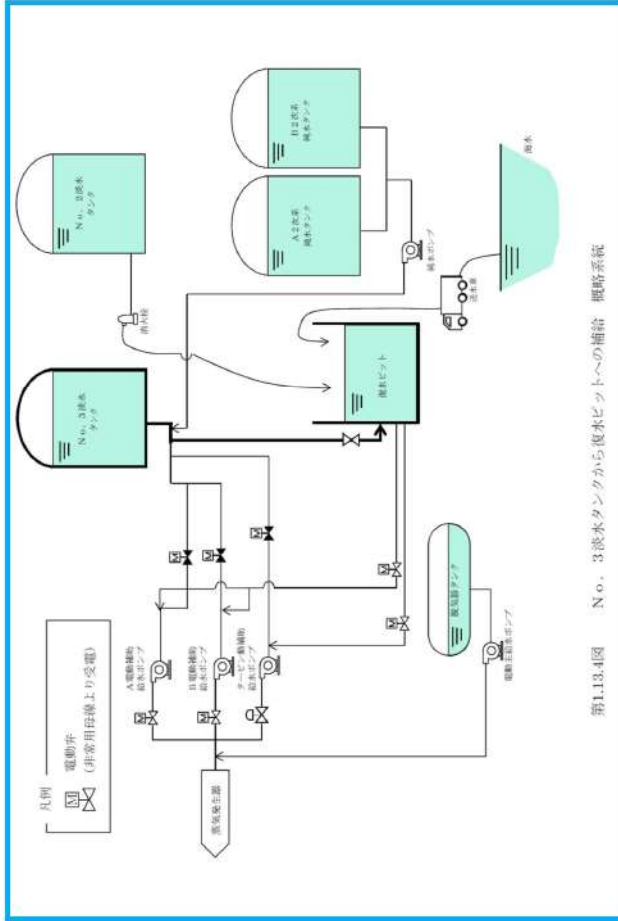
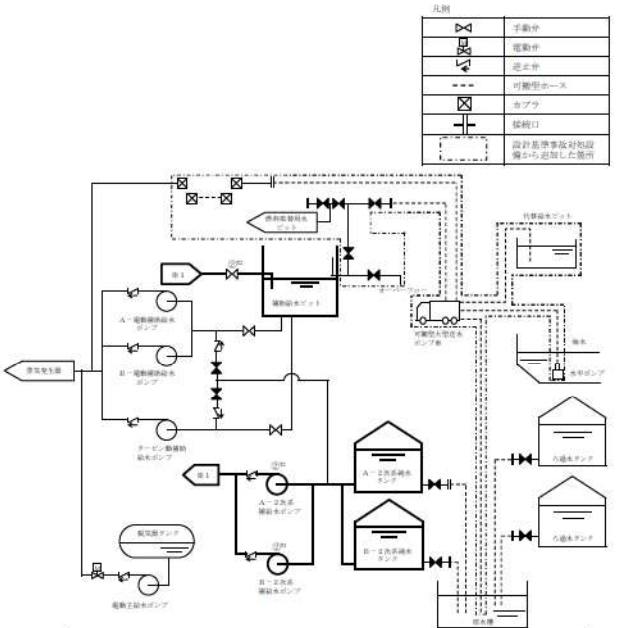
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図 1.13-28 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給タイムチャート（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>		
	<p>手順の項目</p> <p>海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給</p> <p>（海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p> <p>要員（数）</p> <p>3</p> <p>3</p> <p>3</p> <p>3</p> <p>備考</p> <p>②b, ③, ④</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p> <p>⑦</p> <p>⑧</p> <p>⑨</p> <p>⑩</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.4図 No. 3淡水タンクから取水ピットへの補給 概略系統</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1433 1029 1960 1109"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②^{注1}</td> <td>A-2次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B-2次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③^{注1}</td> <td>補助給水ピット配管水補給ライン流量絞り弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注1：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p style="text-align: center;">第 1.13.24 図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる 補助給水ピットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② ^{注1}	A-2次系補給水ポンプ	停止→起動		B-2次系補給水ポンプ	停止→起動	③ ^{注1}	補助給水ピット配管水補給ライン流量絞り弁	全閉→調整開	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結び</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化													
② ^{注1}	A-2次系補給水ポンプ	停止→起動													
	B-2次系補給水ポンプ	停止→起動													
③ ^{注1}	補助給水ピット配管水補給ライン流量絞り弁	全閉→調整開													

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

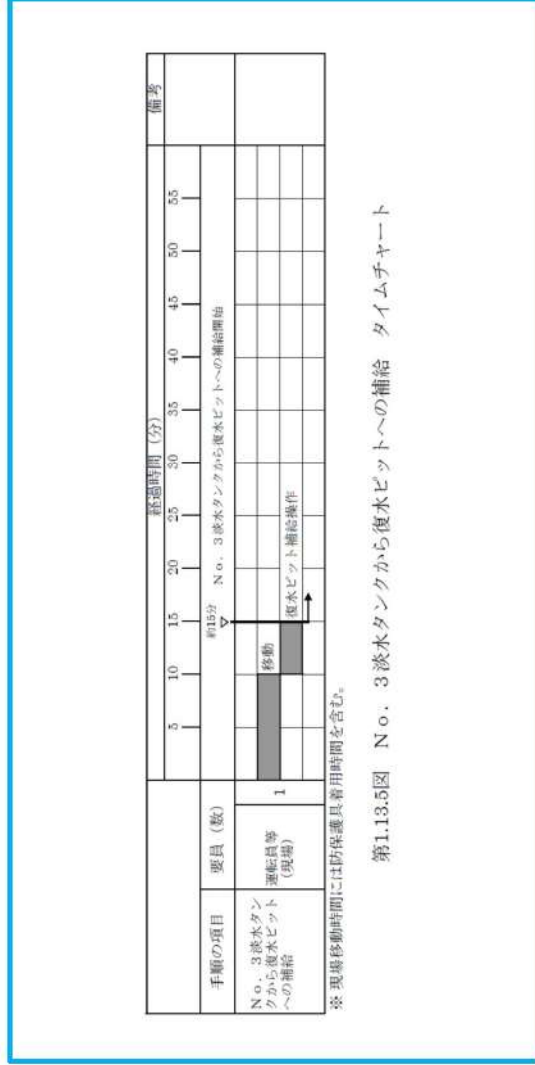
大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

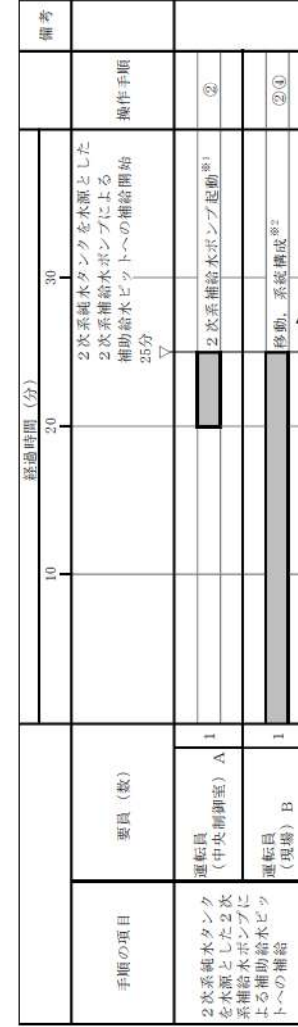
泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、記載順序入替え】



泊3号炉との比較対象なし



【大飯】
記載方針の相違
（女川審査実績の
反映）
・タイムチャート
と操作手順番号
を紐づけ
・補足の充実
・備考欄の追加

【女川】
記載内容の相違
・炉型の相違によ
る対応手段の相
違

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="846 767 1256 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1377 375 1993 1141"> <table border="1" data-bbox="1803 383 1982 518" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>凡例</caption> <tr><td></td><td>手動弁</td></tr> <tr><td></td><td>電動弁</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型ホース</td></tr> <tr><td></td><td>接続口</td></tr> <tr><td></td><td>設計条件を設計施設から変更した箇所</td></tr> </table> <table border="1" data-bbox="1422 965 1948 1125" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">①</td> <td>A-1号過水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>B-1号過水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>A-2号二次純水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>B-2号二次純水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="1">②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">③</td> <td>A-1号過水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-1号過水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>A-2号二次純水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-2号二次純水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">*：いずれか一方を開とする。</p> </div>		手動弁		電動弁		逆止弁		可搬型ホース		接続口		設計条件を設計施設から変更した箇所	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	A-1号過水タンク排水弁	全閉確認	B-1号過水タンク排水弁	全閉確認	A-2号二次純水タンク排水弁	全閉確認	B-2号二次純水タンク排水弁	全閉確認	②	可搬型ホース	ホース接続	③	A-1号過水タンク排水弁*	全閉→全開	B-1号過水タンク排水弁*	全閉→全開	A-2号二次純水タンク排水弁*	全閉→全開	B-2号二次純水タンク排水弁*	全閉→全開	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違（相違理由⑤）</p> <p style="color: red;">【女川】 設備の相違（相違理由②）</p>
	手動弁																																						
	電動弁																																						
	逆止弁																																						
	可搬型ホース																																						
	接続口																																						
	設計条件を設計施設から変更した箇所																																						
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																					
①	A-1号過水タンク排水弁	全閉確認																																					
	B-1号過水タンク排水弁	全閉確認																																					
	A-2号二次純水タンク排水弁	全閉確認																																					
	B-2号二次純水タンク排水弁	全閉確認																																					
②	可搬型ホース	ホース接続																																					
③	A-1号過水タンク排水弁*	全閉→全開																																					
	B-1号過水タンク排水弁*	全閉→全開																																					
	A-2号二次純水タンク排水弁*	全閉→全開																																					
	B-2号二次純水タンク排水弁*	全閉→全開																																					

第 1.13.26 図 2 次系純水タンク又は過水タンクから原水槽への補給概要図

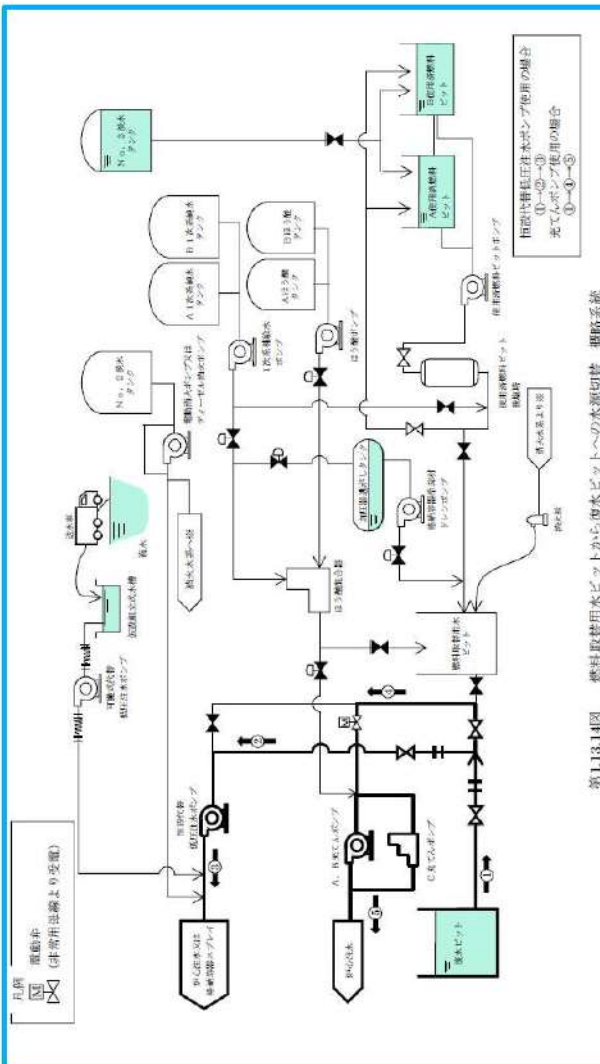
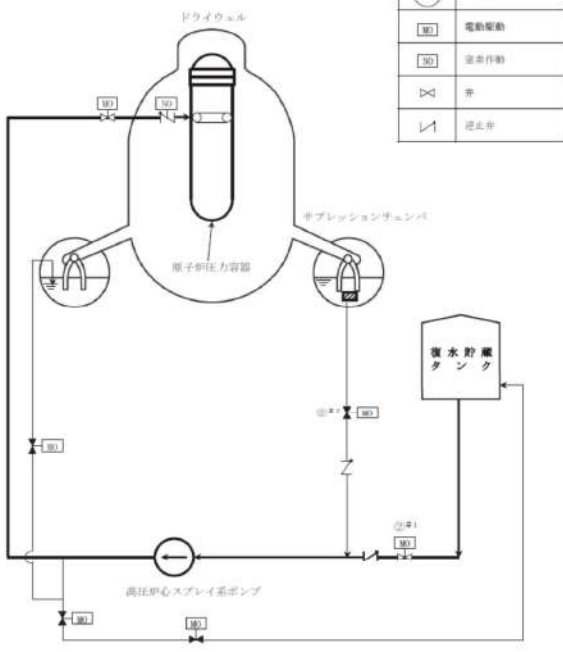
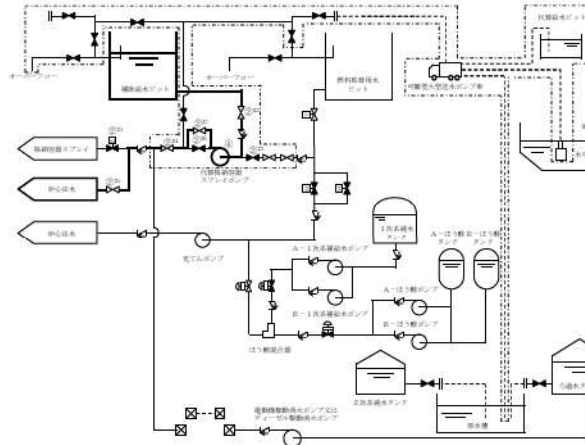
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">第 1.13.27 図 2次系純水タンク又はろ過水タンクからの原水槽への補給 タイムチャート</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【女川】 設備の相違（相違理由②）</p>
		<div style="text-align: center;"> </div> <p>※1：ホース延長・回収車（送水車用）の保管場所は51m倉庫・車庫エリア、2号炉東側31mエリア（a）及び2号炉東側31mエリア（b）、可搬型ホースの保管場所は51m倉庫・車庫エリア、2号炉東側31mエリア（a）及び2号炉東側31mエリア（b） ※2：中央前部室から51m倉庫・車庫エリアまでの移動を想定した移動時間に見込んだ時間 ※3：ホース延長・回収車（送水車用）の移動時間として、51m倉庫・車庫エリアから原水槽付近までを想定した移動時間及び可搬型ホースの敷設実績を考慮した作業時間に見込んだ時間 ※4：機器の操作時間に見込んだ時間 ※5：原水槽への送水実績を考慮した送水時間に見込んだ時間</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.14図 燃料取扱替用水ピットから復水ピットへの水源切替 概略系統</p>	 <p>第1.13-29図 高圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水時の水源の切替 概要図</p> <table border="1" data-bbox="896 1053 1187 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②P1</td> <td>HPCS ポンプ CST 吸込弁</td> </tr> <tr> <td>②P2</td> <td>HPCS ポンプ S/C 吸込弁</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	弁名称	②P1	HPCS ポンプ CST 吸込弁	②P2	HPCS ポンプ S/C 吸込弁	 <p>第1.13.28図 燃料取扱替用水ピットから補助給水ピットへの切替 (原子炉容器への注水中の場合) 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 1005 1948 1165"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②P</td> <td>炉一熱納器スプレイ冷却器出口CV外筒隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②P</td> <td>代替熱納器スプレイポンプ補助給水ピット側入口止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②P</td> <td>代替熱納器スプレイポンプ入口ストップ止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②P</td> <td>代替熱納器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②P</td> <td>炉一全熱除去冷却器出口熱納器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②P</td> <td>代替熱納器スプレイポンプ出口熱納器スプレイ用絞り弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②P</td> <td>代替熱納器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>代替熱納器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	②P	炉一熱納器スプレイ冷却器出口CV外筒隔離弁	全開→全閉	②P	代替熱納器スプレイポンプ補助給水ピット側入口止め弁	全開→全閉	②P	代替熱納器スプレイポンプ入口ストップ止め弁	全開→全閉	②P	代替熱納器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全閉	②P	炉一全熱除去冷却器出口熱納器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	②P	代替熱納器スプレイポンプ出口熱納器スプレイ用絞り弁	全開→全閉	②P	代替熱納器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁	全開→調整開	①	代替熱納器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ
操作手順	弁名称																																			
②P1	HPCS ポンプ CST 吸込弁																																			
②P2	HPCS ポンプ S/C 吸込弁																																			
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
②P	炉一熱納器スプレイ冷却器出口CV外筒隔離弁	全開→全閉																																		
②P	代替熱納器スプレイポンプ補助給水ピット側入口止め弁	全開→全閉																																		
②P	代替熱納器スプレイポンプ入口ストップ止め弁	全開→全閉																																		
②P	代替熱納器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全閉																																		
②P	炉一全熱除去冷却器出口熱納器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																																		
②P	代替熱納器スプレイポンプ出口熱納器スプレイ用絞り弁	全開→全閉																																		
②P	代替熱納器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁	全開→調整開																																		
①	代替熱納器スプレイポンプ	停止→起動																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

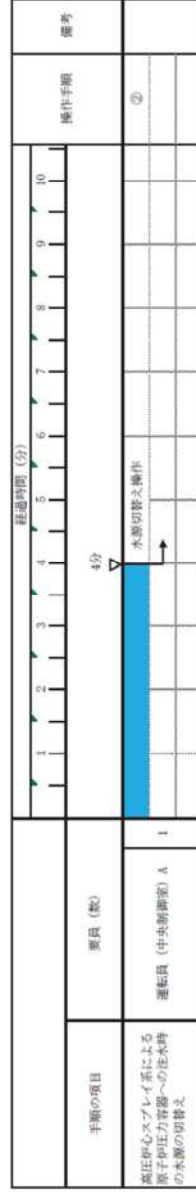
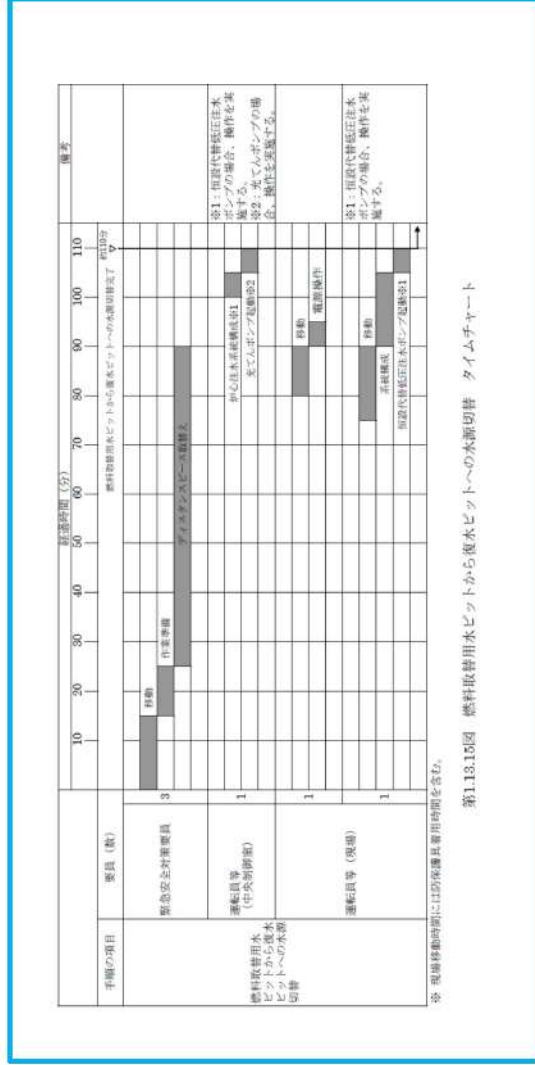
大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

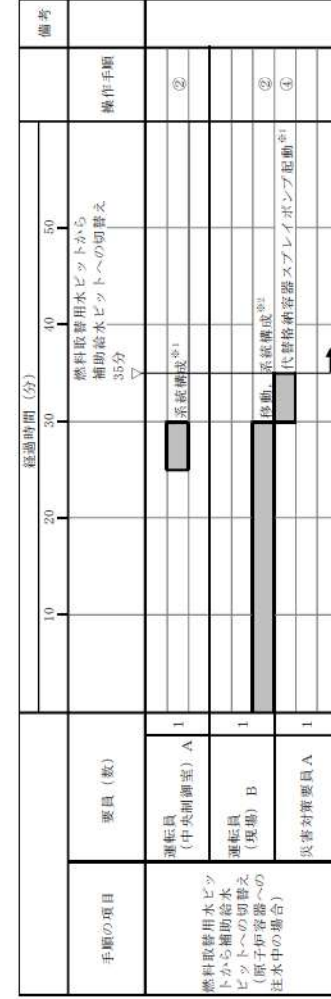
泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、記載順序入替え】



第 1.13-30 図 高圧炉心スプレイス系による原子炉圧力容器への注水時の水源の切替えタイムチャート



※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間
※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間

【大飯】
記載方針の相違
(女川審査実績の
反映)
・タイムチャート
と操作手順番号
を紐づけ
・補足の充実
・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.30図 燃料取替用水ピットから補水ピットへの水源切替 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.30図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替（原子炉格納容器内へスプレイ中の場合） 概要図</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ補助給水ピット側入口止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口アスト用止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用取り弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>B-1格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	代替格納容器スプレイポンプ補助給水ピット側入口止め弁	全開→全開	②	代替格納容器スプレイポンプ入口アスト用止め弁	全開→全開	③	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全開	④	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用取り弁	全開→調整開	⑤	B-1格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	全開→全開	⑥	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結び</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	代替格納容器スプレイポンプ補助給水ピット側入口止め弁	全開→全開																						
②	代替格納容器スプレイポンプ入口アスト用止め弁	全開→全開																						
③	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全開																						
④	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用取り弁	全開→調整開																						
⑤	B-1格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	全開→全開																						
⑥	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

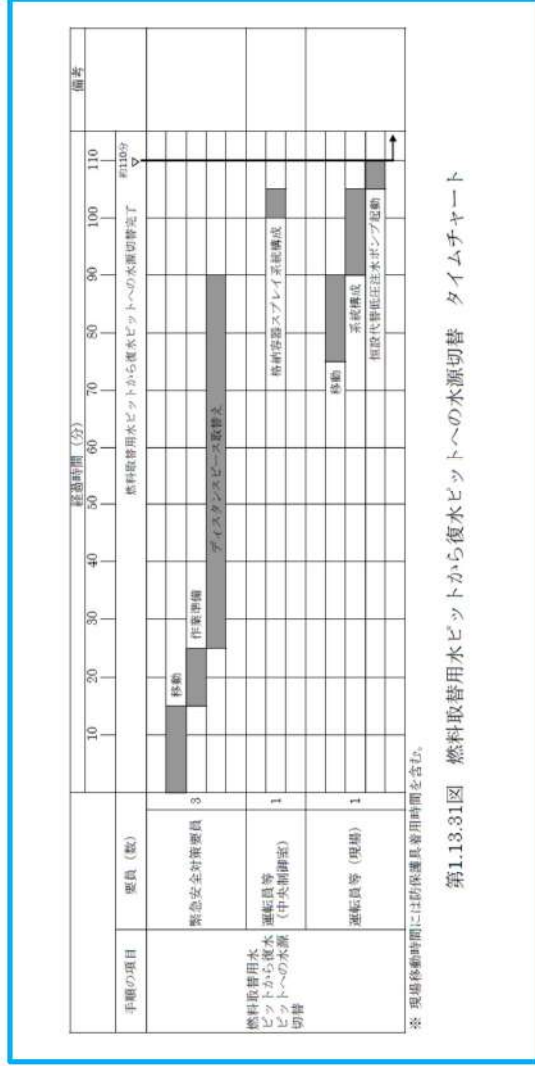
大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、記載順序入替え】



泊3号炉との比較対象なし

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)	備考
燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉格納容器内へスプレイ中の場合)	運転員 (中央制御室) A	1	燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え 30分 △
	運転員 (現場) B	1	
	災害対策要員 A	1	
		移動	
		系統構成 ^{※1}	②
		移動	
		系統構成 ^{※2}	②
		代替格納容器スプレイポンプ起動 ^{※3}	④

※1：機器の搬入時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間
※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間の操作時間に見込んだ時間

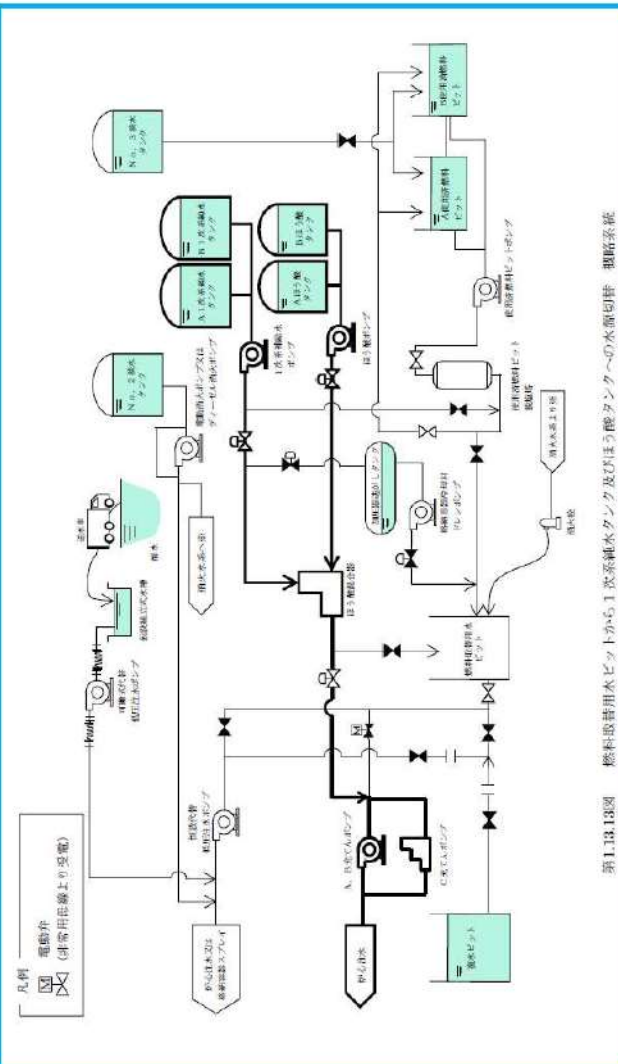
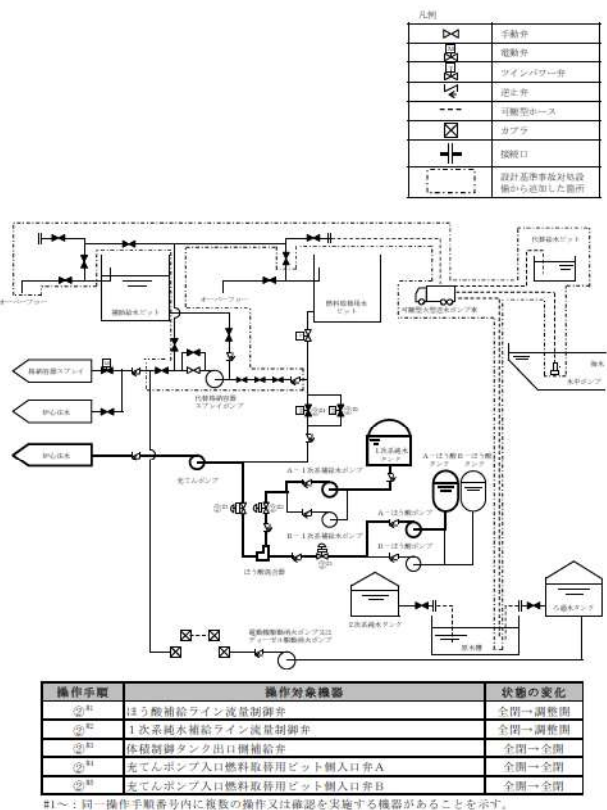
第 1.13.31 図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え
(原子炉格納容器内へスプレイ中の場合) タイムチャート

【大飯】
記載方針の相違
(女川審査実績の
反映)
・タイムチャート
と操作手順番号
を紐づけ
・補足の充実
・備考欄の追加

【女川】
記載内容の相違
・炉型の相違によ
る対応手段の相
違

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.13図 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水質切替 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1411 1005 1971 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②[※]</td> <td>ほう酸補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> <tr> <td>②[※]</td> <td>1次系純水補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> <tr> <td>②[※]</td> <td>体積制御タンク出口側補給弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②[※]</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用ビット側入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②[※]</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用ビット側入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.13.32図 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② [※]	ほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整開	② [※]	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整開	② [※]	体積制御タンク出口側補給弁	全閉→全開	② [※]	充てんポンプ入口燃料取替用ビット側入口弁A	全閉→全開	② [※]	充てんポンプ入口燃料取替用ビット側入口弁B	全閉→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																			
② [※]	ほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整開																			
② [※]	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整開																			
② [※]	体積制御タンク出口側補給弁	全閉→全開																			
② [※]	充てんポンプ入口燃料取替用ビット側入口弁A	全閉→全開																			
② [※]	充てんポンプ入口燃料取替用ビット側入口弁B	全閉→全開																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.2図 復水ピットからN.o.3洗水タンクへの水源切替 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②¹⁾</td> <td>タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②²⁾</td> <td>A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②³⁾</td> <td>補助給水ピット電動補助給水ポンプ側出口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②⁴⁾</td> <td>補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ側出口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② ¹⁾	タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	全閉→全開	② ²⁾	A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	全閉→全開	② ³⁾	補助給水ピット電動補助給水ポンプ側出口弁	全開→全閉	② ⁴⁾	補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ側出口弁	全開→全閉	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結び</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																
② ¹⁾	タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	全閉→全開																
② ²⁾	A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	全閉→全開																
② ³⁾	補助給水ピット電動補助給水ポンプ側出口弁	全開→全閉																
② ⁴⁾	補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ側出口弁	全開→全閉																

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center;"> <p>第1.13.34図 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え タイムチャート</p> </div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、中央制御室のみの操作についても、タイムチャートを整理する。</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; text-align: right;">第1.13.35図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替用水ピットへの補給ホース敷設ルート図（1/2） ：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.35図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替替用水ピットへの補給ホース敷設ルート図(2/2) ：非開みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-size: small; padding: 5px;"> 第1.13.36図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図（1/2） </div> </div>	<p style="text-align: center; color: red;">【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.36 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図（2/2） □：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

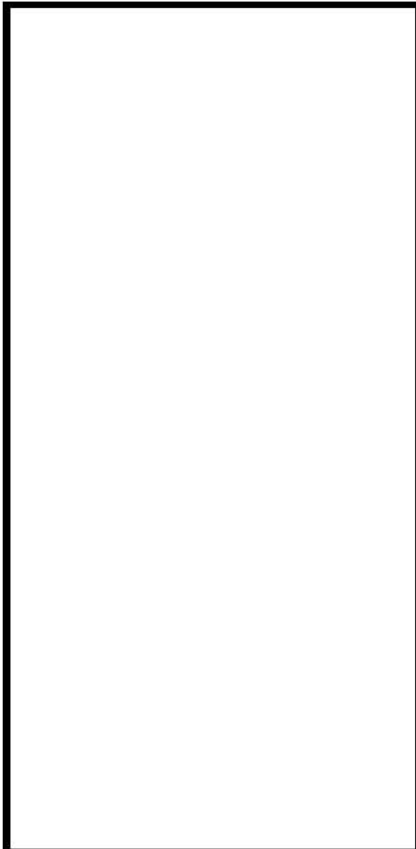
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1384 427 1888 1171" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="1899 475 1928 1114" style="font-size: small;">第1.13.37図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替用水ピットへの補給</p> <p data-bbox="1939 699 1968 991" style="font-size: small;">ホース敷設ルート図 (1/3)</p> <p data-bbox="1977 440 2007 836" style="font-size: small;">：棒図みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="2022 754 2085 775" style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】</p> <p data-bbox="2022 783 2166 831" style="color: red;">設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.37図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱普用水ピットへの補給 ポース敷設ルート図 (2/3)</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;">□：詳細みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; text-align: right;">第1.13.37図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (3/3) □：詳細図の内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 391 649 1257" style="border: 2px solid black; height: 543px; width: 242px;"></div> <div data-bbox="651 403 685 943" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <div data-bbox="683 467 716 1211" style="margin-top: 10px;"> 第1.13.26図 No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート </div>		<div data-bbox="1391 491 1906 1171" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> </div> <div data-bbox="1912 467 1982 1241" style="margin-top: 10px;"> 第 1.13.38 図 ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 </div>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1397 427 1895 1168" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="1906 411 1935 1187" style="font-size: small;">第1.13.39図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p data-bbox="1944 858 1973 1066" style="font-size: small;">ポース放設ルート図 (1/2)</p> <p data-bbox="1977 395 2007 794" style="font-size: small;">：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="2022 754 2085 775" style="color: red;">【大飯】</p> <p data-bbox="2022 783 2166 831" style="color: red;">設備の相違(相違理由④)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.39図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ボースス敷設ルート図（2/2） □：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違（相違理由④）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1375 424 1872 1171" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="1899 475 1928 1104" style="font-size: small;">第1.13.40図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピット</p> <p data-bbox="1937 692 1966 986" style="font-size: small;">への補給。ボース敷設ルート図（1/2）</p> <p data-bbox="1966 395 1995 836" style="font-size: small;">：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="2022 754 2166 836" style="color: red;">【大飯】 設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

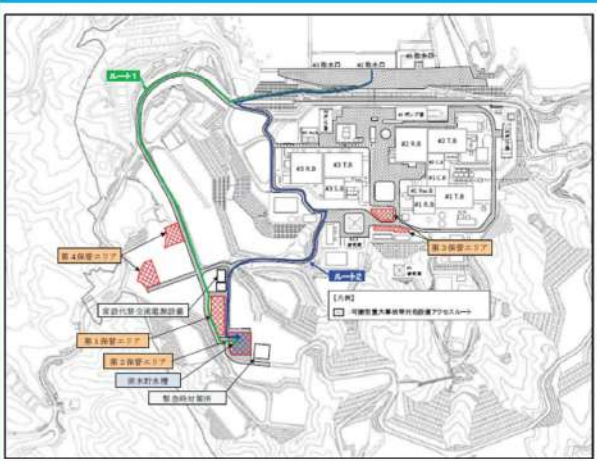
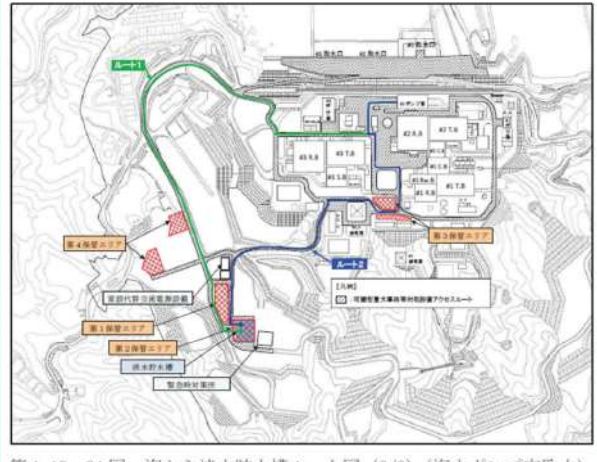
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; text-align: center;">第1.13.40図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図(2/2)</p> <p style="font-size: x-small; text-align: center;">□：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違(相違理由④)</p>

1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>		
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ビットへの補給 ホース敷設ルート (1/22)</p>			
<p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>第 1.13-33 図 海から淡水貯水槽ルート図 (1/2) (取水口取水)</p>		
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ビットへの補給 ホース敷設ルート (2/22)</p>			
<p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ビットへの補給 ホース敷設ルート (3/22)</p>	<p>第 1.13-34 図 海から淡水貯水槽ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p>		
<p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ビットへの補給 ホース敷設ルート (4/22)</p>			

第 1.13.41 図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給 ホース敷設ルート図 (1/3)

特開みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

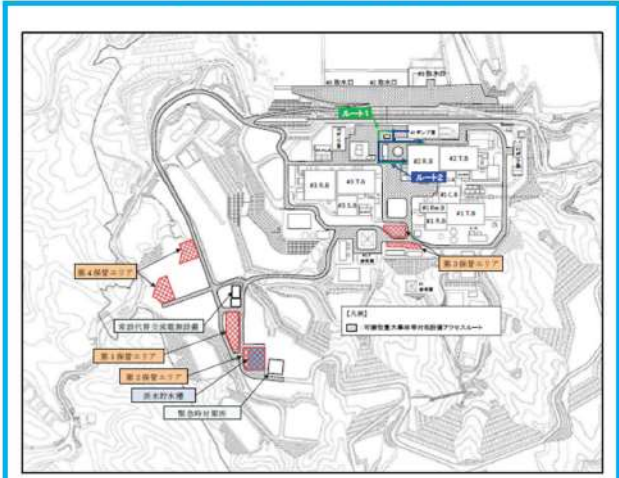
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 151 705 486" style="border: 1px solid black; height: 210px; width: 264px;"></div> <div data-bbox="291 491 705 513" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<div data-bbox="907 247 1187 274" style="text-align: center;"> 【比較のため、記載順序入替え】 </div> <div data-bbox="743 319 1348 778" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="833 790 1258 813" style="text-align: center;"> 第 1.13-35 図 淡水貯水槽から各種注水ルート図 </div>	<div data-bbox="1467 367 1881 1225" style="border: 1px solid black; height: 538px; width: 185px;"></div>	
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (5/22)</p>			
<div data-bbox="114 606 705 949" style="border: 1px solid black; height: 215px; width: 264px;"></div> <div data-bbox="291 960 705 983" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<div data-bbox="743 861 1348 1321" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="779 1327 1303 1351" style="text-align: center;"> 第 1.13-36 図 海から各種注水ルート図 (1/2) (取水口取水) </div>	<div data-bbox="1926 343 2004 1279" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第 1.13.41 図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (2/3) 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (6/22)</p>			
<div data-bbox="114 1069 705 1412" style="border: 1px solid black; height: 215px; width: 264px;"></div> <div data-bbox="291 1423 705 1445" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (7/22)</p>		

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (8/22)</p>			
<p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> 		
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (9/22)</p>			
<p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>第1.13-37図 海から各種注水ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p>		
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (10/22)</p>			
<p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (11/22)</p>			

第1.13.41図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (3/3)

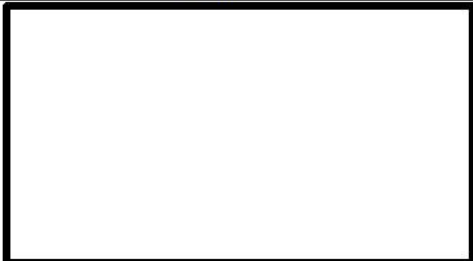
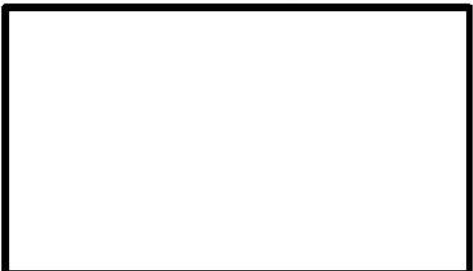


特開みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース搬送ルート (12/22)</p>			
 <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース搬送ルート (13/22)</p>			
 <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース搬送ルート (14/22)</p>			
 <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース搬送ルート (15/22)</p>		<p>大飯3/4号炉との比較対象は 泊3号炉の第1.13.41図参照</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ビットへの補給 ホース敷設ルート (16/22)</p>			
 <p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ビットへの補給 ホース敷設ルート (17/22)</p>		<p>大飯3/4号炉との比較対象は 泊3号炉の第1.13.41図参照</p>	
 <p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ビットへの補給 ホース敷設ルート (18/22)</p>			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="174 145 642 405" style="border: 2px solid black; height: 163px; width: 209px;"></div> <div data-bbox="315 410 642 427" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> 特図みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <div data-bbox="190 469 622 488" style="font-size: small;"> 第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (19/22) </div> <div data-bbox="174 493 642 762" style="border: 2px solid black; height: 169px; width: 209px;"></div> <div data-bbox="315 767 642 785" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> 特図みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <div data-bbox="190 788 622 807" style="font-size: small;"> 第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (98/99) </div> <div data-bbox="174 812 642 1082" style="border: 2px solid black; height: 169px; width: 209px;"></div> <div data-bbox="315 1086 642 1104" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> 特図みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <div data-bbox="190 1107 622 1126" style="font-size: small;"> 第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (21/22) </div> <div data-bbox="174 1147 642 1417" style="border: 2px solid black; height: 169px; width: 209px;"></div> <div data-bbox="315 1422 642 1439" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;"> 特図みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <div data-bbox="190 1442 622 1461" style="font-size: small;"> 第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (22/22) </div>		<div data-bbox="1451 758 1928 858" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 大飯3/4号炉との比較対象は 泊3号炉の第1.13.41図参照 </div>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR 固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.42図 2次系純水タンク又はろ過水タンクを水源とした原水槽への補給 ホース敷設ルート図 ：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違（相違理由⑧）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.13.12図 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給手順</p> <p>凡例 ：操作・確認 ：アラート状態 ：重大事故等対応設備 ：対応手段 ：別フローへ移行 ：初期 ：準備 ：対応手段</p>		<p>第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート（補助給水ビットへの供給手順）（1/3）</p> <p>第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート（補助給水ビットへの供給手順）（2/3）</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>			<p>【大飯】 設備の相違(相違理由④)</p>

第 1.13.43 図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート（補助給水ピットへの供給手順）（3/3）

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.13.29図 炉心注水のための代替手段及び燃料取扱用水ピットへの供給手順</p>	<p>第1.13-31図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（各種注水用）</p>	<p>第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（炉心注水時の燃料取扱用水ピットへの補給手順）（1/4）</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="134 742 683 845" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象は 大飯3/4号炉の第1.13.29図参照 </div>	<div data-bbox="750 311 1310 1268"> <p>【凡例】 □ : プラント状態 ○ : 操作、確認 ◇ : 判断 ● : 重大事故等対応設備</p> </div>	<div data-bbox="1388 399 1892 1189"> <p>【凡例】 □ : 操作、確認 ○ : 重大事故等対応設備 ◇ : 判断 ● : 重大事故等対応設備</p> </div>	<p>相違理由</p> <div data-bbox="1948 550 2004 1197" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート（各種補給用） （炉心注水時における燃料取替用水ピットへの補給手順）（2/4） </div> <div data-bbox="2004 718 2172 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: blue;"> 【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映） </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>			<p>【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

第1.13.44 図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート（炉心注水時における燃料取替用水ピットへの補給手順）（3/4）

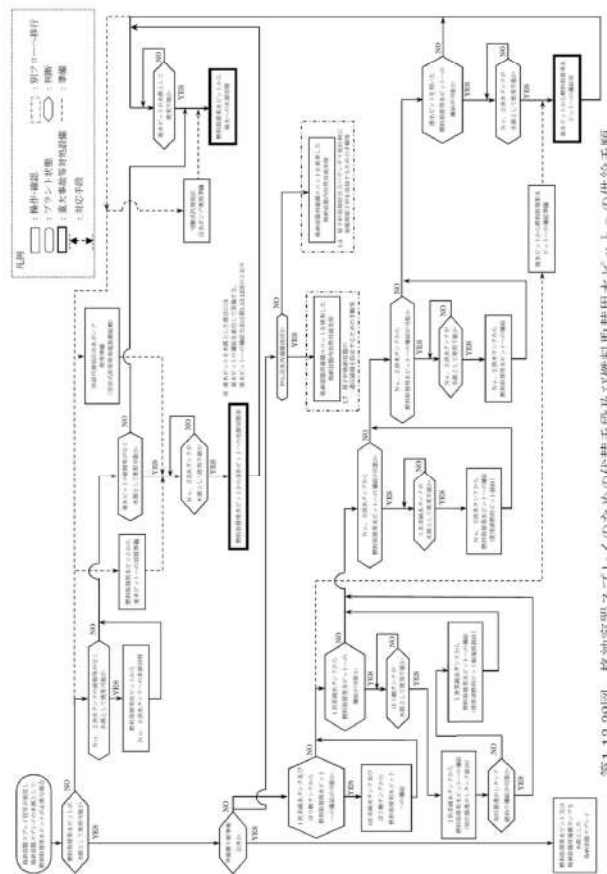
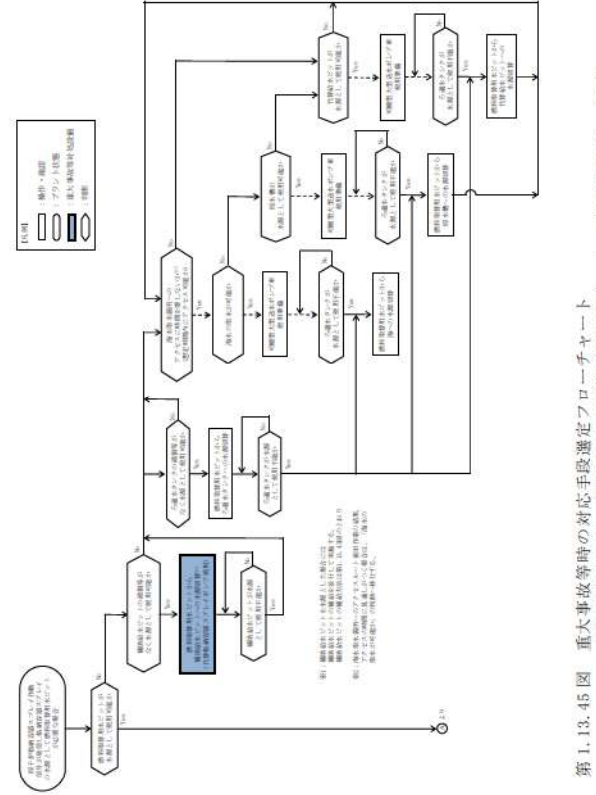
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="136 740 680 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>泊3号炉との比較対象は 大飯3/4号炉の第1.13.29図参照</p> </div>		<div data-bbox="1384 534 1915 1077"> <p>第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (炉心注水時における燃料取扱用ポンプへの接続)</p> </div>	<p>【大飯】 運用の相違(相違理由⑥)</p>

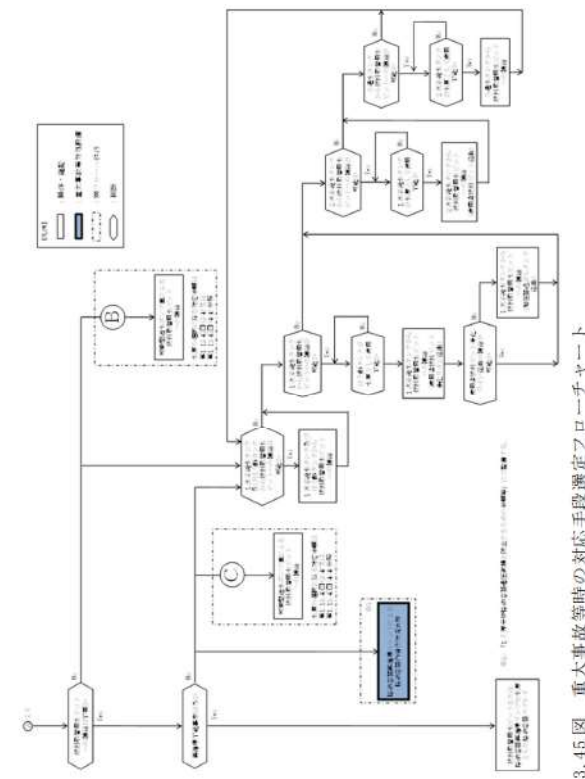
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.13.32図 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給手順</p>		 <p>第1.13.45図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (格納容器スプレイ時における燃料取替用水ピットへの補給手順) (1/4)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映)</p>

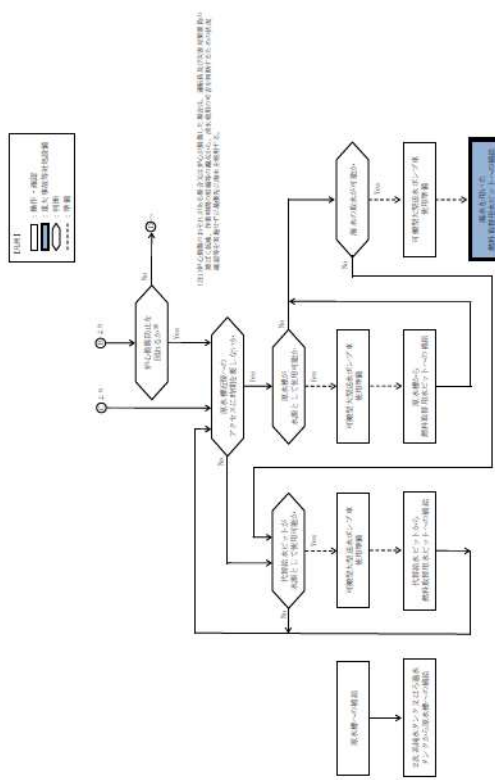
灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="134 734 683 845" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>泊3号炉との比較対象は 大飯3/4号炉の第1.13.32図参照</p> </div>		 <p style="text-align: center;">第1.13.45図 重大事故時の対応手段選定フローチャート (格納容器スプレイトにおける燃料取扱替用水ピットへの補給手順) (2/4)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="134 734 683 845" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象は 大飯3/4号炉の第1.13.32図参照 </div>			<p>第1.13.45図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (格納容器スプレイレインにおける燃料取水ピットへの供給手順) (3/4)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、
BWR固有の設備や対応手段であり、
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="136 743 680 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象は 大飯3/4号炉の第1.13.32図参照 </div>		<div data-bbox="1366 414 1881 925"> </div>	<div data-bbox="1948 335 2004 1005"> 第1.13.45図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート （格納容器スプレイト時における燃料取替用水ビットへの補給手順）（4/4） </div> <div data-bbox="2004 750 2161 829" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 【大飯】 運用の相違（相違理由⑥） </div>

比較対象プラント選定の詳細（技術的能力）

【1.13：水源】

項目		内容
基準適合に係る設計を 反映するために 比較するプラント	プラント名	大飯3／4号炉
	具体的理由	当該審査項目は、発電用原子炉施設に共通の要求に係る条文であるが、重大事故等への対応に用いる蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却の代替手段等についてはPWR固有のプラント設計に基づくものであり、かつPWR固有の要求事項である代替再循環設備の確保など重大事故等への対応設備・手段が大きく異なるため、PWRプラントとしての基準への適合性を網羅的に比較する観点から大飯3／4号を選定する。
先行審査知見を 反映するために 比較するプラント	プラント名	女川2号炉
	反映すべき知見を得るための主な方法	<p>① 比較表による比較：比較表に掲載し、先行審査知見（基準適合上で考慮すべき事項、記載内容の充実を図るべき点）の比較・整理を行い、その結果、必要な内容が記載されていることを確認した。ただし、BWR固有の設備や対応手段については、PWRプラントとしての基準への適合性を網羅的に比較する観点から大飯3／4号炉と比較する。</p> <p>② 資料構成の比較※：当該審査項目のまとめ資料の構成について比較・整理を行い、その結果、必要と判断した資料を追加することとした。 [事例] 添付資料の一部（手順着手の判断基準、操作手順の解釈など）</p>
	(当該方法の選定理由)	<p>① 当該審査項目は、発電用原子炉施設に共通の要求に係る条文であり、文章構成も類似の部分があることから、比較表形式での比較により先行審査知見の確認が可能のため。</p> <p>② 重大事故等への対応設備・手段が大きく異なるため、資料の記載内容も異なるが、資料構成の比較・整理により基準適合の説明のために必要な資料の充足性を確認することが可能のため。</p>

※ 女川2号炉との資料構成の比較に加え、PWRの先行審査実績の取り込みの総括として、大飯3／4号炉のまとめ資料の作成状況（資料構成と内容）を条文・審査項目毎に確認し、基準適合性の網羅的な説明に必要な資料が揃っていることを確認する。

【凡例】 ○：記載あり
 ×：記載なし
 (○)：本文の資料の他箇所に記載
 △：他頁次の資料などに記載

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

プラント	注3号評 作成状況	まとめ資料の作成を不要とした理由	まとめ資料または比較表を新たに作成することとした理由 もしくは 記載の文書を図ることとした理由	比較表を作成していない理由
女川	注	まとめ資料	比較表	
本文	本文	○	○	
添付資料	添付資料			
添付資料1.13.1 審査基準、基準規程と対称設備との対応表	添付資料1.13.1 審査基準、基準規程と対称設備との対応表	○	×(○)	
添付資料1.13.2 対称手段として選定した設備の電源構成図	添付資料1.13.2 重大事故時対称設備の電源構成図	○	×(○)	
添付資料1.13.3 重大事故時対策の成立性	添付資料1.13.3 補助給水ピットから2次系純水タンクへの水送切替			注3号評における重大事故時への対応に用いる水源を利用した対称手段及び水送へを補強するための対称手段については、1次係図表と2次係図表による設備構成の相違など、重大事故時への対応設備・手段が対称設備とは大きく異なるため、PWRプラントとしての基準への適合性を網羅的に比較する観点から大抵3/4号評を選定する。
1. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水	添付資料1.13.3 2次系純水タンクから補助給水ピットへの補給			
2. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）	添付資料1.13.3 淡水槽から補助給水ピットへの補給			
3. 海水を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）	添付資料1.13.3 代替送水ピットから補助給水ピットへの補給			
4. 海水を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）	添付資料1.13.3 海水を用いた補助給水ピットへの補給			
5. 淡水貯蔵タンクへの補給	添付資料1.13.3 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水送切替（炉心注水・燃料容器スプレッド）			
6. 放射性貯水タンクを水源とした淡水貯蔵タンクへの補給	添付資料1.13.3 1次系純水タンク及びばう露タンクから燃料取替用水ピットへの補給			
7. 淡水貯水槽への補給	添付資料1.13.3 1次系純水タンクから使用済燃料ピット浄化ライン経由の燃料取替用水ピットへの補給	○	×(○)	
	添付資料1.13.14 1次系純水タンクから加圧給送がしタンク経由の燃料取替用水ピットへの補給			
	添付資料1.13.15 2次系純水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給			
	添付資料1.13.16 ろ過水タンクから燃料取替用水ピットへの補給			
	添付資料1.13.17 淡水槽から燃料取替用水ピットへの補給			
	添付資料1.13.18 代替給水ピットから燃料取替用水ピットへの補給			
	添付資料1.13.19 海水を用いた燃料取替用水ピットへの補給			
添付資料1.13.4 解明一覧	添付資料1.13.20 解明一覧	×(○)	×(○)	当該資料に発報している手順書判断基準に係るパラメータの設定値や、操作手順に係るパラメータの調整値、操作する弁の名称等については、竣工図及び保安規定における審査によって説明することとしていたが、更なる説明性の向上を目的として、今後作成する。
添付資料1.13.5 注水ヘッドと接続口を誤接続した場合の検知について		*	*	プラント固有の条件を踏まえた設備設計であるため作成不要。 女川は、大容量送水ポンプ（タイプ1）を用いた原子炉への注水時に注水用ヘッドを介して各種注水、水送への補給を行う。注水用ヘッドには接続部が複数あり、注水用ヘッドと原料の接続口を誤接続した場合について発報している。 注は、注水ヘッドを使用せず、直接、注水用の常設配管へ接続する。
添付資料1.13.6 注水用ヘッド動作に係る中央制御室との連携の成立性		*	*	プラント固有の条件を踏まえた運用であるため作成不要。 女川は、中央制御室の監視と現場操作が離れた場所で行われる場合があるため、注水用ヘッドを用いた注水手段について、遠隔検知・通報警報設備等を整備している。 注は、技術的能力まとめ資料本文に、発電課長（当業）が運転員と災害対策要員へ指示の指示を行う体制であることを記載。 設備休日においても、発電課長（当業）の指揮のもと運転員を主体とする初期体制としていることを技術的能力1.0まとめ資料に記載している。 中央制御室と災害対策要員（屋外作業）との通信連絡設備については、技術的能力1.19まとめ資料に記載。
添付資料1.13.7 淡水貯蔵タンクの保有水量について		*	*	プラント固有の条件を踏まえた設備設計であるため作成不要。 女川は、有効性評価における補助給水ピット及び燃料取替用水ピットの必要水量は有効性評価まとめ資料にて発報し、必要水量を確保するための保有水量を技術的能力まとめ資料本文に記載している。
添付資料1.13.3 自主対策設備仕様		○	×(○)	注3号評における重大事故時への対応に用いる補助給水ピットを水源とした対称手段や燃料取替用水タンクを水源とした対称手段による対策については、PWR固有の設計に基づくものであり、女川号評とは機能喪失を想定する設計基準事項が対称設備及び重大事故時への対応設備・手段が大きく異なるため、PWRプラントとしての基準への適合性を網羅的に比較する観点から大抵3/4号評との比較表を作成することとする。
添付資料1.13.4 重大事故に係る要員作業員に対する並びに評価について		○	×	PWRプラントとしての基準への適合性を網羅的に比較するため大抵3/4号評との比較表を行うが、大抵3/4号評と並びに評価の対象となる対応手段が異なるため、大抵3/4号評は技術的能力1.0にて発報している。 技術的能力1.13ではなく、技術的能力1.1にて比較表を作成する。
添付資料1.13.5 海水取水時の異物管理について		○	×(○)	
添付資料1.13.20 1次系純水タンク及びばう露タンクから燃料取替用水ピットへの補給について		○	×(○)	
添付資料1.13.21 水の供給手順のうち詳細手順を發報する本文一覧表		○	×(○)	
添付資料1.13.22 各タンク等配管図及び仕様		○	×(○)	
添付資料1.13.23 可搬型ホース接続口の配置		○	×(○)	
添付資料1.13.24 可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプへの燃料補給		○(×)	*	
添付資料1.13.25 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプへの燃料補給		○(×)	*	リフレックスプラントの女川号のまとめ資料構成と同様にする方針から、技術的能力1.14にて比較表を作成する。
添付資料1.13.26 重大事故時における燃料補給に係るアクセスルート		○(×)	*	
添付資料1.13.21 可搬型大型送水ポンプ車の水送運用に係る方針		○	*	注3号評審査における設備構成への設定について資料化したものであり、女川2号評に比較可能な資料がないことから、比較表は作成しない。